

松本市の公民館

（令和 6 年度）

松本市教育委員会

[illegible]

松本市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
教育の基本計画等・・・・・・・・・・・・・・・・	4
教育財政・・・・・・・・・・・・・・・・	13
生涯学習の推進(社会教育)・・・・・・・・	15
公民館の学びを通じた地域づくり・・・・・・・・	25
公民館一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	28
利用状況等・・・・・・・・・・・・・・・・	32
公民館関係略年表・・・・・・・・・・・・・・・・	36
事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	46
館長会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	364
主事会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	365
職員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	374
公民館役員名簿(館長・主事)・・・・・・・・	376
公民館運営審議会委員名簿・・・・・・・・	380

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は美ヶ原高原に続く地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた『和名類聚抄』には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進め、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積（基準 松本市役所）

位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口 (人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成22年3月波田町との合併による
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	中核市に移行する
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	
令和5年	978.47	109,006	235,933	115,691	120,242	241	
令和6年	978.47	109,886	234,740	115,088	119,652	240	

資料：DX推進本部

教育の基本計画

1 第3次松本市教育振興基本計画

(1) 「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア 策定の趣旨

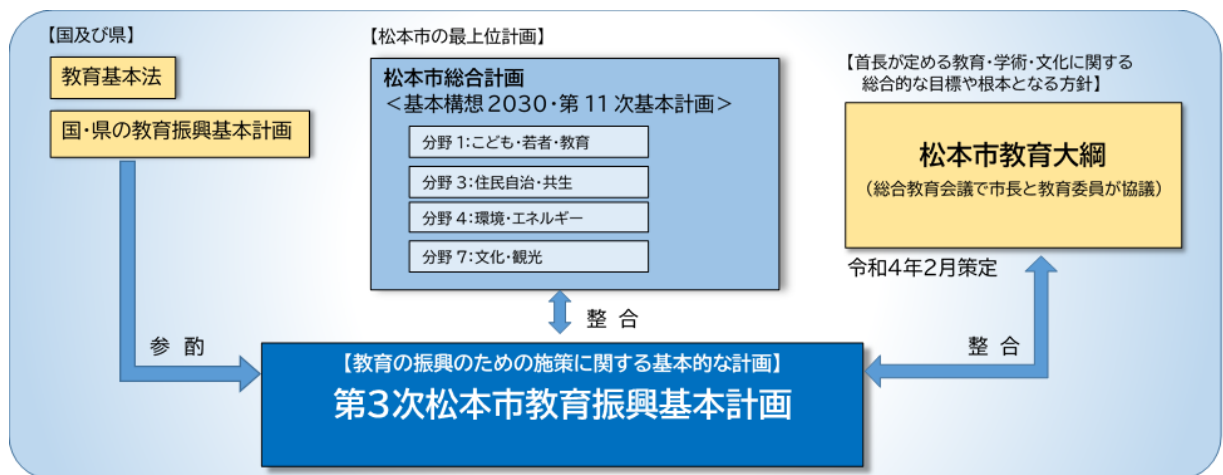
令和4年6月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 位置付け

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、松本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に市長が新たに教育大綱を策定しました。この教育大綱と整合を図り、市民アンケート等を基にして、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。



(2) 基本的理念 ～子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本～

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。

自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。

そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。

すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。

すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしていきます。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

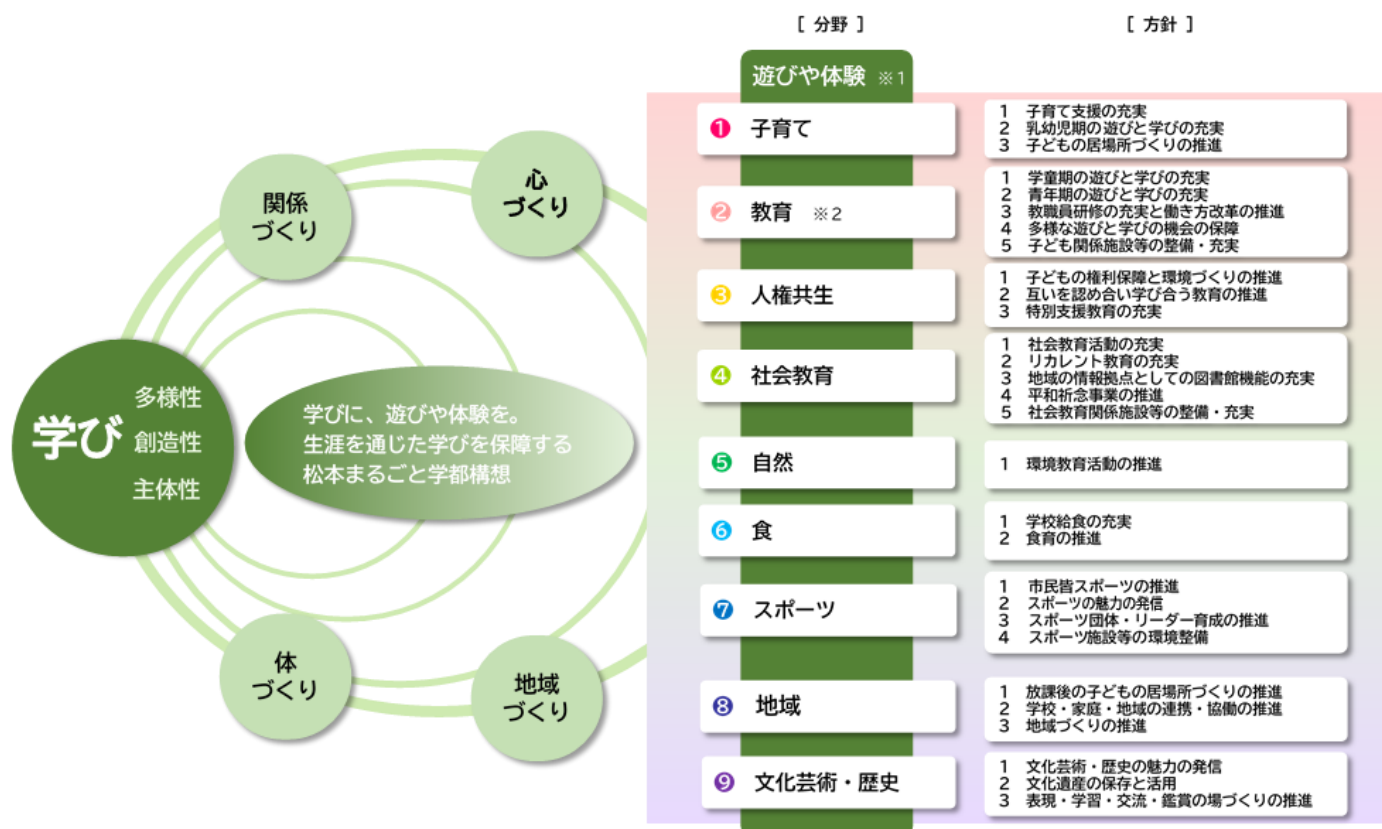
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

(1) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(2) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

(3) 学びの3つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この3つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

4 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、学都松本推進協議会等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。

学都松本推進事業の開催など、あらゆる機会を捉えての「学都松本」の市民周知を通して、生涯にわたっての市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 学都松本推進事業

平成24年度からメイン事業として学都松本フォーラムを開催してきましたが、令和5年度に、市民の日常の学びの充実を目指して「多様な連携」や「遊びや体験」による多彩な事業を通年で開催する形態に改めました。

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2 (日)	第1回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学都松本をめざして (2)予算 350 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (13)、催事 (9) など (4)参加者 1,730 人
H25.9.7 (土) 9.8 (日)	第2回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学びでつながる わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2)予算 780 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (12)、催事 (18)、同時開催イベント (子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4)参加者 1,180 人
H26.9.6 (土) 9.7 (日)	第3回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 日々の学びへの気づき (2)予算 1,020 千円 (3)内容 全体会 (委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事 (19)、同時開催イベント (4)参加者 1,943 人
H27.9.5 (土) 9.6 (日)	第4回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ “ひとり” から “みんな” の学びへ (2)予算 1,450 千円 (3)内容 基調講演会：池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント (4)参加者 2,703 人
H28.9.3 (土) 9.4 (日)	第5回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ ～ふくらむ つながる ひろがる～ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：高橋源一郎氏 (100 年後の 14 歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント (4)参加者 2,577 人

H29.9.2(土) 9.3(日)	第6回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,270 千円 (3)内容 基調講演会：天達武史氏（天気の人達が語る 学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由）、分 科会(4)、催事展示（21）、同時開催イベント (4)参加者 2,041 人
H30.9.22(土) 9.23(日)	第7回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：柳田理科雄氏（考えることは楽 しい、だから科学はおもしろい）、催事展示 (22)、同時開催イベント (4)参加者 1,036 人
R元9.21(土) 9.22(日)	第8回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)テーマ どこにでも学びはある。 (2)予算 1,230 千円 (3)内容 基調講演会：今泉忠明氏（愛すべき“ざんね んないきもの”と進化）、催事展示（18）、同時 開催イベント、第1回具だくさんみそ汁コンテ スト） (4)参加者 1,042 人
R2.9.19(土) 9.20(日)	第9回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中 止。「学都松本・教育100年を語る会」を3回開催（オ ンライン、動画配信によるもの）
R4.2.12(土) ～2.20(日)の 休日	学都松本 フォーラ ム2022	勤労者福 祉センタ ー・オン ライン	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大 人誰でも参加できるミニ講演会を開催。
R5.2.19(土) ～3.5(日)の 休日	学都松本 フォーラ ム2023	勤労者福 祉センタ ーほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 映画観賞会「夢みる小学校」、まち歩き（レト ロな建物、城下町、古写真）、ワークショップ（フ ラワーアレンジメント、毛糸ボンボン、紙ひこ うき、木の花、七夕人形） (3)参加者 268 人
R5.11.18(土) ～R6.3.2(土) までの9日間	令和5年 度学都松 本推進事 業	博物館ほ か	(1)予算 300 千円 (2)内容 まち歩き、施設見学、食育体験、映画観賞会、 講演会など9事業 (3)参加者 271 人

5 令和6年度 生涯学習課概要及び重点目標

(1) 生涯学習課・中央公民館

ア 概要

誰もが住みよい地域社会の創造へ向け、住民・地域団体・市民活動団体・大学・行政等の「多様な主体」がお互いの立場を越えて連携し、「自分たちの地域は自分たちで創る」という自治意識の根付いた地域を形成します。お互いの垣根を越えて理解を深めながら自治能力を高めるために、公民館等の施設整備や多様な市民の意見を反映した学習・地域活動を実践します。さらに、自治組織の高齢化や担い手不足といった課題を解決する鍵となる、若者や子育て世代の女性、移住者等を含めた幅広い世代・立場の住民が主体的に地域活動へ参画するために、若者の居場所づくりの推進や、住民ニーズに合った公民館事業を展開します。

イ 重点目標の内容

(ア) コミュニティスクール事業

地域・保護者・学校等が子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働する「コミュニティスクール事業」を全地区で推進します。また、昨年度から学校の負担軽減や、地域・保護者・子ども・学校関係者のニーズにあった連携・活動を加速させるために大野川小・中学校で導入した「国制度コミュニティ・スクール事業」の取組み結果・効果を、学校関係者等で共有し、他地域への横展開を検討します。

(イ) 子ども・若者の居場所づくりと社会参画事業

若者の居場所として中央公民館2階フリースペースを開放するとともに、利用時間などの多様なニーズに応えるため、若者の意見等を把握していきます。地区公民館では既設の3地区（松南・梓川・四賀）に加えて新たに7地区（第三・城東・白板・庄内・島内・芳川・寿）で開設を図ると共に、他の地区についても、小中学校の長期休業にあわせて児童・生徒の居場所として施設を開放します。青少年ホームでは、若者の交流の場として「若者カフェ」を開設するとともに、ひきこもりの若者も利用しやすいよう周知します。また、若者向けの講座（ヤングスクール）やコーディネーターによる学びの講座、ひきこもりの若者やその家族・支援者（民生児童委員等）・地域住民を対象にした研修会を開催します。

(ウ) ICTを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業

ICTの活用により、いつでも・だれでも・どこでも学ぶことができる学習の場を充実させ、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティ形成へつなげます。また、デジタル社会ですべての人が活躍し続けるため、ICTの活用支援を進めます。

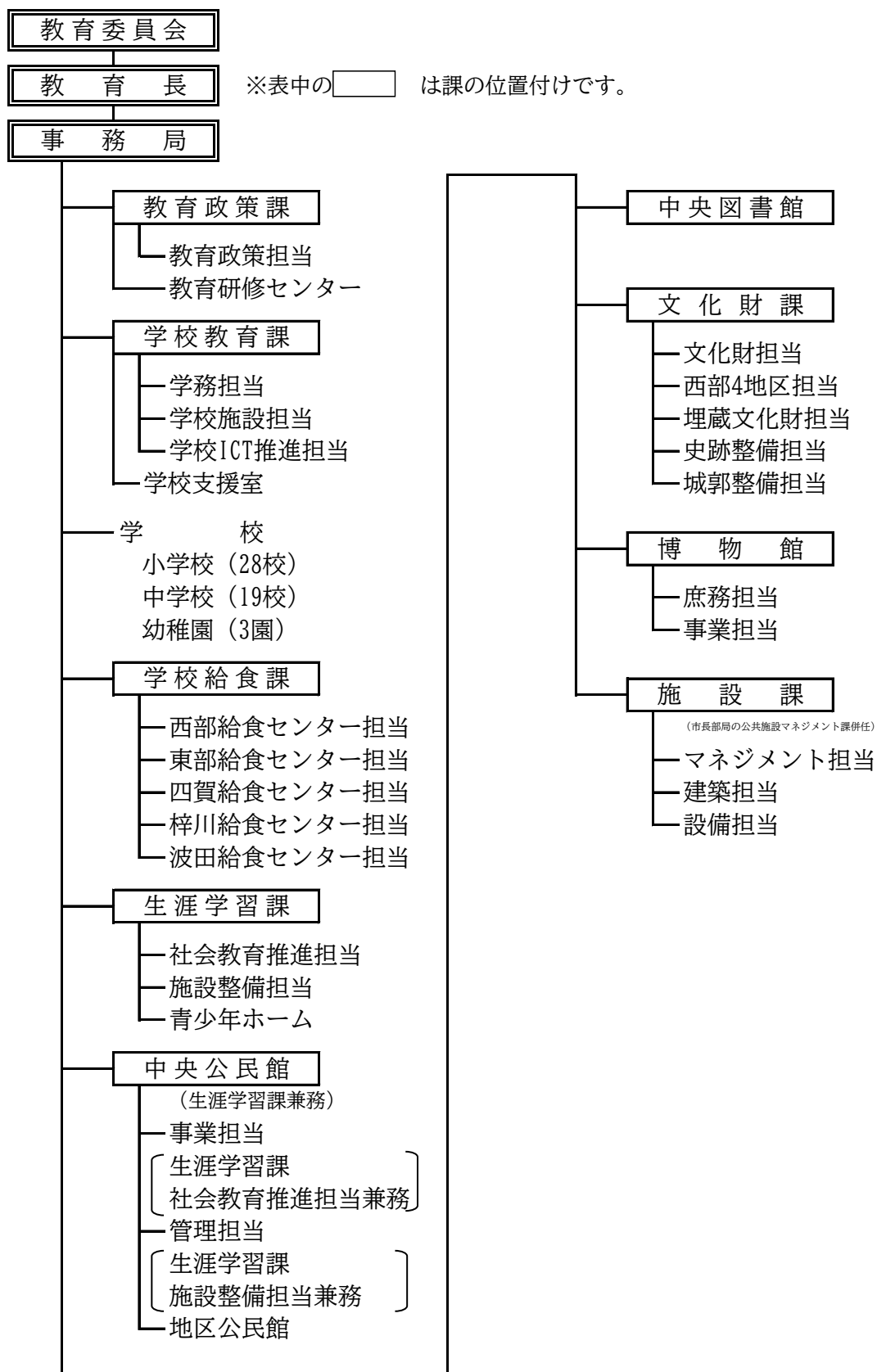
(エ) 公民館等長寿命化事業

個別施設計画に基づく中間補修及び大規模改修等により、令和6年度はMウイング（中央公民館）の第3期中間補修工事を中心に、公民館等の長寿命化を図ります。当面は、設備機器（照明・トイレ）の更新を主とする中間補修を行い、施設の機能維持・回復に努めます。

(オ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

「重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂保存活用計画（第1期）」に基づく本館・講堂の耐震対策事業が令和5年度で終了したため、工事報告書をまとめます。今後、防災施設整備事業等を実施するため、令和6年度に現計画を見直します。

教育委員会組織図 (R 6 年 4 月 1 日)



教育政策課	
教育文化センター	
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家	
山辺教育支援センター	
鎌田教育支援センター	
波田教育支援センター	
寿教育支援センター	
学校給食課	
西部学校給食センター	
東部学校給食センター	
四賀学校給食センター	
梓川学校給食センター	
波田学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館	
同和教育集会所	
池上百竹亭	
ふれあいパーク乗鞍	
奈川文化センター夢の森	
青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

教育委員会職員数 (R 6 年 5 月 1 日)

() 内は市長部局との併任

区 分		教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考
教 育 長		1									1	
教 育 次 長		1 (1)									1 (1)	()内 総務部長
教 育 監		1									1	
事 務 局	教育政策課		2	2		5		1		7	17	主査2名は指導主事
	学校教育課		2	3	1	2		10	2	4	24	
	学校支援室		(1)	1		5				8	14	課長補佐1名は主任指導主事、 主査は指導主事、 ()内は教育監事務取扱
	学校給食課		1	4	5			5	52	103	170	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	3	2	3	1	5		12	27	課長は中央公民館長兼務
	文化財課		3	3	4	4	1	7		17	39	会計年度任用職員3名は 研究専門員
	施設課		(1)	(3)	(2)			(10)	(4)	(2)	(22)	()内 公共施設マネジ メント課
	小 計	3 (1)	9 (2)	16 (3)	12 (2)	19 0	2 0	28 (10)	54 (4)	151 (2)	294 (24)	
教 育 機 関	小 学 校						1		7	77	85	職名栄養士、調理員は 技術系
	中 学 校					2	1		3	68	74	小中統合校は全て小学 校に含む
	幼 稚 園			1		3		5	3	13	25	幼稚園教諭は事務系に 含む
	中央公民館		(35)		1			34		38	73 (35)	会計年度任用職員35名 は地区公民館長。併任 は地域づくりセンター 長（館課長）
	中央図書館		1	1	4	2		8		44	60	会計年度任用職員10名 は分館長 係長1名は県立長野図書 館から派遣
	博 物 館		1	1	3	2		9		29	45	会計年度任用職員8名は 分館長 係長1名は生涯学習課係 長兼務
	小 計		2 (35)	3	8	9	2	56	13	269	362 (35)	
合 計		3 (1)	11 (37)	19 (3)	20 (2)	28 0	4 0	84 (10)	67 (4)	420 (2)	656 (59)	

派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合		1				1		2	
長野県（長野県立図書館）						1		1	
文化庁						1		1	
合 計		1				3		4	

教 育 財 政

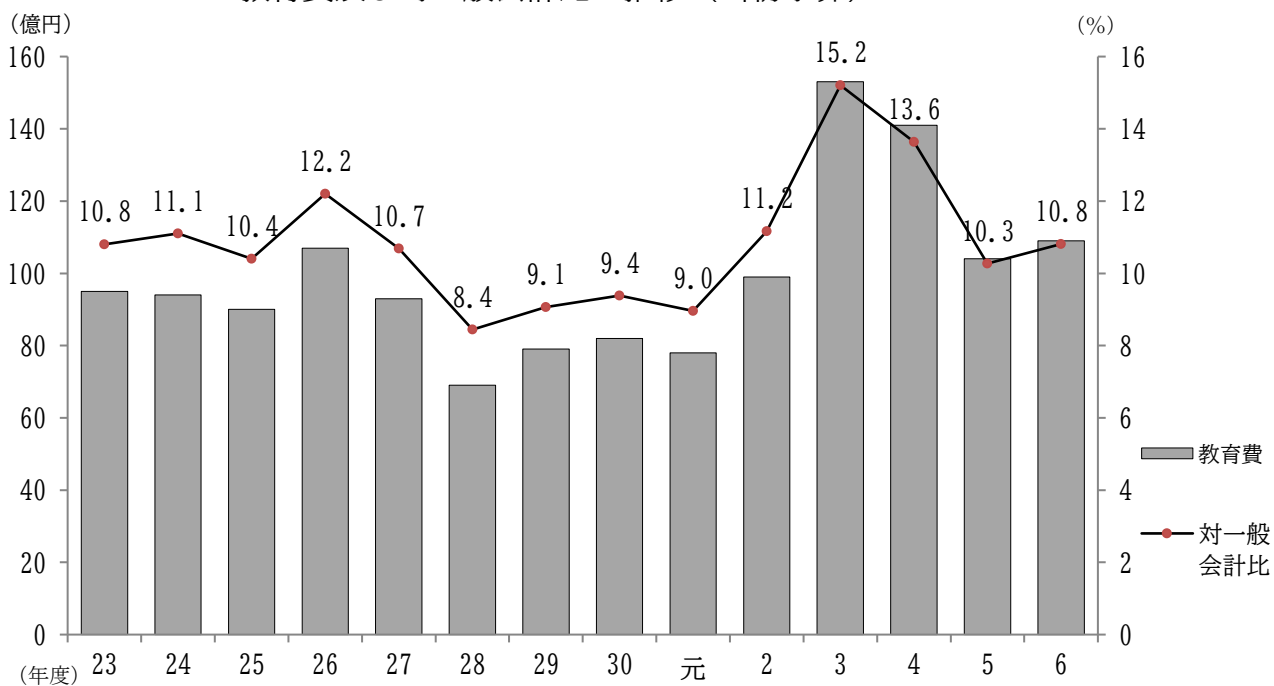
1 教育関係予算の概要（令和6年度 当初予算）

(1) 予算と決算の推移 一歳 出一

年度	当初予算額			決 算 額		
	一般会計	教育費	対一般 会計比	一般会計	教育費	対一般 会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2	110,611,019	16,254,810	14.7
R4	103,389,240	14,102,840	13.6	111,903,295	14,957,000	13.4
R5	102,100,000	10,483,720	10.3	110,388,716	13,216,000	12.0
R6	101,290,000	10,952,660	10.8			

※ H24、H28、R2、R6の当初予算は骨格予算編成

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(2) 令和6年度教育費項目別の予算額（令和6年5月1日）

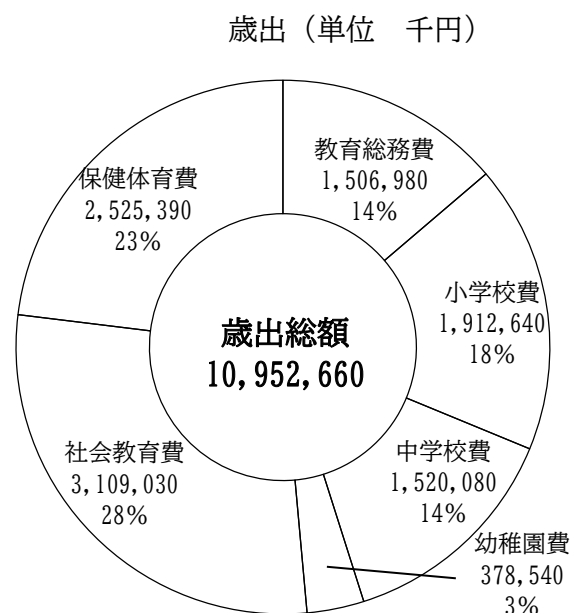
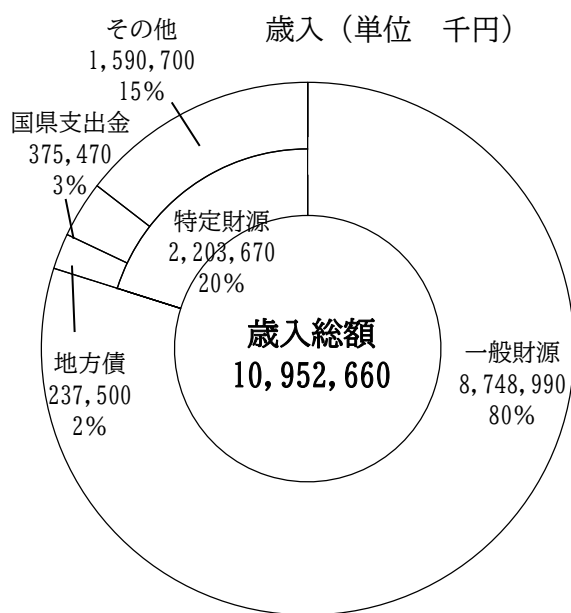
区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当たり	備考
	千円	%	円	
総 額	10,952,660	100.0		市民一人当たり46,658円
教育総務	1,506,980	13.7		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 （報酬、事務局職員給与を含む）
小 学 校	1,912,640	17.5	171,199	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係（市費学校 職員給与を含む）
中 学 校	1,520,080	13.9	269,279	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係（市費学校 職員給与を含む）
幼 稚 園	378,540	3.5		幼稚園費（職員給与を含む）
社会教育	3,109,030	28.4		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、教育文化センター費（教育機関職員給与を含 む）
保健体育	2,525,390	23.0		保健体育総務費、学校給食センター費（給食センター 職員給与を含む）

（注）市人口及び児童生徒数は、令和6年5月1日現在の数による。

市人口 234,740 人

小学生 11,172 人

中学生 5,645 人



生涯学習の推進

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市教育振興基本計画に掲げる、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向け、多世代の多様なニーズに応じた学習機会や施設等の充実を図り、誰もが豊かな人生を送り、活躍できる生涯学習社会を目指します。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「Ⅱ 公民館の学びを通じた地域づくり」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

- ア 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど143講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和5年度実績 457回 21,770人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

- イ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、

町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(7) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(i) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

ウ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

〔登録数〕（令和5年度末現在）

指導者 157名、グループ 361団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和5年度実施）

区 分	事 業 名	事 業 内 容	事業費 (千円)
社会 教育 施設	松南地区公民館中間 改修工事	建設から35年を経過した施設の中間改修工 を行い、あわせて福祉ひろばを集約しました。	175,703
	Mウイング整備事業	中間改修第2期工事（全4期）を行いました。	55,825
	Mウイング中間改修 工事実施設計	個別施設計画に基づき、中間改修の実施設計を行 いました。	6,050

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1／2から2／3へ引き上げ、解体補助(補助率1／2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和6年度）

区 分			補 助 率	限 度 額
建 物	新 築	未設置町会等	2／3	1,000 万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）
	改 築	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）	
	増 築	1／2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円	

	改 修	2／3	一般改修（500 万円）
		2／3	福祉関連・耐震補強（500 万円）
	既 設 置 建 物 取 得	1／2	800 万円
	未 設 置 建 物 取 得	2／3	1,000 万円
土 地	敷 地 取 得	2／3	1,000 万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1 回のみ
	借 地 ・ 借 家	1／2	5 万円
	解 体 除 却	1／2	200 万円

※ ただし、2 館目以降の限度額は、上記の金額の 8 割とする

(イ) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	解体	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
R3	0	2	0	76	3	0	1	7	1	36	3	129	97,053
R4	0	1	0	97	1	0	0	12	1	33	2	147	81,275
R5	1	1	1	73	3	0	1	7	0	33	2	122	98,648

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成 22 年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を行いました。

平成 26・27 年度に耐震基礎診断を実施。平成 28 年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成 29 年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。平成 30 年度から講堂、本館の順に 6 年間の計画で耐震補強工事を進め、令和 5 年度で完了しました。

(イ) 今後の取組み

令和 6 年度は耐震工事報告書の作成・刊行等、耐震化事業の記録及び成果を広く周知・公開するための事業を実施します。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施

イ 若者に人気のある運動・文化系の講座「ヤングスクール」の実施

ウ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」、キャリアアップセミナーの実施

エ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所スペースとして「若者カフェ」の開設

オ ひきこもりの若者に対し、家族及び支援者、地域住民が気持ちを理解し、支援することを目的とした「ひきこもり支援研修会」の実施

カ 若者が地域や企業に働きかけ、まちづくりに参加する「松本若者会議」の参加・協力

キ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

ク 若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業「若者お悩み相談室」の開設

ケ 二十歳の対象者で構成する実行委員会による、ハタチの記念式典の企画、運営の実施

青少年ホームの活動状況

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
R3	178	27.9	296	3,570	1,564	2,006
R4	167	27.4	297	6,149	3,820	2,329
R5	185	27.7	295	6,275	3,610	2,665

(5) 松本市ハタチの記念式典

二十歳の方々の門出を祝い励まし、故郷松本の良さを再認識することで、将来松本にUターンし、活躍する若者を増やすことを目的に、毎年開催しています。平成29年度(平成30年松本市成人式)から、教育委員会が担当で取り組んでいます。

ア 年度別参加者

年度	令和2年度 (令和3年成人式)	令和3年度 (令和4年成人式)	令和4年度 (ハタチの記念式典)	令和5年度 (ハタチの記念式典)
参加者	803人※1	1,801人	1,740人	1,736人

※1 令和3年成人式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としましたが、開催を求める声が多数寄せられ、令和4年8月に「令和4年成人のつどい」として開催。

イ 成年年齢引き下げについて

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和5年1月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年4月2日からその年の4月1日までに20歳になる方を対象としています。

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

地名を冠した地域の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された校舎は、昭和25年の松本高等学校廃止後も信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の建物が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものとされ、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。 現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)		
沿 革	大正 7 年 松本市に高等学校設置決定 大正 8 年 4 月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正 9 年 8 月 県町（現在地）に校舎（本館）が落成 大正 11 年 9 月 講堂が建てられ全校舎落成 昭和 24 年 5 月 国立新制大学が発足、信州大学文理学部が設置される（松本高等学校は25年3月で廃止）。学部再編後は人文学部校舎となる 昭和 48 年 4 月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和 52 年 3 月 松本市が建物及び敷地の一部を国から買い取り、文化財としての保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和 54 年 10 月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和 56 年 2 月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成 19 年 6 月 本館、講堂が重要文化財に指定される		
文化財の種別	重要文化財	指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11 m ²	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館）		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (m ²)	備 考
ホ ー ル	1	350	331	
大会議室	4	50～100	455	
中会議室	10	30～50	663	
小会議室	5	25	183	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 (人)	利用総件数 (件)	減免団体利用件数 (減免団体数)(件)	使 用 料 (円)
R3	26,951	3,093	2,626 (228)	2,287,590
R4	29,237	3,309	2,809 (218)	2,809,600
R5	29,237	2,218	2,741 (227)	2,540,730

※ 令和3年度は本館南棟について耐震補強工事の影響で部分的に貸館を制限した期間があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用を自粛した期間あり(9月上旬～下旬、1月中旬～2月下旬)

※ 令和4・5年度は耐震補強工事に伴い、本館北棟と南棟一部に貸館の制限あり。また、令和5年度は講堂外壁塗装改修工事に伴い、8月～2月に講堂の貸館を制限。

(2) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内 10 番 31 号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	敷地面積	1,038.74 m ²
施設面積 (建物)	居 宅 122.60 m ² 茶 室 16.52 m ²	施設面積 (庭園)	茶 庭 約 95.75 m ² 日本庭園 約 216.00 m ²
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12 月 29 日～翌 1 月 3 日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成 19 年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成 23～28 年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成 29 年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

(単位：円)

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1 台 1 回 410 円					

イ 利用実績

年度	開館日 (日)	利用日 (日)	利 用 内 訳 (件)				使用料 (円)
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
R3	311	145	0	57	83	140	178,620
R4	313	204	9	137	109	255	289,240
R5	309	220	26	149	100	275	214,320

(3) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇４８５５番地１００	電 話	９３－１１２２
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成 15 年 3 月 31 日	開 館	平成 15 年 4 月 1 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日
管理運営	- 平成 20 年度から指定管理者制度を導入 - 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額(円)
施設	多目的ホール	1 日 1 回	1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1 回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数（件）			利用者数（件）			使用料（円） 総数
	有料	無料	総数	有料	有料	無料	
R3	11	135	146	R3	11	135	146
R4	8	147	155	R4	8	147	155
R5	14	203	217	R5	14	203	217

(4) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土・文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456 m ²
施設面積	2,448.61 m ²	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

(単位：円)

区分	9：00～17：00 (1時間につき)	17：00～21：00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	3,300	3,840	33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の130/100に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数(件)			利用者数(件)			使用料(円)
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R3	8	432	440	77	3,635	3,712	3,300
R4	7	402	411	70	3,402	3,472	2,200
R5	6	681	687	60	3,719	3,779	2,640

令和6年1月1日

第6回! 60歳からの

おとこの料理教室

☆ひと暮らしの男性大歓迎☆

みんなで簡単な料理を作って、
お話ししながら食べませんか?

場 所: 島内公民館 調理室

日 時: 1月23日(火) 午前10時から午後1時

参加費: 300円

持ち物: エプロン、三角巾、タオル、飲み物

申込み: 島内公民館 TEL47-0264

※今回は(おやき)を作ります!

次回は2月20日(火) 予定です!

島内公民館・社協島内支会共催

60歳からのおとこの料理教室 (島内公民館)

松本大学地域づくり厨房「ゆめ」地域交流講座

～おいしいちゃん おばあちゃん向け～

大学生が教えるいちばんやさしいスマホの初歩

コーヒーを飲みながら気楽に!

1 講座内容(変更の場合あり)

第1回 スマホって何ができるの?
第2回 検索機能を使ってみよう!
第3回 地図を使ってみよう!
第4回 カメラ機能を使ってみよう!

2 日程 場所

(日程) 11月6日・13日・20日・27日 毎週(月)開催
12月も引き続き開催します!
(時間) 午前10時30分から12時まで
日頃の疑問点など個別相談も受けます!
(場所) 新村公民館大会議室

3 参加者
新村地区住民でスマホに興味のある高齢者 各回10名程度

4 指導学生
松本大学 地域づくり厨房「ゆめ」有志学生

5 申し込み (定員になり次第締め切ります)
松本大学 地域づくり厨房「ゆめ」 TEL 0263-48-7213
新村地区地域づくりセンター TEL 0263-48-0375
★申し込み時に携帯機種がわかる場合にはお聞きます

主催 松本大学 地域づくり厨房「ゆめ」
松本市新村地区地域づくりセンター 新村公民館

大学生が教えるいちばんやさしいスマホの初歩
(新村公民館)

梓川公民館だより 令和6年5月号 発行 梓川公民館

参加者募集!!

「まつもと文化財めぐり」

リニューアルオープンして話題沸騰中の松本市立博物館、「平成の名水百選」に選定された「まつもと城下町湧水群」(源智の井戸等)を巡り、松本の歴史と文化財を学びます。

日 時 5月20日(月) ※雨天の時は博物館のみ
10:00[出発]・14:30[到着]

集 合 9時50分 梓川支所南側駐車場(保健センター前)

コ ー ス 梓川支所 ⇒ 松本市立博物館見学 ⇒ 市内散策(昼食) ⇒
まつもと城下町湧水群 ⇒ 博物館 ⇒ 梓川支所
※ まつもと城下町湧水群のコースは天候により変更があります。
※ 昼食は飲食店等を各自でご利用ください。

対 象 者 梓川地区在住で約3kmを歩ける方

定 員 先着 15名

参 加 費 無料

服装・持ち物 動きやすい服装、歩きやすい靴、雨具、飲み物、
水を持ち帰る方は空の容器

申込方法 以下のいずれかで申し込みください。
受付期間は5月1日(水)から5月15日(水)までです。

申込みフォーム
(1) 梓川公民館(梓川支所内)にお越しいただき、電話で
お申し込みください。
(2) インターネット(LoGoフォーム)
(<https://logoform.jp/form/N7tm/563171>)
※ 募集定員に達した場合、受付を停止させていただきます。

梓川公民館: 平390-1702 松本市梓川 2289-3 Tel 78-3001 Fax 78-3942
Mail azusagawa-h@city.matsumoto.lg.jp

まつもと文化財めぐり (梓川公民館)

回 覧

ことぶきサポートキャラクター
優しさあふれる贈
車取りイエロー
ごみ出しレッド 雪かきブルー

寿公民館なう! 号外

令和5年6月1日発行

『寿地区・子育て講座』

昨年度から子育て世帯の皆様のごみごとや子どもさんの事故防止と応急処置、お孫さん
との手遊びやあやし方などについて、お気軽に参加していただける内容で開催します。
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を避ける対策をとり開催します。

<講座内容>

日 時	内 容	場 所	講 師
1回目 6月28日(水) 10:00~11:30	「子どもの事故防止と応急処置を学ぼう!」 ◇応急処置の方法や事故の予防について学びます。	寿地区 福祉ひろば	松本赤十字 乳児院:指導員 大倉 恵子さん
2回目 7月24日(月) 10:00~11:30	「子どもたちって何が好きなの?」 ◇子どもたちを惹きつけるための手遊びやあやし方を 教わります。	寿地区 福祉ひろば	すがのつる代表 豊嶋 さおり さん

※ 講座はどちらか一方のみの参加でも大丈夫です。

☆ 各先着15名
☆ お申込みは、1回目は6月22日(木)まで、2回目は7月20日(木)までに、
寿公民館 ☎ 58-2038 または寿地区福祉ひろば ☎ 57-9168)まで
お願いします。※中止の場合は、申込された方へご連絡いたします。

・主 催: 寿公民館・寿地区福祉ひろば ・共 催: 寿地区地域づくり協議会子ども部会

「寿ペンギンの会」の活動紹介!!

子育て中のお母さんたちが、託児により安心して学習や情報交換
の場に専念できるように活動している「託児ボランティア」組織です。
寿地区の子育て事業において託児活動をしています。コロナ禍です
が、保育園や小学校、児童センターでの託児も計画しています。
関心のある方の参加をお待ちしています。
「寿公民館、寿地区福祉ひろば」までお問い合わせください。

寿地区・子育て講座 (寿公民館)

公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりへ向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

一方地域では、地域連帯意識の希薄化や価値観の多様化、家庭機能の低下など、課題の増大化・複雑化に伴い、行政・地域だけで解決することが困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、「総合的な地域づくりの拠点」としての役割を担う体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ実践していく、「松本らしい地域づくり」をめざした公民館活動を展開します。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和6年度中央公民館主要事業計画

項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
	第40回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)	2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
	町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(6月) ・ブロック別研修会(6月～8月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)
地域交流・まちづくり事業	聴覚障がい者と学ぶ成人学校	1月	障がい者ととともに暮らす地域づくり事業
	手話教室	5月～2月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、中学・高校生向け手話教室を開催
	第14回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会
	日本老民考読書会	通年	地域福祉、時事ネタ(原発・憲法)等について学ぶ事業
	日本語講座	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める

項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
	木曜午前ボランティア日本語教室	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	松本市ヤングにほんご教室	通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援
	松本みんなのにほんご教室	4月 ～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
	コミュニティスクール事業	通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）
	市民教育講座	3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
	松本市出前講座	通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
	第24回松本手まり時計まつり	5月	Mウイング公益施設及び利用団体がタイアップして実施
文化活動	芸術文化祭	4月 ～1月	第65回松本市芸術文化祭
	公民館活動発表会	5月	第46回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
	お城盆踊り	8月	第76回お城盆踊り
広報活動	公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
	資料集等の作成	通年	公民館活動資料
	人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

(2) 令和6年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4月 ～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4月 ～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4月 ～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
スポーツ活動	4月 ～3月	スポーツを通し、健康の保持、スポーツの向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民スポーツ大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4月 ～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4月 ～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4月 ～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4月 ～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4月 ～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。 図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4月 ～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中 央 公 民 館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館（事務室のみ）として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館（あがたの森公民館）として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東 部 公 民 館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城 北 公 民 館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大 手 公 民 館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城 東 公 民 館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田 川 公 民 館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10 年度		平成 10 年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
福祉ひろば	RC 2 F	平成 9 年度		平成 9 年度	
福祉ひろば	S 2 F	平成 19 年度		平成 19 年度	
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2 F	平成 8 年度		平成 8 年度	
福祉ひろば	RC 2 F	平成 11 年度		平成 23 年度	
同上	RC 2 F	平成 14 年度		平成 14 年度	
同上	RC 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3 F	平成 10 年度		平成 10 年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2 F	昭和 56 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	
	RC 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17 年度		平成 17 年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2 F	昭和 59 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3 F	平成 元年度	令和 5 年度	平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島 内 公 民 館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中 山 公 民 館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島 立 公 民 館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新 村 公 民 館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和 田 公 民 館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神 林 公 民 館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹 賀 公 民 館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳 川 公 民 館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿 公 民 館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿 台 公 民 館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡 田 公 民 館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入 山 辺 公 民 館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里 山 辺 公 民 館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 昭和 34 年 4 月 同上 令和 4 年 4 月 教育文化センター内から移転	1,107.37
今 井 公 民 館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内 田 公 民 館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本 郷 公 民 館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四 賀 公 民 館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安 曇 公 民 館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈 川 公 民 館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906.68
梓 川 公 民 館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波 田 公 民 館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 — 公民館設置基準面積 —

1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5,000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1 F	平成 9 年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	平成 13 年度		平成 13 年度	
出張所 体育館	RC 2 F	昭和 63 年度		平成 21 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	平成 8 年度		平成 25 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 62 年度	平成 30 年度	平成 30 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2 F	昭和 57 年度	平成 24 年度	平成 24 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 61 年度	平成 29 年度	平成 20 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2 F	平成 4 年度		平成 18 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	昭和 62 年度		平成 22 年度	
図書館	RC 2 F	平成 2 年度		平成 24 年度	
福祉ひろば	S 1 F	平成 21 年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	平成 元年度		平成 17 年度	
出張所	RC 2 F	昭和 54 年度	平成 16 年度	平成 16 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	令和 4 年度		令和 4 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	昭和 59 年度	平成 27 年度	平成 19 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 61 年度	平成 28 年度	平成 28 年度	
支所 図書館	RC 2 F	平成 5 年度		平成 16 年度	
保健福祉センター	RC 3 F	平成 14 年度		平成 14 年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2 F	昭和 53 年度	平成 20 年度	平成 20 年度	基幹集落セン ター
	RC 2 F	昭和 52 年度			
	RC 2 F	昭和 50 年度	平成 22 年度	平成 22 年度	
	SRC 2 F	昭和 50 年度		平成 9 年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		M ウイング文化センター	
	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
R3	3,628	77,003	3,274	71,272	354	5,731
R4	4,378	103,338	3,991	96,825	387	6,513
R5	4,818	112,538	4,304	101,037	514	11,501

(2) 中央公民館の活動状況

年度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
R3	事業 2	—	—	7	3	—	3	1
	人 54	—	—	1,456	196	—	126	5,094
R4	事業 2	—	—	7	3	—	3	1
	人 183	—	—	1,679	213	—	146	16,532
R5	事業 2	—	1	7	3	—	1	1
	人 192	—	360	1,811	135	—	130	22,264

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数（件）					利用人数（人）		
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数（貸館分）				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②	①=A+B	A	B	②	C	D	E
R3	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898
R4	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259
R5	50,410	44,444	555	43,889	5,966	18,829	958	3,826

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
1	1	78	1	27	—	124
200	200	1,932	300	208	—	9,766
1	1	78	1	27	—	121
300	597	1,540	430	253	—	21,873
1	1	79	1	20	—	117
1,351	1,249	2,246	470	386	—	23,851

利用人数（人）								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の利用人数（貸館分）	利用総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活動の利用人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433
3,150	6,393	5,908	11,504	14,111	38,619	103,298	435,391	538,689

(4) 令和5年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数 (件)					利用人数 (人)		
	利 用 総 件 数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
						成人	女性	高齢者
	①+②	①= A + B	A	B	②	C	D	E
第一地区公民館	68	0	0	0	68	468	0	0
第二地区公民館	1,466	1,293	46	1,247	173	1,316	37	312
第三地区公民館	1,929	1,797	100	1,697	132	319	0	416
東 部 公 民 館	1,462	1,423	13	1,410	39	917	0	0
城 北 公 民 館	1,682	1,476	8	1,468	206	0	0	0
大 手 公 民 館	1,604	1,451	0	1,451	153	677	18	0
安原地区公民館	1,967	1,825	56	1,769	142	617	0	0
城 東 公 民 館	2,551	2,498	1	2,497	53	540	0	0
白板地区公民館	1,342	1,277	5	1,272	65	541	0	0
田 川 公 民 館	1,594	1,313	7	1,306	281	734	0	0
庄内地区公民館	2,923	2,785	24	2,761	138	82	0	0
鎌田地区公民館	2,527	2,439	18	2,421	88	1,804	0	0
松南地区公民館	4,175	3,841	104	3,737	334	0	0	0
島 内 公 民 館	1,888	1,755	0	1,755	133	518	0	102
中 山 公 民 館	726	577	3	574	149	687	660	905
島 立 公 民 館	1,124	987	23	964	137	0	0	0
新 村 公 民 館	671	559	5	554	112	354	8	185
和 田 公 民 館	464	384	3	381	80	518	0	0
神 林 公 民 館	720	645	6	639	75	0	0	240
笹 賀 公 民 館	1,901	1,761	1	1,760	140	1,414	0	0
芳 川 公 民 館	1,724	1,362	35	1,327	362	0	0	877
寿 公 民 館	829	777	9	768	52	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,461	1,384	0	1,384	77	384	0	0
松原地区公民館	1,940	1,828	0	1,828	112	294	0	25
岡 田 公 民 館	828	754	7	747	74	133	0	0
入 山 辺 公 民 館	916	814	6	808	102	142	0	0
里 山 辺 公 民 館	931	886	0	886	45	42	63	26
今 井 公 民 館	899	818	4	814	81	404	0	0
内 田 公 民 館	495	439	0	439	56	96	0	0
本 郷 公 民 館	2,502	2,448	21	2,427	54	155	0	12
四 賀 公 民 館	35	0	0	0	35	3,527	15	25
安 曇 公 民 館	182	108	0	108	74	704	0	0
奈 川 公 民 館	687	233	6	227	454	836	157	0
梓 川 公 民 館	1,874	1,814	32	1,782	60	90	0	524
波 田 公 民 館	2,323	693	12	681	1,630	516	0	177
合 計	50,410	44,444	555	43,889	5,966	18,829	958	3,826

利 用 人 数 (人)								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等			公民館活動の 利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
107	148	0	0	0	169	892	0	892
0	0	0	110	602	407	2,784	9,516	12,300
0	65	0	64	44	1,127	2,035	17,060	19,095
0	387	0	0	226	0	1,530	9,452	10,982
0	0	690	38	657	2,059	3,444	13,900	17,344
12	64	333	0	53	1,304	2,461	13,404	15,865
0	0	0	182	332	1,066	2,197	13,956	16,153
79	0	58	12	44	155	888	19,253	20,141
0	21	0	0	163	52	777	9,969	10,746
26	253	0	1,600	679	1,446	4,738	12,248	16,986
527	196	146	0	506	472	1,929	25,416	27,345
0	741	0	136	0	206	2,887	23,680	26,567
22	0	396	77	0	2,843	3,338	37,642	40,980
986	176	0	194	122	7,800	9,898	22,762	32,660
0	400	70	90	54	120	2,986	3,708	6,694
69	97	44	610	625	940	2,385	9,395	11,780
0	193	0	297	1,162	574	2,773	6,107	8,880
0	179	0	181	547	0	1,425	4,635	6,060
35	0	101	425	934	306	2,041	6,751	8,792
259	649	0	96	131	81	2,630	21,927	24,557
666	119	54	175	284	2,907	5,082	12,956	18,038
0	0	128	0	224	1,670	2,022	6,667	8,689
0	18	0	168	95	117	782	9,141	9,923
0	607	7	147	315	86	1,481	14,164	15,645
166	57	0	34	322	2,375	3,087	6,662	9,749
0	260	8	312	595	579	1,896	10,589	12,485
0	17	0	272	39	167	626	12,299	12,925
0	84	0	115	563	277	1,443	9,579	11,022
178	0	36	233	312	190	1,045	4,281	5,326
0	174	400	44	130	250	1,165	23,231	24,396
5	448	584	125	143	5,500	10,372	0	10,372
0	167	0	3	42	94	1,010	1,248	2,258
0	362	0	9	10	40	1,414	2,365	3,779
13	11	490	0	103	175	1,406	26,142	27,548
0	500	2,363	5,755	4,053	3,065	16,429	15,286	31,715
3,150	6,393	5,908	11,504	14,111	38,619	103,298	435,391	538,689

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
S21		1 社会教育課新設 1 寺中作雄「公民教育の振興と公民館の発想」☆ 7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」 (寺中構想)☆ 9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」* 11 「日本国憲法」公布☆ 11 松筑公民館設置
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称 8 第1回お城盆踊り開催	3 教育基本法公布☆ 9 市立図書館にアメリカ民間読書室(CIE)設置
23	2 CIE読書室が図書館から松本市公民館へ移る 10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館(30年12月焼失)	6 社会教育法制定☆ 11 社会教育課を廃止し文教課を設置
24	1 松本市ナトリコ運営協議会設置 11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定 12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第1回成人学校を開校(この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目)	3 長野県公民館運営協議会結成*
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足 6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称 11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催 11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	6 中央教育審議会設置☆ 7 社会教育主事講習職員1名派遣 11 教育委員会発足 11 社会教育課に公民館係設置 8 青年学級振興法制定☆ 4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
28		
29	4~8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成 8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される 一 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊 4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	4 社会教育法一部改正☆ 5 松本市役所庁舎完成
35	4 松本市公民館条例施行規則制定 3 公民館報(全市版)発刊 4 松本市公民館関係者研修会開催(町内公民館活動について話し合われる) 4 各町内公民館に平均5,000円を配布 4 内田公民館発足 11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催 一 第1回松本市公民館大会開催(38年まで) 一 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆ 4 内田が松本市と合併 一 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
36	3 神林公民館館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載 4 中央公民館(事業機関)、社会教育課(条件整備)の範囲明確化	9 長野県公民館研究集会開催*
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される(任意設置) 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる 一 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 一 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ 一 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 一 ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提唱★ 一 市青連芸術文化祭はじまる
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日的指標」☆
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開催	
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定(2,000円・58館) 11 寿地区一周駅伝大会はじまる	
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和対策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 一 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問 8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	4 松本市第一次基本計画策定(市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想)
47	1 同和教育市民テキスト第1集刊行	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
47	4	公民館主事が専任化される	
	4	同和教育学級講座（県費補助）始まる	
	8	公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」	
	11	中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる	
	—	今井公民館報で地域課題特集はじまる	
48	4	新任主事研修会はじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン
	12	公民館主事で「松本市公民館実態白書」刊行	12 松本市生活簡素化実行委員会結成
	—	芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	
49	6	松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆
	8	主事会新聞発刊	4 社会教育課に同和教育係設置
	12	制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	5 本郷村が松本市と合併
50	2	主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」
	7	社会教育主事講習受講機会拡大（2名）	— 国連婦人10年（～60年）☆
	8	『松本の住民運動と住民の学習』発刊	
	11	公民館主事のつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	
51	3	制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動）	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討）
	3	「町内公民館活動のてびき」発刊	4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定
	5	教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ	9 部落解放都市宣言
	9	寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	
52	3	制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」（施設、町内公民館）	
	3	松本市婦人国内研修はじまる	
	10	公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」	
	11	公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4	町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」を発表☆
	4	公民館主事に調整給支給される	
	12	主事宿泊研修が県外研修となる	
54	3	公民館報全市版 100号記念（この号のみ8ページ）	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
	3	第1回公民館学級終了生作品展開催	
	4	町内公民館振興業務委託料傾斜配分（平均15,000円、最高30,000円）	
	7	松本市町内公民館館長会発足（9月に第1回研修会を開催）	
	10	あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	
55	3	「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての公民館が開館☆
	4	館報ことばき縮刷版刊行	
	5	入山辺公民館改築（社会教育課による地区公民館の整備事業開始）	
	7	和田出張所内に公民館図書室開設	
56	2	あがたの森（旧制高等学校校舎）が県宝に指定	3 第三次基本計画（コミュニティセンター構想を廃止、現施設の拡充と市街地東西南北に公民館設置となる＝22館構想）
	5	芝沢公民館開館（新村・和田の両公民館が分館となる）	6 中教審答申「生涯教育について」☆
	11	松本市公民館大会が開催直前で中止	
	11	山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	
57	3	島内公民館改築	5 県、生涯教育の推進構想*
	4	公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設	— 松本にカルチャーセンター（松本中日文化センター）オープン
	4	町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の一律配分	
	6	北部公民館開館	
58	2	公民館委員が条例施行規則上必置となる	1 本郷村誌刊行
	4	町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円	11 教育文化センター開館
	5	神林公民館改築	
	11	里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	
59	3	館報よしかわ縮刷版刊行	5 松本女性史の会『買春許すまじ』発刊
	4	町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円	8 臨時教育審議会設置☆
	6	西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置	11 今井農村改善センター開館
	—	新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし（前編・続編）」が完成	
60	1	公民館制度見直し委員会発足	3 ユネスコ「学習権宣言」☆
	3	館報しまだち縮刷版刊行	4 新村多目的研修センター開館
	3	『松本市の公民館制度充実をめざして』（制度研究委員会報告）発刊	6 臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
	4	厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化	10 「松本市青年団運動史」発刊
	4	今井公民館・出張所移転	10 音楽文化ホール開館
	6	町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円	

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
61	3	第1回松本市公民館研究集会開催	3 松本市婦人国内計画策定
	4	笹賀公民館新設開館	4 松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実）
	4	中山公民館改築	4 臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆
	4	モデル町内公民館指定事業始まる	
	4	松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」	
	4	松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」	
	7	中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転	
	8	岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる	
62	4	内田公民館改築	3 「長野県公民館活動史」発刊*
	4	南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置）	3 「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆
	10	松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	8 臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
63	1	笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊	4 文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始
	1	公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」	7 文部省に生涯学習局新設☆
	4	寿公民館改築	一 県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*
	4	里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる	
	5	公運審答申「中央公民館の施設整備について」	
	5	北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足	
	5	和田公民館改築	
	10	主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめる	
	12	公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）	
H1	4	島立公民館改築	8 教育委員会総務課に生涯学習担当配置
	4	ふるさとづくりモデル事業始まる	11 「子どもの権利条約」国連で採択☆
	9	公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足	12 厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
	11	松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	
2	3	中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発刊（第2集…4年、第3集…8年）	1 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆
	4	岡田公民館移転改築	4 教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織
	4	中央公民館夜間等警備委託化	6 「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
	4	南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば）	
	8	なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置	
	10	松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催	
	10	新村公民館図書室が多目的研修センターに開設	
	10	公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	
3	3	中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置	6 生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆
	3	寿台公民館移転改築	7 松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」
	4	公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	8 松本市総合体育館完成（体育課移転）
	5	公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ）	9 市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピュータネットワーク
	6	なんなんひろば利用者の会発足	10 松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長）
	8	松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行	10 県生涯学習基本構想策定*
	11	婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	
4	4	神林公民館で「すこやか健康教室」始まる	1 松本市生涯学習推進懇話会発足
	5	公民館報がページ増（全市版4p、地区版2p）	4 教育委員会総務課に生涯学習係設置
一	一	南部公民館（なんなんひろば）で「信州年寄り通信」発刊、以後定期的に発刊	9 学校第2土曜日が休日となる☆
5	1	公民館研究集会分科会の運営に市民が参画	
	3	芳川公民館移転改築	3 松本市老人保健福祉計画策定
	3	中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊	3 提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」（松本市生涯学習懇話会）発刊
	3	「町内公民館活動リーダー必携」発刊	5 西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移転となる
	4	公民館主事手当が条例化	
	7	松本城 400年まつりにより、お城盆踊りが休止	
6	1	公民館報が「声の館報」としてテーブ化	3 松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDASU学びの森づくり」策定
	3	本郷公民館移転改築	4 「子どもの権利条約」批准☆
	3	新村公民館で「新村のくらしー改訂版」発刊	4 教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学習係及び青少年係が設置、文化課が新設

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
6	3	岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとその移り変わり」発行	5 生涯学習情報紙「学びの森いんふおめーしょん」発行
	3	神林公民館で館報 200号合冊版「かんばやし」発行	6 福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進研究会」発足
	5	松本市成人学校が第 100回記念講座開催	
	6	「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加	
	6	中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書委員のつどい」開催	
7	7	社会教育主事講習受講枠（新潟大学）が2名が1名へ	
	11	市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる（信大、市、市教委、市社協合同主催）	
	4	町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増額（29,500円・30,500円・31,500円）	3 生涯学習記録「学びの森を生きる」発行
	6	本郷公民館「公民館を語る会」発足	4 「地区福祉ひろば」の設置はじまる
	7	なんなんひろば「石のモニュメント」完成	4 町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」
8	12	女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦人のつどい実行委員会により発行される	9 文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育事業者に関する解釈について」☆
	1	公民館研究集会幹事会に分科会市民運営委員参画	12 第六次基本計画（公民館29地区29館構想）
	3	今井公民館『上條鯉司伝』発行	4 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策」☆
	3	入山辺公民館『入山辺の民俗』発行	4 塩尻市に長野県生涯学習センター開館*
	3	寿公民館館報合冊版『館報ことばき』発行	4 県社会教育課が生涯学習課へ*
9	3	中山公民館『館報 200号合冊版』発行	10 市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置（公民館職2名参加）
	3	里山辺公民館館報合冊版「館報さとやまべ」発行	11 社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじまる
	4	公民館に公共利用予約案内システムが導入される	12 「男女共同参画2000年プラン」策定☆
	4	中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託	
	5	笹賀公民館利用グループの会発足	
10	8	新村公民館が移転新築開館（公民館と福祉ひろば併設の第1号）	
	10	公民館で日本語講座はじまる	
	11	松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催	
	11	神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる	
	2	内田公民館縮刷版『はちぶせ』発行	3 女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる（実行委員として公民館職員参加）
11	3	本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発行	3 松本市障害者福祉長期行動計画
	4	東部公民館開館	4 公立社会教育施設建設補助金廃止☆
	4	コミュニティ構想の名残である芝沢公民館が廃止	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆
	4	和田公民館が増築開館	10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる
	4	公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出	
12	5	日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで）	
	5	公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合	
	7	島内公民館が移転新築開館	
	1	中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題）	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告
	2	今井公民館『館報 200号合冊版』発行	3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆
13	4	第二地区公民館開館	3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発行
	5	公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」	3 「男女共生プランまつもと」策定
	8	国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催	3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆
	9	第1回公民館委員のつどいが開催	4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆*
	10	今井公民館ひだまりコンサート実行委員会CD『今井のとうちゃん』制作	5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置*
14	11	和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される	9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆
	11	公運審提言「公民館長の任命手続きについて」	12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆
	12	教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定	
	—	北部公民館の地域づくり講座はじまる	
	1	全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言*
15	4	城東公民館開館	3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行
	4	中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管	4 同和教育関係の県費補助事業が廃止*

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
11	5	公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申	5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催
	10	中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置	7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆
	11	松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発行	
12	1	『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発行	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」
	3	笹賀公民館「ふるさとマップ」作成	4 改正された社会教育法が施行
	4	城北公民館開館	12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆
	4	女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	
	9	～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	
13	1	安原地区公民館開館	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆
	1	市内の公民館でIT講習はじまる	4 中山文庫開館
	3	中山公民館「中山の歳時記」発行	4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆
	3	神林公民館「ふるさとマップ」作成	4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発行*
	3	中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発行	6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆
	4	田川公民館開館	9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定
	4	Mウイング文化センター設置（同条例施行）	10 全国公民館研究会会長野大会が長野市で開催☆
	4	中央公民館長と男女共生課長が兼務となる	11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆
	6	公民館運営審議会「調査研究報告書」提出	
	6	第1回女性センターまつり開催	
	7	芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催	4 学校週5日制が完全実施される☆
	9	公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催	5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置
14	3	Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設	11 中教審中間答申
	3	第二地区公民館「歴史マップ」作成	11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足
	4	Mウイングにふれあい国際・情報センター開設	11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる
	6	島内公民館で四賀村と交流会を開催	12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*
	6	町内公民館長会に女性部が発足	
	7	大手公民館開館	
	10	第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催	
	10	中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催	1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ
15	2	中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催	3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆
	4	「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出	
	4	町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円）	3 松本市男女共同参画計画策定
	9	北部公民館「地域交流～こんな町づくり」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される	4 松原町会が自治組織としての地区として独立
	10	公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」	4 日本公民館学会が設立される☆
	11	四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流	4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される
			5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出*
			6 松本市男女共同参画推進条例施行
			6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆
			6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆
			7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決
			7 松本市・四賀村法定合併協議会設立
			8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆
			10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行
			12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆
16	1	中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催	1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆
	3	公民館委員研修「文化委員研修会」開催	3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆
	4	公共施設予約案内システムが新システムへ移行	3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆
	4	松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加	4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
16	5	新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足	5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各都市公民館運営協議会に依頼*
	5	『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加	7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される
	6	中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催	7 菅谷市長と語る会が30地区で開催
	7	松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加	8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート
	9	市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加	11 社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート
	11	中央公民館長が専任に戻る	
	11	入山辺公民館、大規模改修工事	
	1	公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案	1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案
	1	公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」	3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂
	2	島内公民館「館報縮刷版」発刊	3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定
17	2	『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊	4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併
	3	芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊	4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所
	4	寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始	4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*
	4	公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更	4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNPO法人に委託
	4	合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足	6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆
	9	教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議	6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆
	9	公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置	7 「食育基本法」施行☆
	10	中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる	7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる
	11	中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される	9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設
			9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆
18	3	市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画	10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆
	4	社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）	11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*
	4	庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）	11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆
	4	「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられる	12 日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆
	5	公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申	12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆
	6	都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）	4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）
	8	ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）	4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート
	10	惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊	4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆
	12	主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）	4 長野市で都市内分権がスタート*
			5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*
			10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*
			10 松本市図書館でサポーター制度を導入
			11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる
			11 松本市「市民活動推進委員会」が発足
			11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足
			12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆
			12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆

松本市公民館関係略年表

年		松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
19	3	中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う	2 松本市教育委員会および木曾町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退
	3	戦争体験の聞取事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）	3 全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆
	4	公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年	3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆
	4	市制施行 100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）	4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間で教育委員会に残し、その後所管を検討）*
	5	主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる	5 松本市市制施行 100年を迎える
	5	学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される	5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催
	7	第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる	6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆
	9	松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションC a f eなどが行われる	6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる
	11	館長会にて教育実践活動策定について説明	9 医療制度改革施行☆
	11	医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）	9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*
	12	中央公民館にて、「しゃべりばinちゅーこー」や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる	11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動
20	2	松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催	12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる
	3	市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立	12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出
	3	地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）	2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆
	4	第三地区公民館 開館（あがたの森公民館が閉館）	3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査*
	4	公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更	3 松本市放課後子どもプランが策定
	4	四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）	4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる
	5	公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート	4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される
	6	ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館）	4 松本市第2次男女共生参画計画 策定
	6	地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心的に関わる	5 松本市地域づくり推進基本方針 策定
	6	公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出	5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊*
	8	第2回公民館報編集委員交流会 開催	5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提案☆
	9	町内公民館館長会30周年記念の集い 開催	6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆
21	1	文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察	7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆
	3	主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告	7 教育振興基本計画が閣議決定☆
	3	全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞	9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定
	9	「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）	11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定*
	12	松本市芸術文化祭50周年記念式典開催	12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・梓づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆
			3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞*
			4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる
			4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる*
			4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入*
			9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足
			10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
22	3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館長へ提出 3 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足 4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館（35地区すべてに公民館が設置完了） 4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了） 5 ベトナム学習振興会が蟻ヶ崎西町内公民館を視察 6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おかちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同）	3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊 6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定。地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる 7 学都松本に向けた取組みを定める	
23	11 梓川公民館大規模改修事業 竣工 5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」	11 松本市の教育に関するアンケート調査報告 12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参酌）	
24	9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催 9 松本市公民館活動実践事例集（地域・くらしと学びをつなぐ）を発刊 12 第4回全国公民館報コンクールで波田公民館が奨励賞を受賞	3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言） 3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定 3 松本市地域づくり実行計画策定	
25	3 神林公民館大規模改修事業竣工 3 大手公民館会館10周年記念誌『語り継ぐまちなか』発刊 6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される 6 松原地区公民館が住民の戦時中体験をまとめた『語り伝えておきたくて』を発刊 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行）	9 第1回学都松本フォーラム（学都松本を目指して）を開催 2 松本市第3次男女共同参画計画 策定 3 健康寿命延伸都市宣言 4 市内15地区公民館（出張所機能を持たない館）に、地域づくりセンター準備職員を配置 4 松本市子どもの権利に関する条例を制定 6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める 6 社会教育法一部改正☆ 6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆ 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村（上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村）へ再委託*	
26	2 第29回松本市公民館研究集会が歴史的大雪により初めて中止となる 4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する 6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行） 9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される 12 入山辺公民館「入山辺文化誌（館報 400号合冊版）」発刊 12 寿地区学校応援団が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞	4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入* 4 地域づくりセンターが各地区に設置される 6 改正地方教育行政法が可決、成立☆ 6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆ 6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する 10 「ESD推進のための公民館－CLC国際会議」開催（岡山県岡山市）☆（松本市の公民館から事例発表） 12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆	
27	2 第30回松本市公民館研究集会が基調講演、過去最大数の11分科会により開催される 3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞 3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工 4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する 6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される 8 文部科学省委託事業（公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業）の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展 9 地域学習テキストをモデル3地区（白板、本郷、波田）で発刊	12 特定秘密保護法施行☆ 3 松本市スポーツ推進計画策定 3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定 4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆ 4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆ 4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置 4 地域づくり部（地域づくり課、地域づくりセンター）及び文化スポーツ部（スポーツ推進課を含める・旧体育課）の新設 4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更	

松本市公民館関係略年表

年		※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市	
27		7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議が発足☆	
		8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催	
		10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆	
		10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定	
		12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆	
		184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」	
		185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」	
		186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」	
28	2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる	1 南部福祉総合施設「なんぱくプラザ」供用開始	
	3 今井公民館大規模改修事業竣工	2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆	
	3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了	4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置*	
	4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入	4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆	
	5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入	5 県政タウンミーティングを阿智村で開催*	
	6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施	5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化*	
	7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）	8 松本市第10次基本計画策定	
		9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区）	
		9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆	
		12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆	
29	1 全国規模の集会である「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、全国各地から延1,115人が参加（1/28～29：松本市公民館70周年事業として開催）	3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定	
	3 内田公民館大規模改修事業竣工	3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ*	
	7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足	3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（学校運営協議会の設置が努力義務化）☆	
	7 波田公民館が波田庁舎内へ移転開館（旧波田公民館は30年3月に解体）	5 第2次松本市教育振興基本計画策定	
	9 文科省組織改編に対し、社会教育委員会議、公民館運営審議会、町内公民館長会連名で意見書を提出	5 第2次松本市地域づくり実行計画策定	
		8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆	
		9 文科省の組織改編に対し松本市教育委員会から要望書を提出	
30	2 松本市公民館研究集会と、地域づくり課所管の地域づくり市民活動研究集会を「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」として合同開催（以降毎年合同開催）	3 県総合5か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）*	
	3 笹賀公民館大規模改修事業竣工	12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめ☆	
	3 大手公民館・中央地区福祉ひろば開館15周年記念「まち歩き講座から見た後世に残したい地区の文化財」発刊		
	4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始		
	8 住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりに向け、町内公民館機能に着目した「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業を、東京大学牧野研究室との共同事業として開始（3カ年の事業）		
31	3 和田公民館大規模改修事業竣工	1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結	
		4 第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）が7地区（第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田）に配置	
R1	6 『町内公民館活動のてびき（第6次改訂版）』発刊	6 「第9次地方分権一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律）」公布（6/7）☆ （公立社会教育機関について、一定の担保措置を講じて条例により首長が所管することが可能となる）	
	7 公民館運営審議会が提言集を中央公民館に提出	9 旧開智学校校舎国宝指定	
	8 中山公民館「中山の民話」発刊	9 社会教育委員会議提言書「松本版コミュニティスクールへの提言～すべてに対してやさしくおもしろに生きる大人へ～」	

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
2	2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞(2/14) 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」で、市民提案によるテーマでの分科会を実施 2 城北公民館・城北地区福祉ひろば開館二十周年記念誌発刊 3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞(3/12) 3 岡田公民館「岡田再発見を読み解く」(岡田歴史研究会編著)発刊 3 「松本市芸術文化祭60年の歩み」発刊 4 新型コロナウイルス感染症の影響で約1か月間貸館を休止(4/7～5/31) 6 島内地区歴史文化財調査委員会(事務局:島内公民館)「島内の歴史と文化遺産」発刊 7 7月豪雨により地区公民館(一部除く)に避難所を開設	3 菅谷昭市長退任 3 臥雲義尚市長就任
3	1 新型コロナウイルス感染症の影響で貸館の新規受付を停止(1/8～12/4) 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演・鼎談のみ実施となる(YouTubeでオンラインライブ配信)	1 松本市成人式が新型コロナウイルス感染症の影響で延期
4	2 安原地区公民館・福祉ひろば開館20周年記念冊子発刊 1 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貸館の新規受付を停止(1/15～2/20) 1 コミュニティスクール事業のあり方検討会を立ち上げ、国型導入等についての検討を始める 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催 3 里山辺公民館が移転新築	1 長野県内にまん延防止等重点措置が適用(1/15～3/6) 1 令和4年成人式を2部に分けて開催 2 松本市教育大綱を策定
5	2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」の基調講演を対面とYouTubeライブ配信のハイブリッド形式で開催	8 松本市成人のつどい(延期になった令和3年成人式の代替事業)を開催
6	2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第39回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」の基調講演と分科会を主会場(中央公民館・Mウイング)に加え、サテライト会場(芳川・四賀)も設けて開催	5 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行(5/8～)

－ 令和 5 年度 公 民 館 事 業 報 告 －



中央公民館………… 47	白板地区公民館…137	和田公民館…………212	里山辺公民館……287
第一地区公民館… 57	田川公民館…………145	神林公民館…………220	今井公民館…………298
第二地区公民館… 67	庄内地区公民館…153	笹賀公民館…………229	内田公民館…………308
第三地区公民館… 75	鎌田地区公民館…159	芳川公民館…………239	本郷公民館…………318
東部公民館………… 86	松南地区公民館…167	寿公民館……………248	四賀公民館…………324
城北公民館………… 93	島内公民館…………172	寿台公民館…………256	安曇公民館…………335
大手公民館…………104	中山公民館…………182	松原地区公民館…263	奈川公民館…………343
安原地区公民館…117	島立公民館…………188	岡田公民館…………271	梓川公民館…………348
城東公民館…………129	新村公民館…………197	入山辺公民館……276	波田公民館…………356

令和5年度 事業報告の概要

中央公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 「公民館の学びを通じた地域づくり」 超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。 また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。 このような現状の中で、本市の公民館は、松本市生涯学習基本構想のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。										1 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。 2 人権尊重のための学習活動を進めます。 3 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。 4 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。 5 町内公民館の振興を図ります。 6 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。 7 ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。 8 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。 9 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。 10 時代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	5	4	1	1	0	0	0	0	5	0	2	0	5	0
延べ参加人数	1394	609	0	22264	0	0	0	0	21830	0	1321	0	2110	0

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新任公民館職員研修	4月24日	1回	その他	その他	25人	令和5年度に配属された新任職員を対象に、公民館（活動）の基礎学習及び、近年の動向について松本大学准教授向井健氏を講師に研修を行う。 （内容） ・公民館基礎学習 ・関係法令と運用 ・松本市公民館の概要と近年の動向	公民館基礎学習について、ポイントを捉えやすくするため、内容等を講師を依頼した松本大学の向井准教授と調整する。	新任職員でも理解できるように、内容をシンプルにしつつもポイントを押さえるなかで、「公民館や社会教育」をイメージしやすくするために、松本大学の向井准教授と調整した結果、参加した職員からも概ね好評であった。	
地域に伝わる民謡講習会	4月19日 ～3月 8日	13回	地域文化	成人	130人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民謡の周知と保存のために開催。地区に地元の民謡が広まるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民謡部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえるよう、周知方法なども工夫したい。「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。 若者に興味を持ってもらえるよう、広報にも力を入れたい。	
第23回松本手まり時計まつり	5月27日 5月28日	1回	地域事業 （文化）	その他	3,251人	中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。	公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表、Mウイング公益施設関係（松本市女性団体連絡協議会／Mウイング管理組合／公民館活動発表実行委員会）、公益施設関係（人権共生課、多文化共生プラザ、第一地区地域づくりセンター、第一地区公民館、中央保健センター、中央公民館）、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営	展示部門8団体、ステージ部門18団体。中央公民館利用団体の他、学びの森生涯学習ファイル登録団体等に声がけするなど、参加団体の掘り起こしを図った。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や更なる参加団体の掘り起こしを行う工夫が必要。手まり時計まつりの母体であった伊勢町振興組合がなくなったので、今後の開催目的等を実行委員会で再確認しつつ、今後のまつり開催を含めた内容を検討していく。	
公民館活動発表会 展示部門	5月27日 5月28日	1回	地域事業 （文化）	その他	799人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場とする。 「手まり時計まつり」にあわせて開催している。	参加11団体による実行委員会を組織（うち2団体が新規参加）実行委員長を置く。「手まり時計まつり実行委員」に参画	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、展示団体の活動の活性化がみられた。高齢化が進み、例年参加団体数は減少しており、作業にあたっては困難も多い。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や来場者にサークル活動に興味を持ってもらう工夫が必要。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館活動発表会 ステージ部門	5月27日 5月28日	1回	地域事業 (文化)	成人	来場 450人 再生数 3,460回	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。今年で45回目となる。	発表団体で、公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会3回。当日の運営も当番役回りでやっている。 4年振りに制限のない状態での開催となり、出演団体数も昨年の8団体から18団体に増えた。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い導入した配信機材を用い、当日の一般来場者の他に、YouTubeでのオンライン配信を行った。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流ができるように工夫をしていきたい。	
中級者向け手話教室 「手話で学ぶ手話教室」	5月31日 ～10月 4日	20回	福祉健康	成人	167人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずにはろう者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。昼・夜の2部制(10回×2部)	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。	受講者と講師(ろう者)が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高いレベルの手話技術が必要となって。途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率も高く、おおむね満足をいただけた。	
第13回こいこい松本 —松本国際ふるさと祭り—	6月25日	1回	地域事業 (文化)	その他	522人	【ねらい】 松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催 【実施内容】 ・Mウイングホールにて各国のブースを開設(イタリア・ベトナム・フィリピン・米国・オランダ・タイ・モンゴル・台湾・中国・韓国・フランス・ロシア・キルギス・チェコ・ポーランド・アルゼンチン・ブラジル・マレーシア・インドネシア)	【主催】 こいこい松本実行委員会(在住の外国由来の人たち、NPO法人中 信多文化共生ネットワーク、信大生) 【共催】 中央公民館 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参画	各国のブースを開設して、中央の空間で踊りや演奏などを実施。ホワイエで物販や民族衣装の試着等を行った。	
高校生向け手話教室	8月 2日 8月 3日 8月 4日	3回	福祉健康	青少年	35人	令和4度から新設した高校生対象教室を継続。手話を通じて人間関係を深め、将来に結び付けることを目的に開催。通学時の安全性を考慮して昼のみ。	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼	市内の高校にチラシを配布した。SNSでも周知したが、高校でチラシを見て申込んだ受講生が多かった。受講生も偏らず様々な高校から参加し、中学生も2名参加した。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第75回「お城盆踊り」	8月14日 8月15日 8月16日	3回	地域事業 (文化)	成人	1,351人	国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくとともに、郷土に伝わる民謡を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催したい。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民謡の保全を図る一助になりたい。踊りをとおして心身ともにリフレッシュを図り、健康寿命の延伸につなげたい。	当日の実演担当の松本レクリエーション協会と、年間をとおして踊りの講習を行うとともに、ゆかたキャンペーン実行委員会と連携し、エクセラン高校の生徒への踊り指導や、広報活動を行った。	他課と連携して行ったSNSを活用した広報などは、一定の成果につながったため、引続き多くの方に来場していただける取組みを検討していく。	
松本市の公民館 (事務報告書)	冊子作成 発行9月	1回	その他	その他		松本市公民館等に関する情報を1冊にまとめ発刊する。各館より事務報告書の提出。公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載 情報を集約し冊子へまとめる。		掲載内容については常に精査するなど、次年度以降も継続して発刊する。	
景観から地域づくりを考えるプロジェクト 「看板学講座」	11月 9日 11月16日 12月 7日	3回	その他	成人	60人	平成25年から2年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学会」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。	コーディネーターに倉澤聡氏(都市計画家)、コメンテーターに長谷川繁幸氏(建築士)・高田美果氏(イラストレーター)を迎え、都市計画課と連携するなかで複数回講座の内容等について検討する。	令和5年度では、「看板博物学」と題し参加者が看板にあるモノや動物などを集めたり、分類する博物学に挑戦し、アウトプットは、従来に比べて気軽に制作できるようA4用紙1枚に写真とエッセイを書く形で各参加者が「看板学散歩」を作成した。	
日本老民考	通年	12回	福祉健康	高齢者	120人	世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活(生き方)について意見交換するなかで、それぞれの生き方を考える。毎月1回第4金曜日に開催する。	手塚英男氏(社会教育実践者／『日本老民考-さまざまな老い それぞれの終い』著者)が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開。	新聞の社説欄等から日々目まぐるしく変わる国内外の情勢について意見を交わすことも多々あり、混乱した世の中でも前向きに暮らすことのきっかけになっている。 また、参加者が各々取組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。 会は参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。	
初心者向け手話教室	10月18日 ～ 2月21日	20回	福祉健康	その他	287人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指した。朝・夜の2部制(10回×2部)	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼	今後手話を生かして仕事に臨むことやろう者との交流に積極的に携わるようにしていきたいという前向きな声も多かったため、今後も継続をしていきたい。 障がい福祉課が開催する手話奉仕員養成講座との接続を考慮して、年度の後半に開催した。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
聴覚障害者と学ぶ成人 学校「博物館で学ぶ 人々の生活」	①10月19日 ②11月16日 ③12月21日 ④ 1月18日 ⑤ 2月15日	5回	人権平和	成人	72人	【ねらい】 昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障 がい者の学習権の保障に加え、ろう 者と聴者の相互理解を深める場、地 域社会の一員として尊重し合える関 係づくりに寄与する場として開講 【内容】 「博物館で学ぶ人々の生活」をテー マに実施。外国人住民に講師を依頼 し、ろう者と聴者と一緒に世界の料 理や文化を学習した。 ①松本民芸館「民芸の魅力に触れ る」15人参加、②松本市立考古博物 館「勾玉づくり体験と古代の生活」 12人参加、③松本市時計博物館「古 時計の魅力」15人参加、④出前講 座・中央公民館「松本の年中行事を 学ぶ」14人参加、⑤松本市立博物館 「新松本市立博物館見学」16人参加	・新博物館開館をきっかけに、市 内の博物館の見学を企画した。 ・講師及びアシスタントは中央公 民館から、通訳者及び要約筆記者 は障がい福祉課を通して依頼 ・事前に各博物館を訪問し、打合 せを実施、駐車場や集合場所及び 当日の流れなどを確認した。	・参加者が固定化されていたが、新し い参加者層が増えた。 ・参加者が、講座をきっかけにろう者 へ興味を広げ、手話表現を教わるなど 交流が広がった。 ・講座を通して各博物館に初めて訪れ た方が多く、身近な施設を見直すきっ かけになったと感想をいただいた。	
未来へつなぐ私たちの まちづくりの集い～第 39回公民館研究集会 令和5年度地域づくり 市民活動研究集会～	2月18日 4月～2月に 市民・職員 で企画準備	1回	地域事業 (その他)	成人	470人	「学び」を大切にする松本市の公民 館の理念を柱に、住民、市民活動団 体、行政職員等の様々な主体が一堂 に会し、身近な課題への理解を深 め、幅広い議論を通して、気づき、 学び合いながら、自分にできること を発見し、実践することを生み出す 場として開催。 ＜全体会＞ 開会式、基調講演「ふるさと」をつ くる公民館／講師：牧野篤(東京大 学大学院教育学研究科教授) ＜分科会＞5つの分科会を設定 ①地域と若者～みんなが参加した い、参加してよかったと思える地域 づくり～ ②おやこのみなさん、公民館へよう こそ！ ③担い手人材はどこにいる？新たな 担い手とつながるために ④つながる・つなげる、松本らしい “つどいの場” ⑤新たな視点から考える地域づくり	市民実行委員及び公民館・関係課 職員による実行委員会を組織 ・実行委員会2回（オンライン形 式、書面開催） ・幹事会 1回 ・分科会運営委員会準備会 1回 ・その他、各分科会運営委員会を 順次開催。延べ 700人以上が企画 準備参加	各地域づくりセンター経由で地区関 係職員（公民館、福祉ひろば等）へ各 地区で取組む地域課題の解決や地域の 活性化に取組む活動実践事例調査を実 施し、その結果を参照し、分科会テー マを選定した。また、会場については 各分科会のテーマに即した会場を選定 し、中央公民館会場のほかに、芳川地 区みなみ福祉ひろばや四賀地区にある 古民家を再生し建設された多目的スタ ジオでも開催することでより効果的な 分科会の運営を試みた。集会終了後、 各地域づくりセンターを介し、集会内 容を還元する流れを構築した。地域づ くり事業と公民館事業の両者を扱う集 会として取組みを進めている一方、公 民館主事会等の場で集会の振返りを実 施したところ、集会の意義や手法につ いて改めて見つめ直す時期に来ている 旨の意見が多く出ていることから、そ れを踏まえた上での展開が必要である と感じた。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第64回松本市芸術文化祭	4月～3月		地域文化	その他	22,264人	多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの。和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画して、展示会・上演会等を通して、芸術文化の振興を図る。 展示部門各種展示会（14部門）参加者13,557人 上演部門各種発表会・演奏会（18部門）参加者 8,707人	松本市芸術文化祭実行委員会により運営	コロナウイルスの制限のない開催ができるようになり、参加者数が大幅に増えた。一方、団体構成員の高齢化により、休会する団体も出てきた。後継者の育成に努める必要がある。	
松本みんなのにほんご教室（共催事業）	4月～2月	70回	人権平和	その他	541人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催。 ●毎週月・木曜日 9：30～12：30	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	4つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週1回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。	
松本市ヤングにほんご教室（共催事業）	4月～2月	40回	人権平和	青少年	122人	日本語を母語としない外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ●毎週火曜日 18：00～20：00	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。かつてはボランティアの大半が大学生だったが、コロナのためボランティアが減少。安定的なスタッフの確保が難しい状況である。	
日本語講座	4月～3月	47回	人権平和	その他	467人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週火曜日 19：00～20：30	ボランティアスタッフによる運営	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。令和3年度から代表を決めず各クラスの世話人及び連絡係を通じて連絡を取っている。ボランティアスタッフと密に関わり、主体的で継続的な運営体制を目指したい。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
木曜午前ボランティア 日本語教室	4月～3月	44回	人権平和	その他	192人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週木曜日 10:00～11:30	ボランティアスタッフによる運営 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。新博物館見学を行い、松本市の歴史や文化について学習した。	
3歳児健診時の絵本 読み聞かせ	4月～3月 第3火曜日	12回	子育て	その他	約360人	中央保健センター3歳児健診に訪れた親子を対象に、読み聞かせを月1回実施。健診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	図書委員会		
学びの森いんふおめー しょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度登録団体等の活動情報など）を提供し、市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進するもの。発行は年4回（5月、8月、11月、2月）1回につき13,000部。生涯学習支援登録制度に登録している団体の情報を中心に掲載している。		生涯学習支援登録制度に登録しているグループ、指導者が掲載されているホームページ「学びの森生涯学習ファイル」のQRを紙面に貼り、紙面に載りきらないグループ、指導者の周知に努めた。配布方法が町内回覧であり、必要な時に情報が得られないことが課題のため、当冊子を「情報提供の入口」と位置づけ、QR等でホームページへリンク案内するようにし、冊子のページ数を減らした。今後、オンラインの多様な媒体と連携し、必要な市民に届く効果的な情報発信を模索していく。	
生涯学習支援登録制度	通年		その他	成人		多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、地域で活動するグループや指導者を登録、情報提供をすることにより、市民の生涯学習活動を補助・促進するもの。 ○令和6年3月31日現在 グループ 361団体 指導者 142人		制度をよりわかりやすくするため、ホームページに各グループの写真やグループの特徴を掲載するなど工夫した。グループ登録の場合『学びの森いんふおめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が比較的活発である。指導者登録の場合は、新規登録者のみが『学びの森いんふおめーしょん』に掲載される。そのため、指導者の活用を地区公民館等に仲介する仕組みづくりが望まれる。ホームページでの掲載情報の更なる改善を進めるとともに、市民団体等と連携し情報発信媒体の多様化を進める。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本市出前講座 「いい街つくろう！パートナースhipまつもと」	通年	457回	その他	その他	21,770人	市役所やその他の行政機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講し、市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街をつくっていく学びの講座。各課および関係機関に講座の継続開講や新規開講等の調査を行い、毎年出前講座メニューを更新している。		ホームページで人気の講座やおすすめ講座を紹介するなどして、周知の工夫を図った。ホームページのさらなる充実を図り、市民への周知を工夫していく。	
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	4月～3月		地域事業 (その他)	成人	50人	様々な地域課題に対して、東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業により、町内公民館を活用した、人々が集い、楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ（新たな社会保障システム）」の構築をめざすもの 【実施内容】 ・多世代が参画する人材育成（担い手づくり）を促進するプログラムの実践、検証 ・コロナにおいての地域コミュニティの構築と活動の検証 ・中央地区鷹匠町町会、里山辺地区新井町会、安曇地区橋場町会のモデル町会に加え、島立地区大庭町会の実践内容を公民館研修集会において共有し、松本モデルとしての発信	東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業とし開催	・職員によるモデル3町会へのヒアリングを実施し、コロナでの活動の現状と今後の方向性について確認。 ・牧野教授によるモデル3町会と島立地区大庭町会への現地調査を行い、現状と課題を再確認すると共に、牧野教授の助言を基に課題解決に向けたグループワークを実施。今後は、事業の成果を各地区へ展開をすることが必要。	
公民館館長会 ・定例会 ・理事会	通年 各月1回	25回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	625人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	・定例公民館館長会 毎月第3水曜日、午後1時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定 ・理事会 必要に応じて開催（原則として第2火曜日、午後1時30分～）	公民館事業を進めるにあたり、幅広いテーマで講師を招き講義を受けると共に、課題と今後の対応についてグループワークを行った。11月は姫路市との姉妹都市交流事業公民館交流学習会を姫路市において行った。1月の研修会では、福島大学の天野和彦特任教授を講師として、「モノの防災から考え方の防災へ」の講義を行った。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本市町内公民館館長 会	通年	—	公民館委員会・ 各種会議等	その他	386人	【ねらい】 各町内公民館の振興及び町内公民館 相互の連絡を図るために必要な研修 等を行う。 【事業内容】 ★各種会議 ・総会（書面表決） ・理事会6回、三役会6回、広報部 5回、研修部1回 ★研修及び学習会 〈企画部〉 ・新旧理事歓送迎会 ・理事視察研修会「小諸市公民館、 市立小諸高原美術館」 〈広報部〉 ・町内公民館長会だよりの編集、封 入作業 〈研修部〉 ・新任町内公民館長研修会、ブロッ ク別研修会 〈女性部〉 ・くるまざトーク1回 ・女性部視察研修会「諏訪大社、お んばしら館よいさ、片倉館」 ★広報 ・「町内公民館長会だより」82号～ 84号の発行	各地区町内公民館館長会からの代 表者を理事として1名選出し、特 任理事5名を加えて計40名で理事 会を運営。会長1名、副会長3 名、会計1名、事務局長1名、4 つの専門部（企画・広報・研修・ 女性）を必要に応じて開催	コロナ禍後も理事会では毎回Z o o m でのオンライン参加の対応を継続し た。 ブロック別研修会の対面開催を再開し て、地区公民館長、主事にも参加を依 頼して、町内公民館と地区公民館の連 携について話し合いを行った。	

令和5年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館主事会 ・公民館主事研修会 ・主事会プロジェクト	通年 月2回	22回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	660人	公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	①公民館主事研修会（毎月第2・第4木曜日） ②幹事会（毎月第1月曜日） ③主事会プロジェクト（不定期）	公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。コロナ禍による影響を受け、地区館・主事間の連携の希薄が目立ったため、つながり作りを強化する目的で、昨年度に続き、屋外研修やレクリエーションの要素を取り入れた研修を実施した。 令和4年度に設置したチームを改組し、公民館主事会プロジェクトとして4チームを設置 ・貸館課題検討チーム ・ICTチーム ・町内公民館振興・支援チーム ・KLM連携チーム	
中央公民館図書委員会	通年	11回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	58人	中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。今年度は手まり時計まつり、3歳児健診の読み聞かせ、2階フリースペースの活用についての模索など、精力的に活動した。委員5名。委員長を置く。		図書室、学習スペース、談話・展示コーナーが一緒になった2階フリースペースをより使いやすくするために、1年間様々な方法を模索した。来年度はコロナ等でできなくなっていた「絵本の中のクッキーを作ろう」をはじめ、2階フリースペースで行う「だれでもちいさなよみきかせ」などイベントを積極的に行う。	
公民館報全市版編集委員会	通年	18回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	381人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの。	各地区から1名ずつ編集委員を選出。また令和3年度より、大学生を1名副委員長に選出。編集長1名、副委員長4名を置く。	各地区の地名の由来について深掘りする新シリーズ「まつもと地名がたり」は、読者の方から好評をいただいております。地域や生活・暮らしについて幅広く話合うことができた。山間部に限らず全市的に各地区からの委員選出が困難になってきており、編集委員会の実施形態なども含めて今後の編集委員会のあり方について検討していく必要がある。	

令和5年度 事業報告の概要

第一地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・地区住民の生活、暮らしに根付く様々な課題を共有し、地域づくりセンター、福祉ひろば、地区生活支援員、町会連合会、地区関係団体と共に改善に向けて取り組む活動の場とする。 ・コロナ禍でやむを得ず中止となっていた事業について、あらためて内容を見直す契機と捉え、ノウハウを生かしながらも前例に捉われない新たな取組みを進める。 ・高齢者のみならず普段公民館にあまり顔を出さない子育て世代や若者に向けた事業を展開し、遊びや体験を取り入れた学習、仲間づくりの場を提供する。										・今年度は新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げになったことから、青山様ぼんぼん練り歩きや各種料理講座など、長らく中止を余儀なくされていた事業も今年度から再び実施することができた。一方で、数年間実施していなかった事業については、従来のやり方を踏襲して実施することに精一杯だったため、今後は事業を時代変化に沿ったより良いものにするため、検討を重ねていく。 ・子育て世代の親子をターゲットとした事業は、コロナ禍以前の令和元年度が3講座だったのに対し、令和5年度は9講座開催することができた。来年度以降は今年度の実施内容をもとに、さらにブラッシュアップしていきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	6	6	4	0	2	0	1	0	2	1	0	3	0
延べ 参加人数	26	300	163	122	0	56	0	15	0	61	50	0	99	0

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
善光寺ウォーキングと 水野美術館見学	4月12日	1回	福祉健康	成人	18人	【内容】 ・善光寺周辺をウォーキングで散策し、また水野美術館では参加者がさまざまな美術作品を直接鑑賞する機会とする。 【ねらい】 ・ウォーキングにより参加者の健康づくりに資する。 ・美術作品の鑑賞を通して分解教養を養う。	【準備過程】 ・福祉ひろばと企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・当日はあいにくの雨天だったため、長距離のウォーキングは中止し善光寺参道の散策に変更したため、健康づくりの趣旨は少々薄れてしまった。一方で、散策や美術鑑賞を通して参加者の満足度は高いように感じた。 【今後の方針】 ・今後も健康づくりのためのウォーキングは定期的に企画していきたい。	
親子生け花教室「花とあそび」	4月22日 6月24日 9月16日 10月28日	4回	子育て	青少年	17人	【内容】 ・小学生以下の子どもを持つ親子を対象に、季節の草花を使った生け花と工作を楽しむ。 【ねらい】 ・生け花などで花や植物に触れ合う機会を通じて、子どもの情操教育の一助とする。 ・子育て世代の親子の居場所、仲間づくりの場とする。	【準備過程】 ・地区周辺にお住いの講師を招き、協働で講座の企画運営を行った。 【共催団体等】 ・子ども会育成会（周知）	【評価と反省】 ・講座の広報はチラシ、子ども会育成会からのお知らせ、地域だより等まんべんなく効果があった。 ・講座自体は毎回好評ではあるが、会場や指導の都合上一回ごとの定員が少人数であるため、参加者の固定化も見られてきた。 【今後の方針】 ・継続して参加している方を大事にしつつ、新規の参加者にも来てもらえるよう検討していく。	
人権視察研修「無言館と上田散策」	5月8日	1回	人権平和	成人	17人	【内容】 ・無言館を訪れ、戦争の悲惨さを通して人権について考える機会とする。 【ねらい】 ・地区人権の意識高揚に活かす。	【準備過程】 ・地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・戦没学生美術作品を通して、人権についても深く考えるきっかけとなった。 【今後の方針】 ・今後も人権に関する視察研修は定期的に企画していきたい。	
健康セルフケア講座	5月17日 7月10日 8月28日 12月11日	4回	福祉健康	成人	36人	【内容】 ・健康づくりのためのストレッチやヨガを行う。また地区担当保健師から、健康に関する簡単な講演を実施。 【ねらい】 ・参加者の健康づくり ・特定検診受診率の向上	【準備過程】 ・地区担当保健師と協働。主に企画や講師との連絡調整を保健師、広報やその他事務処理等を公民館が行った。 【共催団体等】 ・中央保健センター（健康づくり課）	【評価と反省】 ・本講座内で行ったヨガについては参加者の関心が高く、終了後に講師の先生に参加者が直接声をかけ、その後自主サークル化したとのこと。地区住民の自発的な学習の場となった好例。 【今後の方針】 ・今後も地区担当保健師との連携を密にしていきたい。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
デジカメ講座「はじめよう！お散歩写真」	5月22日 7月 3日 8月21日 10月16日 11月27日 12月18日	6回	趣味教養	成人	33人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ講座を開催。学習会4回、撮影会2回実施した。 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・新規の参加者はおらず、参加者自体も減少傾向にある。早急な内容の見直しが必要。 ・長年講師を務めてくださった方が今年度をもって退任されたため、今後の講座運営については新任講師を含めて要検討。 【今後の方針】 ・より基本的な部分から学習会を行うなど、初心者でも入りやすく分かりやすい講座内容や組み立てを行っていく。 ・個別の撮影会をやめ、撮影の機会を他の視察研修の機会と兼ねる。	
男の料理教室	5月30日 8月31日 10月26日	3回	趣味教養	成人	23人	【内容】 ・地域の男性を対象に、簡単に作れる料理講座を行う。 【ねらい】 ・男性の料理技術向上や、食への理解を深める。	【準備過程】 ・福祉ひろばと共催し、講師との打合せや当日の調理補助などを分担して行った。 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者は毎回決まった顔ぶれになりがちではあったが、調理技術の向上と同時に参加者同士の親睦を深めることもできた。 【今後の方針】 ・今後も福祉ひろばと連携を密にしながら、継続して開催していきたい。	
マレットゴルフ大会	6月10日 9月 2日	2回	地域事業 (体育)	成人	28人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・屋外で体を動かし、また参加者同士の親睦を深める場として開催することができた。 ・参加者の高齢化が見られるため、アップダウンの多い現コースは体力的に厳しい方もいる。 【今後の方針】 ・安全に大会運営ができるよう十分配慮し、地区体育事業の推進のため継続して実施したい。 ・庁用バスを用いた遠征も企画していく。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち講座	6月30日 12月22日	2回	地域文化	成人	10人	【内容】 ・伝統食である蕎麦打ちを体験し、自身で年越しそばを打てるようになる。（講師：地区住民） 【ねらい】 ・蕎麦打ちを体験しながら、地域住民の交流を深める。	【準備過程】 ・地区内のそば打ち名人と打合せを行い、企画運営を行った。	【評価と反省】 ・参加者のそば打ち技術の向上や、参加者同士の交流の機会となった。 ・そば打ち道具や会場が限られるため、定員を絞って募集した。（5名程度） 【今後の方針】 ・地域住民が地域ならではの食文化に触れる良い機会であるため、今後も継続して実施していく。	
夏休み自由研究応援講座	7月27日	1回	子育て	青少年	11人	【内容】 ・夏休み自由研究のテーマとして地区内の歴史を学ぶ講座を開催した。講師の案内、解説により本町、博労町の史跡等を回った。 【ねらい】 ・夏休みの学習支援、地区内の歴史文化を伝承する。	【準備経過】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・講師の説明を聞きながら、地区の史跡等を回り、参加した子ども達が地区の歴史を学ぶ良い機会となった。 ・真夏の暑い時期であったため、子ども達の体調管理や交通安全に気を配りながら実施したが、少し体調の悪そうな子どもも見られた。近年の酷暑を考慮すると、真夏の日中に外を歩き回る企画は控えた方が良い。 【今後の方針】 ・自由研究の形も多様化しているので、歴史講座に捉われずに様々な内容の企画を検討したい。	
ボウリング大会	7月29日 1月20日	2回	地域事業 (体育)	成人	33人	【内容】 ・地域住民の交流と健康増進のため、ボウリング大会とミニ講座を併せて計画した。（講師：地区住民） 【ねらい】 ・多世代で楽しめるボウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・普段公民館に訪れない方々の参加もあり、またボウリングは参加者同士の距離も近く、親睦を深める場として最適であった。 【今後の方針】 ・気温の変化で屋外スポーツの実施が厳しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子日舞講座	8月2日	1回	子育て	青少年	4人	【内容】 ・子どもを対象に浴衣の着付けや所作、簡単な日本舞踊を学ぶ。 【ねらい】 ・日本の伝統文化を体験することで、参加者の教養を高め、また礼儀作法を身につける。	【準備過程】 ・親子生け花教室に参加していた親御さんを日本舞踊の講師として招き、実施した。	【評価と反省】 ・講座名が少し固い印象があっただけ、参加者が少々少なかった。 ・人見知りではじめは保護者の後ろに隠れていたような子も、浴衣を着ると鏡の前で自分の姿を何度も見返したりしている姿もあり、参加した子どもは楽しんでくれたようだった。 【今後の方針】 ・参加者をより増やしていけるように内容等を検討していく。	
青山様・ぼんぼん練り歩き	8月2日	1回	地域文化	青少年	42人	【内容】 ・地区の小学生が中心となって、ぼんぼんと青山様の練り歩きを実施した。 【ねらい】 ・古くから地域に伝わる伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を子ども達へ伝承し、郷土の歴史・文化を学ぶ。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会、子ども会育成会、民生主任児童委員	【評価と反省】 ・地区内の子どもが減少し町会単独での開催が難しいため地区事業として4年ぶりに実施し、多くの親子に参加してもらうことができた。 ・伝統行事を伝承していくために地区内をただ練り歩くだけでなく、行事の歴史や由来等を学ぶ機会も必要。 【今後の方針】 ・少子化により町会単独での実施が困難であるが、今後も伝統行事の継承のため、関係団体と連携を取りながら実施していきたい。	
親子で牧場体験&黒曜石ミュージアムバスツアー	8月7日	1回	子育て	青少年	20人	【内容】 ・夏休み中の親子を対象とした事業で、鷹山ファミリー牧場での乳しぼり体験、また黒曜石ミュージアムでキーホルダー作りなどの体験を行う。 【ねらい】 ・様々な体験を通して自然環境や文化、食育について学習し、また子どもの夏休みの思い出作りに寄与する。	【準備過程】 ・企画、運営を公民館で行った。地区内広報で周知。	【評価と反省】 ・参加者からはおおむね好評をいただき、主なねらいは達成できた。 【今後の方針】 ・長期休暇中の子どもをターゲットとした体験型事業は今後も継続して企画していきたい。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地ウォーキング	8月29日	1回	福祉健康	成人	17人	【内容】 ・庁用バスを利用して上高地を訪れ、2コースに分かれてウォーキングを行う。 【ねらい】 ・自然豊かな上高地をウォーキングすることで、参加者の自然学習と健康づくりを促進する。	【準備過程】 ・企画、運営を公民館で行った。講師には他地区でも上高地ウォーキングの講師を務めている上條恒嗣氏に依頼。	【評価と反省】 ・ウォーキング中の参加者の統制を取り切れない場面があったため、参加者の安全確保のためにも集団行動の徹底を強く周知したい。 【今後の方針】 ・高原などでのウォーキング事業は今後も継続していきたいが、企画内容や広報の方法は引き続き精査していきたい。	
防災・歴史探訪バス視察	9月14日	1回	防災	成人	15人	【内容】 ・地区住民を対象とした視察研修で、御嶽山噴火災害の資料館である「さとテラス三岳」と奈良井宿を訪れる。 【ねらい】 ・参加者の防災意識の向上 ・歴史文化への関心を高める	【準備過程】 ・企画、運営を公民館で行った。地区内広報で周知。	【評価と反省】 ・さとテラス三岳では、御嶽山噴火災害の詳細を学習することで、参加者の防災意識の向上に大きく寄与できた。 ・奈良井宿散策では歴史文化の学習と併せて、ウォーキングによる健康づくりにも寄与できた。 【今後の方針】 ・防災に関する講座は今後も必要に応じて開催を検討していく。	
おやこ料理講座	9月30日	1回	子育て	青少年	4人	【内容】 ・親子を対象とした料理講座 【ねらい】 ・子どもへの食育 ・参加者同士の親睦を深める	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と共催で企画し、食改にはレシピの準備や食材の購入、当日の調理指導を担っていただいた。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・準備したメニューは子どもには少し難しかったという意見があった。 ・食改が調理指導、職員が補助という形でかわったが、あくまで主体は参加者の親子であるため、どの程度調理に介入するかの意識統一が必要。 【今後の方針】 ・親子を対象とした事業は今後も内容を刷新しながら継続して実施していく。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
骨太クッキング講座	11月15日	1回	福祉健康	成人	4人	【内容】 ・骨太をテーマにした献立について、その効果などを学習しながら調理実習を行う。 【ねらい】 ・調理技術の向上 ・骨太料理を通して健康への関心を高める。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会と共催で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・参加者は少なかったが、その中で食改の活動に興味を持った方もいたため、良い機会となった。 ・参加者の料理講座への関心は高く、また開催してほしいとの声も多く聞かれた。 【今後の方針】 ・今後も参加者の健康づくりに資するような料理講座を、食生活改善推進協議会と連携を密にして開催していきたい。	
餅つき大会	12月9日	1回	地域事業 (文化)	青少年	50人	【内容】 ・餅つきの体験と南京玉すだれのパフォーマンス、昔ながらのお正月遊び体験を行った。 【ねらい】 ・昔ながらの臼と杵を用いた餅つきの体験を通して、食文化の伝承を図り、子どもから高齢者まで地域住民の交流を深めるもの。	【準備過程】 ・実行委員会を組織し、企画運営を行った。 【共催団体等】 ・公民館文化委員会 ・子ども会育成会 ・食生活改善推進協議会 ・民生主任児童委員 ・日赤奉仕団	【評価と反省】 ・感染症予防策を徹底した上で開催した。 ・餅つき体験はもちろん、お正月遊び体験も賑わいを見せ、また参加したいという声も多かった。 ・調理の人手が足りず、新たに日赤奉仕団の方々にもかかわってもらった。次年度以降は正式に実行委員会に組み込んで協働していきたい。 【今後の方針】 ・若い世代の方々が地域にかかわるきっかけとしていくためにも、今後も継続して実施したい。	
食育視察研修	12月14日	1回	福祉健康	成人	12人	【内容】 ・養命酒駒ヶ根工場を訪れ、工場見学や健康に関する学習を行う。 【ねらい】 ・食と健康の関係について学び、参加者の食育に寄与する。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・参加者の満足度は高く見えたが、食改会員の参加者は1人と少なかった。 【今後の方針】 ・食育に関する視察研修は今後も継続していきたいが、共催の在り方については要検討。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「まつもと日和」上映会	1月29日	1回	地域文化	その他	26人	【内容】 ・地域映画「まつもと日和」の上映会 【ねらい】 ・懐かしい地元の光景を振り返ることで、自分の住む地域への関心や郷土愛を醸成する。	【準備過程】 ・第一地区地域づくりセンターと共同で企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・まつもとフィルムコモンズ	【評価と反省】 ・終了後の座談会では映画の内容に感銘を受けた方や思い出話を懐かしそうに語る方もおり、地域に対する愛着がさらに増した様子だった。 【今後の方針】 ・映像の使用料等の経費については懸念があるが、次回作も制作されるとのことなので、地域のニーズに合わせて開催を検討したい。	
多文化料理講座	2月20日	1回	人権平和	成人	9人	【内容】 ・揚げ春巻き「ネムラン」などのベトナム料理を、現地出身の講師から調理方法などを学ぶ。 【ねらい】 ・体験を通して異文化を学ぶことで、多文化共生の意識を養う。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会の委託料を活用。講師はベトナム出身のイエー氏。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・参加者の多文化に対する興味関心は高く、「次は別の国の料理も作ってみたい」との声も聞かれた。 【今後の方針】 ・引続き料理講座に限らず、多文化共生をテーマとした講座を企画していきたい。	
第3回合同歩いて探そう！お宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	その他	44人	【内容】 ・市内の見どころがちな史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡について学んだ。 【ねらい】 ・歩いて史跡をめぐり、地域を再発見することで、地域愛を醸成する。 ・参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。	【準備過程】 ・市内6地区公民館主事を中心に、公民館長の協力を得て企画検討を行った。 ・各地区内広報、および市公式LINEで周知した。 【共催団体等】 ・第二、第三、東部、城東、大手公民館 ・第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター（福祉ひろばを含む）	【評価と反省】 ・6館合同の企画としての開催であったが、各館協力し合い参加者からも好評であった。 ・コースは昨年度と同じくらいの長さとしたが、参加者の中には「距離が長くて疲れてしまった」との声も聞かれた。 ・「いつも知ってる道から1本知らない道に入るだけで全く知らない景色になってびっくりした」との感想もあり、参加者の地域の魅力の再発見につながった。 【今後の方針】 ・参加者からは概ね好評であったので、次年度以降も継続して開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
かんたんストレッチ	通年	12回	福祉健康	成人	213人	【内容】 - 健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のための正しいストレッチ方法を学んだ。 【ねらい】 - 運動初心者向けの講座として開催し、定期的実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。	【準備過程】 - 講師と職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 - 福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 - 筋力アップのための体操を中心に、参加者の体力維持に役立った。 【今後の方針】 - 体力維持ができるよう、講師にプログラムの内容を相談しながら、実施していきたい。 - 講師謝礼の予算等の都合上、来年度からは午前午後の開催から、午前みの開催とする。	
すくすくひろば	通年	12回	子育て	家庭教育	107人	【内容】 - 未就学児と保護者を対象に、英語や親子体操、季節の行事などを取り入れ異なるテーマで、学びや遊びを実施した。 【ねらい】 - 就学前の子どもと保護者が気軽に交流できる場を設け、子育ての不安や悩み事が相談できる場として、子育て支援の推進を図る。	【準備過程】 - 職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 - 民生児童推進協議会、食生活改善推進協議会、福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 - 親子で楽しく交流する機会となった。 【今後の方針】 - 企画運営の大半を福祉ひろばが担っている現状から検討した結果、来年度以降は福祉ひろばの主催事業とし、公民館は適宜協力という形とする。	
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 - 地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だよりの」を、広報まつもとの配布に合せ毎月発行した。 【ねらい】 - 町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図り、地域の活性化に向ける。	【準備過程】 - 町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 【共催団体等】 - 町会連合会	【評価と反省】 - 地区事業の周知報告や住民の生活にかかわる情報など、地域に身近な情報紙として発行することができた。 【今後の方針】 - より多くの地域住民に見てもらえるようにするため、広報委員会で検討をしていきたい。	

令和5年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報の発行	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他		【内容】 ・「第一地区版」公民館報を2カ月毎に編集発行した。 【ねらい】 ・地区の諸活動を記録、共有するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。	【準備過程】 ・発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討した。 ・視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載した。 【共催団体等】 ・館報委員会、視聴覚委員会	【評価と反省】 ・記事の感想などをいただく機会もなく、本当に読んでもらえているのか疑問視する委員もいる。読者の興味を惹くような記事の作成や周知活動を検討する。 ・各委員とは、館報委員会以外でもコミュニケーションを図り調整した。毎月号発刊日を厳守することができた。 【今後の方針】 ・地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。	
公民館委員会	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	99人	【内容】 ・運営、館報、文化、視聴覚など、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 【ねらい】 ・住民主体の公民館活動を推進する。	【準備過程】 ・委員会ごとに随時開催した。	【評価と反省】 ・委員会を開催しても出席者は毎回決まっており、人によつての地区に対する関心の高さの違いが浮き彫りになっている。 【今後の方針】 ・状況を見ながら、委員会活動の充実を図っていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

第二地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症予防対策として、講座の前に消毒や換気を徹底した。また、コロナ禍で今年度も中止を余儀なくされた盆踊りも、中止までの意思決定のプロセスを評価したい。コロナ禍にあっても開催できた事業は感染拡大防止に配慮しながら取り組んだ。 新規事業として定着した感じのあるボッチャ大会を気軽に取り組めるスポーツとして地区内での認知度を上げていきたい。 昨年度、初めて取り組んだ合同三九郎は、伝統行事に参加する体験と多世代交流と捉えて地区行事として定着させていきたい。										通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施して欲しいとの声があるが、新規講座を実施する財源を確保するためにも長年続く講座はサークル化を促す等、自立した運営ができるよう働きかけていく必要がある。 令和2年度に発足した歴史文化継承委員会の活動により地区内18件の文化財が「まつもと文化遺産」に認定された。これ契機に地区の文化財・歴史に関心をもっていけるような事業を展開していきたい。 新型コロナウイルスの感染症対策の影響はこれまでよりも弱まっていくことが予想されるが、地区を挙げて取り組む盆踊り大会・文化祭の開催形態を改めて検討し、安心して参加できる公民館事業としていきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	0	5	1	3	4	0	2	0	1	2	2	0
延べ参加人数	12	0	0	197	19	959	453	0	26	0	230	100	58	0

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歌で健康力アップ講座	通年	23回	趣味教養	成人	545人	【内容】 木次由美子先生の指導で、懐かしい曲を中心にオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら、発声により健康促進を図る。 【ねらい】 発声による健康増進と、合唱を通じて住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知 【かたくりコンサートへの参加】 講座の一環として「かたくりコンサート」に出演。出演に向けた練習、発表の場を持つことで受講者の意欲が高まっている。 【第二地区文化祭への出演】 ステージ発表午後部のメインとして認知され、好評を博している。	【評価と反省】 大人気講座。第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて・・・）」は、当講座から生まれた曲である。今では、第二地区の各種行事で地域住民が歌い、地域に定着している定番の地区オリジナル曲となっている。 【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルへ移行できるように働きかけていく。	
にこにこ体操講座	通年	30回	スポーツ	成人	331人	【内容】 太極拳の動きを取り入れたストレッチを中心に、体力維持・健康増進を目的とした体操教室。 【ねらい】 高齢者の健康促進、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知 ビデオ体操を取り入れ、“特別企画”として体力測定・フレイル健診を実施し、健康維持への関心を喚起している。	【評価と反省】 参加者は高齢者が多く、日常生活の中で無理なく健康管理ができると好評。高齢者の転倒防止や膝・腰痛予防にもなり、人気の講座として定着している。 【今後の方針】 ビデオ体操のプログラムの充実させながら自主サークルに転換していけるよう働きかけていく。	
やさしい手話講座	通年	22回	趣味教養	成人	166人	【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。 【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立てるよう手話を習得することを図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知 【第二地区文化祭への出演】 歌で健康力アップ講座とタイアップして、合唱の歌詞を手話で表現する等、手話講座のPRに務めている。	【評価と反省】 手話を通じて聴覚障害者の方々とのコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきており、日常会話等ができるようになってきている。 【今後の方針】 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保を図りながら、継続して実施したい。	
楽しいパソコン講習会	通年	24回	趣味教養	成人	201人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座。 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知	【評価と反省】 ゆっくり丁寧に、一人ひとりにやさしく指導していただいており、好評を得ている反面、「自分が望むレベルの講習会ではない」との声もある。 【今後の方針】 「一緒にパソコンを習っている」ということに充足感を感じている受講者が大半であることから、講師が講師謝礼を負担する自主運営に移行する。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史文化継承委員会	通年	12回	地域文化	その他	60人	【内容】 令和2年度に公民館五部門委員会とは別に地区内の歴史文化を継承し、文化財の保護活用に資する団体として組織した委員会。 第二地区歴史史談会を前身とする歴史文化継承専門委員と町内公民館長を委員とする歴史文化継承委員で構成している。 【ねらい】 令和5年度は専門委員会を主体に歴史文化財マップ及び解説書の改訂版を発行し身近な文化財への理解を深めていく。	【準備過程】 令和4年7月に深志神社を中心とする文化財18件を「まつもと文化遺産」として認定されるよう申請。同年11月にの認定を受けた。認定文化財を中心に紹介する文化財マップ及び解説書の編集に着手し、令和5年11月に歴史マップ、令和6年3月に解説書を発行した。 【協力団体】 「まつもと文化遺産」認定に向けて文化財課の指導・助言を仰いだ。	【評価と反省】 歴史マップ及び解説書は平成13年度に作成したものを改訂版として発行した。「まつもと文化遺産」認定に経過・改訂版発行に至るまで地区内の個々の文化財管理者に指導・協力を仰いだほか、関連する講演会を開催する等、地区内の文化財保存活用の機運を高める契機となった。 【今後の方針】 歴史マップ・解説書を活用して歴史文化継承委員会の構成員でもある町内公民館長を通じて個々の町会で身近な文化財に親しむ機運を広めていく。	
図書コーナーの図書入替	5月 11月	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	14人	【内容】 図書視聴覚委員会の活動として、年2回、図書コーナーの図書 500冊を入れ替えるため、中央図書館へ図書を返却し新たに団体貸し出しを受ける。 【ねらい】 地区住民への身近な場所での読書機会の提供。豊志聴覚委員の活動活性化	【準備過程】 ・団体図書借受けの日時を中央図書館と調整 ・図書の運搬手段の確保 ・読みたい本の要望の聞き取り	【評価と反省】 図書視聴覚委員会の活動として定着しており、公民館図書コーナーでの本の貸し借りには一定の需要がある。読みたい本のリクエストを受ける、書架の整理をしながら人気の図書の傾向を掴む等を委員会の活動に織り込みたい。 【今後の方針】 図書コーナーのリニューアル等、図書視聴覚委員の活動の機会を設け、同委員会の存在感をアピールしていく。	
ポッチャ大会	5～11月	4回	スポーツ	高齢者	87人	【内容】 パラスポーツとして注目されているポッチャの協議を体験するとともに、参加者の交流、健康増進を図る。 【ねらい】 公民館の大会議室にポッチャコートを作製し、公式ルールよりも小さなコートとすることで高齢者にも親しみやすいスポーツであることを体験してもらう。	【準備過程】 コートの補修（ラインの貼り直し） 公民館だよりでの周知 【共催団体】 公民館体育委員会の主管とし、福祉ひろば、町会連合会、健康づくり推進委員会と共催 社協第二地区支会協賛	【評価と反省】 ポッチャ大会に取り組んで3年目。ポッチャに慣れ、審判もできる参加者が増え、戦力的にゲームを進める等、スポーツとしての楽しみも増しているが、参加者の固定が目立ってきている。 【今後の方針】 気軽に取り組めるスポーツであること等を周知し、新規の参加者を増やすとともに、それに応じて大会の回数を増やしていく。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
押し絵雛講習会	6～8月 11月	9回	地域文化	成人	36人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、本格的な松本押し絵雛を作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵雛」を学び、その文化と技術を身近に感ずるとともに、その楽しさを継承していく。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け。 6～8月は時間をかけて製作に取り組み教材を選定 11月は新年を飾る干支押絵を1日で製作できる教材とした	【評価と反省】 受講経験者と初心者では技量の差があるため、参加者同士が助け合うなどして、全員が完成させることができた。「同じ教材を作りながらも出来栄はそれぞれ」という点も受講者相互の交流の種になっている。 【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。	
マレットゴルフ大会	6～12月	4回	スポーツ	成人	65人	【内容】 マレットゴルフ 【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。	【準備過程】 体育委員等と会場、当日の日程を打合せた。 公民館だよりと口コミで周知 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 野外で体を動かす爽快感を楽しみに、誘い合って参加するという仲間づくりにもなっている。コースの選定等、バスでの移動に頼らない開催方法を検討する。 【今後の方針】 参加者の声を参考にしながら今後も継続実施し、参加者のすそ野を広げていく。	
わらび狩りウォーキング	6月7日	1回	その他	成人	15人	【内容】 小谷村でわらび狩りを兼ねたウォーキングを実施 【ねらい】 傾斜地を歩くことで通常よりも足腰に負荷がかかるウォーキングができ、旬の山菜を探す季節感を感じながら参加者間の交流を図る。	【準備過程】 公民館だよりとともにわらび狩りの募集チラシを回覧受け入れ先との調整 【協力団体】 福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の大半が70代以上の高齢者だったが、事故なく事業を完了できた。参加者はわらび狩りを楽しみながら交流していた。安全対策・救護体制を整える必要性が増してきている。 【今後の方針】 高齢者にも人気の事業であり、安全の確保に配慮しながら継続していきたい。	
盆踊り大会	8月12日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	400人	【内容】 第二地区の恒例行事として毎年8月12日に開催。令和4年度で21回を数える。 【ねらい】 子どもから大人まで、地域住民が集える機会の提供。相互の親睦を深め、地域の活性化と地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 昨年同様、新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながらの準備となった。 実行委員会及び資材の手配等に延べ52人が参加して打合せ、当日までの準備を進めた。 【協力団体】 実行委員会を通じて地区内の事業所等に協賛を依頼した。	【評価と反省】 昨年は「新型コロナウイルス感染警戒レベル4以上で中止」の申合せのもと、3回目の中止となった盆踊り大会。事故なく4年ぶりに開催できた。地区独自の行事のノウハウが継承されていると評価できる。 【今後の方針】 開催のノウハウ・情報収集の仕組みを確実に継承しながら伝統行事として続けていきたい。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウォーキング&自然観察会	8月7日	1回	環境	成人	19人	【内容】 美ヶ原高原の昔ながらの放牧地でウォーキングと自然観察を行う。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進、環境保護の意識の高揚を図る。	【準備過程】 講師の依頼 ウォーキングコースの選定 公民館だよりで地域住民へ周知 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 身近にありながら、日頃行く機会のない美ヶ原高原でのウォーキングで心身のリフレッシュと参加者の交流ができた。 ウォーキングコースとしては距離が短めの設定ではあるが、参加者の年齢層を考慮した結果であり、適当であったと考える。 【今後の方針】 高齢者にも無理のないよう距離を短縮しながらも十分に自然観察ができるようコースを工夫した。同様の配慮をしながら継続していく講座としたい。	
第二地区文化祭	11月11日	1回	地域事業 (文化)	その他	309人	【内容】 地区住民・公民館利用団体が作品展示、ステージ発表で日頃の文化活動の成果を発表し、互いに鑑賞しあって交流を深める文化事業。 【ねらい】 昨年に続き1日での開催となった文化祭のあり方、準備から当日の運営方法を確認しながら今後の開催形態の検討材料とする。	【準備過程】 盆踊り大会同様、新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながら開催の可否を検討。 →昨年同様1日での開催。場内の飲食禁止等の感染防止策を講じて開催 【共催団体】 第二地区内各種団体	【評価と反省】 昨年同様、規模を縮小した開催だったが、作品も予想より多くの点数が出品され、子どもの作品が来場者の目を引いていた。 1日の開催でよいとする声と展示期間が1日では寂しいという声があった。 【今後の方針】 次回以降の開催規模、役員体制の再検討等、「ウィズコロナ」の開催形態を検討する。	
そば打ち講習会	11月16日 11月30日 12月 8日	3回	地域文化	成人	10人	【内容】 年末を控え、そば打ちに関心が高まる時期でもあり、例年11月から12月にかけて実施するそば打ち講習会 【ねらい】 20年来続いている講習会であり、参加者が相互に教えあう場面もあるため、参加者同士の交流の機会としている。	【準備過程】 公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知	【評価と反省】 参加者の技量は様々だが、初心者でもそばの形になるように指導していただいている。講師が勇退されたので、指導者の発掘が必要になっている。 【今後の方針】 信州の郷土食ともいえるそば打ちを体験する機会として継続していきたい。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史文化継承講演会	11月25日	1回	地域文化	成人	23人	【内容】 松本文書館の窪田特別研究員を講師にまつもと文化遺産認定記念講演「描かれた天神さま、記された深志神社」を開催 【ねらい】 まつもと文化遺産認定を契機に、第二地区の歴史文化の継承への関心を高める。	【準備過程】 講師依頼 チラシを作成し、地域住民へ周知	【評価と反省】 歴史文化講演会は令和2年度から開催しており、毎回、テーマを変えて第二地区の歴史を解説しており、地区の文化財・歴史への関心を喚起している。 【今後の方針】 講演にとどまることなく、第二地区歴史マップ・解説書の改訂版と合わせて身近な文化財への関心を高める活動を継続していく。	
ボウリング大会	12月4日	1回	スポーツ	成人	21人	【内容】 地区内へ広く参加者を募って実施するボウリング大会。4～5名で1チームとすることでチーム内の交流を図る。 【ねらい】 公民館から離れて実施することで日頃、公民館を利用しない参加者にも訴求し、参加者の裾野を広げる。	【準備過程】 12月第1日曜日を実施日として定着させている。 公民館体育委員が会場手配、当日の設営等を担当 【共催団体】 第二地区福祉ひろば 社協第二地区支会協賛	【評価と反省】 会場までの交通手段の確保、会場使用料が発生するため参加の要件があることはマイナス要因だが、親子での参加や公民館へ足を運ぶ機会のない人の参加もあり、公民館事業の一形態として積極的な評価をしたい。 【今後の方針】 「12月の第1日曜日開催」を継続し、第二地区の事業として、より一層の定着を図る。	
町内公民館長会 視察研修	12月9日	1回	その他	その他	11人	【内容】 町内公民館長の研修・交流の機会としてバスを使って遠距離を移動する視察研修を実施。 【ねらい】 町内公民館長自身の文化活動への関心の惹起、人権学習等の経験を町会へ持ち帰ってもらうこと等を目的とする。	【準備過程】 町内公民館長会三役を中心に研修地の選定及び日程を設定する。今年度も人権啓発推進協議会と共催できるよう研修地を選定した。 (青木村：五島慶太未来創造館・貞享義民館) 【共催団体】 第二地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 仕事を持つ町内公民館長が多く、平日の研修に参加できる人数が限られるため、人権啓発推進協議会視察との合同研修とする等で、地区内の役員同士の交流を図っている面がある。 【今後の方針】 視察研修という形態にこだわらず、身近な場所での学習会を実施できるよう検討していく。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第二地区合同三九郎	1月14日	1回	地域事業 (その他)	その他	120人	【内容】 子ども会育成会が主体の合同三九郎。子どもが少ない若しくはいない町会が増え、第二地区内18町会のうち町会独自に三九郎を実施できるのは3町会のみという現状があるため、第二地区公民館、町会連合会も参画して地区合同の三九郎を実施。 【ねらい】 伝統行事の体験と多世代交流を通じて地域への愛着を涵養する。	【準備過程】 子ども会育成会で役員の役割等、分担を決定 公民館玄関に松飾の回収ボックスを設置し、松飾の収集を受け入れる。 当日、松飾の解体、だるまの底抜き、櫓の組立指導をしていただけた方の依頼 【協力団体】 第二地区長会連合会 第二地区地域づくり協議会	【評価と反省】 今年で3回目となる試みに町会連合会、地域づくり協議会、公民館が参画した。 昨年からだるまの底抜き、櫓の組立になるべく子どもが手を出せるよう工夫している。安全に配慮しながら町会長等が指導し、多世代交流の要素もあり地区内の協力体制が得られていることを評価したい。 【今後の方針】 第二地区の地区行事として定着するよう、公民館も来年度以降も実施していく。	
人権啓発推進協議会視察研修	3月11日	1回	人権平和	その他	11人	【内容】 人権啓発推進協議会の事業として実施。公民館は研修地の選定及び資料づくり等で参画している。地域づくり協議会、町内公民館長会との合同研修。 【ねらい】 地区内で指導的な立場を担っている役員が主な対象となり、人権学習の機会を提供することで円満な地域づくりの一助とする。	【準備過程】 人権啓発推進協議会三役を中心に研修地の選定及び日程を設定する。 バス内での事前研修の資料作成を公民館が担当 【協力団体】 第二地区地域づくり協議会 町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は甲府市少年鑑別所を研修地とし、地区内の民生委員児童委員経験者が参加。参加者に合わせた研修テーマが好評だった。 【今後の方針】 公民館として人権学習の機会を広く提供していけるよう、学習テーマと対象者のマッチングを意識したテーマ設定をしていく。	
居酒屋こうみんかん	7～11月	5回	地域事業 (その他)	その他	159人	【内容】 地域のコミュニケーションの場として第二地区公民館視聴覚室他で開催。 住民の交流と、気楽な意見交換が自主的な地域活動等につながっていくよう語らいの場を提供する。 【ねらい】 会議や事業開催の場としてではなく公民館に足を運び、居酒屋気分の気軽な会話から地域活動のヒントを見出せる場とする。	【準備段階】 令和2年度から開催する予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていた。同ウイルスの感染症の扱いが5類になったことを機に開催に踏み切った。 【協力団体】 町会連合会・福祉ひろば・地区内有志（飲物、ツマミの提供等）	【評価と反省】 ツマミは持ち寄りを想定していたが、思いのほか豪華なものが集まり、参加者には好評。参加者同士の会話も盛り上がる等、活気のある集まりになった。飲食が主な目的になっていると思われる参加者も散見されるが、地区の話題で活発なやり取りがされている場面も多かった。 【今後の方針】 継続を望む声が多く、地域活動につながるコミュニケーションの場として6年度も開催する。	

令和5年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第2回 歩いて探そうお宝探訪 ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	その他	45人	【内容】 地区内の見過ごしがちな史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡について学ぶ。 【ねらい】 歩いて史跡をめぐって地域を再発見することで、地域愛を醸成する。参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。	【準備過程】 市内6地区公民館主事を中心に、公民館長の協力を得て企画検討を行った。 各地区内広報、および市民タイムスで周知した。 【共催団体等】 第一、第三、東部、城東、大手公民館及び第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター（福祉ひろばを含む）	【評価と反省】 6館合同の企画としての開催であったが、各館協力し合い参加者からも好評だった。 今回は主に第三地区の文化財チェックポイントとしてコースを設定。3回目の開催で参加者も慣れてきたのか、コースの距離は適当だったと思われる。時間調整をして上位入賞を狙う等の駆け引きがあり、全体の進行に影響がでた。 【今後の方針】 参加者から好評を得ており、ルール工夫をしながら協力体制を組んで合同開催をしていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

第三地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 コロナが5類になったことから、コロナ禍で中止になってしまったイベントを徐々に再開していく1年にする。感染症対策を取りながら、コロナ以前の活気を取り戻すため、住民同士の交流の機会を設け、地区の活性化を図る。 2 講座参加者が固定された傾向にあり、より幅広い層に公民館を利用してもらう仕組みづくりが必要である。そのために、地区住民とコミュニケーションをとったり地域課題を把握することで、様々な世代のニーズに見合った講座を展開する。 3 公民館を訪れない人や公民館講座に参加しない人の多くには、公民館がどんなことをしているのか分からないといった声を聞く。多くの方に公民館を知っていただくこと、また講座参加への敷居を低くするためにSNSや動画投稿サイトを活用し、広く公民館活動について知ってもらう。										1 今年度はコロナにより中止した企画は無く、地区の3大行事も復活した。新たな事業として居酒屋公民館を開始し、地区住民の集まる場を増やすことができた。 2 毎年恒例となっている講座を行いながら、新しく開館した松本市立博物館への見学や地区住民から要望のあった飾り巻き寿司講座、吹矢体験講座等の講座を開催できた。また、平成29年以降行われていなかった防災訓練の実施に関連して、防災講座や避難所運営ゲームの体験講座も行うことができた。 3 松本市ホームページや地区で運営するfacebookで講座を周知し、公民館だよりが届かない人たちにも広報をすることができた。また、講座の様子を知ってもらうため、実際に開催した講座を動画にし松本市公民館チャンネル（YouTube）に投稿した。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	8	8	8	0	6	0	2	2	0	2	1	6	5
延べ 参加人数	80	260	662	385	0	108	0	63	334	0	486	250	429	759

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
清水中学校グリーンデル ワルト交流会支援	4月18日 5月 8日 5月15日	3回	地域文化	青少年	279人	【事業内容】 スイスグリーンデルワルト村の生徒と 清水中学校の生徒との交流会のなか で、七夕人形を制作する支援を行 う。 【ねらい】 七夕人形づくりを通し、伝統文化の 学習と地域住民との交流を深める。	【準備過程】 学校教育課より依頼があり、清水 中学校の美術部をはじめ、3年生 120名に七夕人形の作り方を講習。 交流会当日は3年生がグリーンデル ワルトの生徒に教える様子を見 守った。 【共催団体等】 民生児童委員協議会 学校教育課	事前の七夕人形づくりの講習では地域 の方と生徒との交流の場でわからない 箇所を気軽に聞いて学ぼうとする姿勢 が素晴らしかった。交流会当日は、英 語を使って積極的にコミュニケーション をとる姿があり、とても貴重な体験 になった。	○
源池小学校稲作体験支 援	5月17日 5月24日 9月27日 10月 2日 11月 1日	5回	その他	青少年	160人	【事業内容】 5年生を対象に学校内にある田んぼ で、代掻き、田植え、稲刈り、脱穀 の体験を行う。 【ねらい】 農業・自然環境に対する関心を高め る。	【準備過程】 講師、源池小学校と日程調整	11月の収穫祭では、お米作りに関わ った地域の方と放課後クラブ活動で講師 をしている地域の方を招待いただき、 ミニゲームでの交流会の後、1年かけ て作ってきたお米と一緒に食べる機会 をいただけた。	○
親子ウォーキング& プラネタリウム鑑賞会	5月20日	1回	子育て	青少年	11人	【事業内容】 親子でウォーキングを楽しみ、教育 文化センターのプラネタリウムで星 空の学習をする。 【ねらい】 ウォーキングによる健康増進と自然 観察	【準備過程】 体育委員会で企画し、公民館だよ りで周知、あがた児童センターで チラシ配布	親子を対象としたが、子どもが3名と 参加が少なかった。土曜日の午前中は 習い事などがあり集まりにくい可能性 があるため、日程など検討が必要。プ ラネタリウムは子ども向けのプログラ ムの時間に合わせて講座を開催した。	
清水中学校まちめぐり	6月1日	1回	子育て	青少年	90人	【事業内容】 1年生を対象に市内各所を巡り、い われや歴史などについて学ぶ。 【ねらい】 自分たちの住んでいる地域について 知ること、地域についての関心を 高める。	【準備過程】 清水中学校より依頼があり、第三 地区まちづくり協議会へ講師を依頼 【共催団体等】 第三地区まちづくり協議会	中学1年生の総合的な学習として毎年 恒例となっている。第三地区の歴史に ついて知れるとても良い機会となっ た。	○

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第三地区まちあるき講座 ～あがたの森に詳しくなろう～	6月2日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 あがたの森を散策し自然観察をする。 【ねらい】 あがたの森周辺の自然・歴史文化について講師の説明を聞きながら散策することで、地区住民に地域の魅力を再発見してもらう。	【準備過程】 生活・文化委員会で企画し、公民館だよりで周知	大雨のため中止	
第19回あがたの森水無月コンサート	6月11日	1回	地域事業 (文化)	成人	216人	【事業内容】 あがたの森文化会館で地区の音楽団体による演奏会を開催する。 【ねらい】 住民同士、また住民と児童生徒との交流を図る。	【準備過程】 第三地区町内公民館長会で企画し、チラシ、ポスター、公民館だよりで周知 【共催団体等】 第三地区町会連合会	コロナの影響により4年ぶりの開催となった。地区内の小中学校の合唱部、ハーモニカ、草笛会などの地域の音楽団体に出演いただき、大盛況の演奏会となった。	
源池小学校クラブ活動支援	6月26日 7月10日 9月4日 10月2日	4回	子育て	青少年	210人	【事業内容】 地区住民が源池小学校のクラブ活動(手芸や将棋など)の指導を行う。 【ねらい】 地区住民・児童との交流を図る。	【準備過程】 源池小学校より依頼があり、地区住民から講師を派遣	子どもたちは興味のあるクラブ活動を楽しむことができ、地域住民には子どもたちに教えるやりがいを感じていた。	○
青山様・ぼんぼん講習会	7月6日	1回	子育て	青少年	19人	【事業内容】 ぼんぼんと青山様の由来について講習を行う。 【ねらい】 コロナ禍で中止になっていた青山様・ぼんぼん再開に向けて、その由来などを学習するもの。	【準備過程】 まちづくり協議会より依頼があり、講師を依頼 【共催団体等】 第三地区まちづくり協議会	各町会で子どもたちが青山様・ぼんぼんを行っていたが、コロナ禍で中止が続いていた。コロナが明け、当時の子どもたちは卒業してしまったので、保護者向けに講習を行ない、青山様・ぼんぼんについて知ってもらう機会となった。	
居酒屋公民館	7月21日 8月25日 9月22日 10月20日 11月22日 1月26日 2月22日 3月22日	8回	その他	成人	174人	【事業内容】 料理と飲み物を持ち寄り、地域住民のコミュニケーションの場とする。 【ねらい】 普段公民館を利用する機会の少ない方にも気軽に公民館に来てもらい、地域住民の交流を深める。	【準備過程】 公民館主催事業として企画し、公民館だよりで周知	各回20名前後の参加があり、とても盛り上がっている。公民館長のお手製料理をはじめ、地区の方が持参した料理をいただきながら、飲み会にケーションの場として大盛況である。今後も交流の場として引き続き行なっていきたい。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み自習室	7月25日 ～8月17日	8回	子育て	青少年	6人	【事業内容】 中高生を対象に、自習室として公民館の会議室を開放する。 【ねらい】 夏休み期間中の子どもたちの居場所づくり、学習環境の提供、公民館を身近な場所であると感じてもらう。	【準備過程】 公民館主催事業として企画し、公民館だよりで周知、町内回覧、近隣の中学校・高校へチラシを配布	学校へチラシを配る等の周知もしたが、利用者数が少なかった。中学生から市長への提言にもあったことから自習のできる場を必要としていることはわかっているのので、開放日や周知方法等を再度検討し、公民館に来てもらえるように工夫が必要である。	
第21回あがたの森夏まつり	8月4日	1回	地域事業 (その他)	成人	250人	【事業内容】 あがたの森公園で夏まつりを開催（各町会の出店、子どもたちによる青山様・ぼんぼん） 【ねらい】 住民同士の交流を図りつつ、青山様・ぼんぼん等伝統文化を次世代に継承する。	【準備過程】 夏まつり実行委員会（町会長・町内公民館長）で企画し、公民館だより、チラシ、ポスターで周知	コロナが明け4年ぶりの開催となった。地区の子どもたちによる青山様・ぼんぼんと各町会役員による出店の運営で、大変盛り上がった。	
認知症講座4回シリーズ「認知症を知る・共に生きる」	8月 8日 9月12日 10月10日 11月14日	4回	福祉健康	成人	125人	【事業内容】 松本市立病院の出前講座として認知症に関する講座を行う。 【ねらい】 自分や身近な人が認知症になっても共に笑顔で生きていくため、認知症に対する理解を深めるもの。	【準備過程】 第三地区支援企画会議で企画し、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松本市立病院	認知症とは何か？から始まり、認知症者の気持ちの体験や、認知症の方とどのように共生していくかということまで幅広く講習いただけた。参加者も多く、認知症について学びたいという意識の高い方が大勢いることが分かった。	
ウォーキング講座 ～上高地を歩こう！～	8月23日	1回	福祉健康	成人	29人	【事業内容】 上高地で自然観察をしながらウォーキングを行う。 【ねらい】 自然豊かな上高地をウォーキングすることで、住民同士の交流を深めながら健康増進を図る。	【準備過程】 体育委員会で企画し、公民館だよりで周知	人気の講座のため抽選で募集を行うこととしたが、ちょうど定員数の応募だったため抽選をせず、全員参加することができた。歩くことに支障のある方の申込みがあったため、来年度はウォーキングができない方の参加は受け付けない旨を記載して募集したい。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
草木染めの糸を使って てまりを作ってみませんか？	8月29日	1回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 草木染めの糸を使ったてまりづくり。 【ねらい】 伝統文化の継承、てまりづくりを身近に感じてもらう。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	申込みが少なかったため、地区外の方でも参加できるような周知方法を考えたい。参加者からは好評だったためまた企画したい。	
源池小学校社会科講習	9月7日	1回	子育て	青少年	20人	【事業内容】 3年生の社会科の授業で、農家の仕事について講習した。 【ねらい】 農業について関心を高める。	【準備過程】 源池小学校から依頼があり、地区住民から講師を派遣	ブドウ農家さんから実体験を含んだ農家の仕事について講習をうけ、子どもたちも興味を持って話を聞いていた。	○
背骨コンディショニング 体験講座	9月14日	1回	福祉健康	成人	12人	【事業内容】 背骨コンディショニングで歪んだ背骨の矯正体操を行う。 【ねらい】 背骨コンディショニングで体の歪みを取り、体の不調箇所を改善、簡単なセルフケアを学び、健康増進につなげる。	【準備過程】 生活・文化委員会で企画し、公民館だよりで周知	定員を超える応募があり参加者からも好評な講座だった。肩こりや腰痛に悩んでいる方が多く、講座後に症状が和らいだと体感されていた。	
防災講座 ～地域で助け合う避難 所運営の仕方～	9月20日	1回	防災	成人	30人	【事業内容】 危機管理課の出前講座で避難所運営について学ぶ。 【ねらい】 地区の防災訓練に向けて、住民が主体となる避難所開設・避難所運営の仕方を学ぶ。また、もしもの災害時に備え、今からできること等を今一度確認し、防災への意識を高めてもらうもの。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知 【共催団体等】 危機管理課	避難所運営委員の方が多く参加していて、避難所開設訓練に向けて意識が高まってきていると感じた。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
モルック講習会	9月29日	1回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 フィンランド発祥のニュースポーツ「モルック」の体験会。 【ねらい】 モルックを通し、地域住民の交流を図る。	【準備過程】 まちづくり協議会で企画し、公民館だよりで周知 【共催団体等】 第三地区まちづくり協議会	初めて体験される方がほとんどであったが、楽しくプレーされていた。点数を考えながらプレーするので脳トレにもなり、よい機会となった。	
手描友禅体験会 ～信州ぼかし染めでランチョンマットを作ろう～	10月11日 10月25日	2回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 第三地区作品展に向けた作品制作。 【ねらい】 第三地区作品展に向けた作品制作の機会を作るとともに、講座を通じて住民同士の交流を図るもの。	【準備過程】 町内公民館長会で企画し、町会から1名ずつ参加してもらうよう声がけを行なった。	昨年度に引続き手描き友禅で作品を制作したが、初めての参加者も多く、集中して作品制作に取り組んでいた。予定よりも時間がかかってしまったので、講座の設定時間は講師と調整が必要。	
秋の世代間交流スポーツ講座	10月21日	1回	福祉健康	その他	49人	【事業内容】 世代間交流をしながらモルック、ボッチャ、グラウンドゴルフをプレーする。 【ねらい】 世代を問わずみんなで遊べるレクリエーションを通して地域住民の健康づくりと住民同士の交流を図るもの。	【準備過程】 体育委員会で企画し、公民館だよりで周知。地区内の小中学校や児童センターへチラシ配布 【共催団体等】 あがた児童センター	49名のうち子どもが15名。大勢の子どもに参加いただけたので、スポーツを楽しみながら世代間交流をすることができた。あがた運動公園多目的広場での開催で、広い場所でのびのびと運動ができ、とても良い機会となった。	
秋のまちあるき講座 ～あがたの森を散策しよう～	10月24日	1回	地域文化	成人	7人	【事業内容】 秋のあがたの森を散策し自然観察をする。 【ねらい】 あがたの森周辺の自然・歴史文化について講師の説明を聞きながら散策することで、地区住民に地域の魅力を再発見してもらう。	【準備過程】 生活・文化委員会で企画し、公民館だよりで周知	人数が少なめではあったが、講師が一人ひとりの質問にしっかり答えられる余裕があり、少ない人数での開催がちょうど良かった。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本市立博物館へ行こう！	11月10日	1回	地域文化	成人	16人	【事業内容】 松本市立博物館の見学。 【ねらい】 住民同士が交流しながら松本の歴史文化を学び、地域住民の教養の向上を図る。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知 【共催団体等】 博物館、市民ボランティア	半日で定員に達してしまう大人気講座だったため、また企画したい。特別展は見学しない人がいたため、講座では常設展のみの見学というやり方で良かった。	
第24回第三地区作品展	11月25日 11月26日	1回	地域事業 (文化)	成人	270人	【事業内容】 地区住民の作品の展示や近隣の小中学校の様子をまとめたDVDを上映。 【ねらい】 地区住民の日頃の活動、学習の成果の展示を行い、住民相互の親睦と交流を目的に開催	【準備過程】 町内公民館長会で企画し、公民館だより、チラシ、ポスターで周知、町内公民館長に地区住民の作品を集めてもらい当日展示してもらう。 【共催団体等】 第三地区町会連合会	例年はあがたの森文化会館での開催をしていたが、今年度は勤労者福祉センターでの開催となった。準備や会場の明るさを考えると勤労者福祉センターでの開催のほうが良いが、集客が課題となった。今年度は新たにイオンモール松本との連携や抽選会を開催したので、それも含めて来年度は周知方法などの検討が必要である。	
林城跡（大城）に登ってみよう！	11月28日	1回	福祉健康	成人	5人	【事業内容】 林城をウォーキングする。 【ねらい】 林城の歴史文化について学びながら、地区住民同士の交流と、ウォーキングによる健康増進を図るもの。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	かなり寒かったので温かい飲み物があつたらよかった。林城について講師から解説があり、歴史を学ぶ良い機会となった。	
利用者懇談会	12月 8日 12月 9日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	160人	【事業内容】 令和6年度の公民館利用予定団体の代表者に集まっただき、公民館の利用方法などを説明。 【ねらい】 たくさんの方に気持ち良く公民館を利用いただけるように、利用方法などを徹底する。	【準備過程】 公民館とトライあい・松本で4月以降の利用方法等を調整し資料準備、開催通知発送 【共催団体等】 トライあい・松本	令和6年3月末でトライあい・松本が閉館になることから、トライあい・松本の利用団体がそのまま第三地区公民館の利用団体となるため、利用方法の説明や予約方法など改めて説明をした。説明会対象団体は178団体。	
押絵雛で来年の干支をつくろう	12月13日	1回	地域文化	成人	9人	【事業内容】 来年の干支である辰を押絵雛でつくる。 【ねらい】 松本の伝統工芸である「押絵雛」に親しみをもち、松本の文化を次世代へ継承する。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	今回は辰を制作したが、パーツが多く時間がかかってしまったので、講座の時間を余裕をもって設定するようにしたい。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
絵本と歌で学ぶSDGs	12月16日	1回	人権平和	成人	80人	【事業内容】 SDGsについての説明、人権や平和関連の絵本の読み聞かせ、平和や命の大切さ関連の合唱曲を演奏。 【ねらい】 SDGsを身近なものであると感じてもらう。	【準備過程】 第三地区人権啓発推進協議会で企画し、講師を依頼。公民館だより、チラシ、ポスターで周知 【共催団体等】 第三地区人権啓発推進協議会	SDGsという言葉は近年注目されてきたが、SDGsで取り上げられている課題というのは昔から絵本の題材として扱われているものが多い。子どもでも理解ができる「絵本」を使っの講演は、とても親しみやすく、SDGsに対する関心を高めることができたと感じた。	
しめ縄お飾りづくり講座	12月17日	1回	地域文化	成人	14人	【事業内容】 お正月のしめ縄、お飾りをつくる。 【ねらい】 お正月の伝統的な文化を地区住民に親しんでいただき、次世代へ継承していく。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	毎年開催している人気の講座。初めて体験される方も多く縄を撚るのに苦戦していたが、参加者同士で教え合いながらスムーズに撚れるようになっていたので良かった。	
まゆ玉づくり講習会	12月23日	1回	地域文化	青少年	15人	【事業内容】 三九郎に向けてまゆ玉づくりを講習を行う。 【ねらい】 三九郎、まゆ玉について学び、伝統文化を次世代へ継承していく。	【準備過程】 まちづくり協議会で企画し、公民館だよりで周知 【共催団体等】 第三地区まちづくり協議会	小学生の親子だけでなく高齢者のご夫婦にも参加いただき、三九郎の歴史やまゆ玉の由来などを学習しながら実際にまゆ玉づくりを体験した。	
プラネタリウムで冬の星空を鑑賞しよう	1月27日	1回	福祉健康	成人	13人	【事業内容】 教育文化センターまでウォーキングをし、プラネタリウムで冬の星座について学ぶ。 【ねらい】 ウォーキングによる健康増進と、プラネタリウムで星空について学ぶ。	【準備過程】 体育委員会及び生活・文化委員会で企画し、公民館だよりで周知	一般向けということで、5月の親子ウォーキングよりも距離を延ばしたが、予定よりも時間がかかってしまい、プラネタリウムの開始時間にギリギリの到着になってしまった。プラネタリウムも一般向けのプログラムを見れるように講座の時間を調整した。	
避難所運営ゲーム（HUG）に参加してみませんか？	2月6日	1回	防災	成人	33人	【事業内容】 危機管理課の出前講座「避難所運営ゲーム（HUG）」 【ねらい】 避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかをゲーム感覚で模擬体験し、住民同士が話し合いながら避難所の運営を学習する。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知。避難所運営委員には個別に通知 【共催団体等】 長野県地域防災推進協議会	カードが次々と読まれ、対応が間に合っていない班がほとんどだったが、実際に避難所が開設された場合もどんな人が避難してきて対応が間に合わなくなるのではないかと感じ、そうならないための事前準備の大切さを実感できた。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
飾り巻き寿司講座	2月15日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 ひな祭りに向けた飾り巻き寿司をつくる（お雛様、桃の花） 【ねらい】 飾り巻き寿司づくりを通し、生活文化の振興と参加者同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	細かいパーツを組み合わせるのが難しかったが、楽しく巻き寿司を作っていた。また他の季節に開催してほしいとの要望があったので、来年度も企画したい。	
町内公民館長会視察研修	2月20日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 長野市にある真田邸、松代藩文武学校、長野県立美術館を見学。 【ねらい】 歴史文化や芸術の学習とともに、地域住民の親睦を図るもの。	【準備過程】 町内公民館長会で企画し、町内公民館長及び町会長が参加	真田邸と文武学校の見学をしたが、その周辺一帯の松代の町並みがとても良い雰囲気であった。また長野県立美術館では東山魁夷の若い頃の作品などを鑑賞でき、芸術のすばらしさを感じられた。	
アロマリンパマッサージ講座	2月29日	1回	福祉健康	成人	8人	【事業内容】 アロマオイルを使用してリンパマッサージを行う。 【ねらい】 リンパマッサージで寒い時期の凝り固まった体をほぐし、日々の疲れを癒す。また、アロマを用いることでリラックス効果を得る。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	昨年度は小さな子どものいるママ向けに行なった講座。今年度は対象を固定せず募集をしたところ、高齢者の参加が多かったことから、高齢者にもこのような講座の需要があることが分かった。	
クラフトバッグづくり講座	3月18日	1回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 クラフトバンドを使用してかごバッグをつくる。 【ねらい】 クラフトバンドを使ったかごバッグづくりを通し、生活文化の振興と住民同士の交流を図る。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	予定していたよりも時間がかかってしまい、希望者のみ別日に補講を行なった。工程が複雑で難しかったが、完成度が高く出来上がったものを見てとても満足いただけた。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春休み自習室	3月18日 ～3月29日	9回	子育て	青少年	6人	【事業内容】 中高生を対象に、自習室として公民館の会議室を開放する。 【ねらい】 春休み期間中の子どもたちの居場所づくり、学習環境の提供、公民館を身近な場所であると感じてもらう。	【準備過程】 公民館主催事業として企画し、公民館だよりで周知、町内回覧、近隣の中学校・高校へチラシを配布	夏休みに引続き、春休みも自習室を開放したが、今回も利用者は少なかった。開放日や周知方法等を再度検討し、公民館に来てもらえるように工夫が必要である。	
第3回歩いて探そう！ お宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	成人	45人	【事業内容】 ウォークラリーで市内各所の名所を巡る。 【ねらい】 地域の身近な魅力を再発見するとともに、地区の垣根を越えた参加者同士の交流を深める。	【準備過程】 6地区の公民館で実行委員会をつくり、企画、準備。公民館だよりで周知 【共催団体等】 第一地区、第二地区、第三地区、東部地区、城東地区、中央地区の地域づくりセンター、福祉ひろば	参加者からまた来年も参加したいと好評をいただいた。改めて地域の魅力に触れる機会となり、体験+座学でさらに学びを深めることができた。	
吹矢体験講座	3月28日	1回	福祉健康	成人	19人	【事業内容】 スポーツウェルネス吹矢の体験。 【ねらい】 スポーツウェルネス吹矢を体験し、健康増進を図るとともに、住民同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館主催講座として企画し、公民館だよりで周知	初心者でもプレーしやすく、参加者同士が交流しながら楽しく体験できた。4月以降にサークルとして公民館で引続き吹矢体験ができることになった。	
あいさつ運動（小・中学校見守り活動支援）	通年	毎週金曜	子育て	青少年	300人	【事業内容】 地区ボランティアが毎週金曜日の朝に各所に立ち、あいさつ運動を行う。 【ねらい】 通学中の小・中学生の見守り		地域住民のみならず学校の先生やPTAの方々と一緒に見守りを行なえた。あいさつ運動を始めた当初は児童会や生徒会の子どもも参加していたため、当時の形に戻すかどうかは継続して検討が必要。	
公民館運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	46人	【事業内容】 公民館の運営や事業計画について協議し、決定する。		公民館の利用状況や講座の実施状況のみの報告となっているため、今後活発な意見が出るような仕組み作りが必要。	

令和5年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	68人	【事業内容】 公民館報の記事取材、紙面構成、編集作業にあたる。		地区の方に執筆していただく機会をもっと増やしていきたい。	
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	26人	【事業内容】 体育事業に関わる計画立案と実施にあたる。		コロナが明け「世代間交流スポーツ講座」を開催することができた。子どもも大人も楽しめるスポーツ事業を来年度も実施していきたい。	
生活・文化委員会	通年	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	43人	【事業内容】 住民の生活・文化に関する講座の計画立案と実施にあたる。		委員から意見が出にくく、講座への参加率も低い。来年度は名称と委員構成を改め文化委員会となるので、意見が活発に出るような会にしていきたい。	
町内公民館長会	通年	9回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	86人	【事業内容】町内公民館長会主催事業の計画立案と実施にあたる。		あがたの森水無月コンサート、第三地区作品展はどちらも大盛況に終わり、地区に活気が戻ってきた。	

令和5年度 事業報告の概要

東部公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 ・だれもが安全・安心でいきいき暮らせる地域を目指す。 ・公民館を知り・参加し・携わる人を増加し、自主的な活動を促す。 ・できることで且つ継続していける事業に衣替えして行く。 【重点的に取り組んだ事項】 1 継続的に利用・参加状況をデジタルに把握する。 2 住民の声を吸収すると共に、事業成果を報告する。 3 全体講座・町内公民館出前講座での学ぶ講座の実施。 4 周知徹底を図る仕組みを向上させる。 5 貸館事業の活性化。										・コロナの影響で、一部中止となり計画どおり実施はできなかった事業もあったが、それ以外の公民館事業全体講座は、計画した講座はすべて計画通り実施した。 ・新規事業の立ち上げ、実施を行い、大勢の参加者を呼び込むことができた半面、参加者の固定化が目立つ結果にもなり、参加できない方、事業自体を知らない方への周知方法など、課題も浮き彫りとなった。 ・防災意識を高めるため、地域づくりセンター・町会連と連携し、「避難所開設運営訓練」を実施するなど、防災意識向上につとめた。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	2	2	3	1	7	2	3	6	2	2	2	1	3
延べ 参加人数	155	53	71	46	21	242	46	248	109	325	271	466	296	36

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史研究探訪	5月2日	1回	趣味教養	成人	28人	【事業内容】 ・行先：信濃町 ・郷土文化等の資料館を訪ねる。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	小林一茶のゆかりの地、信濃町へ出向き、視察研修。 住民の学習意欲の向上につながった。	
防災緑地草刈り	5月21日 8月26日	2回	防災	成人	65人	【事業内容】 地区内防災緑地の草刈り 【ねらい】 ・防災緑地の維持管理 ・防災緑地の認知向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・関係団体に個別通知 【共催団体等】 ・町会連合会 ・町会連防災部	防災緑地の維持管理、防災緑地の認知向上のため、引続き実施したい。	
避難所開設運営訓練	6月4日	1回	防災	その他	158人	【事業内容】 避難所の開設運営訓練 【ねらい】 ・災害時の対応力向上 ・避難所の認知向上	【準備過程】 ・前年度から準備学習会を開催 ・関係団体に協力依頼 ・住民には全戸配布チラシで周知 【共催団体等】 ・町会連合会各団体	初めての試みであったため、課題も多くあったが、まずはやって経験してみることが大事の精神で実施。 課題を活かし改善しながら、定期的に実施していきたい。	
楽団ケ・セラ演奏会	6月24日	1回	人権平和	成人	76人	【事業内容】 楽団を招き、音楽を鑑賞する。 【ねらい】 ・人権意識の向上 ・地域住民の親睦	【準備過程】 ・全戸配布のひろばニュースにて周知 ・関係団体を通じて周知 【共催団体等】 ・東部地区人権啓発推進協議会 ・東部地区社会福祉協議会 ・東部地区町会連合会	参加人数が多く大盛況だった。 人権啓発の推進のため次年度以降も行いたい。	
自然観察ウォーク	7月11日	1回	福祉健康	成人	29人	【事業内容】 上高地でのウォーキング 【ねらい】 ・ウォーキングによる健康増進 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知	自然を満喫しながらのウォーキングで健康増進に寄与した。来年度も目的地を変更して開催予定。	
食物アレルギー講座 「食物アレルギーと避難所での食事提供」	7月13日	1回	福祉健康	成人	24人	【事業内容】 講師：健康づくり課管理栄養士 【ねらい】 ・教養向上 ・健康増進	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区日赤奉仕団 ・東部地区町会連合会	避難所開設運営訓練との関連講座として開催。特に食事提供に携わる方をターゲットにした講座とした。	

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽しいラジオ体操	7月23日	1回	地域事業 (体育)	青少年	245人	【事業内容】 講師：公認1級ラジオ体操指導士 【ねらい】 ・健康増進 ・親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区こども会育成会	例年通り大盛況であった。多くの住民が集まるイベントであるため、ただ集まるだけでなく、なにか他にも有効活用できないか同時開催などを検討したい。	
交通安全教室	7月23日	1回	地域事業 (その他)	青少年	245人	【事業内容】 講師：松本市自転車推進課 松本警察署 【ねらい】 ・交通安全意識の向上と事故防止 ・親睦と世代間交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区連合町会	自転車推進課や警察による安全講習だけでなく、運送会社の協力により、トラック実物からの死角の確認を行うなど、趣向を凝らした講座とした。	
人権講座 「性の多様性」	8月4日	1回	人権平和	成人	23人	【事業内容】 講師：波田教会牧師 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員に通知 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：人権啓発推進協議会	講師が話していることの意味が全く分からないという意見を多数頂戴した。わかりやすい講師の手配を心がけた。	
ボウリング大会	8月6日	1回	地域事業 (体育)	成人	80人	【事業内容】 ボウリング大会の実施 【ねらい】 ・健康増進 ・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区体育協会	東部地区体育協会が中心となり実施。大盛況だった。健康増進に寄与した。来年度も開催予定。	
大人の社会見学 「工場見学&ミレー展」	8月18日	1回	趣味教養	成人	27人	【事業内容】 ・行先：甲府市 ・遠方の工場や美術館を訪問し、見聞を広げる 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・全戸配布のひろばニュースにて周知 ・ホームページに募集掲載 【共催団体等】	非常に気温が高く、交通渋滞も激しい時期であったため、次回実施の際には、日程の検討が必要。	
収穫祭	8月20日	1回	子育て	家庭教育	24人	【事業内容】 親子向け企画。畑で芋ほり、バーベキュー体験 【ねらい】 ・食育意識の醸成 ・参加者の交流 ・子育て支援	【準備過程】 全戸配布用チラシを作成し周知 【共催団体等】 ・東部地区連合町会 ・東部地区こども会育成	本年度の新企画。収穫だけでなく、作付けの過程を何回か観察するような講座に展開しても可能性が広がる。	

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ブロック別バス講座	8月30日 8月31日	2回	趣味教養	成人	57人	【事業内容】 地区内ブロックごとにバス講座で戸 隠高原視察を実施 【ねらい】 ブロックに分散させることにより、 参加できる機会を増加させる。参加 者の教養、親睦を深める。	【準備過程】 全戸配布用チラシを作成し周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	町会別に実施。視察先がマンネリ化し てきているため、企画自体の組立を新 しい発想で行いたい。	
ファミリフェスティバル	9月3日	1回	地域事業 (その他)	青少年	221人	【事業内容】 マスの掴み取り体験、火起こし狼煙 体験や、物販、振舞等 【ねらい】 ・子育て支援、防災意識の向上 ・住民の親睦を深める ・防災緑地の認知度向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区ファミリーフェスティバル 祭実行委員会	防災緑地の場所の周知、住民の親睦を 深めること等に寄与したイベントだっ た。参加者も多く盛況だった。	
マレットゴルフ大会	9月10日	1回	スポーツ	成人	28人	【事業内容】 マレットゴルフ大会の実施 【ねらい】 ・健康増進 ・住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区体育協会	東部地区体育協会が中心となり実施。 大盛況だった。健康増進に寄与した。 来年度も開催予定。	
麻績の史跡を訪ねて	10月6日	1回	趣味教養	成人	31人	【事業内容】 ・行先：麻績村 ・郷土文化等の重文寺院等を訪ね る。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	近くて遠い場所、麻績へ出向き、視察 研修をおこなった。各所で、仏像等文 化財の見学を行った。 住民の学習意欲の向上につながった。	
環境講座 「食器のリサイクル」	10月12日	1回	環境	成人	21人	【事業内容】 講師：食器のリサイクル専門家 【ねらい】 ・環境意識の向上 ・ゴミ減量化へ取り組み	【準備過程】 ・環境衛生協議会委員に通知 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：環境衛生協議会	普段は埋立ゴミとして処理するしか ない瀬戸物食器のリサイクルの取組みと 方法を紹介。 引続き環境に良い取組みの講座を実施 する予定。	
運試しウォークラリー	10月22日	1回	地域事業 (文化)	成人	45人	【事業内容】 ウォークラリーで地区内を巡る 【ねらい】 ・健康増進 ・親睦と世代間交流 ・地域文化についての学習	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・関係団体に個別通知 【共催団体等】 ・町会連合会 ・東部福祉ひろば	今年初のイベントであったが、多くの 方に参加いただいた。子どもたちも楽 しんでいた。健康増進、地域の親睦、 地域の文化理解に寄与したイベント だった。	

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化・音楽祭	11月11日 11月12日	1回	地域事業 (文化)	成人	226人	【事業内容】 サークルや地区住民が日ごろの活動発表の場とするもの。 【ねらい】 地区住民に発表の場を提供し文化向上を目指すとともに住民親睦を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区連合町会 ・東部地区文化・音楽祭実行委員会	例年はサークル発表会だったもの。サークルの減少により、音楽中心のイベントとした。来年度は開催方法のあり方を含め検討したい。	
押絵雛講座	11月20日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 人形職人を招き、松本の伝統工芸である松本押絵雛を作る 【ねらい】 ・伝統文化の継承 ・地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	恒例行事。地区内外からの参加希望の連絡が来る。今後も続けたい。	
防犯講座	11月29日	1回	その他	成人	48人	【事業内容】 ・講師：松本警察署 「街頭犯罪」や「特殊詐欺」の被害防止対策など、身近な防犯について学ぶ 【ねらい】 ・地域住民の防犯意識の向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部防犯協会	東部交番所長と生活安全課の職員が講師。参加者は「自分は大丈夫と思っている人が危ないと知った。気を引き締めたい。」と話していた。	
餅つき大会	12月2日	1回	子育て	その他	47人	【事業内容】 臼と杵を使った餅つき大会 【ねらい】 親子で参加できる企画。子育て世代の公民館活動への参加を促す	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 ・東部地区連合町会 ・こども育成つぼみの会	子どもメインのイベント。楽しくおいしくが重要。家族で楽しんでいただけた。来年度も引き続き開催したい。	
防災講座	12月5日	1回	防災	成人	25人	【事業内容】 住宅浸水をテーマに避難のしかた、食に対する準備等を学ぶ 【ねらい】 ・防災意識の向上 ・知識の習得	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	今年は浸水がテーマ。過去女鳥羽川が氾濫したこともあり、参加者は真剣に話を聞いていた。来年度もテーマを変えて開催予定。	
国宝松本城及び世界遺産に関する学習会	12月12日 1月23日 1月31日	3回	趣味教養	成人	66人	【事業内容】 松本城と世界遺産をテーマに3回シリーズで学習講座を開催 【ねらい】 ・知識の習得 ・地元の歴史的価値の確認	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 城東公民館	城東・東部両公民館の共同企画。	

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄作り講座	12月16日	1回	地域文化	成人	34人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	・当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気は自然に作られ、交流が深められた。講師から引退を示唆されているが、何とか継続できる方法を模索したい。	
年末大掃除会	12月28日	1回	その他	成人	25人	【事業内容】 公民館利用サークルにより公民館の清掃を行うもの。	【準備過程】 各利用団体宛に個別通知	恒例行事。	
三九郎マップ作成		1回	地域文化	成人		【事業内容】 女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作成。 【ねらい】 「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行。	【準備過程】 つぼみの会、他地区町会、こども育成課から情報を得て、12月広報配布日に間に合うように作成する。	町会に全戸配布。地区内公民館、小中学校にもお願いし、設置。好評を得ている。今後も続けたい。	○
清水中学校清流コミュニティスクール(書道)		1回	その他	青少年	22人	【事業内容】 C S事業の一環。地区の書道サークルの方のご協力をいただき、国語の授業の補助を行っている。 【ねらい】 学校と地域のつながりを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて実施状況を周知	子どもたちとの世代間交流、学校と地域のつながりを強めることができるともいい事業。今後も続けたい。	○
清水小わくわく応援団		2回	その他	その他	14人	【事業内容】 C S事業の一環。地区のボランティアにご協力をいただき、調理実習やしめ縄づくりなどを補助。 【ねらい】 学校と地域のつながりを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて実施状況を周知	子どもたちとの世代間交流、学校と地域のつながりを強めることができるともいい事業。今後も続けたい。	○
新春書初め大会	1月4日	1回	趣味教養	青少年	22人	【事業内容】 公民館書道サークルの指導により書初めに徳美むもの 【ねらい】 学校の書初め宿題のフォローを行い、子どもと公民館の結びつきを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知	子どもたちとの世代間交流、世代間のつながりを強めることができるともいい事業。今後も続けたい。	

令和5年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権講座 「多文化共生のすすめ」	1月18日 1月24日	2回	人権平和	成人	56人	【事業内容】 ・講師：人権共生課 多文化共生キーパーソン 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 人権啓発推進協議会	外国人居住者が増加していることが地域課題として挙がってくる中で、地域ニーズに応える形で開催した。	
食育講座 「焙煎から楽しむコーヒーの淹れ方」	2月8日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 ・講師：地区住民 【ねらい】 ・教養向上 ・参加者の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知	知的好奇心をくすぐる講座が来館のきっかけになればと企画。需要があるか見極め、継続するか検討をしたい。	
ニューススポーツ講座	2月14日	1回	スポーツ	成人	18人	【事業内容】 モルックの実施 【ねらい】 健康増進と地域住民の交流を図るもの	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区体育協会	簡単に楽しく、盛り上がっていた。チーム内での親睦も深まっているようだった。来年も種目を変えて開催したい。	
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 公民館情報の提供	【共催団体等】 東部地区福祉ひろば	翌月の行事を周知することが目的。	
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	成人		【事業内容】 公民館情報の提供 実施事業の周知、啓発	【準備過程】 【共催団体等】	公民館活動の報告がメイン。	
各種委員会	通年	29回	公民館委員会・各種会議等	成人	296人	【事業内容】 【ねらい】	【準備過程】 【共催団体等】		

令和5年度 事業報告の概要

城北公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 ふれ愛の創出・発展 コロナ禍で縮小しながらも継続に努めてきた住民同士の「ふれ愛」を、コロナ前と同じ状態にまで戻すとともに、時代に合わせた見直し・発展を行う。 2 地域との連携 住民の豊かな生活づくり、地域づくりのよりどころとして、住民が地域や暮らしについて主体的に考え、行動できるよう、公民館委員会を始めとした各種団体と次のとおり協議、連携し、住民と共に講座づくりを行う。 (1) 子どもを対象とした事業は、子ども会育成会や学校と連絡・協議して実施する。 (2) 地区公民館が地区の南端にしていることから、町内公民館と連携し、出張講座を実施する。 3 地域住民の要望を取り入れた事業実施 事業内容や参加者が固定化しないよう、常に新しい講座を取り入れていく。										1 規模を縮小しながら開催していた地区文化祭 「ふれ愛まつり」を概ねコロナ前の規模で再開した。再開にあたっては、内容が単調にならないよう配慮しながら、スタッフの負担が軽減されるよう実施内容の見直しを行った。 2 他団体等の主催事業の実施に際して、事前の打合せ等を行ったが、連絡の行き違い等が生じることもあった。事業内容によっては、電話等非対面のみで頼らない丁寧な打合せを実施していきたい。 3 地域の次代を担う子どもを対象に含む事業の拡充を図った。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	2	6	2	0	18	2	1	3	3	1	0	6	1
延べ 参加人数	62	85	172	10	0	447	30	33	102	94	572	0	9	572

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ミステリーツアー	4月12日 9月13日	2回	趣味教養	成人	42人	【事業内容】 ・行先をクイズ形式にし、当日まで明かさない視察を行う。 【ねらい】 ・参加者の自発的な事前学習	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて出題、周知	【評価と反省】 ・事前に参加者が自ら学習したり、参加者同士で推理しあったりする機会を設けることができた。 【今後の方針】 ・バス利用縮減により未定	
ウォーキング大会	5月20日	1回	地域事業 (体育)	その他	28人	【事業内容】 ・距離別の4コースに分かれて地区内をウォーキングする。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：福祉ひろば・公民館体育部・住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・例年好評の大会。 ・コロナ禍で中止していた終了後の昼食会を再開し、参加者の交流が促進された。 【今後の方針】 ・継続	
手作りパンとスイーツ講座	5月24日 6月18日 7月10日	3回	趣味教養	その他	36人	【事業内容】 ・パンと簡単なお菓子の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・休日開催の回は、ほとんどが親子での参加となり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 ・継続	
マレットゴルフ大会	6月3日 11月11日	1回	地域事業 (体育)	その他	20人	【内容】 ・会場：アルプス公園 ・マレットゴルフを行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館体育部	【評価と反省】 ・6月は天候不順により中止 ・準備、運営を体育部員の住民が全て主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
歴史とロマン講座	6月26日 7月31日 8月28日	3回	趣味教養	成人	51人	【事業内容】 ・講師：松本市文化財審議委員 【ねらい】 ・歴史学習 ・教養向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・講師の話術等で参加者の満足度が高い。 【今後の方針】 ・継続	
丸の内病院健康教室	6月27日 11月27日 1月26日 1月27日	4回	福祉健康	その他	69人	【事業内容】 ・講師：丸の内病院 ・1、4回目は町内公民館で実施。 【ねらい】 ・健康増進 ・町内公民館での実施により、地区公民館に馴染みのない住民が公民館事業に参加する機会とする。	【準備過程】 ・町内公民館での講座実施について、町内公民館長と相談・調整した。 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・4回のうち町内公民館で実施した2回は、地区公民館の事業には見られなかった住民の参加もあり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 ・町内公民館での実施も含めて継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
育成会バス視察研修	7月2日	1回	子育て	青少年	23人	【事業内容】 ・行先：国営アルプスあづみの公園 ・自然の中で外遊びやネイチャークラフトといった経験をとおして学ぶ。 【ねらい】 ・子どもの交流 ・学校ではできない自然体験	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・行先の固定化により参加者が減少傾向にあるが、参加した子どもの満足度は高い。 【今後の方針】 ・継続	
古きを訪ね新しきを悠学する講座	7月12日 7月20日	2回	趣味教養	成人	40人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・県内の文化財について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・教養向上	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・前年度からの継続参加を原則とする とともに、事前学習と現地視察を行う ことで、より効果的な学習機会となっ た。 【今後の方針】 ・バス利用縮減により未定	
終活講座 (そうぞく講座)	7月19日 7月27日	2回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 ・講師：明治安田生命 ・相続税やエンディングノートにつ いて学ぶ。 【ねらい】 ・教養向上	【準備過程】 ・住民からの要望と明治安田生命 からの提案に基づいて企画 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・税制は内容が複雑なため、予定した 時間では初歩的な部分しか扱えず、物 足りなさがあった。 【今後の方針】 ・講師より、もう少し発展的な内容の 講座も可能との申し出があったので、 継続を検討	
夏休み自習室開放	7月24日 ～8月24日	1回	子育て	青少年	24人	【事業内容】 ・夏休み中の子ども達への自習室と して、公民館の一室を期間中の開館 日に開放する。 【ねらい】 ・快適な学習環境の提供 ・子どもに公民館を身近に感じても らう。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・利用する子どもは固定化しつつある が、実施期間中は毎日利用されてお り、ニーズがある。 【今後の方針】 ・対象を高校生まで広げるべきか、課 題等を検討しながら継続	
科学講座	8月 1日 3月25日	2回	趣味教養	その他	35人	【事業内容】 ・子どもの長期休みを利用して、子 どもから大人までを対象に科学に親 しむ講座を開催する。 【ねらい】 ・文系以外の講座展開 ・年齢を問わない公民館事業の実施	【準備過程】 ・公民館講座が文系に偏っている 課題を受け、内容や講師を検討 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・長期休みを利用したことで、親子の 参加が多く得られた。 【今後の方針】 ・講師と調整しながら継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館に泊まって遊ぼう	8月4日 8月5日	1回	子育て	青少年	39人	【事業内容】 ・公民館の宿泊体験を行う。 【ねらい】 ・子どもの主体性を養う	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 ・7月23日に事前打合せ会を開催し、子どもたちが夕食等を計画 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・4年ぶりに宿泊日程で開催。 ・参加者が予定より多かったこと、事前打合せに欠席した子どもがいたことで、対応に苦慮することもあった。 【今後の方針】 ・継続	
平和を語る会	8月9日	1回	人権平和	その他	24人	【事業内容】 ・「ひめゆりの沖縄戦」 講師：ひめゆり平和祈念資料館職員（沖縄県糸満市） 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める。	【準備過程】 ・Z o o mによるオンライン講義形式のため、事前に講師と接続チェックを実施。 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・ここ数年は広く人権課題を扱ってきたが、昨今の世界情勢を鑑み、改めて近年は戦争講話を実施。 ・オンライン開催により遠方の資料館とつながることができた。 【今後の方針】 ・継続	
文化部視察研修	8月24日	1回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 ・行先：阿南町 ・郷土文化等の資料館を訪ねる。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 ・視察先や内容の企画や資料の準備等を主催者である公民館委員会文化部が主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
文化部主催講演会	9月11日 2月16日	2回	趣味教養	成人	52人	【事業内容】 ・第1回「県議のお仕事」 ・第2回「60年前まであった田町小学校」 ・各講師：地区住民 【ねらい】 ・教養を深める ・地域の歴史や人物を振り返る	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 ・講演会の企画や運営等について、文化部員である住民が主体的に行った。 ・第2回は、同時期に開催していた写真展と連携して開催することで、地区内外からの注目を集めた。 【今後の方針】 ・継続	
第22回城北地区ふれ愛まつり	9月30日 ～10月 1日	1回	地域事業 (文化)	その他	572人	【事業内容】 ・日頃の成果発表と地域づくりを目的とした地区文化祭を開催する。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・学習成果の発表	【準備過程】 ・地区住民で構成される実行委員会で、内容等を検討。 ・地区内全戸配付チラシにて、作品募集・開催周知 【共催団体等】 主催：ふれ愛まつり実行委員会	【評価と反省】 ・概ねコロナ前の規模で再開し、実行委員や来場者からは概ね好評であった。 【今後の方針】 ・実行委員会の中で検討しながら継続	○

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ハワイアンキルト講座	10月11日 11月 8日	2回	趣味教養	成人	26人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・ハワイアンキルトのティッシュカバーの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流。 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・講座時間内の完成は難しいが、冬のこもりがちな時期に自宅で取組む趣味の創出機会となった。 【今後の方針】 ・継続	
ファミリーコンサート	10月28日	1回	子育て	その他	30人	【事業内容】 ・楽団ケ・セラによる親子向けのコンサートを行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・親子の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・近年、親子での参加は減少傾向だが、地域の大人と子どもが音楽鑑賞をとおして交流する機会となっている。 ・障がい者の自立を目指す楽団を演奏に招くことで、人権意識の高揚にもつながっている。 【今後の方針】 ・継続	
珈琲を愉しむ会	11月7日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 ・コーヒーの淹れ方や器具について学び、愉しむ。 【ねらい】 ・教養向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・例年、コーヒー豆の焙煎について学ぶ講座を開催していたが、今回は淹れ方を学ぶ講座としたところ、初めての講座参加者も得られた。 【今後の方針】 ・焙煎講座と交互等にして継続	
秋の野遊び会	11月12日	1回	子育て	その他	40人	【事業内容】 ・子どもや親子を対象に、地区内の公園で、ネイチャークラフトや火起こし体験を行う。 【ねらい】 ・親子の交流 ・学校ではできない自然体験	【準備過程】 ・地区内の児童センターにポスター掲示、募集呼びかけ 【共催団体等】 主催：公民館委員会青年部 共催：住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・児童センターとの連携不足により、予定を大幅に上回る参加者数となったが、主催者に対応いただいた。 【今後の方針】 ・後日青年部の在り方について課題提起もあったことから、同課題を公民館委員会で検討	
他地区をめぐる	11月16日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 ・行先：第二地区 ・他地区を探訪し、歴史や文化財について学ぶ。 【ねらい】 ・教養向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会文化部	【評価と反省】 ・文化部員である住民が主体的に企画・運営している。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康講座	11月19日	1回	福祉健康	その他	16人	【事業内容】 ・健康に関する講話、簡単なストレッチなどを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、福祉ひろば	【評価と反省】 ・企画から運営まで、主催者である住民が主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
料理教室	11月20日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 ・講師：食生活改善推進員 ・食生活改善推進員による料理教室を行う。 【ねらい】 ・料理技術向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：城北公民館 共催：食生活改善推進員会	【評価と反省】 ・会員数が減少している食改からの相談を受け、開催。 ・参加者数は少なかったが、その分丁寧な調理指導ができ、食改活動のアピールの機会となった。 【今後の方針】 ・食改と相談しながら継続を検討	
ふれ愛まつり写真展	11月27日 ～12月27日	1回	趣味教養	その他	—	【事業内容】 ・地区文化祭の様子を記録した写真を展示する。 【ねらい】 ・写真鑑賞をととした住民の交流	【準備過程】 ・昨年好評だったことを受け、文化祭当日の様子を記録した住民から展示について提案により継続企画。 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・当日来場していた住民同士で思い出を語らう交流の機会となった。 【今後の方針】 ・継続	
普通救命救急講習	11月29日	1回	防災	成人	33人	【事業内容】 ・講師：丸の内消防署 ・AEDの使い方等救命救急講習を行う。 【ねらい】 ・救命救急技術の向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：日赤奉仕団	【評価と反省】 ・例年開催しているが、少しずつ救命救急の方法や講習の内容も変化しており、住民の満足度も高い。 【今後の方針】 ・継続	
人権啓発推進協議会視察研修	12月7日	1回	人権平和	成人	30人	【事業内容】 ・阿智村満蒙開拓平和記念館を視察し、語り部による講話を聞く。 【ねらい】 ・人権意識の向上	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員に通知 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・視察と講話で反戦の思いを新たにした。 ・今年度から協議会委員に限らず、一般にも参加者を募ることで広く学習機会を担保した。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新・市立博物館を見に行こう	12月7日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 ・10月にオープンした市立博物館を視察する。 【ねらい】 ・教養向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・展示物のジオラマに城北地区の一部も含まれていたことで大いに盛り上がった。	
城北公民館年末大掃除	12月8日	1回	その他	その他	50人	【事業内容】 ・公民館を利用している約50の団体からなる「城北友の会」が年に一度公民館の大掃除を行う。 【ねらい】 ・公民館の美化、保全 ・自ら利用する公共施設を大切にする意識を育む。	【共催団体等】 主催：城北友の会	【評価と反省】 ・約半日の日程の中で、団体の枠を超えて協力し合い、大掃除を行うことができた。 【今後の方針】 ・継続	
しめ縄作り講座	12月18日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。	【準備過程】 地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気は自然に作られ、交流が深められた。 【今後の方針】 ・材料準備等講師の負担が大きいため、継続に際しては要検討	
書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	20人	【事業内容】 ・講師：書道サークル講師他 ・書初め大会を行う。 【ねらい】 ・正月行事に触れる。 ・講師の添削を受けながら書道技術を向上する。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・毎年の恒例行事として実施した。 ・4名の講師が連携し、丁寧に指導した。 【今後の方針】 ・継続	
田町小学校写真展	1月16日 ～2月19日	1回	地域文化	その他	—	【事業内容】 ・現在の公民館の場所にあった、旧田町小学校の写真を募集・展示する。 【ねらい】 ・地域の歴史を振り返る。 ・来場者の交流	【準備過程】 ・開智小 150周年を受け、文化部員から開催について相談を受け、準備開始。 ・地区内全戸配付チラシにて写真募集、開催周知 【共催団体等】 ・主催：城北公民館委員会文化部	【評価と反省】 ・企画から展示写真の選定、説明文の作成、展示を文化部員である住民が率先して行った。 ・新聞取材も受けた結果、地区内外から多くの来場者が訪れ、思い出話の場となった。	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スキーツアー	1月21日	中止回	スポーツ	その他	0人	【事業内容】 ・市内のスキー場でスキーに親しむ。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・申込みが非常に少なく、中止となった。 ・原因について主催者と協議したところ、参加費や行先設定、気候の課題が出たため、来年度の参考とする。 【今後の方針】 ・行先等を主催者と相談しながら継続	
フレンチ講座	1月22日	1回	人権平和	成人	8人	【事業内容】 ・講師：多文化共生キーパーソンの地区住民 ・外国出身の講師から、出身地の料理や文化を学ぶ。 【ねらい】 ・多文化共生意識の醸成 ・教養向上 ・講師と参加者の交流	【準備過程】 ・多文化共生プラザ経由で講師から開催について提案を受け、企画。 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 共催：多文化共生プラザ	【評価と反省】 ・調理の空き時間に出身地の文化や生活について写真を交えて紹介もあり、参加者の教養向上につながった。 ・講座後に、地区内で講師と参加者たちが声を掛け合う関係になる等の交流が生まれた。 【今後の方針】 ・継続	
ケーキ作り教室	1月24日 2月 4日 2月13日	3回	趣味教養	その他	32人	【事業内容】 ・ケーキ作りを学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・休日開催し、親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・休日開催の会では、親子参加が見られ、ねらいを達成した。 ・時期に合わせたメニューになるよう調整し、参加者からは好評だった。 【今後の方針】 ・継続	
軽スポーツ交流会	1月28日	1回	スポーツ	その他	30人	【事業内容】 ・老若男女問わず楽しめる軽スポーツを行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：公民館委員会体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに開催されたため、運営に苦心する場面もあったが、参加者は世代を超えて軽スポーツを楽しんだ。 【今後の方針】 ・継続	
男衆のキッチン	2月9日	1回	趣味教養	その他	15人	【事業内容】 ・講師：城北地区食生活改善推進委員 ・男性の料理教室を行う。 【ねらい】 ・男性の料理技術向上 ・男性の公民館活動参加促進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体】 主催：城北地区社会福祉協議会	【評価と反省】 ・調理メニューや、完成品の会食時の飲み物を男性向けに工夫し、好評だった。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
城北ふれ愛・箏曲カ フェ	2月14日	1回	その他	その他	32人	【事業内容】 ・お抹茶をいただきながら琴の演奏を聴く。 ・入場料の一部を能登半島地震災害支援として寄附する。 【ねらい】 ・サークルの成果発表 ・災害支援	【準備過程】 ・箏曲サークルから演奏会の相談を受け、企画。お抹茶サークルに協力を持ち掛け、開催。	【評価と反省】 ・各サークルの活動発表の場となった。 ・住民の関心も高かった震災支援の視点も組み込むことで、予定より多くの来場があった。	
ボウリング大会	2月25日	1回	地域事業 (体育)	その他	46人	【事業内容】 ・町会対抗のボウリング大会を行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 ・主催：城北公民館委員会体育部	【評価と反省】 ・隣接レーン等、町会の枠を超えて交流する機会となった。 【今後の方針】 ・継続	
小さな仲間たち・その 6（写真展）	2月26日 ～3月26日	1回	趣味教養	その他	—	【事業内容】 ・地区住民が撮影した動植物の写真を展示する。 【ねらい】 ・住民の活動発表 ・来場者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・例年来場者に好評の写真展。 ・年齢を問わず楽しめる写真展となった。 【今後の方針】 ・継続	
スマホで遊ぶ会	2月29日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 ・仕掛け人：デジタル活用支援人材育成研修を受講した職員 ・遊びながら慣れることを目的としたスマホ講座を行う。 【ねらい】 ・デジタルデバイド解消	【準備過程】 ・デジタル活用支援人材育成研修の内容から応用して企画 ・地区内全戸配付チラシにて周知	【評価と反省】 ・参加者の習熟度に差があり、個別対応が必須となった。 ・予定より初歩的な内容となったが、参加者の満足度は高かった。 【今後の方針】 ・内容を検討しながら継続	
企画運営委員会視察研 修	3月8日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	9人	【事業内容】 ・行先：富岡製糸場 ・文化施設や史跡の視察を行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・公民館事業の企画につながる知識、交流を深める。	【準備過程】 ・企画運営委員会の中で行先について協議・決定。	【評価と反省】 ・参加者は少なかったが、参加者の交流をより深めることができた。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子料理教室	3月16日	1回	子育て	家庭教育	16人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・親子で楽しみながら料理を学ぶ。 【ねらい】 ・親子の交流	【準備過程】 ・主催者と講師でメニューを検討 ・地区内全戸配付チラシにて周知 【共催団体等】 主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・事前の打合せ等時間を要したが、当日は料理をととして親子の交流を深めた。 【今後の方針】 ・継続	
企画運営委員会（会議）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ・公民館運営のための委員会を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・公民館事業実施結果の報告、企画検討に合わせ、各部会の連携強化に寄与した。 【今後の方針】 ・継続	
館報編集	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ・館報城北地区版編集のための会議を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・地区の活動等に目を向ける記事を取材、掲載した。 ・委員が会議の効率化に努め、例年に比べて回数を縮減した。 【今後の方針】 ・継続 ・館報記録班との連携強化	
館報記録	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ・公民館事業及び地区内の活動を記録する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・委員同士で教え合いながら写真技術の更なる向上に努めた。 【今後の方針】 ・継続 ・館報編集委員との連携強化	
文化部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他		【事業内容】 ・ふれ愛まつり及び研修・講演会の打合せを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・下見を行なったうえで視察研修の行程を決定する等、委員が主体となって積極的に企画、運営している。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育部	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他		【事業内容】 ・ウォーキング大会、マレットゴルフ大会等の打合せを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・必要物品の準備、当日の運営等、委員自らが積極的に関わっている。 ・恒例行事であっても内容を変える等、参加者を飽きさせないよう工夫した。 【今後の方針】 ・継続	

令和5年度 事業報告の概要

大手公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っていけるよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。 ・地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加・参画を促し公民館事業、公民館委員会の活動をより充実させ、主体的な住民を育成する。 ・「自分が頼りにされている」「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。 ・住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、また、困りごとや課題を把握し、公民館事業をより充実させる。 ・住民の得意なこと、公民館で学んだことを地域に還元する機会を設け、住民の活躍の場を作る。										・体験・学び・交流を活かした公民館活動を実施し、つながりや関係づくりを促すことが出来た。 ・今年度初めて開催した「中央地区夏祭り・縁日」「未来を考える視察研修」「ソーセージづくり体験」「おおてワイン講座」などでは、地区役員、住民有志が協力的・主体的に企画・運営に携わり、「次回はどうする？」など次につながる意見も出ている。 ・今後の事業の企画にも住民を巻き込み、様々な世代の新規利用者の掘り起こしを図るとともに、公民館活動や地域活動へつなげて行きたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	7	3	6	3	9	2	3	2	1	3	4	1	3
延べ 参加人数	40	726	180	116	152	301	43	295	255	11	720	143	256	720

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中央地区お花見会	4月	1回	地域事業 (その他)	成人	73人	桜の時期に合わせて、地区住民の親睦と交流を図る。【地域文化】	【準備過程】 地区町会連合会が主体となり企画・運営。公民館は補助。 【共催団体等】 福祉ひろば、地域づくりセンター、社会福祉協議会中央地区支会	【評価と反省】 6年ぶりに松本城公園での開催を計画したが、悪天候により公民館内での開催へ変更。子どもから高齢者まで70名を超える参加者が親睦を深めた。 【今後の方針】 地区住民の交流の場として継続開催。	
認知症・フレイル予防講座	4月28日 5月16日 6月6日	3回	福祉健康	高齢者	33人	認知症やフレイルについて学び、自身や身近に起こりうることを理解する。もし身の回りに起こった場合は差別するのではなく、寄り添える住民を育成する。 明治安田生命保険相互会社の「地元」の公民館を元気にプロジェクト」を活用して開催する。	【準備過程】 共催団体と日程調整 【共催団体等】 明治安田生命保険相互会社	【評価と反省】 認知症やフレイルについて学び、予防方法や発症した方への接し方についても考えることができた。 【今後の方針】 認知症やフレイルを予防するための一つに「社会参加」が重要な予防法とあり、公民館や福祉ひろばなどの事業への参加を通して地区住民の健康の増進を推進したい。	
中央地区 人権啓発推進協議会 視察研修	5月17日	1回	人権平和	成人	20人	浅川伯教・巧兄弟資料館を訪れ、日韓の架け橋となっている兄弟の歴史を知り、差別や戦争を考える。	【準備過程】 推進協議会と公民館で企画・周知 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 参加者には、日本が差別をしていたこと、国策に疑問を抱いていた国民もいたことなど、当時のことを知る機会となった。 【今後の方針】 今後も戦争や平和について考える機会を提供していきたい。	
深志中ブロック ゴルフ交流会	5月24日 11月29日	2回	スポーツ	成人	33人	ゴルフを通じて地区を超えた住民の交流と親睦を図る。	【準備過程】 企画・周知 【共催団体等】 深志中ブロック町会連合会、深志中ブロック地域づくりセンター	【評価と反省】 他地区との交流の場となっているが、参加者の固定化が課題。 【今後の方針】 新規掘り起こしを図り開催を検討。	
高原ウォーク	6月10日	1回	地域文化	成人	11人	高原植物を学び、少し負荷のある傾斜地で体力・筋力を意識したウォーキングを行い、筋力アップと健康増進を図る。【福祉健康】	【準備過程】 企画・周知	【評価と反省】 現地のガイドを受けながら、高原植物を学び、少し負荷のある傾斜地で体力・筋力を意識したウォーキングができた。 【今後の方針】 ウォーキングは参加しやすい行事であるため、今後も開催予定。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
城西花壇整備事業	6月 6日 11月 7日	2回	環境	成人	100人	市民の花いっぱい運動の機運を醸成する。花に触れることで情操の純化を図る。公民館に愛着を持ってもらう。【地域事業（その他）】	【準備過程】 企画・周知 【共催団体等】 中央地区関係団体	【評価と反省】 今年度も地区団体、有志の協力得て作業を行うことができた。丸の内中学校の生徒も参加し、地区と交流の機会となっている。 【今後の方針】 継続開催	○
大手公民館前花壇整備事業	6月 9日 11月10日	2回	環境	成人	40人	有志を募り、公民館前のプランターの花の植え替えや花壇の手入れを行う。	【準備過程】 企画・周知 【共催団体等】 中央地区関係団体	【評価と反省】 今年度も地区団体、有志の協力得て作業を行うことができた。 【今後の方針】 継続開催	
松本城天守床磨き	6月21日 9月 6月	2回	地域文化	成人	17人	国宝である松本城の床を磨き、誇りと愛着を持ってもらい、未来へ残す機運を醸成する。	【準備過程】 松本城管理課が主催する床磨きへ申し込み	【評価と反省】 コロナによる制限から再開され、4年ぶりの開催となった。松本城を知る機会となった。 【今後の方針】 継続開催。文化財課などと連携し、松本城を知る機会の設定も検討したい。	
そばの打ち方講座	6月28日 10月13日	2回	趣味教養	成人	20人	信州の特産品であるそばに触れるとともに、多様なそばの打ち方を学び深める。【地域文化】	【準備過程】 企画・周知	【評価と反省】 参加者でサークルを発足することが決まった。また、サークル活動として、福祉ひろばのふれあい健康教室と連携し「ひろばのお蕎麦屋さん」を企画した。 【今後の方針】 サークルの新規会員確保のため継続して開催する。	
稲荷社を学ぶ会	6月26日	1回	地域文化	成人	18人	かつて西総堀土壘公園付近にあったとされる稲荷社について考え、地域の資源を知る機会とする。	【準備過程】 地元町会から要望を受け企画	【評価と反省】 埋もれてしまう地域の資源について知る機会となった。本来あった場所に戻すことが望ましいが、地区や専門家が主体となって今後決めていく。 【今後の方針】 埋もれてしまいがちな地域の資源の重要性や歴史を知る機会を提供し、より地域の魅力を語れる住民を増やしていきたい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会視察研修	7月10日	1回	趣味教養	成人	30人	町内公民館長の振興及び地区住民の親睦を深めることを目的に開催する。【地域事業（その他）】 視察先：上田市ほか	【準備過程】 町内公民館長会と企画・運営 【共催団体等】 中央地区町内公民館長会	【評価と反省】 多くの町内公民館長と参加者が出席し、親睦や繋がりを深めることができた。 【今後の方針】 館の無い町会が多いが、館が無くても町内公民館としての機能を果たせるよう支援していきたい。	
異文化理解&調理実習	7月20日 9月13日	2回	人権平和	成人	20人	異文化の料理を学び、多文化共生への理解を深める。【趣味教養】 7月20日 台湾式クレープ「ダンピン」 9月13日 フィリピン式プリン「レチエ・フラン」	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 日本語学習サロンにほん語いろいろ 中央地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 前半に座学、後半に調理実習を行い、よりその国の文化を深めることができた。 【今後の方針】 継続開催。地域に住む外国人を受け入れる住民を増やしていきたい。	
日赤奉仕団視察研修	7月26日	1回	防災	成人	15人	団員の健康の増進と親睦を深めるため、ウォーキングを行う。また、赤十字血液センターを訪れ、その役割と設備を見学し、理解を深める。【福祉健康】	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 日赤奉仕団中央分団	【評価と反省】 団員の親睦を深めることができた。最新の設備を見学し、献血などの理解を深めることができた。 【今後の方針】 継続開催。様々なことに対して協力する心を醸成していきたい。	
中央地区縁日	8月 8日	1回	地域事業 (文化)	その他	500人	コロナによって中断してしまった青山様・ぼんぼんを地区で盛り上げることを目的に開催する。 子どもたちの夏休みの思い出を作るため、地域住民が協力して縁日を開催する。【地域文化】	【準備過程】 地区団体からなる実行委員会を組織し、内容について協議した。 青山様・ぼんぼんについては経験者や有識者から協力を得た。 松本大学の学生や丸の内中学校の生徒にも縁日の企画・運営の協力者を募った。 【共催団体等】 中央地区関係団体	【評価と反省】 初めての開催となったが、子どもたちのために地域住民が協力して運営ができた。松本大学と丸の内中学校の生徒による企画は、子どもたちが大いに楽しんでいた。地域で豊かな体験を提供することができた。 【今後の方針】 今後も無理なく継続されるよう、協力者を多く募りながら実施していきたい。	○

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
昭和レトロ鑑賞会	8月24日 2月24日 3月21日	3回	趣味教養	成人	80人	昭和の時代を懐かしみながら、令和に残すべき昭和について考える。 8ミリフィルムの上映と発表を行う。 8月24日 チンチン電車・美しき曆 上映 2月24日 時代劇鑑賞&殺陣の演舞 3月21日 懐かシネマと音楽会	【準備過程】 8ミリフィルム等を所有する務台さんの協力を得て企画・運営 【共催団体等】 殺陣チームバチボコ エクセラン高校音楽部	【評価と反省】 昭和レトロを軸に様々なテーマで、昭和を懐かしみ、語ることができた。務台さんに加え、利用団体や高校生の活躍の場を創出することができた。 【今後の方針】 昭和の人々が選択して、令和の現在に残っているもの、残っていないものなどを考えながら、未来を考える視点も投げかけ深めていきたい。	
未来を考える視察研修	8月29日 12月1日 3月4日	3回	趣味教養	成人	65人	存続が危ぶまれるローカル線を題材に、未来のまちづくりを考えることを目的に開催する。ローカル線の乗車や街歩きを実施する。【健康福祉】【スポーツ】 8月29日 小海線 12月1日 大糸線 3月4日 飯田線	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 中央地区スポーツ協会	【評価と反省】 ローカル線に興味のある住民は多く、毎回早くに定員が埋まった。公共交通や移動手段について考える機会となった。未来への取捨選択を問う機会にもなった。 【今後の方針】 継続開催	
中央地区マレットゴルフ交流会	9月1日	1回	地域事業 (体育)	成人	11人	誰もが楽しめるマレットゴルフを通して、健康の増進と参加者同士の交流を図る。【福祉健康】 場所：駒ヶ根市 南割マレットゴルフ場	【準備過程】 地区スポーツ協会と公民館で企画し、参加者募集 【共催団体等】 中央地区スポーツ協会 中央地区マレットゴルフ同好会	【評価と反省】 スポーツ協会からの補助を活用して景品を用意し、大会を盛り上げることができた。 【今後の方針】 継続開催。参加者が減少傾向にあるが、地区のスポーツ事業を盛り上げていく。	
防災部視察研修	9月5日	1回	防災	成人	30人	神奈川県総合防災センターで災害体験や展示見学を行い、災害について学ぶことを目的に開催する。	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 中央地区防災部	【評価と反省】 阪神・淡路大震災や東日本大震災などの地震の体験や当時の状況を改めて学ぶことができた。避難所運営委員会など地区内での防災活動へ還元することができた。 【今後の方針】 継続開催。引続き地域の防災力を高めていきたい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
丸の内中学校 校庭一斉除草支援	9月20日	1回	環境	成人	12人	丸の内中学校の校庭一斉除草を支援し、生徒たちと交流し、つながりを促すもの。	【準備過程】 丸の内中学校と調整 地区関係団体へ協力依頼 【共催団体等】 中央地区関係団体	【評価と反省】 生徒・先生・PTA・地域住民が除草作業を行い、時間・体験を共有することができた。生徒に限らず保護者との交流は貴重な時間であった。 【今後の方針】 継続支援。学校へ生徒との交流の機会が増えるよう要望したい。	
まつせんでまりワーク ショップ	9月22日	1回	趣味教養	成人	4人	木を卵型にくりぬいたものに、和紙を貼り付け、風情ある手まりを制作体験するもの。体験を通じて手先の運動、和文化の学ぶ。	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 信濃毎日新聞松本専売所	【評価と反省】 卵型に和紙を貼り付ける作業が思ったよりも難しく、手先の運動になった。地区内の企業と共催で開催し、つながりを作ることができた。 【今後の方針】 地区内の企業との連携を模索したい。	
中央地区ふれあい祭りの開催	10月15日	1回	地域事業 (文化)	成人	100人	「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、飲食ブースや農産物販売、子ども体験コーナー、作品展示、サークル発表会などを行い、地域住民の親睦と交流を深める。	【準備過程】 地区関係団体からなる実行委員会を組織し、公民館は事務局として支援 【共催団体等】 中央地区関係団体	【評価と反省】 実行委員会の開催方法を変更した。公民館運営委員会と同時に開催し、別開催による負担を減らした。当日雨模様であったが、実行委員の協議のもと通常開催とした。前日準備や展示レイアウトなど、実行委員をはじめ主体的な活動が垣間見えた。 【今後の方針】 事務局として関係者の主体性を引き出しながら継続支援。	
押絵雛講座	11月29日	1回	地域文化	成人	15人	松本の伝統的な特産品である「押絵雛」を制作し、教養を深めるとともに、伝統文化の継承について考える。 講師：ペラミ人形商店 【趣味教養】	【準備過程】 住民の要望により企画・運営	【評価と反省】 伝統文化の継承について考える機会となった。干支をテーマに制作したため、毎年制作するきっかけにもなり、今後につながる講座となった。 【今後の方針】 住民ニーズから講座を継続して開催したい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
利用団体大掃除	12月 5日	1回	その他	成人	15人	利用団体の有志を募り、公民館に感謝を込めて大掃除を行う。会議室を貸すと借りるの関係ではなく、利用団体との関係づくりを目的に開催する。	【準備過程】 利用団体へ周知 【共催団体等】 利用団体	【評価と反省】 毎年それぞれ都合がありながらも有志で参加いただいている。また、普段顔を合わせない団体の方と話す機会にもなっている。 【今後の方針】 利用団体との関係づくりを続けていく。	
第一地区との健康麻雀交流会	12月 6日	1回	福祉健康	成人	12人	健康麻雀を通じ、第一地区住民との交流を深める。レベルを分けて第一地区と大手公民館で同時に開催する。【趣味教養】	【準備過程】 第一地区関係者と企画・運営 【共催団体等】 第一地区公民館	【評価と反省】 「いつもとは違うメンバーで刺激になった」という感想もあり、好評であった。開催後、第一地区の健康麻雀へ参加する住民も見られ、レベルや地域を超えた交流につながった。 【今後の方針】 各地区に健康麻雀サークルがあるので、他地区との交流を目的に開催を検討したい。	
大手公民館×松本山雅 コラボ企画 「山雅ふれあい教室」	12月 8日	1回	福祉健康	成人	30人	松本山雅の選手と触れ合いながら、ボール、タオル、音楽などを用いた体操やゲームを行い、健康づくりを行う。【スポーツ】	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 松本山雅	【評価と反省】 決定から実施日まで日が無かったが、多くの参加があった。「山雅」に想いのある住民は多く、つながりが多く生まれるきっかけとなった。 【今後の方針】 今後も山雅をはじめ地域の活性化や盛り上がりにつながるような企画を検討したい。	
門松づくり	12月25日	1回	地域文化	成人	10人	地区の有志を募り、伝統行事である門松づくりを行う。	【準備過程】 材料調たちや資材運搬の支援 当日の作業補助 【共催団体等】 中央町会連合会	【評価と反省】 門松づくり当日だけでなく、資材調たちなど事前の作業など、より多くの営みを共有することができている。参加者の高齢化が顕著であり、担い手の育成が急務である。 【今後の方針】 継続開催。担い手育成も検討したい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
世代間交流もちつき大会	12月27日	1回	地域事業 (文化)	その他	120人	住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子どもたちに本格的な餅つきを体験してもらい、世代間交流を図る。	【準備過程】 福祉ひろば推進協が中心となり、材料の手配・役割分担の調整 公民館は周知チラシ作成等支援 【共催団体等】 社会福祉協議会中央地区支会、中央地区町会連合会、中央地区民生・児童委員、中央地区町内公民館長会、日赤奉仕団中央分団、中央地区ボランティア部会、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで多くの交流が生まれた。子育て世代からも「家ではできない貴重な体験」と好評。 【今後の方針】 子どもと高齢者が交流し、伝統的な餅つきを体験できる貴重な機会。次年度も継続開催。臼が老朽化しているため、新規調達が必要。	
中央地区新年初顔合わせ会	1月 5日	1回	地域事業 (その他)	成人	70人	新年を祝い、地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 町会連合会主催事業 公民館は企画・運営を支援 【共催団体等】 社会福祉協議会中央地区支会、中央地区地域づくりセンター、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 コロナ対策を徹底し、新年を祝うことができた。地区役員・地区住民の親睦を図る貴重な場となっている。 【今後の方針】 継続支援	
新春落語会	1月17日	1回	趣味教養	成人	25人	伝統芸能である落語にふれ、新年の初笑いを地区に届け、笑いで地域を元気にすることを目的に開催する。 演者：橘家園太郎	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を組織 公民館は事務局となり松本落語会で調整 【共催団体等】 松本落語協会	【評価と反省】 伝統芸能に触れる機会となった。毎年楽しみにしている住民もいる。当日の演目について調べる住民もあり、学びを深めることができた。 【今後の方針】 継続開催	
雪中ウォーク	1月26日	1回	スポーツ	成人	10人	雪上でのウォーキングを行い身体のバランス感覚と筋力を鍛える。 雪国ならではの食糧の保存方法を学ぶ。	【準備過程】 企画・運営 【共催団体等】 中央地区スポーツ協会	【評価と反省】 雪国ならではの文化や冬季の生活を体験し、学ぶことができた。地元住民や地域おこし協力隊との交流もできた。 【今後の方針等】 物価高による参加費増加により、参加数の減少が見込まれる。費用対効果もふまへ検討	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ソーセージづくり体験	1月29日 3月18日	2回	趣味教養	成人	35人	ソーセージづくりを体験し、「手作りの食」について考える。 なかなか家ではできない体験を公民館が提供し、公民館の気軽さ・楽しさを知ってもらう。	【準備課程】 調理が得意な地区住民と事前に民間のソーセージづくり体験に参加し技術を習得。当日スタッフとして携わってもらった。	【評価と反省】 楽しかったのでまたやりたいと声があり第二弾を企画。地区住民スタッフの活動の場ともなった。2回目の開催には、春休みの大学生・中学生・小学生も参加し、多世代交流の場となった。 【今後の方針等】 今後も様々な体験を提供したい。	
選挙啓発&ひとりひとりが地域を考える講座	1月30日	1回	趣味教養	成人	5人	松本市長選挙の実施にあわせ、選挙の基礎知識を学ぶとともに、ひとりひとりが地域を考えることを目的に開催する。 前半 選挙の基礎知識 後半 コーヒーを飲みながら地域について参加者と懇談を行う。	【準備課程】 市選挙管理委員会事務局へ出前講座を依頼 【共催団体等】 市選挙管理委員会事務局	【評価と反省】 町会ごとの投票率に驚く参加者もあり、基礎的な内容で分かりやすく好評だった。後半の懇談では、選挙のことから地域の歴史など、様々な話をすることができた。 【今後の方針等】 今後も自分たちの住む地域を考える機会を提供していきたい。	
おおてワイン講座	3月19日	1回	趣味教養	成人	37人	ワインの基礎知識を学び、教養を深めるとともに、地区住民の親睦を図る。 また、公民館利用者の新規掘り起こしを図る。	【準備課程】 企画・周知 【共催団体等】 (株) Visual工房ORII	【評価と反省】 「楽しかった。また参加したい」という声が多く、参加者からの評価は好評であった。また、公民館を普段利用しない方の参加もあり、公民館の気軽さ・楽しさを知ってもらう機会となった。住民有志もスタッフとして運営側に巻き込むことができた。 【今後の方針等】 規模等を検討して開催	
6地区合同事業 地域再発見！歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	成人	45人	第一、第二、第三、城東、東部、中央の6地区の隠れた名所を再発見してもらい、地域に愛着を持ってもらう機運を醸成する。 ウォークラリーでクイズを解き、終了後は後藤先生の講義をお聞きし、隠れた名所の復習をする。 昨年度に続き3回目。今回は第三地区を主会場として企画。	【準備課程】 6地区の公民館で実行委員会を組織 【共催団体】 中央地区福祉ひろば、中央地区地域づくりセンター、生活支援員	【評価と反省】 参加者からまた参加したいと好評。改めて地域の魅力に触れる機会となった。体験+座学でさらに学びを深めることができた。 【今後の方針等】 継続開催。スタッフに地区住民を巻き込んでいきたい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
いきいき元気大学 第15期・第16期	4月～3月	17回	福祉健康	成人	283人	健康づくり・体力づくりを目的に、 脳トレやリズム運動、ストレッチ等 を行う。 8月にはウォーキングを実施し、屋 外での運動の機会を提供する。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 参加者の高齢化が進んでいるが、毎回無 理のない範囲で体力づくりに取り組んで いる。新規参加者もあり、新たなつなが りが生まれている。8月のウォーキング では、参加者同士の交流を深め、関係づ くりにより寄与することができた。 【今後の方針】 今後も主催事業として継続開催。 参加者の主体的な講座運営を模索した い。	
健康アップ歌唱講座 第27期・第28期	4月～3月	12回	福祉健康	成人	173人	歌唱による健康増進のため、呼吸 法、声帯の使い方などを学び、心の ケアも目指すことを目的に開催す る。【趣味教養】 講師：木次由美子氏	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 参加者有志で立ち上がった歌唱サークル が自走し定着している。公民館で主催す る講座で新規掘り起こしを図り、自立化 したサークルへの支援も行いたい。 【今後の方針】 主催事業の継続と立ち上がったサークル の支援を行い、主体的な住民育成へつな げたい。	
フラダンス講座	4月～3月	13回	福祉健康	成人	125人	地区住民の健康及び社会福祉の増 進、心身のリフレッシュを目的とし て開催する。【趣味教養】 講師：K I Y O M I 氏	【準備過程】 講師と調整し企画・運営	【評価と反省】 参加者から、月1回では振り付けを忘れ てしまうため、自主練習をしたいと申し 出があり、会議室を確保し支援した。意 欲的で主体的な参加者が育成されてい る。 【今後の方針】 継続開催	
かんたん体操コース	5月～3月	8回	福祉健康	成人	70人	コロナ禍により外出機会の減った高 齢者の健康づくりを支援し、フレイル 予防を目的に開催する。 椅子に座って取り組めるレベルと し、無理なく取り組める内容を実施 する。	【準備過程】 講師と調整し企画・運営 【共催団体等】 N P O C F M 実行委員会	【評価と反省】 既存のいきいき元気大学と比べ、かんた ん・やさしいレベルで開催している。 【今後の方針】 そのままだとフレイルになってしまう住 民は多く、体力の現状維持が求められて いる。継続開催し、フレイル予防を行いた い。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
居酒屋公民館	4月～3月	13回	その他	成人	240人	「みんなで気軽にワイワイ!!」をテーマに語り合う。住民の交流と、語り合いの中から生まれる住民の自主的な地域活動等につなげていけるよう毎月1回定期的に開催する。	【準備過程】 食べたいものや飲みたいお酒などは各人で用意 参加者で会場設営・片付け	【評価と反省】 地区の話題、社会の関心事など、毎回盛り上がっている。夏には玄関前でBBQを実施した。小学生親子の参加もあり、多世代交流の場ともなった。 【今後の方針】 参加者同士の連携や交流に期待したい。住民の学習の場となるような企画も引き続き検討したい。	
自習室開放事業	通年 及び 長期休み	23回	子育て	青少年	60人	子どもたちに宿題のできる場所を提供し、公民館は身近なところだと感じてもらうことを目的に実施する。また、若者と地域の交流のきっかけを作る場として企画する。 高校生・大学生へは通年でその日空きのある会議室を開放した。 小中学生には、夏休み及び春休み期間を開放する。	【準備過程】 企画・関係機関へ周知 Instagramで周知	【評価と反省】 若者向けの情報発信として、Instagramを開設し周知。夏休みには小学生から高校生までの子供たちが集まり、真剣に勉強する姿が見られた。 若者と地域の交流につなげることが中々思うように行かず、課題である。 【今後の方針】 継続開催。Instagramでの情報発信を積極的に行いたい。子どもたちと地区住民との交流も図りたい。	
公民館5部門委員会	通年	通年回	公民館委員会・各種会議等	成人	256人	運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の5部門委員会により、各公民館事業の企画・運営、評価を行う。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各会において、時代に沿った活動を実施した。運営、館報編集、図書・視聴覚委員会ではそれぞれの活動が行えた。 文化委員会は地区ふれあい祭り実行委員会、体育委員会は地区スポーツ協会と活動が重なることから、委員会活動としての実施はなかった。 【今後の方針】 各委員会の目的、取組みについて再度検討したい。	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
大手公民館要援護者優先 避難所運営委員会	通年	11回	防災	成人	250人	運営委員会を組織化し、定期的に開催する。防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的とする。【人権平和】 班長会 年4回開催 委員会 年6回開催 運営訓練 年1回開催	【準備過程】 委員会の内容について、各活動班班長と企画 【共催団体等】 中央地区防災部、中央地区町会連合会、中央地区関係団体	【評価と反省】 手話講座、運営ゲーム、被災地支援に携わる天野和彦先生の講演会などを開催した。また、9月16日に避難所運営訓練（備品棚卸し）を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 また、班長会において訓練や委員会の内容を検討し、委員会へ提案した。 【今後の方針】 定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認し、いざという時に動ける住民を増やしていきたい。	
中央っ子応援団 下校時見守り活動	通年	21回	子育て	成人	120人	地域でも子供たちを支援しようと、地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成し活動する。	【準備過程】 会議の招集や見守り当番の周知 【共催団体等】 中央地区各団体	【評価と反省】 開智学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティスクール事業の充実につなげたい。活動は月2回行うことができ、応援団の協力を感謝したい。 【今後の方針】 継続実施。地域でも子どもを育てていくの重要性を地区住民へも投げかけていきたい。	○
子ども会育成会支援	通年	通年回	子育て	家庭教育		地区内の子ども会育成会を支援し、地域で子どもたちを育てる機運を醸成する。 天守床磨き、青山様・ぼんぼん、キャンプ、焼き芋大会などの開催を支援する。	【準備過程】 育成会の企画・運営を支援	【評価と反省】 子どもたちが地域で豊かな体験をする機会を提供することができた。 【今後の方針】 継続支援。子育て世代のニーズを把握しながら、引続き子どもたちのために支援していきたい。	
中央地区町会連合会支援	通年	通年回	地域事業 (その他)	その他		地域づくりのエンジンとなる町会連合会を支援する。町会長会にも同席し、町会や地域の課題、関心ごとを把握する。	【準備過程】 町会連合会主催の行事等の企画・運営を支援	【評価と反省】 コロナによる制限が解除され、主催行事が盛んに行われ、諸々の支援を行うことができた。 【今後の方針】 継続支援	

令和5年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
社協中央地区支会支援	通年	通年回	地域事業 (その他)	その他		公民館は地域づくりセンターとともに事務局の立場として、社協事業に関する企画委員会や事業の運営を支援し、地区の福祉を推進する。	【準備過程】 企画委員会の資料作成、事業運営の補助などを行う。	【評価と反省】 社協事業について、委員の中で共有することができた。 住民が抱える課題が会議に反映され、解決策が話し合われることが必要。 【今後の方針】 事業の方向性について、今後も共有・協議を促していきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

安原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 地区の文化・福祉の向上 地区住民の繋がりづくり、地域コミュニティの推進を図るため、地区関係団体と連携して地区の文化・福祉の向上を図る。 2 文化財保護事業の推進 県宝である武家屋敷「橋倉家住宅」を中心とした地区内文化財の保護事業を展開。まずは地区住民に知ってもらい、活用までつなげる。 3 コミュニティスクール事業の推進 地区内の学校と地域住民、また学校同士のパイプ役として、相互を繋げられるよう課題の共有や解決方法を検討し、事業実施を図る。 4 地区内DXの推進 スマートフォンの普及や電子決済が恒常化していることを踏まえ、主に地区内の高齢者を対象に、講座を通じたDX推進を図る。										1 コロナの影響により中止となっていた地区事業（文化祭）を縮小した形で開催。また、昨年度に引続きウォークラリーを開催した。さらに、福祉に関する講演会を二度開催する等、地区住民の繋がりづくり、文化・福祉の向上に努めた。来年度は、地区主要事業の一つである夏祭りを含めた全ての事業を実施し、より一層地域の繋がりづくりを図る。 2 昨年度の事業に加え、“文化財を活用する”ことに焦点を当て、橋倉家住宅での読書会や信大生に活用してもらう等の事業を実施した。来年度は、市文化財課と協力し、より一層充実した事業実施を図りたい。 3 今年度新たに月1回の担当者連絡会を設けるなど、より綿密な関係づくりを行った。ただ、コロナや天候により事業の中止が相次ぎ、十分なCS事業ができなかった。 4 月1回のスマホ講座を開催し、スマホの操作に悩む地区住民を、講師とともに支援した。また、スマホ講座内でLINEグループができ、新たな繋がりづくりができた。講座内容を再検討し、より充実したDXの推進を図りたい。				
	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	5	5	4	0	12	3	0	2	0	3	2	3	6
延べ 参加人数	30	549	238	282	0	447	62	0	107	0	377	347	117	302

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本市歴史の里見学会	5月13日	1回	地域文化	高齢者	9人	【事業内容】 6月末に開催予定の橋倉家読書会に向けた事前学習会として、松本市歴史の里を訪れ、主に木下尚江生家について見識を深めた。 【ねらい】 読書会で扱う書籍が木下尚江に関するものであったことから、当日の充実度高めることを目的に開催。	【準備過程】 地区歴史研究会と当日の行程、内容等について調整 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 事前に知識を深めたことにより、読書会で扱った書籍の内容が、より具体的に想像することができ、内容の濃いものになった。 【今後の方針】 今後も可能な範囲で事前学習を取り入れ、当日参加された方の満足度を高めたい。	
安原地区親睦春季マレットゴルフ大会	5月14日	1回	スポーツ	高齢者	21人	【事業内容】 地区住民を対象に、松本市総合体育館附属コースにてマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 地区住民の健康増進と参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 公民館だよりにて事業を周知	【評価と反省】 外でのスポーツ機会があまり無い中で、本事業を開催ことは、高齢者の健康増進や気晴らしにも繋がり、意義深い事業となった。 【今後の方針】 来年度も地区スポーツ協会主催のもと事業実施を図る。	
安原地区親睦ボウリング大会	6月9日	1回	スポーツ	高齢者	19人	【事業内容】 地区住民を対象に、アピナボウル松本城山店にて、ボウリング大会を開催。 【ねらい】 地区住民のスポーツ機会の確保。また、健康増進と参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 公民館だよりにて事業を周知	【評価と反省】 地区住民の健康増進、参加者同士の交流促進に寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度も地区スポーツ協会主催のもと事業実施を図る。	○
旭町小学校1年生 さつまいも定植	6月13日	1回	子育て	青少年	60人	【事業内容】 1年生と一緒にさつまいもの定植を行う。 【ねらい】 学校が目指す“探究的な学び”を大事にし、植え方や水やり等について児童主体で行う。	【準備過程】 小学校教諭と事業内容等について打合せ	【評価と反省】 学校の方針である“探究的な学び”に重きを置き、児童たちが植え方などを勉強しながら定植作業をしたが、結果的に一つも収穫できなかったことは残念だった。 【今後の方針】 児童たちが主体的に進めることを大事にしつつ、来年度は収穫に結び付くよう“学び”を進める。	○

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
飯山探訪 ～飯山城址公園と飯山 寺町巡り～	6月23日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 安原地区歴史研究会の会員を中心とした他地域の文化保護活動について学習。今回は、飯山城下の街並み（主に寺院）について学習し、自地区の歴史学習に活かす。 【ねらい】 他地域の文化保護活動を学ぶことで、当地区の文化財保護事業をより一層推進する。	【準備過程】 ・歴史研究会と行程等について打合せ ・訪問先との日程調整 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 他地域の文化財を学習することで、自地区の文化財保護活動に新たなアイデア等が用いられた。また、講師の説明を付けたことで、より深い学習につながった。 【今後の方針】 歴史研究会で学習したいものを精査し、それに関する課外学習を実施したい。	
橋倉家住宅「春の読書会」	6月24日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 県宝に指定されている地区文化財「橋倉家住宅」内にて読書会を開催。昔ながらの雰囲気を楽しむ。 【ねらい】 文化財保護事業の一環として、“文化財を活用する”ことに焦点を当てた事業とすることで、文化財保護をより一層推進する。	【準備過程】 ・安原地区まちづくり協議会文化部会との日程、内容調整 ・当日資料の印刷 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感じながら読書会を楽しむことができた。また、天白琥珀会の協力で、自家焙煎のコーヒーを飲みながら、参加者それぞれが好きな本の意見交換を行い、有意義な時間となった。 【今後の方針】 文化財を活用するといった観点からも、内容を変えながら事業実施を図りたい。	
サマーナイトフェスタ I N安原	7月15日	1回	地域事業 (その他)	成人	300人	【事業内容】 安原地区住民を対象とした夏祭り。露店での飲食物販売やあさひ学園の生徒による太鼓演奏などを行う。 【ねらい】 安原地区住民の交流を通して、地域活性化を図る。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる事業とする。	【準備過程】 ・公民館運営委員会、文化委員会合同会議にて開催可否、内容等を協議 ・各団体、施設との連絡調整 ・全戸配布の公民館だより、チラシによる広報 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会 安原地区公民館運営委員会 安原地区公民館文化委員会 安原地区町内公民館館長会	【評価と反省】 コロナ禍以降初めて、以前と同様の形で開催できた。想定以上の来場者数があり、多少準備が不十分なところもあったが、盛況に開催できたことが良かったと思う。 【今後の方針】 今年度の実績を踏まえ、さらに内容の充実を目指して、来年度の事業実施へつなげる。	
安原地区親睦球技大会	7月17日	1回	スポーツ	成人	22人	【事業内容】 地区住民を対象に、卓球、マレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 住民のスポーツ機会を設け、身体・健康づくりを推進する。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施	【評価と反省】 地区スポーツ協会が中心となり、地区住民のスポーツ機会の提供及び、健康づくりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度もスポーツ協会協力のもと、事業継続を図りたい。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
県宝橋倉家住宅見学会	7月21日 ～7月22日	1回	地域文化	成人	80人	【事業内容】 地区文化財であり県宝にもしてされている「橋倉家住宅」の見学会を開催。 【ねらい】 橋倉家住宅の存在を広く住民に知ってもらい、ゆくゆくは活用にも繋げ、文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 市文化財課と日程調整	【評価と反省】 文化財保護事業を進めるうえで、まずは多くの人に知ってもらおうという点で、評価できる事業となった。 【今後の方針】 市文化財課と協力し、まち歩きなども絡めた事業実施につなげたい。	
親子料理教室 お豆腐づくりを体験！	7月31日	1回	趣味教養	家庭教育	10人	【事業内容】 安原地区に住む親子を対象にお豆腐づくり体験講座を開催。 【ねらい】 食育の一環として。また、夏休み中のお子さんの自由研究テーマに役立つ講座として開催。	【準備過程】 ・地区食生活改善推進協議会と日程内容調整 ・公民館だよりにて事業周知 【主催】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 参加者同士楽しみながら豆腐づくりをすることができていた。もう少し参加者数が多いとより充実したものにとできると思われるため、講座内容や周知方法等再度検討していきたい。 【今後の方針】 食生活改善推進協議会と連携して講座継続を図りたい。	
夏休み親子企画 ～SDGs講座～ 親子で学ぶ！地球にやさしい委蜜ろうラップをつくろう！	8月17日	1回	子育て	家庭教育	5人	【事業内容】 昨今、あらゆる場面で耳にするSDGsに関連した講座として、再利用可能なラップづくり講座を開催。 【ねらい】 SDGsについて、少しでも関心を持ってもらい、日頃意識して生活してもらうことを目的に開催。	【準備過程】 ・講師と日程、内容調整 ・当日必要な材料等の購入 ・公民館だよりにて事業周知 【共催】 ・「ボジ◎ラボ歩き方の学校」 代表 丸山 亜希さん ・食育指導者 古幡 寛子さん	【評価と反省】 講座の内容としては十分であり、楽しめるものであったが、開催時期がお盆であるということもあり参加者が少なかった。もう少し参加者が見込める時期に開催日を設定する必要がある。 【反省】 地区住民の要望に応じて、講座内容・開催時期等を再度検討し、事業実施をしたい。	
発掘から見えてきた新たな松本城の実像	9月15日	1回	地域文化	高齢者	30人	【事業内容】 市文化財課に講師を依頼し、発掘調査から見えてきた松本城の新たな情報について、講演をいただいた。 【ねらい】 地区住民に歴史・文化について関心を持ってもらう。	【準備過程】 ・安原地区歴史研究と日程、内容調整 ・市文化財課へ講師依頼 ・公民館だよりにて事業周知 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 松本城がどのように造られたのか、なぜこの場所に築城したのか等について興味深い話を聞くことができ、参加者からも好評をいただいた。 【反省】 講演会自体に興味を持つ住民は少ないため、内容を検討しながら、事業継続を図りたい。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽しく美味しく骨太料理	9月22日	1回	趣味教養	青少年	12人	【事業内容】 “骨太”をテーマにカルシウム多めの料理づくり講座を開催。 【ねらい】 地区住民の健康増進、食育を目的に開催。	【準備過程】 ・地区食生活改善推進協議会と日程内容調整 ・公民館だよりにより事業周知 【主催】 食生活改善推進協議会	【評価と反省】 参加者同士楽しみながら料理づくりをすることができた。学生の参加もあったため、今後も内容を検討しながら、幅広い層へ講座を提供したい。 【今後の方針】 食生活改善推進協議会と連携して講座継続を図りたい。	
旭町小学校 遠足付き添い支援	10月 3日	1回	子育て	青少年	53人	【事業内容】 地区住民が旭町小学校の遠足の引率をする。 【ねらい】 子どもたちが安全に遠足を楽しむために大人の目を増やすとともに、児童と地域住民の交流の機会とする。	【準備過程】 ・小学校教諭との打合せ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 地区住民が引率することで子どもたちが安心・安全に遠足を楽しむことができた。また、親でも先生でもない方が一緒にいることで、ほどよい緊張感を持ちながら子どもたちが頑張る姿を見られたのも意義深いものだと思う。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図る。	○
安原地区文化祭・ひろばまつり	10月14日 10月15日	1回	地域事業 (文化)	成人	350人	【事業内容】 2日間にわたり各団体、学校からの展示物を掲示。ダンスや歌唱のステージ発表、福祉ひろばでの飲食物提供も実施。 【ねらい】 安原地区で活動しているサークルの成果発表の機会とするほか、安原地区住民の交流を図るとともに、安原地区の地域活性化を目指す。	【準備過程】 ・下記共催団体と開催可否、開催内容等について協議 ・ステージ発表団体との内容調整 ・全戸配布のチラシで事業周知 ・各サークル、学校の成果品を展示 【共催団体】 安原地区文化祭・ひろば祭り実行委員会	【評価と反省】 コロナ禍以降初めて、以前と同様の形で開催できた。2日目は雨天ということもあったが、来場者数がかなり少なかったため、内容を検討する必要がある。 【今後の方針】 開催内容を再検討し、来年度の事業実施へつなげる。	
上高地自然観察ウォーキング	10月19日	1回	福祉健康	高齢者	29人	【事業内容】 秋の上高地に出向き、ガイドの解説を聞きながら自然観察会を行う。 【ねらい】 地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・当日講師の依頼、内容打合せ ・行程検討 ・公民館だよりにより事業周知	【評価と反省】 ガイドの詳細な解説により、上高地をより深く知る機会となった。 【今後の方針】 事業継続を図る。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
多文化共生をすすめる ために	10月28日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 安原地区の多文化共生キーパーソンにお越しいただき、活動の目的や内容について、経験を踏まえながらお話いただく。また、1人タイ舞蹈を踊ることができる方がいたため、最後に披露していただいた。 【ねらい】 地区住民に多文化共生について少しでも知識を深めていただき、地区内の多文化共生を推進する。	【準備過程】 ・多文化共生キーパーソンとの日程、内容調整 ・市人権共生課と内容調整 ・公民館だよりにて事業周知 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会 市人権共生課	【評価と反省】 日頃、外国人と接する機会は多くないが、間違いなく外国人は地区に住んでおり、少なからず困りごと等がある中で、地域と繋がることは必要であることから、今回の学習会は意義深いものとなったと思う。 【今後の方針】 より参加しやすく、参加したいと思われる内容を考え、事業継続を図りたい。	
橋倉家住宅「秋の読書会」	11月4日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 県宝に指定されている地区文化財「橋倉家住宅」内にて読書会を開催。昔ながらの雰囲気を楽しむながら、読書を楽しむ。 【ねらい】 文化財保護事業の一環として、“文化財を活用する”ことに焦点を当てた事業とすることで、文化財保護をより一層推進する。	【準備過程】 ・安原地区まちづくり協議会文化部会との日程、内容調整 ・当日資料の印刷 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感ぜながら読書会を楽しむことができた。また、天白琥珀会の協力で、自家焙煎のコーヒーを飲みながら、参加者それぞれが好きな本の意見交換を行い、有意義な時間となった。 【今後の方針】 文化財を活用するといった観点からも、内容を変えながら、事業実施を図りたい。	
旭町小学校6年 火縄銃学習	11月9日	1回	子育て	青少年	60人	【事業内容】 信州松本藩鉄砲隊の方を講師に招き、旭町小学校6年生を対象に火縄銃の歴史、使い方などについての学習会を開催。 【ねらい】 6年生の社会科の授業で火縄銃が扱われる単元を学習する際に、実物を見ながら説明を聞くことで、より深い学習ができる。	【準備過程】 小学校教諭、信州松本藩鉄砲隊の方との日程、内容調整 【共催団体】 信州松本藩鉄砲隊	【評価と反省】 通常の授業では体験できない講義をすることができ、子どもたちが興味を持ちながら学習に取り組めた。また、丁度社会科の授業単元で火縄銃を扱っていたことから、実物を見ることで、より深い学習をすることができた。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図りたい。	○

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
あさばのウォークラリー2023	11月26日	1回	地域事業 (その他)	成人	47人	【事業内容】 今年度は、東部地区内の文化財・史跡9ヶ所にチェックポイントを設定し、それに関連する問題を解きながらウォーキングを行うウォークラリーを開催。終了後は、景品抽選会、カレーライスの喫食をした。 【ねらい】 東部地区内の文化財・史跡をチェックポイントとすることで、昨年度とは違う発見や楽しさを生み出す。また、ウォーキングを通じた健康増進、地区住民相互の交流を図る。	【準備過程】 ・下記共催団体と事業内容について協議 ・チェックポイント決め、マップの作成 ・景品、食材の買い出し ・全戸配布のチラシで事業周知 【共催団体】 あさばのウォークラリー実行委員会（安原地区まちづくり協議会、安原地区町会連合会、公民館運営委員会、文化委員会、シフォンの会）	【評価と反省】 前年度から回る地区・コースを変更し、地区外の歴史文化財を知る機会となった。また、歴史に詳しい方が参加者に説明しながら歩く姿も見られ、違った楽しみ方が生まれたことも良かったと思われる。 参加者数が昨年度より半減したため、内容等を見直す必要がある。 【今後の方針】 内容を再検討し、より多くの参加が見込める事業としたい。	
浅川兄弟資料館とポール・ラッシュ記念館	11月29日	1回	人権平和	成人	10人	【事業内容】 山梨県の人権施設である浅川兄弟資料館とポール・ラッシュ記念館を訪れ、人権学習を行う。 【ねらい】 日韓友好の橋渡しをした浅川兄弟、また、第2次世界大戦後の疲弊した日本農村を民主的復興に導いたポール博士の功績を学ぶ。	【準備過程】 ・施設との日程調整、講師依頼 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 それぞれ施設館長に解説をいただいたことで、より詳細に学ぶことができた。 【今後の方針】 行程、内容等を検討し、事業継続を図る。	
世代間交流もちつき大会	12月3日	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	【事業内容】 安原地区に住む子ども、親、祖父母など、あらゆる世代の方たちを対象にもちつき大会を開催。 【ねらい】 昔は多くの家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化に触れる。また、多世代交流を図る。	【準備過程】 ・安原地区子ども会育成会が企画 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 開催内容を再検討し、来年度の事業実施へつなげる。	
安原地区公民館・福祉ひろば年末一斉清掃	12月9日	1回	その他	成人	57人	【事業内容】 日頃公民館を利用しているサークル・団体による年末大掃除を行う。 【ねらい】 日々の清掃では手の行き届かない細かな場所を年に一回掃除してもらいながら、サークル間の交流の機会とする。	【準備過程】 ・事業開催通知の発送 ・参加者とりまとめ ・清掃用具の準備 【共催団体】 あさひ会（安原地区公民館利用者の会）	【評価と反省】 日頃使用している公民館・福祉ひろばを利用者に丁寧に清掃してもらうことで、施設をきれいに保つことができる。 【今後の方針】 事業継続を図る。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
安原地区高齢者交流	12月12日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【事業内容】 安原地区に住む高齢者を対象にバス講座を開催。駒ヶ根シルクミュージアムを訪れた。 【ねらい】 主に引きこもりがちな高齢者を対象に事業を実施することで、地区全体の健康づくりの増進と繋がりを図る。	【準備過程】 ・下記共催団体との日程、行程等について打合せ ・講座への参加呼びかけ 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会健康福祉部会	【評価と反省】 コロナ禍により外出機会が減っていた中、自然観察を通じた交流会を実施することで、地区内高齢者の健康づくり、繋がりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 行程内容を変えて、事業継続を図りたい。	
押絵雛講習会	12月14日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 松本伝統工芸として知られている押絵雛の技法を学びながら、干支である兎をモチーフにした壁飾りを作る。 【ねらい】 松本伝統工芸の一つである押絵雛の技法を学ぶ。	【準備過程】 ・ペラミ人形展：三村氏と日程、内容等について打合せ ・講習会で使用する物品の購入	【評価と反省】 良いとされる時期から少し遅く実施したが、新年を迎えるにあたり季節を感じられる講座となった。ただ、講習時間が長く、作業も細かいため、疲れが見える方もいた。 【今後の方針】 時期、内容等を見直し、事業継続を図りたい。	
福祉を語るつどい 【講演会】 ～プラチナ世代のお悩み解決～	12月16日	1回	福祉健康	成人	54人	【事業内容】 日頃、頻尿等に悩む地区住民を対象に解決法などを教えていただく講演会を開催。 【ねらい】 参加者が、講演会を通して少しでも悩みが解決されることを望む。	【準備過程】 ・さがみ屋泌尿器科クリニック：川上雅子先生と日程、内容等の調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知 ・当日資料の準備 【共催団体】 社会福祉協議会安原地区支会	【評価と反省】 特に高齢者の中には泌尿器科系の悩みを持つ方は少なくないため、ニーズに合った講演会となった。 【今後の方針】 “福祉”に関する学習は多岐にわたるため、住民のニーズを把握しながら、内容を検討し事業実施を図る。	
安原地区新年顔合わせ会	1月14日	1回	地域事業 (文化)	成人	27人	【事業内容】 地区役員による地区新年会を開催。お弁当による会食会、会長挨拶、記念写真撮影を執り行った。 【ねらい】 新年の抱負等、地区で取り組むまちづくりの方向性を共有し、決意新たに新年を迎える。	【準備過程】 安原地区まちづくり協議会新年会企画委員会が企画、実施	【評価と反省】 例年行っている会食形式の新年会とはなかったが、本年のまちづくり、地域づくりに向けた決意を共有できる良い機会となった。 【今後の方針】 コロナ禍前の形式に少しでも近づけるよう工夫しながら、事業実施を図りたい。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
旭町小学校6年 歴史まち歩き学習	1月30日	1回	子育て	青少年	60人	【事業内容】 旭町小学校6年生を対象とした安原地区の歴史まち歩きを実施。歴史研究会の会員が講師となり、地区の歴史文化について説明する。 【ねらい】 城下町特有の歴史文化に触れてもらう。また、地区内の文化財がどのように保存・活用されているのか知ってもらう。	【準備過程】 ・小学校教諭、歴史研究会と当日の内容、日程等について打合せ ・当日の行程表の作成、資料の配布 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 解説冊子を一新し、より分かりやすいまち歩きを実施することができた。 【今後の方針】 内容、時期を再検討して事業実施をしたい。	○
冬の風物詩 お味噌づくり講座	2月15日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 味噌の仕込み時期に合わせて、蒸したての大豆からおいしい味噌づくり講座を開催。 【ねらい】 地区住民からの要望が強かった講座を開催。	【準備過程】 ・講師と日程、内容を調整 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知 ※講師：松本市食生活改善推進協議会 会長 赤羽 みち子さん	【評価と反省】 コロナ禍により開催できていなかった講座をようやく開催することができ、参加者からも好評であった。 【今後の方針】 今後も住民のニーズを反映した、講座事業を実施したい。	
芸術鑑賞＆ ウォーキング講座	2月29日	1回	趣味教養	成人	28人	【事業内容】 地区住民を対象に、諏訪の原田泰治美術館とニデックオルゴール記念館、諏訪大社を訪れた。 【ねらい】 住民の情操の純化、健康づくりの推進及び、親睦を深める。	【準備過程】 ・各施設との日程、内容等の調整 ・公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 各施設、解説をいただいたことで、より詳細に知識を深めることができた。芸術鑑賞とウォーキングという稀な組み合わせの講座であったが、参加者からは好評であった。 【今後の方針】 内容を再度検討し、事業実施を図る。	
旭町小学校・中学校 あいさつ運動	通年	4回	その他	青少年	50人	【事業内容】 旭町小学校西門、旭町中学校正門の前で、地区住民が児童対象にあいさつ運動を行う。 【ねらい】 地域全体であいさつが当たり前になるように。また、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるよう住民が率先して挨拶運動を実施。	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知 【共催団体】 旭町小・中学校応援団	【評価と反省】 事業が定着してきており、町会長を中心に来てくださる方が増えてきた。 【今後の方針】 町会役員に限らず、地区住民にも参加してもらえるよう、周知方法等を工夫したい。	○

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ使い方相談会	通年	12回	趣味教養	高齢者	90人	【事業内容】 地区住民が日頃スマホを使っている点から分からない点を相談し、説明を受ける相談会を開催 【ねらい】 地区内DXの推進、スマホに関する悩み解決	【準備過程】 ・下記共催団体と日程、内容等の調整 【共催団体】 天白琥珀会	【評価と反省】 あえて講座内容を決めず、なんでも相談会にすることで、参加者が気楽に参加できるようにした。参加者それぞれのニーズに合った講座となっている。また、講座内でLINEグループができ、新たな繋がりがづくりの場ともなっている。 【今後の方針】 参加者のレベルが徐々に上がっており、よりレベルの高い内容を求められることもあるため、専門の講師を呼ぶなど内容を検討し、事業継続を図る。	
パソコン教室	通年	24回	趣味教養	成人	137人	【事業内容】 パソコンの基礎学習を行う。月に2回講師を招き、日頃パソコンを使用するうえでの不明点について解決を図る。 【ねらい】 参加者同士が教えながら講座を行うことで、技能向上と参加者交流を図る。	【準備過程】 ・講師：山川豊氏と日程、内容を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 当館の定期講座として例年開催しているが、参加者の減少・固定化が見られる。講師も高齢となってきたため、講座内容、回数等を見直す必要がある。 【今後の方針】 講師と日程、内容等を再検討し、事業実施を図る。	
スローストレッチ教室	通年	24回	福祉健康	成人	375人	【事業内容】 ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 【ねらい】 自分に合ったストレッチ体操を行い、自身の健康づくりに繋げる。	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。新たな参加者が時々参加するなど、当館では人気の講座となっている。 【今後の方針】 事業継続を図る	
男のストレッチ講座	通年	12回	福祉健康	その他	71人	【事業内容】 ストレッチとトレーニングを自分のペースで行う。(男性向け) 【ねらい】 男性限定の講座とすることで、男性の講座参加率を向上させる。	【準備過程】 ・すがの鍼灸整骨院：高橋達也先生と日程打合せ ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。男性限定にしていることから、男性が気兼ねなく参加できる講座となっている。 【今後の方針】 新規参加者が増えるよう、内容や周知方法等を見直し、改善する。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
男の料理教室	偶数月 第1金曜日	5回	趣味教養	その他	41人	【事業内容】 男性を対象に料理教室を開催する。 【ねらい】 男性限定の講座とすることで、男性の講座参加率を向上させる。また、地区内の食育に繋げる。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 幅広い分野の料理を品数多く作るため、参加者からも非常に好評である。料理を作ることを通して食育を進めるとともに、参加者同士の交流にも繋がっている。 【今後の方針】 参加者の固定化が見られるため、内容や周知方法を改善し、事業継続を図る。	
パンとスイーツ教室	奇数月 第4金曜日	5回	趣味教養	その他	65人	【事業内容】 パンとスイーツを一品ずつ作る料理教室を開催 【ねらい】 料理教室を通して、食育、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 ・講師：高梨雅子氏と内容等を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 毎回内容を変えて、様々な種類のパン・スイーツづくりを学ぶことができ、非常に好評な講座となっている。 【今後の方針】 来年度も継続する。	
安原地区歴史研究会	毎月 第4金曜日	12回	地域文化	成人	163人	【事業内容】 地区内の歴史・文化を中心に、幅広く歴史について学ぶ。 【ねらい】 会員が率先して地区内の歴史、文化を学ぶことで、地区内の文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 歴史研究会が企画、事業実施	【評価と反省】 地区内の歴史文化を中心に幅広く学習することができた。文化財保護事業の推進やコミュニティースクール事業での講師など、幅広く活躍しているサークルとなっている。 【今後の方針】 座学だけでは会員のモチベーションを保つのは難しく、講演会やバス研修など内容を工夫しながら事業継続を図る必要がある。	
公民館運営委員会・文化委員会等合同会議	6月 7日 8月 9日 2月28日	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	45人	【事業内容】 公民館の運営、各種イベントについて内容等を協議し、事業の運営をする。 【ねらい】 安原地区公民館、安原地区全体の活性化につなげる。	【準備過程】 ・会議開催通知の送付 ・当日資料の準備 ・各種イベント時の役割分担	【評価と反省】 夏祭りや文化祭など、地区事業の開催内容等を協議したが、コロナ禍を理由に中止するのではなく、内容を工夫して実施するとの方針を持てたことは良かったと思われる。 【今後の方針】 必要に応じ、随時開催する。	
図書編集委員会	5月24日 11月15日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	12人	【事業内容】 公民館内にある図書スペースの本の入替え 【ねらい】 地区住民により近い場所で、様々なジャンルの本に触れてもらう機会を提供する。	【準備過程】 松本市中央図書館と各委員との日程調整	【評価と反省】 それぞれの委員が好きな本を選んで図書入替えを行うことで、楽しみながら入替活動を行うことができた。本の紛失が多々あるため、予防策を講じる必要がある。 【今後の方針】 事業継続を図る。	

令和5年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	60人	【事業内容】 安原地区公民館報の作成 【ねらい】 安原地区公民館報を通して、地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・編集会議開催通知の送付 ・編集会議資料作成 ・館報紙面の割り付け	【評価と反省】 掲載記事の選定や記事校正など、委員が積極的に意見を言いながら館報編集を進めることができた。掲載記事が事業報告のものが多いことから、地域の“人”に焦点を当てるなど、より興味深い内容とする必要がある。 【今後の方針】 今後も委員と話し合いながら、よりよい館報づくりを進める。	

令和5年度 事業報告の概要

城東公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・地区の北端、福祉複合施設の3階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座、事業を実施するよう留意している。コロナ禍前の活動になるように努める。 ・講座終了後に参加者へアンケートを実施したり、直接参加者とコミュニケーションを取ったりすることで、地域住民の学びに対するニーズを講座に反映していくよう努めた。 ・公民館講座やコミュニティースクール事業を他地区と合同で行うことにより、単独館では行えなかった規模での開催や参加者へのきめ細かいサポートを行うことができ、地域愛の醸成や社会福祉への更なる貢献を図った。										・地域住民や講座参加者からの意見・要望の吸い上げに力を入れた結果、そこから企画した講座もいくつか行うことができた。今後も地域からのニーズや身近な課題に沿った講座企画を行っていきたい。 ・コロナが収束に向かったが、コロナ禍で活動していなかった期間が長かった影響か、公民館に足を運ぶということが少なくなったのではないと思われる。来年度は既存事業の廃止や新規事業を行う等、事業を見直しを図りたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	8	2	1	9	4	0	4	1	1	3	5	7
延べ 参加人数	19	50	108	12	29	248	46	0	107	21	125	63	84	108

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ活用講座	4月21日 6月9日 2月16日	3回	その他	成人	9人	【内容】 ・市が提供しているアプリの操作方法を学ぶことでスマホの操作方法等を学ぶ		・個別で相談や基本操作を教えられた。 ・携帯ショップでの動作確認等のためできない内容があった。 ・課金が発生するアプリのためインストール(サポート)できない内容があった。	
城東シネマ	6月27日	1回	その他	成人	27人	【内容】 ・松本市で撮影された映画「姉妹(きょうだい)」の鑑賞	城東地区福祉ひろば		
第45回マレットゴルフ大会(中止)	6月30日	0回	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・大芝公園でマレットゴルフ大会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	天候が悪く、現地に行っても雨のため中止した。	
特定外来種駆除作業	7月2日	1回	環境	成人	29人	【内容】 ・特定外来植物の説明と駆除の実施 【ねらい】 ・特定外来植物の見分け方、駆除方法を学ぶ		・作業開始時間が遅く気温が暑かった。 来年は開始時間を早めた方がいい。	
切り絵 講座	7月11日 8月21日 9月11日	3回	趣味教養	成人	17人	【内容】 ・切り絵を趣味として広げたい 【ねらい】 ・趣味として切り絵を通じて、講座からサークルができればよい。		・以前は人気があった講座のようだが、人が集まらないので来年以降は見直したい。 ・サークルにするには人数が少なかった。	
盲学校 地域奉仕活動	7月12日	1回	地域事業(その他)	成人	41人	【内容】 ・松本盲学校の生徒による施術奉仕 【ねらい】 ・地域の絆を深める		・地域の方も学校も充実した交流ができたとの感想で、今後も継続していきたい。 ・募集人員に達して好評であった。	
ラージボール卓球体験教室	7月15日	1回	スポーツ	成人	13人	【内容】 ・市民スポーツ大会の種目でもあるラージ卓球について競技人口の拡大を図る 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・来年度も継続した取り組みを行いたい。 ・参加申込みが公民館以外にもあり人数の把握が難しかった。	

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども安全安心学校	8月4日	1回	子育て	青少年	子供44人 大人16人	【内容】 ・防災、防犯について子どもと大人 が一緒に学ぶ ・長野県警による交通安全パズル ・松本警察署交通課による交通安全 指導 ・交通安全教育支援センターによる 腹話術の交通安全指導 ・日赤奉仕団によるハイゼックス米 の炊出訓練 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 子ども会育成会、日赤奉仕団、福祉 ひろば、児童館他	・警察による交通安全パズルと交通安全 指導が2か所で行われ、時間調整が大変 だった。 ・来年以降は同時進行はやめた方がい い。 ・来年は消防署。	
ポッチャ交流会	8月23日	1回	スポーツ	成人	13人	【内容】 ・まるこ福祉会とのポッチャ交流会 【ねらい】 ・参加住民同士の交流 ・他市の住民との交流	【共催団体等】 スポーツ協会	・継続してできるなら、来年度は松本市 にきてもらうか？ ・公用バスを使う事業で参加申込が前日 にあった。（公民館以外に通知が出てい て情報の一元化が必要）	
ふるさと料理教室	8月31日 9月26日 10月31日 11月29日	4回	趣味教養	成人	68人	【内容】 ・県内のふるさと料理づくりを学 ぶ。うち1回は、市バスで現地視察 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		・毎年恒例の講座であり、参加者からの 人気も高い。 ・調理するレシピについては、参加者か らの要望も取り入れて検討していき たい。 ・連続講座のため、欠席による精算など 大変なので、単発の方が事務的には楽に なる。	
盲学校の草取り作業	9月3日	1回	地域事業 (その他)	成人	22人	【内容】 ・松本盲学校の草取り 【ねらい】 ・地域の絆を深める ・環境美化	【共催団体等】 地区環境衛生協議会	・地域住民の助け合いの精神がいかに なく発揮され、盲学校との交流が促進さ れた。 ・今後も継続していきたい。	
上高地 散策ウォーキング	9月7日	1回	福祉健康	成人	24人	【内容】 ・上高地自然散策、ウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・自然学習や、参加者の健康づくりに役 立った。 ・キャンセルが多かった。（定員オー バーはしていなかったので補充もできな かった。） ・健脚コースもあった方がいい。	
フルーツカービング	9月22日	1回	趣味教養	成人	6人	【内容】 ・趣味としてのフルーツカービング を学ぶ 【ねらい】 ・文化祭にも出展してもらいたい		・難しくて作品ができなかった。 ・石鹸など何回かに分けても腐らないも のでカービングができたらしい。	

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
城東公民館文化祭	9月24日	1回	地域事業 (文化)	成人	125人	【内容】 ・公民館利用団体、地域住民による 芸術文化の祭典 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流 ・コロナ禍によって激減した日々の 活動成果の発表機会の提供	【共催団体等】 文化祭実行委員会	・発表は参加団体が少なく、昨年と団体 数は変わらない、午後1時には舞台部門 は終了した。 ・各団体の設置時間や発表時間を細かく 打合せの必要がある。楽器の搬入や設置 時間を含めた時間で依頼したため、団体 による発表時間に差が発生した。 ・展示サークルがないため町内公民館長 等経由で展示作品を募集したが、何がど れだけ出るのか連絡がなかなかない。文 化祭は舞台のみの方がいいかも。	
第46回マレットゴルフ大 会	10月28日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ・アルプス公園でマレットゴルフ大 会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	参加人数が多く、順位集計に時間がかか り昼を回った。 午後に予定があり、表彰式の途中で帰っ た人もいた。	
登山学とウィーキング講 座	10月30日	1回	福祉健康	成人	13人	【内容】 ・座学による登山の楽しさや注意点 を学ぶ、時間に余裕も持って、ふも との歴史や郷土料理なども楽しむ。 【ねらい】 ・健康づくり ・自分の体力に合った登山		登山の注意事項など参考になる話を聞く ことができた。 時間が少なく、事故事例なども聞けたら 良かった。	
人権講演会・コンサート	11月5日	1回	人権平和	成人	19人	【内容】 ・L G B Tについて体験を合わせて 講演してもらう ・コンサートを聴いてもらう 【ねらい】 ・L G B Tについて学んでもらう	城東地区人権啓発推進協議会	参加者が少なかった。	
新そばのランチ会と大正 琴の演奏会	11月9日	1回	その他	成人	45人	【内容】 ・新そばを食べながら、大正琴の演 奏を聴く 【ねらい】 ・新そばを食べてもら う ・大正琴を聴く		そばはおいしいとお礼を言ってもらっ た。 そばの量が少ない。もう少し量を増やす か、お代わりができるようにするかが課 題。	

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本城と鬼門	11月13日	1回	趣味教養	成人	23人	【内容】 ・歴史講座 ・松本城とその鬼門について、他の城などを例に説明を受ける 【ねらい】 ・松本城について学んでもらう		市民タイムスに講座の募集をしたので参加者が多かった。	
城東地区の五橋について	11月29日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 ・地区内の女鳥羽川に架かる橋や女鳥羽川について学ぶ 【ねらい】 ・地区内を流れる女鳥羽川や女鳥羽川に架かる橋について学び地元のことを知ってもらう		普段気にしていない橋の細かなことについて知ることができた。	
松本城と歴史	12月12日 1月23日 1月31日	3回	趣味教養	成人	66人	【内容】 ・「国宝松本城及び世界遺産に関する学習会」の一環で開催。 ・初回 松本城と歴史について ・2回目 世界遺産について ・3回目 松本城の見学 【ねらい】 ・松本城について知ってもらう（他の国宝とも比較をして）	東部公民館、文化振興課、文化財課、「国宝松本城と世界遺産に」推進実行委員会	東部公民館と合同ということもあり、松本城に興味がある方が集まった。文化振興課が公民館長会で周知し開催したが、松本城が近くにある地区の方が開催は向いていると感じた。松本城の見学では職員による説明が受けられてよかった。	
本格インドカレーを作ろう	12月17日	1回	趣味教養	成人	24人	【内容】 ・インドの家庭料理的なカレーづくりを学ぶ 【ねらい】 ・インドの食文化について学ぶ		応募者が多くキャンセル待ちを用意したが、キャンセルが前日まで出たため、連絡しても用事を入れた方が多かった。最終的には募集人数になった。他のカレーでも講座を開催したい。	
楽しい俳句講座	12月19日 1月30日	2回	趣味教養	成人	29人	【内容】 ・俳句について、有名な俳句なども含めて説明を受けた 【ねらい】 ・俳句について身近に感じてもらう		・1回目は様々俳句についての説明をもらった。 ・2回目は講師が詠んだ俳句についての説明があった。 ・講師がMG プレスの俳句の選者でもあり地区外からの募集があった。 ・今回は俳句についての説明のみで、参加者が詠めればよかった。	

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
留学生との新年交流会	1月6日	1回	地域文化	成人	12人	【内容】 ・留学生と地域住民が新年の遊びや 伝統行事などの体験を通じて交流する 【ねらい】 ・留学生と参加住民の交流		・信州大学留学生と地域住民との交流を 図る貴重な機会となった。 ・10名の応募があったが、当日1名の欠 席メールしかなく、4名の無断欠席で5 名の参加であった。年末年始を挟むとは いえ連絡がないことが毎年続いている。 来年度以降は廃止した方がいい。（準備 もあるので）	
町会対抗ポッチャ大会	2月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	21人	【内容】 ・町会対抗の大会を開催する。 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・簡単なルールなので初めての方も楽し く参加いただいた。 ・すべての町会がエントリーするよう呼 びかけをしたい。	
食と生活の安全	2月21日	1回	福祉健康	成人	13人	【内容】 ・感染症の原因など事例を学ぶ 【ねらい】 ・感染症対策を学び、予防・対策に 努める		・感染症が流行している時期なので、原 因や対策を学ぶことは役に立つ。	
食の安全を学ぶ (工場見学)	2月27日	1回	その他	成人	26人	【内容】 ・食品工場の製造を見学する。 【ねらい】 ・食品工場の製造過程を見学し、製 造管理が安全に行われていることを 学ぶ。		・食に関する安全性について、見学する ことにより理解が深まった。	
城東シネマ 「さよなら、クロ」	3月7日	1回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・松本市での実話を元に制作された 映画の観賞 【ねらい】 ・松本市であったことを知ってもら う。		・松本市が関係している映画を取り上げ て鑑賞した。 ・また松本市が関係している映画を鑑賞 したい。	
歩いて探そうお宝探訪 ウォークラリー	3月20日	1回	地域文化	その他	43人	【内容】 ・ウォークラリー ・ウォークラリーにて巡った史跡に 関する歴史講座 【ねらい】 ・地域資源、財産の再発見 ・参加住民同士の交流	【主催】 まちなかウォークラリー実行委員会 (第一、二、三、東部、城東、大手 公民館)	・地区合同講座として開催。単独館での 企画より大規模に行うことができ、参加 者同士はもちろんのこと、職員同士の連 携醸成や地区間の情報共有にも役立っ た。	

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地区情報テラスの発行	4～3月	毎月 3～5回	地域事業 (その他)	成人		【内容】 ・公民館の情報も含む地区情報誌の 企画編集、作成、印刷、配布 【ねらい】 ・地区情報の一元化	【共催団体】 城東地区町会連合会広報部	・昨年度から公民館や福祉ひろば、地区 団体情報などが個別に作成、情報提供さ れたいたものを一元化した。 ・月4回程度の部会活動により全て手作 業を要するため効率化が求められる。 ・印刷は外注しているため、さらに早く 原稿を仕上げなければならない。	
一斉あいさつ運動	4月7日	2回	子育て	青少年	10人	【内容】 ・旭町小、中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施し た。 ・子どもや保護者、地域の方が取組みを 認識できるようにベストを着用した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続 したい。	○
旭町小学校 新1年生下校見守り	4月 7日 4月10日 4月12日 4月13日	4回	子育て	青少年	45人	【内容】 ・旭町小学校の新1年生が安全に下 校できるように見守る 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・子どもたちが安全に下校することに資 することができた。	○
旭町小学校 交通安全教室	4月19日	1回	子育て	青少年	8人	【内容】 ・校庭の模擬道路や実際の道路での 練習を通じ、正しい歩行や自転車の 乗り方を身につけたり、再確認した りする機会とする 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・子どもたちの交通安全に資することが できた。	○
旭町小学校 さつまいも植付	6月13日	1回	子育て	青少年	3人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民でさつまい もの植付を行う 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育		・1年生のさつまいもを植えたが、他の 学年に比べると、成長していなかった り、枯れていたものもあった。苗が良 くなかったか、夏休み中に水くれをしな かったか原因は分からない。	○
旭町中学校 読み聞かせ	7月10日 7月12日 7月13日 12月11日 12月13日 12月14日	6回	子育て	青少年	18人	【内容】 ・旭町中学生への読み聞かせボラン ティア 【ねらい】 ・中学生は本に触れるきっかけとす る ・地域住民の交流		・中学生と接する機会として継続した取 組みとしたい。	○

令和5年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
一斉あいさつ運動	8月24日 1月 5日	2回	子育て	青少年	9人	【内容】 ・中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・子どもや保護者、地域の方が取組みを認識できるようにベストを着用した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○
一斉あいさつ運動	8月25日 1月 7日	2回	子育て	青少年	15人	【内容】 ・旭町小学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・子どもや保護者、地域の方が取組みを認識できるようにベストを着用した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○
公民館委員会会議	5月18日 11月 2日 3月12日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	32人	【内容】 ・公民館の運営にそれぞれの部門から助言や支援をいただく ・各部門の主管事業の実施 ・運営委員会		・各委員会のなり手不足が深刻となってきた。現委員でも高齢化が進み、後任がいらないために継続して委員を務めなければならない状況。 ・活動が定例化しつつあるため、各委員会の活動理念に沿った新しい取組みを模索したい。	
公民館委員会会議	6月30日 8月25日 12月22日 2月19日	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	19人	・館報編集委員会			
公民館委員会会議	5月22日 9月13日 3月14日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	16人	・図書視聴覚委員会			
公民館委員会会議	5月22日 3月14日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	7人	・文化委員会			
公民館委員会会議	5月22日 3月14日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	10人	・体育委員会			

令和5年度 事業報告の概要

白板地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催した。 ・児童センター、小学校、中学校、高校との交流の機会を創出し、世代間の交流を活発にした。 ・講座参加者や地域住民の声を取り込み、講座の企画を行った。										・地区内の各種団体との連携により、各種団体との共催事業を複数回実施した。今後も、各種団体の活性化につながる事業を展開していきたい。 ・児童センターや小学校、中学校、高校との交流の機会により、「公民館とは何か」を子どもたちに知ってもらえた。このつながりを活かし、多世代交流のさらなる活性化を図りたい。 ・公民館講座に初めて参加される方も複数おり、公民館活動の広がりを感じることができた。今後は、既存の公民館活動への参加者を大切にしながら、新規参加者を集めることができる講座を企画していきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	7	4	6	1	8	2	2	0	1	1	3	4	4
延べ 参加人数	50	136	70	166	18	373	140	55	0	280	340	420	166	240

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
県立歴史館見学	4月25日	1回	地域文化	成人	18人	【事業内容】 常設展示や企画展「至宝の名品 古文書編」、森將軍塚古墳館、武水別神社などを見学 【ねらい】 教養を深める。 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 県内の埋蔵文化財や歴史的価値のある資料を見学でき、松本市内の文化財についても学習したいと意欲がわいた様子であった。	
文化伝承講座 端午の節句	5月13日	1回	地域文化	その他	40人	【事業内容】 端午の節句の文化について学習する。節句にちなんだ料理を食べる。 【ねらい】 端午の節句という文化について学習し、文化を伝承していく。 子どもに公民館に来てもらうきっかけとする。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知 【共催団体等】 白板地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 端午の節句にちなんだ音楽を楽しそうに聴き、おいしそうに料理を食べる子どもたちの顔が印象的だった。 【今後の方針】 継続	
第21回白板地区大運動会	5月21日	1回	地域事業 (体育)	その他	280人	【事業内容】 地区大運動会（誰でも参加できる競技が主体）の実施 【ねらい】 町会同士の交流 健康増進。	【準備過程】 地区内全戸回覧にて周知 【共催団体等】 主催：白板地区スポーツ協会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 コロナ明けとなることもあり、多くの参加者に集まっていた。 【今後の方針】 継続	
上高地ウォーキング	5月24日	1回	福祉健康	成人	15人	【事業内容】 上高地の自然を観察しながらウォーキング。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 上高地の自然にふれることができ、大変好評であった。	
田川児童センター 地区内ウォーキング	6月10日	1回	子育て	青少年	25人	【事業内容】 田川児童センターの子どもと地区内の文化財を巡るウォーキング。 【ねらい】 地区内の文化財を知り、歴史について学習する。	【準備過程】 田川児童センターの職員とルートの下見を実施休憩場所等の選定。 地区住民にウォーキングへの同行の依頼。	【評価と反省】 地区住民と子どもの関わる機会となり、とても充実していた。 【今後の方針】 継続	
上高地ウォーキング (コース別)	6月14日	1回	福祉健康	成人	30人	【事業内容】 上高地の自然を観察しながらウォーキング。2コースに分けて実施 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 上高地の自然にふれることができ、大変好評であった。 2コースに分けたことで、歩く距離の選択ができるようになり、参加者の体力に合わせて実施ができた。	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ワンバウンドふらばー バレー体験会	6月25日	1回	福祉健康	その他	20人	【事業内容】 ワンバウンドふらばーバレーの体験。 【ねらい】 健康増進。 住民同士の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 地区住民が交流できる機会となった。初めて体験する方が多く、好評であった。 【今後の方針】 種目を検討して継続	
碓氷峠鉄道文化むら見学	7月23日	中止	子育て	青少年	0人	【事業内容】 白板地区子ども会に加入している親子を対象に、鉄道文化むらの見学を行う。 【ねらい】 親子の交流 子ども同士の交流	【準備過程】 白板地区子ども会育成会の回覧にて周知 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会	【評価と反省】 参加者が集まらず中止となった。長距離のバス移動が心配であるといった声があった。 【今後の方針】 内容の検討をして継続	
地域歴史講座	7月29日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 地区の歴史について学習をする。 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 地区の歴史を知ること、地区に対してより愛着が深まった様子であった。 【今後の方針】 内容の検討をして継続	
乗鞍自然観察会	7月31日	1回	福祉健康	成人	25人	【事業内容】 乗鞍の自然を観察しながらウォーキング。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 乗鞍の自然にふれることができ、大変好評であった。	
大人の工場見学in伊那路	8月8日	1回	趣味教養	成人	23人	【事業内容】 養命酒駒ヶ根工場やかんてんぱの 見学 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 商品が市場に出回るまでの流れを学習できた。	
公民館に泊まろう	8月11日 8月12日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【事業内容】 白板地区の児童を対象とした公民館への宿泊事業。 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交流	【共催団体等】 主催：丸ノ内スポーツクラブ	【評価と反省】 コロナにより数年実施していなかったためか、参加者が集まらず中止となった。 【今後の方針】 地区内の広報だけでなく、学校へ直接広報活動することを検討する。	
乗鞍自然観察会	8月23日	1回	福祉健康	成人	21人	【事業内容】 乗鞍の自然を観察しながらウォーキング。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 乗鞍へ行ったものの、現地では雨が降ってしまい、散策の時間をあまり取ることができなかった。	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
上高地自然観察会	9月13日	1回	福祉健康	成人	15人	【事業内容】 上高地の自然を観察する。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 上高地の自然にふれることができ、大変好評であった。歩く距離を短くしたため、高齢者の方も疲労感は少なかった。	
宮渚浄化センター見学	9月25日	1回	環境	成人	18人	【事業内容】 宮渚浄化センターの見学 【ねらい】 地区内の施設の学習。 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 汚水がきれいになるまでの過程を学習し、家庭での排水に気を付けるよう啓発ができた。近くにあるものの行ったことがない方が多く、有意義であった。	
介護予防講座	9月30日	1回	福祉健康	高齢者	10人	【事業内容】 地区内の医師を講師に招き、フレイルの講座を実施 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 フレイル予防のために何が重要か、身近な医師から説明を聞くことで、説得力が増したと思う。周知をもっとうまくできれば良かったと思う。	
第5回白板地区文化祭	10月14日	1回	地域事業 (文化)	その他	340人	【事業内容】 白板地区で活動している団体・サークルの活動発表の場として実施田川小学校の児童や丸ノ内中学校の生徒も演奏し、松本蟻ヶ崎高校の書道パフォーマンスも実施した。 【ねらい】 団体・サークルの発表の場の創出。	【準備過程】 文化祭実行委員会を複数回重ね、内容を検討。 白板地区だより及び文化祭パンフレットにて周知 【共催団体等】 主催：白板地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 昨年度は集客のために地区内を巡回するバスを運行したが、利用者が多くなかったため、事前申込み制の乗合タクシーへと変更した。予約過多となった場合の対処をどうするか検討しておく必要がある。 【今後の方針】 内容を検討して継続	
山梨県立防災安全センター視察研修	10月21日	1回	防災	その他	25人	【事業内容】 白板地区日赤奉仕団の研修として、山梨県立防災安全センターの視察研修を行った。 【ねらい】 災害が起きた際の対応方法を学ぶ。 防災の意識向上。	【共催団体等】 主催：白板地区日赤奉仕団	【評価と反省】 災害の歴史を知り、体験施設で地震体験を行うことで、地震の恐ろしさを体感した。体感したからこそ、災害が起きたらどうするかを真剣に考えるようになったという声を聞くことができた。	
無言館・上田城見学	10月30日	1回	人権平和	その他	30人	【事業内容】 無言館と上田城の見学を実施戦没した画学生の作品を見学し、人権について考える機会とした。 【ねらい】 人権についての知識の向上。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知 【共催団体等】 共催：白板地区人権啓発推進協議会 白板地区町内公民館長会	【評価と反省】 無言館の見学によって、戦争の悲惨さを改めて学習し、今がどれだけ幸せかわかったといった声を聞くことができた。	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
田川小学校 フラワーアレンジメント講座	11月14日	1回	趣味教養	青少年	50人	【事業内容】 田川小学校の総合的学習の時間を利用して、地区住民を講師としてフラワーアレンジメントを実施 【ねらい】 教養を深める。 多世代の交流を図る。	【準備過程】 田川小学校の職員会議に出席し、事前準備や当日の段取りの調整。	【評価と反省】 児童同士でアドバイスし合い、創意工夫しながらそれぞれの個性あふれた作品ができあがった。 【今後の方針】 内容を検討して継続	○
ニューススポーツ体験会	11月25日	1回	スポーツ	その他	25人	【事業内容】 ワンバウンドふらばーるバレー、モルックの体験会を実施 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 健康増進。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 新しい試みであったため、公民館事業へ始めて参加する方を呼び込むことができた。 【今後の方針】 内容を検討して継続	
親子料理教室	12月3日	1回	子育て	青少年	30人	【事業内容】 クリスマスを間近に控えているため、親子で協力しながらクリスマスケーキを作った。 【ねらい】 親子の交流 子ども同士の交流 食育。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会	【評価と反省】 親子で楽しそうにケーキを作っている姿が印象的だった。 【今後の方針】 内容を検討して継続	
カゴメ工場見学& 尖石縄文考古館見学	12月8日	1回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 カゴメの工場、尖石縄文考古館の見学を実施 【ねらい】 健康増進。 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知 【共催団体等】 共催：白板地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 身体を健康を増進するために、こういった食事が良いか学習することができた。 また、縄文時代の食文化を学習することができた。	
田川児童センター しめ縄づくり	12月16日	1回	子育て	青少年	15人	【事業内容】 田川児童センター向けに、しめ縄づくりを実施 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 田川児童センターと内容の打合せ。	【評価と反省】 子どもと大人の交流を図りながら、しめ縄を作ることができとても良かった。	
金融被害にあわないために	12月21日	1回	趣味教養	高齢者	20人	【事業内容】 出前講座の「金融被害にあわないために」を実施した。 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 録音された音声を聞き、実例を交えて話を聞くことができたため、詐欺等に対する意識の向上につながった。	
しめ縄づくり	12月21日	1回	地域文化	成人	8人	【事業内容】 しめ縄を手作りし、しめ縄の文化を継承できるよう学習する。 【ねらい】 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 しめ縄を作ったことのない方も参加いただき、来年もやってみたいという声が聞かれた。 【今後の方針】 継続	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コーヒー淹れ方講座	2月7日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 普段飲んでいるコーヒーについて学習し、コーヒーの効能やおいしい淹れ方の学習をする。 【ねらい】 コーヒーの健康効果について学ぶ。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 適度な摂取により、基礎代謝の増進や老廃物の排出促進、リラックス効果があることを知り、自分好みの淹れ方を学んだ。	
県立歴史館、松代大本営見学	2月22日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 県立歴史館の企画展である和田英の糸づくりに懸けた明治の女性を見学 また、松代象山地下壕の見学を実施 【ねらい】 人権についての知識向上。 教養を深める。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 昨年度実施した富岡製糸場の見学と関連して実施したため、知識の習得が深まった。松代象山地下壕の見学では、地下壕の広さに驚く一方で、戦争の悲惨さを痛感し、平和を願う姿が見られた。	
ひなまつり会	3月2日	1回	地域文化	その他	50人	【事業内容】 ひな人形の文化について学習する。 七段飾りの飾りつけをし、丸ノ内中学校吹奏楽部の演奏を聴く。 【ねらい】 ひなまつりという文化について学習し、文化を継承する。 多世代の交流を図る。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 ひな人形の飾りつけを楽しむようにする子どもの表情が印象的であった。丸ノ内中学校の吹奏楽部員と地区住民の交流にもつながった。	○
妻籠宿散策とひな人形見学	3月6日	1回	地域文化	成人	30人	【事業内容】 妻籠宿の散策や、ふれあい館に展示されている1,000体のひな人形の見学をする。 【ねらい】 ひなまつりという文化について学習し、文化を継承する。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 江戸時代の古雛から現代雛までさまざまなお雛さまを見学し、その時代背景や環境の学習ができた。	
こども炊き出し体験会	3月23日	1回	防災	青少年	30人	【事業内容】 子ども向けに、災害時の炊き出しの体験や防災講座を実施 【ねらい】 防災の意識向上。 多世代の交流を図る。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知 【共催団体等】 主催：白板地区日赤奉仕団	【評価と反省】 能登地震の件もあり、災害時の炊き出しの体験ができて、防災への意識が向上した。	
やさいも大会関連事業 マルチシート張り さつまいも植付 草取り さつまいも収穫 やさいも大会	5月 7日 6月 3日 7月 2日 7月30日 9月 3日 10月15日 11月11日	7回	地域事業 (その他)	青少年	300人	【事業内容】 さつまいも畑にマルチシートを張る作業から始め、植付、草取り、収穫、やさいもにして食べると一連の作業を経験する。 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交流。食育。	【準備過程】 白板地区子ども会育成会の回覧にて周知 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会	【評価と反省】 マルチシート張りや草取りには子どもの参加が少なく、ほとんど大人の作業となった。さつまいもの植付や収穫、やさいも大会には多くの子どもが参加し、楽しく過ごしてくれた。 【今後の方針】 継続	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウエストンと上高地講座	通年	11回	趣味教養	成人	92人	【事業内容】 近隣地区の住民を対象とした講座。 上高地の山岳・自然・文物について 研究を行う。 【ねらい】 教養を深める。 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 座学で上高地について学習し、現地に赴き 実地学習を行うなど、有意義な講座とな った。参加者も自発的に発言があるな ど、活発な空気で講座ができています。 【今後の方針】 継続	
健康吹き矢講座	通年	12回	スポーツ	高齢者	115人	【事業内容】 腹式呼吸を用い、健康効果も期待でき る「吹き矢」を行い、ゲーム感覚 でスポーツを楽しむ。 【ねらい】 健康増進。 高齢者の閉じこもり解消	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 新規加入者を含め、参加者で楽しく吹き 矢を行っている。参加者をより増やすこ とができるよう、周知を図っていく。 【今後の方針】 継続	
暮らしの花講座	通年	12回	趣味教養	成人	118人	【事業内容】 生活に彩りを与える花と身近なもの を花器として講座を実施 【ねらい】 教養を深める。 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 気取らずに参加できる講座を目指し、身 近なものを使って講座を実施し、身近な ものをどう使って花を融合させていく か、アイディアを参加者で出しなが ら行った。 【今後の方針】 継続	
スマホなんでも相談	通年	10回	趣味教養	高齢者	30人	【事業内容】 高齢者向けにスマートフォンの相談 会を実施 【ねらい】 デジタルデバイドの解消	【準備過程】 白板地区だよりにて周知	【評価と反省】 参加者の質問に回答する方式で実施講座 形式ではなく相談形式のため、事前予約 制で対応。予約なく参加する方もおり、 人が多くなると手一杯となる時があっ た。 【今後の方針】 継続	
下校時見守り活動	通年	12回	地域事業 (その他)	青少年	120人	【事業内容】 地区内の小学生の下校時の見守り活 動 【ねらい】 子どもの安全	【共催団体等】 主催：白板地区住みよい町づくり協 議会	【評価と反省】 見守り活動への参加者も増え、多くの 人手で下校の見守りが実施できている。 【今後の方針】 継続	○
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	82人	【事業内容】 文化委員会が関わる事業の計画、実 施		【評価と反省】 五月人形やひな人形の飾りつけ、その他 行事の運営等、活発に活動している。	

令和5年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	20人	【事業内容】 館報（白板地区）の編集、会議。		【評価と反省】 丸ノ内中学校の生徒に館報編集員を委嘱し、中学校の行事や生徒会活動を地区に情報発信している。	○
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	10人	【事業内容】 毎年2回、図書の入替作業を実施お すすめの図書の紹介文を白板地区だ よりに載せる。		【評価と反省】 公民館の図書コーナーの利用者が少ない ため、周知を図っていく。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	54人	【事業内容】 体育委員が関わる事業の計画、実施		【評価と反省】 ニューススポーツ体験会は、新しい参加者 も呼ぶことができ好評であった。	

令和5年度 事業報告の概要

田川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 次世代育成事業の推進 2 地域の居場所づくりと福祉の充実 3 「地域を知る」学習の充実 4 住民同士の顔の見える関係づくり										・コロナ禍を経てさまざまな事業を再開し、住民のつながりづくりを図ることができた。 ・少子高齢化や人口減少等を背景に、担い手不足や伝統行事の継承困難など問題が顕在化するなか、田川地区では将来地域を担う子どもや若者の郷土への愛着・関心を育むことを目的にコミュニティスクール事業や、地区事業への協力・支援を通じて、次世代育成の推進を図った。 ・高齢者を中心とする住民の居場所づくりの一環として行う「田川地区いきいきサロン事業」においては、サロン部会を中心に企画し通年開催でき、住民が気軽に集うことができる居場所づくりと地域福祉の充実につながった。 ・身近な地域の自然、歴史文化等に関する学習機会を拡充し、潜在的な地域の魅力の掘り起こしに努めるとともに、郷土への愛着や関心、地域に対する参画意識の醸成を図った。 ・従来の文化・スポーツ事業を通じた交流を中心に、仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進した。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	2	0	7	3	4	2	0	0	1	2	1	2	2
延べ 参加人数	0	277	0	331	73	151	72	0	0	35	577	0	0	0

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
水辺の生き物観察会	6月3日	1回	環境	青少年	16人	【事業内容】 ・両島川において水生生物を採集し観察する。 【ねらい】 ・青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホテル学会	【評価と反省】 ・街中の当地区において水生生物を観察する貴重な自然体験の機会となった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
読み聞かせ講座	6月 5日 6月12日	2回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 ・本の読み聞かせに関する発声方法や語りのコツなどを学ぶ 【ねらい】 ・学校や地域での読み聞かせ活動などに携わる地区住民のスキルアップ等人材育成・人材発掘を図るとともに、読み聞かせを通じた豊かな情操心を育む。	【準備過程】 ・公民館だよりへの掲載により周知	【評価と反省】 ・実技を交えた講話を通して、発声の基本や読み語りにおけるコツを学ぶことができた。	
上高地ウォーキング	6月10日	1回	スポーツ	成人	36人	【事業内容】 ・上高地にてコースに分かれウォーキングを行う。 【ねらい】 ・上高地の美しい自然と周辺の歴史を学ぶとともに、参加者の健康増進を図る。	【共催団体等】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・良い気候の中、ウォーキングを楽しみ健康づくりにつなげることができた。 【今後の方針】 ・気楽に運動委員会で検討	
折り紙講座	6月13日	1回	趣味教養	成人	18人	【事業内容】 ・折り紙で花のくす玉を創る講座 【ねらい】 ・気軽に楽しめる折り紙を通じて、仲間づくりを促すとともに生活の質の向上に役立てる。		【評価と反省】 ・参加者同士の会話を楽しみながら創作活動を行うことができた。	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
田川地区いきいきサロン 事業	通年	—	地域事業 (その他)	高齢者	多数	【事業内容】 ・地区内の健康・福祉分野の関係団体・機関等が連携し、月1回の茶話会（サロン）を通年開催する。	【準備過程】 ・住民有志の提案により28年度から実施 ・地区内の関係団体・機関等で構成するサロン部会で内容等を検討 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／サロン事業推進部会 ・協力／丸ノ内病院、松本協立病院、防犯連絡協議会、子ども会育成会、渚保育園 他	【評価と反省】 ・今年度も関係役員・職員が協力し、滞りなく運営できた。サロンの共同運営を通じて、関係団体、医療・福祉機関等の関係強化につながるとともに、高齢世代の居場所として定着している。 【今後の方針】 ・サロン部会で検討	
ホタル観察会	7月14日	1回	環境	青少年	57人	【事業内容】 ・両島川においてホタルを観察するとともに、生態系について学習する。 【ねらい】 ・青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・たがわ水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホタル学会	【評価と反省】 ・ホタルを観察しながらその生態を学ぶ貴重な機会となった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月29日	1回	地域事業 (文化)	青少年	316人	【事業内容】 ・松本の夏の伝統行事「ぼんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 【ねらい】 ・少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ぼんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【共催団体等】 ・田川地区まちづくり協議会、福祉ひろば、地域づくりセンター、田川公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍により中断しており、4年ぶりの開催であったが、関係団体の協力のもと大きなトラブルなく盛大に実施できた。地域の子どもたちが多く参加し、夕涼みも好評であった。 【今後の方針】 ・実行委員会で検討。	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第26回田川地区ふれあい文化祭	10月15日	1回	地域事業 (文化)	成人	261人	【内容】 ・公民館利用サークル及び個人の作品展示及びステージ発表、ワークショップ ・小学校金管演奏／中学校吹奏楽演奏／青果即売／喫茶／ゲームコーナー／ランチタイムショー／昼食（豚汁、おにぎり）提供／古本市／綿あめ・ポップコーン提供 【ねらい】 ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、地区の一大イベントとして住民相互のふれあいと交流の機会とする。	【共催団体等】 ・田川地区まちづくり協議会、公民館五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター、田川公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍を経て4年ぶりに制限なく文化祭を開催できた。公民館利用サークルの作品展示以外にも、各団体・個人による活動展示が多く、情報発信の面でも充実していた。 ・保育園児の作品展示や小・中学生の金管演奏、子ども会による「ゲームコーナー」、日赤と民協による豚汁・おにぎりのふるまいなどもあり、田川地区らしい文化祭となった。 【今後の方針】 ・実行委員会で検討。	
田川健康ウォーキング大会	10月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	35人	【内容】 ・MEGURYアプリを活用しながら田川地区内を散策する。 【ねらい】 ・身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。	【準備過程】 ・福祉ひろばでコース等を設定、公民館だより及びひろばだよりへの掲載により周知。 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者同士の交流を楽しみながらウォーキングが実施できた。かるやか会にそばを打っていただき、ウォーキング後に参加者でおいしく食べられた。 【今度の方針】 ・福祉ひろばと検討	
軽井沢ウォーキング	11月5日	1回	スポーツ	成人	36人	【内容】 ・気楽に運動委員会主管事業として、軽井沢の自然・歴史に触れながら現地散策する。 【ねらい】 ・教養文化の向上に役立てるとともに、住民間の親睦や健康増進を図る。	【準備過程】 ・公民館だよりへの掲載により周知 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・参加者同士の交流を楽しみながらウォーキングが実施でき、教養も深めることができた。 【今度の方針】 ・気楽に運動委員会で検討	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
エコキューブ学習会	11月16日	1回	環境	青少年	—	【内容】 ・田川小4年生の授業支援 ・地区住民考案のエコキューブ（平面キューブパズル）づくりやゲームを通じてゴミの分別方法を学習する。 【ねらい】 ・環境学習の支援とともに、子どもたちが地域の大人と身近にふれあう機会とする。	【準備過程】 ・事前に地域ボランティア向けの講習会を開催。 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・地域の大人に教えてもらいながら子どもたちが楽しんで取り組んでいた。 【今後の方針】 ・学校側の要望にもよるが、田川地区の特色ある活動として継続したい。	○
上田市文化視察	11月19日	1回	地域文化	成人	27人	【内容】 ・文化委員会主管事業として、上田市にある無言館及び上田城跡公園とその周辺をめぐる。 【ねらい】 ・地域文化や人権・平和に対する考えを深めるとともに、地域住民間の交流を深め、顔が見える関係づくりを図ることで、地域活動の活性化を推進する。	【準備過程】 ・公民館だよりへの掲載により周知 【共催団体等】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・参加者同士の交流を楽しみながら、文化施設の鑑賞を通して教養を深めることができた。 【今後の方針】 ・文化委員会で検討	
まゆだまづくり講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	12人	【内容】 ・小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 ・近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン部会メンバーに講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知	【評価と反省】 ・地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場にもなっている。 【今後の方針】 ・まゆだまの作り方だけでなく、行事の意味やいわれを伝える機会としていきたい。	
書き初め講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	14人	【内容】 ・冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 ・日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載及び田川小学校へのチラシ配布により周知	【評価と反省】 ・講師の丁寧な指導もあり、集中して取り組んでいる様子であった。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 ・次年度も継続を検討する。	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やしょうまづくり講習会・交流会	1月17日 1月30日 1月31日 2月13日	4回	地域文化	青少年	多数	【事業内容】 ・田川小1年生及び2年生の授業支援として、信州の郷土食である「やしょうま」づくりをサポートする。 【ねらい】 ・郷土の伝統的な食文化を学び継承を図るとともに、児童と地域の大人とのふれあいの機会とする。	【準備課程】 ・指導にあたるボランティアを対象とした「やしょうま講習会」（全2回）を事前に実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・事前講習会で試作を重ね、当日もスムーズに進行することができた。 ・スタッフの後継者育成が課題ではあるが、若い世代も少しずつ増えている。 【今後の方針】 ・郷土の伝統を子どもたちに伝える機会として、学校側と連携しながら引続き取り組みたい。	○
水野先生の食育講座	2月29日 3月 5日	2回	福祉健康	女性	28人	【内容】 ・大学教授を講師に、健康づくりにつながる栄養の講話を聴き、調理実習に取り組む。 【ねらい】 ・健康的で豊かな食生活に対する理解を深め、実際生活に生かす。	【準備過程】 ・松本大学人間健康学部健康栄養学科の教授に講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載により周知	【評価と反省】 ・10年以上続く講座であり、本年度も地域住民からの要望を受け開催した。食生活を見直す良い機会であり、調理実習を含め、参加者から大変好評であった。 【今後の方針】 ・次年度も継続を検討する。	
諏訪地域文化視察	3月2日	1回	地域文化	成人	25人	【内容】 ・文化委員会主管事業として、諏訪地域の文化芸術施設等を訪ねる。 【ねらい】 ・地域の文化活動や歴史を学習するとともに、地域住民間の交流を深め、顔が見える関係づくりを図る。	【準備過程】 ・公民館だよりへの掲載により周知 【共催団体等】 ・文化委員会主管	【評価と反省】 ・参加者同士の交流を楽しみながら、文化施設の鑑賞を通して教養を深めることができた。 【今度の方針】 ・文化委員会で検討	
田川地区の地域資料講座	3月16日	1回	地域文化	成人	49人	【内容】 ・田川地区の旧家個人宅に所蔵され、現在調査が進んでいる諸学校などに関する地域資料についての講演会 【ねらい】 ・調査概要や資料の紹介を交えた講演を通して、田川地区の地域史についての理解を深めるとともに地域学習に対する関心を高める。	【準備過程】 ・資料調査に携わる学芸員及び大学教授に講師を依頼 ・公民館だよりへの掲載により周知 【共催団体等】 ・文化委員会主管	【評価と反省】 ・地域の歴史を紡ぐ数々の資料に関する講話を聴き、田川地区の地域史に対する興味関心を高めることができた。 【今後の方針】 ・調査の進捗等に応じて文化委員会で検討	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
気楽に運動しよう	通年	19回	福祉健康	成人	249人	【内容】 ・高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 【ねらい】 ・定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。	【準備過程】 ・毎月公民館だよりへの掲載により周知 ・運営は気楽に運動委員会が担当 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 【今後の方針】 ・今後も継続。男性の参加者を増やす工夫を検討したい。	
パソコン講習会	通年	20回	趣味教養	成人	120人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の住民に講師を依頼 ・毎月公民館だよりにより周知	【評価と反省】 ・自主的、意欲的に取り組んでいた。	
かるやか会 (そば打ち講習会)	通年	11回	地域文化	成人	204人	【内容】 ・地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 ・そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事（ウォーキング）でそばをふるまうなど充実している。 ・新しいメンバーも見え、仲間の輪が広がっている。	
スマホ教室with Docomo	通年	11回	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区内ケータイショップへ講師依頼。毎月公民館だよりにて参加者を募集した。	【今後の方針】 ・地区住民の要請に応じて実施を検討する。	
公民館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	－	【内容】 ・公民館報「田川版」（年6回）を編集・発行する。 【ねらい】 ・住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 ・各月の館報編集委員会で紙面内容を検討・校正した。	【評価と反省】 ・地域の身近な情報収集に努めることができた。 【今後の方針】 ・館報編集委員会を中心に、住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。	

令和5年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
五部門委員会	通年	—	公民館委員会・ 各種会議等	その他	—	【事業内容】 ・運営、館報、図書・視聴覚、体育 (気楽に運動)、文化の五部門委員 会により、公民館事業の企画・運 営、評価等を行う。	【準備課程】 ・各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 ・コロナ禍における事業の開催可否や方 法などについて、綿密に協議し役員の合 意を形成することができた。 【今後の方針】 ・従来の枠組みにこだわらず、地域課題 や住民の学習要望をふまえながら、より 弾力的に活動を展開していきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

庄内地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・庄内地区で活動する様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施を支援する。地域住民との連携という面は、引続き重視しつつ、地域課題の解決に向けて公民館独自事業の展開も行っていく。 ・ゆめひろば庄内は、立地が良く地区内外を問わず多くの利用者が来館するため、より個人個人のモラル向上のため、利用方法の丁寧な説明を心がけ、気持ちよく互いが使えるように徹底を図った。 ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内“秋のつどい”」は、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていくイベントである。防災意識の向上と地域のつながりづくりを目的に4年ぶりとなる「防災運動会」を開催した。 ・子どもたちの活動発表の場ということで、住民から要望の上がっていた「合同演奏会」を開催。地区内の筑摩小学校・並柳小学校・開成中学校の子どもたちによる演奏会・合唱の発表を行った。 ・地域住民のニーズを拾い上げ、講座を実施										・育成会、庄内ほたと水辺の会とは以前から共催で多くの講座を実施しているが、スポーツ協会との連携が不十分。 ・利用案内の作成や利用者懇談会で周知。普段の利用時から見回りを強化して利用方法の徹底を行った。 ・参加者集めで苦労はあったが、最終的に約400名の参加があり、多くの世代が楽しんで参加していた。運動会のアナウンスを並柳小学校の児童が行い、子どもたちの地域参加を促すことができた。 ・コロナ禍により発表の場が減少していたため、地域住民も子どもの様子を知る良い機会となった。 ・住民からの意見により2つの新規事業を展開した。バスの都合であまり良い日程ではなかったが、多くの参加があった。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	4	3	2	4	0	1	2	1	1	2	5	3
延べ 参加人数	25	51	120	154	19	458	0	16	106	400	144	621	568	0

令和5年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「敵を知り倒す！外来種駆除体験講座」	4月17日 5月22日	2回	環境	その他	11人	松本市でも重要な課題となっている外来種について、特に外来植物の駆除活動をテーマに地域の担い手人材育成を行う。	主催：庄内地区公民館 内田公民館・和田公民館 協力団体：環境・地域エネルギー課、長野県保全研究所	参加者からは、外来種について多くの学びがあった等の良い評価をいただいたが、参加者が少なかった。プレスリリースやラジオ放送など、広報掲載だけでなく周知活動を行ったが、さらなる広報活動を検討する必要がある。	
人権学習	4月27日	1回	人権平和	その他	25人	地区住民の人権意識向上と住民同士の交流を目的に「満蒙開拓平和記念館」の見学と講和を聞く。	前年度から地域住民が中心となり人員を募集した。	記念館職員による講和で長野県と満蒙開拓団の関係性を改めて知る機会となった。施設を見るだけでなく、話を聞くことで深めることができた。	
「弘法山さくら絵画コンクール」	5月26日 ～6月30日	1回	地域文化	その他	筑摩小 並柳小 中山小 全校児童	地域資源「弘法山のさくら」を題材に近隣小学校の児童を対象として、コンクールを実施。各校から特選、入選作品を公民館内に掲示して表彰する。 以前は、並柳商工会が主催するイベントの1事業だったが、イベントが開催できなくなる中、地域の要望によりこのコンクールのみ公民館で引き続き実施している。	例年3月に、学校へ画用紙の配布と依頼を行い準備している。 特選の児童については、表彰式を5月末から6月初めの日曜日に開催しており、「弘法山を愛する会」の会長より表彰状の授与を行っている。	2年ぶりに表彰式を再開。多くの保護者が観覧していた。 一方で、近年の温暖化によりさくらの開花時期が早まり、一部の児童は写真を基にして描いているとのこと。紙の配布時期等と合わせて、今後の対応を検討する必要がある。	
庄内ほたと水辺の会 ①庄内ほたる観察会 ②生き物観察会	①7月2日 ②8月5日	2回	地域事業 (文化)	その他	144人	「ほたる“も”すめるよい自然」をテーマに、動植物の学習会や実地体験や観察会を行うもの。 自然環境を学びながら、地域の状況や課題に目を向けていく機会とする。	「庄内ほたと水辺の会」が主催。会長である藤山静雄元信州大学名誉教授を中心に、「庄内北公園」内にある水路の維持管理を実施し、ほたるの生息地を守る活動を広めていく人材育成企画を実施。	参加者は年々増えてきており活動できているが、地元住民はむしろ少なく関心のある他地域の人で維持されている状態。 環境の維持と防災等で意見が分かれる部分でもあるため、相互理解を進める必要がある。	
三世代交流バスツアー	7月8日	1回	地域事業 (その他)	その他	21人	三世代交流、地域住民のつながりづくりのため実施。 戸隠へ行き、子どもも楽しめる民俗館の見学、戸隠神社へのウォーキングで健康増進を図った。	逢初町町会が主となり計画。住民ニーズを基に地元の観光資源に触れる機会とした。	子育て世代の多くは、町会との関りが薄く、一部住民の参加にとどまった。PTAや育成会をととした広報活動も検討する必要がある。	
「県歌『信濃の国』ゆかりの地を訪ねて」	7月18日 8月8日 8月10日 8月22日	4回	趣味教養	成人	52人	県内で知名度の高い『信濃の国』の歌詞に出てくる地名を巡り、理解を深めることで郷土愛を育む。また、ウォーキングの要素を持たせることで健康増進や参加者同士の交流を図る。	講師と見学先を相談し選定した。	住民からの評価は高く、継続実施や見れなかった部分の実施の要望が多くあった。 一方で、バスの日程が上手く取れず真夏の時期となり参加を断念したケースが見られた。今後、バスについてはさらに縮小の見込みのため、代替手段の検討が必要。	

令和5年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やまびここどもまつり	7月22日	1回	地域事業 (その他)	その他	600人	庄内地区の子ども達を対象にした夏祭り。子どもたちと共に企画した催しや、出店などで地域の活性化をする。今年度は、ゆめひろば庄内全体使用。	庄内地区子ども会育成会が主催。児童センター、町会青年会、庄内盛々会等の協力・支援を得て準備を行った。	コロナ禍後、久しぶりの夏祭り形式で開催。当初の見込みを大きく上回る参加があった。駐車場のキャパシティを超えて、近隣店舗へ停めてしまう人や開始1時間で売り切れてしまう等、参加者の人数想定が甘かった。次回は余裕を持った運営を検討する。	
自習室開放 ①夏休み期間 ②春休み期間	①7月24日 ～8月22日 ②3月18日 ～4月5日	2回	子育て	家庭教育	120人	長期休みに合わせて会議室を自習室として開放する。勉強の環境だけでなく、居場所づくりも兼ねる。	事前に1室を自習室として確保。部屋に空きがあれば利用者数に応じて別途開放。	学校をとおした保護者への周知、市公式LINEを利用したことで、利用者が急増。一方で、勤務の関係で夜間や土日祝日の開放が難しい問題がある。	
お泊り会	8月4日 8月5日	1回	防災	その他	16人	避難所生活の体験として、ゆめひろば庄内で寝泊まりとカレー作りを行う。	庄内地区子ども会育成会が主催。町内公民館長が講師となりダンボールベッドやテント等の組立を行った。	夜中の騒いでしまう子もあり、相談されたが育成会メンバーが中心となり指導することができた。	
源氏物語の世界	9月2日 9月16日 9月30日	3回	趣味教養	その他	22人	これまで、数年に渡り実施してきた総決算として、今一度源氏物語の魅力を深掘りすることで、日本文化へ親しむきっかけづくりをすること。	源氏物語について専門的知識を有する講師（現 松本深志高校臨時講師 今井氏）をお招きした。特に令和6年から始まる大河ドラマ「光の君へ」にも触れていただいた。	中学生の参加も見られ、活動の広がりを感じることができた。また、舞台となる京都出身の参加者がおり、現地見学の話が参加者間で行われ、今後の活動のきっかけとなった。	
乗鞍自然観察講座	9月22日	1回	環境	高齢者	8人	地元の観光資源に触れる機会をつくること。ウォーキングをとおして健康増進と、参加者同士の交流を行う。	安曇公民館より紹介された地元住民に案内を依頼し、現地の植生や文化等の解説を聞きながら、三本滝を散策した。	バスの都合で紅葉やわらび等旬の時期に行くことはできなかったが、ウォーキングには良い気温で行うことができた。参加者からはウォーキング講座の別途実施要望があった。	
ドリーム庄内“秋のつどい”防災運動会	10月22日	1回	地域事業 (体育)	その他	400人	庄内地区最大のイベントとして、住民主体で行われる事業。地域が顔の分かる関係づくりや一体感の醸成。地域振興を目的とする。	公民館が事務局となり調整を行う。今年度は、コロナで中止となっていた防災運動会実施を当初から目的とし、住民や学校等の関係者と意見交換を行いながら実施した。	細かいミス等はあったが、住民からの評判も良く、次年度の実施についても反対意見は出なかった。毎年役員も入れ替わる中、スムーズな計画を建てられるようにスキームづくりを行った。	
冬を迎える栄養管理と お手軽料理	11月10日 11月17日 11月24日	3回	福祉健康	高齢者	38人	料理をとおして、地域住民の交流を行う。地元の人材を活かす。	住民から提案を受けて実施。講師に元管理栄養士の胡桃沢氏を招いて行った。	当初は人が集まらなかったが、地域住民口コミで徐々に参加者が増えた。回覧版も回るのが遅かったり、読み飛ばしが発生する。また、多くの住民はHPを見ないため、習慣付け等対応を考える必要がある。	

令和5年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
合同演奏会	11月18日	1回	趣味教養	その他	350人	地元小中学生の発表の場と地域住民が子どもと関わる機会を設けるため実施。	コロナで子どもたちの発表の場が少なくなる中で、住民から要望があり公民館事業として実施。	学校になかなか出入りできない地域住民も子どもたちの活動を見る機会となった。また、小学生も中学生の演奏から刺激を受けており、今後の活動活性化につながった。近隣中山小学校からも参加希望があった。	
庄内ウォーキング講座	11月19日	1回	福祉健康	高齢者	13人	アプリの「メグリ」を活用と住民の健康増進を目的とする。	地区担当保健師、地区生活支援員から要望があり共催事業として実施。健康運動指導士武本氏に講師を依頼。	ウォーキングマップではなく、オリジナルのコースで実施したところ評判が良かった。現状は短いコースでも6キロを超えるため、高齢者には難しくなっている。見直しが必要。	
三九郎講習会	12月3日	1回	地域文化	その他	100人	三九郎実施に向けて住民へ講習会を実施。	育成会主催で実施。公民館でいくつかの物資を保管している。	コロナ後ということもあり、多くの参加者が集まった。保護者も様子を撮影して当日の参考にしていたが、各町会での引継ぎはできていないようで、組み立て方法の動画づくりなど、現代に合わせた対応の検討が必要。	
炉辺談話	12月12日	1回	その他	その他	21人	住民が集い、共に語らい学ぶ場をつくる。	公民館長が中心となり、地域住民の中から語り手を依頼。	夜間開催で、語らう場を設けた。参加者の語らいは大いに盛り上げることができた。今後は昼間の開催や次なる語り手を探して気軽に語れる場を提供していきたい。	
勾玉と本でキミも縄文人！？	12月16日	1回	地域文化	その他	54人	公民館主事会プロジェクトチームの事業として、公民館・図書館・博物館が連携し多様な学習機会を提供することを目的に試験的に実施。	地区公民館主事5名と中央公民館職員1名、考古博物館、中山文庫の職員で事業を検討。小中学生の親子を対象として縄文時代の文化や歴史を学ぶプログラムを行った。	定員以上の申込みがあった。参加者の感想から体験系講座の需要が高いことが分かった。松本には多くの物的資源があるためさらなる活用を検討する必要がある。	
新春落語会	1月17日	1回	趣味教養	その他	34人	地区住民が日本の伝統文化に触れる機会を設けるとともに、つながりづくりや今後の活動へ繋げていく。	松本落語会と共催で実施。舞台の設営等も行い本格的な場づくりをしている。	コロナ5類により、より観客との距離を近くすることができ、住民と橘家園太郎師匠との交流ができていた。	
公民館利用サークル活動支援（利用者懇談会）	2月29日	3回	その他	その他	85人	公民館利用サークルとの情報交換や注意事項の周知、意見募集を行うことで、円滑な公民館運営を行う。	年に1回実施し登録の更新や利用ルールの変更・確認を実施。利用者へ郵送やメールで連絡。受付にロゴフォームを導入した。	利用登録要件の緩和、利用ルールの徹底と見えるかを実施し周知したところ、利用者からも改善案が出て、より良いものになった。	

令和5年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館企画委員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	27人	ドリーム庄内“秋のつどい”の企画 検討、合同演奏会の運営を実施。 その他公民館運営に関する活動意見 や評価を行った。	公民館5部門委員会の委員長や町 会連合会、町内公民館長会等の主 要団体から委員を構成。	ドリーム庄内について、実行委員会 の中核を担い実施。合同演奏会も初開催 することができた。 一方で、公民館の運営について検討す る機会が少なかったため、次年度は重 視していく。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	72人	館報庄内版の企画・編集・発行。 公民館が主体となるのではなく、委 員や住民の生の声を届けられるよう に記事作成を行った。	公民館長の委嘱者、町内公民館長 会からの選出者、公民館5部門委 員会の長等から選出。偏りのない 話題作りができる体制を整えている。	各町会の催しや地域で活動する団体の 記事を多く掲載した。 ドリーム庄内を紹介した記事では、様 子が良く分かったとの意見があった。 次年度も委員の意見を元に自由な記事 の構成としていきたい。	
子育て委員会	通年	10回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	309人	地域に住む就園前の子と親を対象 に、集い・交流・情報交換・相談等 の活動を展開する。	住民が中心となり、食生活改善委 員や民生、サークル団体、企業の 専門家に協力していただき実施。	L I N Eを開設し、公民館や民生など 地域の様々なお知らせを流した。 また、メールでのやり取りを強化し、 気軽に連絡をとれる体制づくりを行う ことができた。	
文化委員会	通年	11回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	130人	公民館1階ロビーに、伝統行事・年 中行事など、四季折々を感じる展示 を実施。 地区外からも多く、子どもの利用も 多いため、季節を感じられるような 展示を行う。	公民館内に格納されたお雛様、鯉 のぼりといった伝統品を季節に合 わせて展示する。 地元から竹や松を頂き、七夕飾り や松飾りを作る等の独自の工作品 も展示する。	全て予定どおり展示を行うことがで きた。また、地元のさくら保育園にも協 力していただき、七夕飾りを開催で きた。新たに並柳小学校2年生がひな祭 りの飾りつけと一緒にいった。	
おはなしゆめの会	通年	8回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	30人	図書コーナーを利用した月1回の 「おはなし」の会を開催。絵本の読 み聞かせの他、手あそび、仕掛け絵 本、紙芝居等も用いる。	図書コーナーに暗幕を設置した り、大勢の親子が集えるようイス の配置に工夫を凝らしたりして、 雰囲気作りに趣向を凝らした。 工作室を楽屋とし、メンバーが事 前にリハーサルや打合せを行っ た。	おはなし会への参加者が非常に少な く、日程や実施方法の変更が必要。	
筑摩小学校コミュニ ティスクール事業	通年		子育て	その他	全校児童 + ボラン ティア 278人	地域住民を講師に招き、様々な学習 の場を展開。 例：朗読学習、英会話学習、ダン ス体験、畑作・稲作等	地区公民館は、地域住民と学校の パイプ役となり、様々な講師を コーディネートする。 かえでの会、ECメイプル、地域 住民 等	事業内容は概ね定番化しており、安定 した教育の場を作ることができてい る。 現状の活動は続けつつ、学校の要望に より新たな活動を模索していく。	○

令和5年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
並柳小学校コミュニティスクール事業	通年		子育て	その他	全校児童 + ボランティア 333人	あいさつ運動等を通じて児童がいそいそとした学校生活を過ごせるような雰囲気を作っていく。また、様々な事情を抱えた児童らの見守りや教職員の負担を、地域ボランティアの力を借りて支えていく。	地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする 地域住民、民生委員等	様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手に行われたことで、学校に地域住民が関われる素地ができつつある。 特に、あいさつ運動について地域住民の評価が高い。 今年度からクラブ活動の講師を住民が担う体制づくりを行った。	○
開成中学校コミュニティスクール事業	通年		子育て	その他	1・3年生 + ボランティア87人	1年生が地域に出て清掃活動を行う「開成タイム」。3年生と地域住民の協同で「避難所開設訓練」を実施する。 地域との接点や、災害時での戦力として、自分で考え行動することを学ぶ。	地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 学校と地域の協同での活動を予定していたが、準備段階でコロナ警戒レベル上昇に伴い、公民館と学校側のみでの実施となった。	開成タイムで地域の清掃活動。また、避難所開設訓練について地元町会の協力により実施。 次年度は、公民館への宿泊体験などの要望もあるため、実現に向けて関係者と協議していく。	○

令和5年度 事業報告の概要

鎌田地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針】 ①公民館は楽しい学びを提供する場でありたい ②公民館は自身の行動や実践を喚起する“きっかけ作り”となる場でありたい ③公民館での講座は、多様な市民の希求に出来るだけ応えられるよう、広く門戸を開放したい 【重点的に取り組んだ事項】 1 子どもを取り込んだ事業 (1) こども陶芸体験教室 (2) 夏休み公民館学習室解放 (3) 松本の七夕まつり (4) ニュースポーツ体験会 (5) 子ども連続スポーツ教室 2 公民館活動サークルや利用者と連携した事業 子ども陶芸体験教室										・コロナも5類に移行し、昨年度までできなかった講座を復活させることができてよかった。 ・鎌田地区まつりは今年度初めて開催をした。初めての試みで準備等不十分なところがあったため、来年度は準備を段取りよく進めていきたい。 ・防災についての講座が今年度開催できなかったため、来年度は何かしらの形で開催したい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	2	3	3	3	2	0	5	0	0	2	1	0
延べ 参加人数	30	121	113	177	43	189	136	0	206	0	0	450	297	0

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康づくりウォーキング	7月5日	1回	福祉健康	その他	17人	【事業内容】 美ヶ原を散策する講座（毎年場所は変わります） 【ねらい】 散策を通じて歴史や植物について学ぶ機会とする。	【準備過程】 文化委員と調整・準備	【反省】 団体行動をする事業だが、1人外れて早く歩いてしまう方がいた。他の方にも影響が出る為、対策を考えたい。	
1から作る料理講座 「豆腐づくり」	7月25日	1回	趣味教養	その他	8人	【事業内容】 普段お店で買う商品を、素材から作る講座 【ねらい】 家庭でも気軽に作れることを学ぶ。	【準備過程】 文化委員と、鎌田地区食育改善推進協議会と調整・準備	【評価】 初めて開催した講座だが、手軽に作れることを学べてよかったという声が多かったため、継続を検討したい。	
松本の七夕まつり	8月3日	1回	地域文化	青少年	24人	【事業内容】 松本地方の七夕行事を題材にした絵本や平和をテーマにした絵本の読み聞かせと七夕人形（紙びな式）作り。 （7月25日～8月10日：短冊コーナー設置） 【ねらい】 松本の伝統行事を学ぶ機会とする。	【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容の検討 【共催団体】 子ども会育成会	【反省】 公民館だよりで募集をかけたが参加者が少なかった。児童センターに呼びかけ募集を行った。	
子ども体験教室	8月9日	1回	趣味教養	青少年	20人	【事業内容】 鎌田地区公民館の特徴である陶芸作業棟にて子どもたちが陶芸（ものづくり）を体験するもの。 【ねらい】 子どもたちに陶芸の楽しさ、魅力を知ってもらう。	【準備過程】 陶芸協議会と内容を検討 【共催】 鎌田地区陶芸協議会 鎌田地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちが楽しそうに陶芸に取り組んでいた。難しい工程もあったが、陶芸協議会の皆さんが子どもたちに丁寧に指導してくださった。子どもたちの作品は、10月に開催した「鎌田地区まつり」に展示し、大勢の方に鑑賞していただいた。期間的には夏休みに実施が一番望ましいが、陶芸室のエアコンが劣化のため熱中症が心配があった。 【今後の方針】 非常に好評な教室であったため、陶芸協議会と検討し継続したい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
大人の読み聞かせ講座	8月29日	1回	その他	成人	約50人	【事業内容】 美咲蘭先生を講師に、大人向けの読み聞かせ講座を開催	【準備過程】 美咲蘭先生と、図書視聴覚委員会と調整	【反省】 講座開催に伴い、夏の実施だったが先生に出すお茶や講座で装飾用に使用する花等を予算が足りなかったため購入できなかった。講座自体はとても好評だった。	
苔テラリウム作り講座	9月12日	1回	環境	その他	15人	【事業内容】 竹下光重先生を講師に迎え、苔テラリウムを作るもの。 【ねらい】 住民の方が植物に触れる機会を設ける。	【準備過程】 竹下先生と調整	【評価】 今年度初めて開催したが、とても好評だった。	
鎌田地区まつり	10月21日	1回	地域事業 (その他)	その他	200人	【事業内容】 4年ぶりの開催となる文化祭。福祉ひろばのひろば祭りや、図書館主催のリサイクル本の配布など。 【ねらい】 地域住民の交流や、施設を知ってもらう。	【準備過程】 鎌田地区まつり運営委員会を開き、各団体と調整	【反省】 4年前に実施していた文化祭を変え、新たに始めた鎌田地区まつりなので、準備が不十分だったりした。今年度を参考に来年度改善したい。	
鎌田小学校・中学校 ジョイントコンサート	10月28日	1回	地域事業 (その他)	その他	250人	【事業内容】 鎌田地区にある学校による吹奏楽部の演奏会（信明中・開明小は不参加） 【ねらい】 地域住民に子どもたちの活動を知ってもらう。	【準備過程】 各学校と調整	【反省】 ジョイントコンサートも4年ぶりの開催となったため、準備が不十分なところがあった。来年度改善したい。	
松本の伝統工芸講座 「干支の押絵づくり」	11月30日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 来年の干支「辰」をテーマに押絵の技法を学ぶ。 【ねらい】 松本地域の伝統を学ぶ場とする。	【講師】 三村 隆彦 氏	【評価と反省】 松本の伝統工芸を知る良い機会となった。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	
ハーブの寄せ植え講座	12月12日	1回	環境	その他	15人	【事業内容】 竹下光重先生を講師に迎え、ハーブの寄せ植えを作るもの。 【ねらい】 住民の方に植物に触れる機会を設ける。	【準備過程】 竹下先生と調整	【評価】 好評だったため継続したい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ポッチャ・モルック体験会	12月26日	1回	スポーツ	その他	49人	【事業内容】 ポッチャとモルックの体験 【ねらい】 大人も子どもも同じ目線で競技ができるスポーツなため、子どもと地域住民の交流	【準備過程】 鎌田児童センター	【反省】 大人数で開催できたため来年度も継続したい。	
人権講座 ケ・セラ 演奏会	1月25日	1回	人権平和	その他	30人	【事業内容】 ケ・セラによる人権コンサート	【準備過程】 楽団ケ・セラと調整	【反省】 集客が少なかったため、来年度も開催する場合は集客方法を考えたい。	
苔玉づくり講座	2月22日	1回	環境	その他	13人	【事業内容】 竹下光重先生を講師に迎え、苔玉を作る講座	【準備過程】 竹下先生と調整	【反省】 好評だったため継続したい。	
歴史を学びに行きませんか	3月8日	1回	その他	その他	22人	【事業内容】 長野県立歴史館、真田邸、文武学校をめぐる視察研修 【ねらい】 市外でしか学べない歴史を学びに行く。	【事業過程】 図書視聴覚委員会主催による事業	【反省】 とても好評だった。各施設ガイドによる説明付きだったため、参加者からは学べてよかったという声があった。	
歩こう鎌田ウォーキング	4月28日 5月23日 6月21日 7月13日 8月23日 9月26日 10月25日 11月21日 12月15日 1月17日 2月14日 3月11日	12回	福祉健康	高齢者		【事業内容】 通称「歩かま」 毎月、地区内を異なったルートで歩く。年に1～2回は、地区を出て、自然の中を歩く。(グリーンエクササイズ) 【ねらい】 歩く習慣を身につけ、健康づくりを促進する。参加者同士の交流を深め、自主的なグループ作りを推進するもの。	【準備過程】 毎月ルートの選定 【共催団体】 鎌田地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の中で歩く習慣がついた人がいた。参加者同士の交流を深めることができ、地域での顔見知りが増えてきているように感じる。 ※7、8、12、1、2月は室内にてストレッチや筋トレ、エアロビクスを実施した。 【今後の方針】 参加者の自主性を尊重しながら、継続実施したい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本一本ねぎ食育講座	4月29日 5月27日 7月15日 8月19日 9月23日 10月22日 11月18日	6回	地域文化	成人	141人	【事業内容】 松本一本ねぎの栽培 苗植え～収穫～料理方法について学 ぶ体験型の食育講座 【ねらい】 食育講座の一環として、地域文化を 学ぶ場とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 農業体験講師：鎌倉 秀文 料理体験講師：鎌田地区食生活改 善推進協議会	【評価と反省】 地区内でも栽培されている伝統野菜を 知る良い機会となった。松本一本ねぎ のほかに、サツマイモや落花生も育 て、栽培方法を学んだ。今年度も土曜 日に講座を実施したことにより、未就 園児や小学生を含む家族での参加が多 く、幅広い年代が集まる講座となっ た。 【今後の方針】 定員を超える申込みがあった。文化委 員会で事業の目的を明確にしながら、 対象などを検討し継続したい。	
陶芸体験教室	6月30日 7月 7日 7月14日 7月21日 7月28日 8月 4日 8月25日 9月 1日 9月15日 10月 6日	10回	趣味教養	成人	161人	【事業内容】 陶芸の基礎を学ぶため、初心者に対 象に毎年開催。土練り～成形～釉薬 まで一通りの技術を学び、コーヒー カップや花器を制作する。 【ねらい】 ・趣味生きがいづくりのきっかけと する。 ・陶芸サークルへの加入を促進し、 陶芸サークルの活性化を図る。	【準備過程】 ・講師との打合せのうえ内容を検 討 ・陶芸サークルに講座の際にサ ポートを依頼 【講師】 木村 岳史 氏 【共催団体】 鎌田地区公民館陶芸サークル	【評価と反省】 参加者からは好評を得ており、陶芸 サークルへの見学、加入を希望する者 がいた。陶芸5つのサークルの皆さん にご協力をいただき、講座時にサポ ートに入っていた。受講者と陶芸 サークル間に交流が生まれ、サークル 活動の詳細について質問をする場面が 見受けられた。 【今後の方針】 講師や陶芸サークルの皆さんと実施内 容を検討し継続したい。	
町内公民館でからだを 動かそう！	9月25日 10月 2日 12月15日	3回	福祉健康	成人	104人	【事業内容】 町内公民館を活用した運動講座 【ねらい】 ・運動不足の解消、筋力低下の予防 ・町内公民館の利用促進	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検 討 【講師】 公民館主事	【評価と反省】 町内公民館を活用する良い機会とな り、運動を継続する町会もあった。高 齢者の参加が多かった。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続し たい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館周辺美化作業 公民館年末大掃除	6月18日 10月17日 12月16日	3回	その他	成人	184人	【事業内容】 公民館及び周辺の美化作業。公民館 周辺美化作業2回と年末大掃除1回 を実施する。 【ねらい】 公民館利用サークルの会員相互交流 及び公民館周辺の美化。	【共催団体】 鎌田地区公民館利用サークル	【評価と反省】 公民館周辺の美化や利用団体の相互交 流の場となった。 【今後の方針】 公民館利用サークルと連携しながら実 施内容を検討し継続したい。	
夏休み公民館学習室開 放事業	7月25日 ～8月10日 (土日除く)	13回	子育て	青少年	111人	【事業内容】 夏休み期間中の学習場所として公民 館の会議室を自由に勉強できる部屋 として開放する。 また、開放日の午前中は学習ボラン ティアが学習の相談に応じることが できる。 【ねらい】 小学生・中学生・高校生の学習支援 とする。	【準備過程】 公民館だより及び学校配布で周知 学習ボランティアの募集 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 集中して勉強できる場として好評で あった。 【今後の方針】 勉強を相談できる環境を整えるなど実 施内容を検討し継続したい。	
ラジオ体操ひろば	4月～3月		福祉健康	成人		【事業内容】 毎週月・金曜日の朝、鎌田地区公民 館前でラジオ体操を行う。 【ねらい】 住民の健康を維持増進する。 交流を深める。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 【講師】 ラジオ体操1級指導士 山本 英明 氏	【評価と反省】 ラジオ体操が習慣になった住民がい た。地域の住民同士が交流する良い機 会となっている。 【今後の方針】 現時点では公民館が主体となっている が、今後は住民主体の集まりになるよ う、公民館から提案していきたい。	
鎌田小学校交通安全 マップ制作	12月～3月	1回	子育て	成人	2人	【事業内容】 鎌田小学校「交通安全マップ」の地 図を作成し、小学校で配布する。 【ねらい】 通学路にある「こどもを守る安心の 家」を把握し、不審者を見かけたと きや緊急事態時に備える。	【準備過程】 学校やPTAの方との打合せを数 回実施	【評価と反省】 「こどもを守る安心の家」を生徒が自 主的に確認してもらえるようなマップ に改訂できた。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討 したい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「人権啓発ポスター」の展示	2月1日 ～2月8日	1回	人権平和	青少年		【事業内容】 「人権啓発ポスター 入賞作品」の展示 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする。	【準備過程】 人権啓発ポスター展に入賞した作品を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	
子ども連続スポーツ教室	3月27日 3月28日 3月29日	3回	スポーツ	青少年	87人	【事業内容】 小学3～6年生の児童が、3日間で6種類のスポーツを体験する教室 【ねらい】 ・様々なスポーツに親しみ、楽しむきっかけづくり ・多種多様な動きを体験してもらい、運動能力向上の一端を担う。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 【講師】 NPO法人まつもとスポーツサービス 関 知大 氏 鎌田地区スポーツ委員 3名	【評価と反省】 3日間を通して、子どもたちが多種多様なスポーツに触れ、楽しむことができた。 【今後の方針】 スポーツ委員会で種目や開催時期を検討し、継続したい。	
5部門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	297人	【事業内容】 ・館報編集委員会 館報の取材・編集 ・図書・視聴覚委員会 図書館展示パネル作成、更新 ・文化委員会 環境、歴史文化、食育講座の開催 ・スポーツ委員会 初心者向けスポーツ講座の開催 ・運営委員会 地区課題を探りながら公民館の在り方を提案、助言を行う 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書・視聴覚委員会 ・スポーツ委員会 ・運営委員会	【評価と反省】 必要に応じて委員会を開催した。 【今後の方針】 講座や公民館活性化のため、積極的に開催する。公民館委員は長年同じ方が担っているため、後任の選出が課題。	
鎌田地区公民館だより発行	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて、公民館だよりを全戸回覧し、公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館事業や地区情報を広く周知する。	【準備過程】 公民館が作成	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。ただし、紙媒体以外の情報発信も考える必要がある。 【今後の方針】 継続したい。	

令和5年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
鎌田地区公民館だよりのホームページ掲載	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて発行した公民館だよりを市ホームページに掲載する。また、公民館だよりにQRコードを掲載し、手軽にホームページにアクセスできるようにする。 【ねらい】 回覧の場合は公民館だよりが手元に残らないため、誰もがいつでも簡単に情報を取得できる環境を整える。	【準備過程】 公民館が市ホームページに掲載	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。 【今後の方針】 ホームページでの表示方法など研究しながら継続して掲載したい。	

令和5年度 事業報告の概要

松南地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【重点目標1】 <u>松南地区らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連携を育む学習機能の充実を図る。</u> ア 日常の暮らしで生じる悩みや課題を掘り起こす機会の創設 イ 地域課題の解決に向け、学習機会の充実、関係する多様な主体の連携・協働を支援する取り組み ウ 若い世代を巻き込み、地域づくりの担い手を育成する取り組み 【重点目標2】 <u>人権、平和、子育て、健康福祉、環境、食と農に至るまで、日常の暮らしの中の悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。</u> ア 子どもからお年寄りまで、性別、年齢などに関わらず、誰でも自由に学べる場の拡充 イ 日常の暮らしで生じる悩みや課題など、住民の多様な学びのニーズに対する、講座や勉強会の実施、資料の整備 ウ 伝統行事や地域の財産を次代へ継承する取り組み 【重点目標3】 <u>地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。</u> ア 子どもたちが地域の行事や活動に参加する機会の創出、地域への帰属意識の醸成 イ 地域住民が主体となった子育ての取り組み支援、地域全体で子どもを育てる意識の向上 ウ 学校の教育目標やビジョンと地域の課題の共有、学校と地域の連携・協働の促進										(左記の重点目標の番号と対応して記載) 1 地区行事の感染症禍からの復活、町会連合会設立60周年記念事業の実施に際して、各事業実施の支援、団体間の連携を支援した。 今後も、住民の主体的な取り組みを支援しつつ、担い手育成や地域住民の絆づくりに取り組むことが求められる。 2 継続して実施している事業では、全体的には昨年までよりも参加者の増加が見られた。 各町会への出張事業や、住民のニーズに対応した新たな内容の事業の開催などが求められる。 3 感染症禍よりも、子どもたちが地域行事に参加し、地域の大人と関わる機会が増えた。 一方で、コミュニティスクール事業のボランティアの担い手が減少している。 引続き、子どもを対象とした事業の実施、子ども会育成会への支援を行うとともに、重点目標1と同様、担い手の育成に取り組むことが求められる。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	6	3	0	2	0	0	0	1	4	2	4	4
延べ 参加人数	32	196	1145	170	0	500	0	0	0	320	2982	400	318	1195

令和5年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
信明中学校地域出前講座	7月	3回	趣味教養	青少年	350人	コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区住民を講師に、料理やスポーツ、絵画工作などを教わる。地域住民とのふれあい、つながり作りの場として実施	松南地区・鎌田地区住民を中心に講師を依頼	今年度、信明倶楽部（保護者の任意団体）の協力で空手の体験講座を実施し、好評であった。生徒のニーズを把握しつつ、保護者の協力も得て事業を継続していきたい。	○
夏のスペシャル人形劇	8月14日	1回	子育て	青少年	70人	南部図書館と共催で、子ども向けの人形劇を行う。	南部図書館と共催	企画実施は主に図書館で行っている。大会議室を会場に、多くの親子が参加して人形劇を楽しむ機会となっている。	
なんぶ未来まつり	9月2日	1回	地域事業 (文化)	その他	1,200人	神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りのない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まったすべてが手づくりのお祭り。町会を超えた地区住民の交流を図る。	未来まつり実行委員会が主催 (町会連合会を中心に組織)	各町会の出店、開明小や信明中吹奏楽部などのステージ発表、子ども神輿など、盛大に開催された。様々な地域住民が集い、非日常感を皆で楽しむ、地区最大のイベントとなっているため、今後も継続される見込みである。	
なんなんフェスタ2023	9月16日 9月17日	1回	地域事業 (文化)	その他	1,733人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。	実行委員会形式。 青少年ホームの子ども向け体験事業、南部図書館の本のリサイクル事業などを共催で実施	4年ぶりに、感染症禍前の開催内容がすべて実施できた。参加団体は感染症禍前よりも多く、展示会場・上演スケジュールの調整に苦慮した。来場者は感染症禍前に比べるとやや少なかったが、子どもから大人まで幅広く来場した。集客方法が今後の課題である。	
健康まつり松南	11月19日	1回	福祉健康	その他	150人	子どもから高齢者までが、気軽に参加して楽しめる軽スポーツやレクリエーションの協議を行う。地区住民が主体的に事業を運営し、幅広い年齢層が交流できる機会となっている。	松南地区社会福祉協議会が主催、実施準備や当日の業務に協力	住民が主体的に、かつ協力し合って事業を実施している。子ども食堂との同時開催もあってか、今年度は子どもの参加も多く、多世代交流のある事業となった。	
カリヨン イルミネーション点灯式	12月21日	1回	地域事業 (文化)	その他	40人	地区住民が参加できる冬のイベントとして、カリヨンの鐘ハイルミネーションを設置し、点灯式として地区の団体にハンドベルの演奏を行ってもらう。	町会連合会との共催。周知、実施準備の協力などを行う。	地区定例会の開始前の時間に実施したことで例年に比べて参加者が増えた。一般の参加者も15名ほどあり、親子連れの参加もあった。式典に合わせたカリヨンベルの演奏、一般周知の方法を検討する必要がある。	
なんなんひろば クリスマス人形劇	12月23日	1回	子育て	青少年	130人	南部図書館と共催で、子ども向けの人形劇を行う。	南部図書館と共催	夏のスペシャル人形劇と同様	

令和5年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松南地区町会連合会設立 60周年記念事業	2月25日	1回	地域事業 (その他)	成人	100人	連合会設立60周年を記念して、下記の事業を実施 ・記念式典（2月25日）の開催 ・平田里古墳出土「水鳥埴輪」のバッチ作成 ・「知っておきたい松南地区の歴史」リーフレット作成	町会連合会が主催、地域学習会（町内公民館長会、館報編集委員会）などが協力	式典には町会関係者のほか一般の参加者も多く出席し、講演とパネルディスカッションを通じて地区の過去と現在、未来を考える機会となった。	
町内公民館長会視察研修	3月2日	1回	地域事業 (文化)	成人	9人	「地域学習会」の取組みに関連して、新市立博物館などを見学する。単位町会を超えた地区住民同士の交流、町内公民館事業の活性化、歴史文化の学習がねらい。	地区町内公民館長会が主催、館報編集委員なども参加	庁用バスが使用できないことから、電車・バスを利用して新市立博物館の見学を行った。交通手段が限定されるなかで、工夫して有効な研修内容を検討し実施していきたい。	
開明小学校登下校見守り	4～5月	1回	子育て	青少年	105人	地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。新1年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りを行い、学校と地域の結びつきを深めるもの。		人材不足で、小学校からかなり遠くに住む住民にも協力していただいている。一人一人の住民の負担を減らせるよう、人材の発掘を進めるとともに、保護者の協力も求められている。	○
親子の食育講座	4～12月	5回	子育て	家庭教育	95人	畑での苗植えや土寄せから、収穫、調理して食べるまでを体験し、普段口にしている、ねぎやさつまいもなどの作物がどのようにして育てられているのかを学ぶ。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	子どもたちが農作業を体験できる貴重な機会となっているだけでなく、参加者同士のつながりができ、親子で交流できる機会となっている。引き続き継続して実施したい。	
教養としての発達障がい講座	7～8月	3回	人権平和	成人	32人	昨年に引き続き、発達障がいについて、1回1時間半の一般向けの講座を3回実施。発達障がいについて基礎から学ぶ機会を設ける。	地区人権啓発推進協議会	最初の開催から4年目ということもあり、参加者が減少している。対象者を子育て世代として、開催日時を夜間や土日にするなど、見直しが必要とされる。	
体操教室	7～8月 1～2月	6回	福祉健康	成人	46人	自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、参加者の希望に合わせた内容で、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらう。夏季（前期）と冬季（後期）に実施している。	福祉ひろば共催	後期からは運動・体操の内容を事前に設定せず、参加者の要望などに合わせた内容を実施してもらった。後期は昨年に比べて大幅に参加者が増加した。会場が遠いという声もあり、町内公民館などへの出張実施も検討したい。	
夏の文化祭	7～8月	1回	地域文化	成人	80人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する夏の文化祭。利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催。利用団体の活動発表の場の充実	公民館利用者の会主催	昨年より多くの団体の参加申込があった。一般来場者が増えるよう、メディア等での情報発信にも注力したい。	

令和5年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子料理教室	8～1月	2回	子育て	家庭教育	25人	季節の食材を使って、親子で調理実習をする。子どもたちの五感豊かな食育を進め、家庭での食を大切にしよう。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	リピーターの方だけでなく、新規参加者も一定数得られている。ネットからの予約も定着してきた。一方で、1月の教室は申込みがなく中止した。来年度、開催時期を3月に変更して実施する予定。	
子ども食堂	9～11月	2回	地域事業 (その他)	その他	300人	子育て支援及び食を通じた地域住民の交流などを目的として実施した。9月17日のなんなんフェスタ（カレーライス）と11月19日の健康まつり松南（豚汁）に合わせて、駐車場スペースを利用して配食した。	地区地域づくり推進協議会が主催、地区日赤奉仕団、市社協（炊き出しキャラバン隊）などが協力	子ども、親子連れだけでなく、幅広い年齢層の住民が訪れ、食事や同日開催したイベントを楽しんだ。地区関係職員が主体で企画・運営しており、地区住民主体での実施にはハードルがある。「子ども食堂」という名称を忌避するという意見もあり、今後は検討が必要である。	
認知症関係講座	1～2月	3回	福祉健康	成人	120人	認知症を学び、支えられる地域を目指して、認知症サポーターの養成講座、認知症の理解を深めるステップアップ講座を実施した。	地区生活支援員、福祉ひろば、南部包括支援センターなどと共催	参加者は民生委員や地区のボランティアなどが大半だったが、一般の住民も若干数いた。講座を通して、認知症に対する理解を深めるとともに、地域の抱える課題を参加者が共有することができた。今後も継続して実施したい。	
冬の文化祭	2～3月	1回	地域文化	成人	70人	令和2年から実施。内容は夏の文化祭と同様	公民館利用者の会主催	利用者の会の冬の事業として定着した。参加団体は多かったが、冬場で一般来場者が少ないことが課題である。	
学習室開放	通年	82回	子育て	青少年	720人	小学生から大学・専門学校生までを対象とし、今年度8月から開放日を増やし平日にも実施している。		ほぼ常時の開放となつて約半年間、HPのほか口コミで認知度が向上しており、常連利用している利用者もみられるが、平日の利用者は3名程度に留まっている。引続き周知を進め、平日も有効活用されるように取組みたい。	○
まちかどアート展	通年 (不定期)	2回	地域文化	その他	20人	主に2階ホールのスペースを活用したアート作品の展示事業。これまでに保育園・学校関係、地区住民の作品を展示してきた。		今年度、施設の中間改修工事のスケジュールも影響して、ほとんど展示が実施できなかった。年度当初に学校関係などには呼びかけを行い、地域住民に関しては町内公民館長などに情報提供を呼び掛けて、実施できるよう取組みたい。	○
ソフトバレーなんなんリーグ	通年	8回	地域事業 (体育)	成人	320人	月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦。地域住民が主体で、住民の仲間づくりの場である。		リーグ戦の役員が主体的に運営を行っている。特に運営上の課題は寄せられていない。	

令和5年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
なんなん日本語講座	通年	43回	趣味教養	成人	150人	毎週月曜日の夜に定期的に開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。	日本語講座ボランティアなどの協力	感染症禍の影響を受けず、一定数継続して受講生を得られた。今後も市南部で実施する日本語講座として、継続して実施したい。事業周知は引き続き行う必要がある。	
松南地区公民館 運営委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	106人	地区公民館の運営委員（委員は各町会から）。地区公民館の運営や事業について、地域住民から意見をいただく。	地区町会連合会	町会連合会設立60周年記念事業として、式典のほか、地区の歴史や今後のまちづくりに関して住民が考え・学ぶ機会を持つことができた。今後も、積極的に運営委員との意見交換を行い、協力して事業を実施したい。	
松南地区公民館 館報編集委員会	通年	11回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	85人	地区公民館報の編集委員（委員は各町会から）。地域情報の発掘・発信、地域課題の投げかけを行う。		町会連合会設立60周年記念事業に関わって、地区の歴史や今後のまちづくりに関して、情報発信・問題提起を行うことができた。「地域学習会」の中核となる団体として、今後も様々な活動を進めていきたい。	
松南地区公民館 体育委員会	通年	10回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	96人	地区公民館の体育委員（スポーツイベント等の企画・開催）。地区の体育事業について地域住民から意見をいただく。	地区スポーツ協会	各町会の状況を踏まえてイベント内容の見直しを進めた。他の地区団体とも協力しながら、子どもから高齢者まで多くの住民が体を動かし、交流できる事業としていくことが求められる。	
松南地区公民館 利用者の会	通年	5回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	31人	公民館利用団体で組織する会であり、夏及び冬の文化祭の実行、秋に行う文化祭「なんなんフェスタ」の実行委員会の中心的な役割を担う。利用者同士の交流の促進、利用団体の活動支援		役員のなり手不足が顕在化しており、公民館から利用団体への声掛けが必要となる。	

令和5年度 事業報告の概要

島内公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
■島内公民館「5つの基本方針」 1 講座の充実 地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。 2 芸術文化活動の推進 芸術文化祭や灯籠祭りお話し劇場等、既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。 3 子どもに魅力のある公民館活動の展開 児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。 4 スポーツの底辺拡大 島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます（体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等）。島内地区大運動会では、島内体育協会をはじめとする各種団体と連携するなかで、お互いの顔が見える関係づくりを図ります。 5 人権教育の推進 すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。										島内公民館5つの基本方針に沿って、学習やスポーツ等の社会活動を通じて住民間のつながりを構築し、地域社会での関係性を深めるなかで、互助の関係が根付いた魅力ある地域の形成（人づくり）へつなげた。新型コロナウイルスが5類となり、様々な行事をコロナ禍前へと戻すよう行なってきた。各種学習講座や島内文化ふれあいまつり・島内島立ふれ愛コンサートなど以前と同規模の事業を実施した。また、体育事業は参加者がコロナ以前よりも減ったが運動会以外の全事業を行うことができた。平瀬古城会の活動も4年目を迎え、会員向けのどぶろく酒製造や染め物体験会、視察研修会、他市と連携した狼煙まつりの開催など、公民館を核にした地域づくり活動が進められた。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	10	4	4	0	2	3	0	8	8	2	19	5	10
延べ参加人数	0	240	894	235	0	16	31	0	443	287	122	7800	372	1238

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
小谷で交流 「山菜狩り体験」	4月28日	1回	趣味教養	成人	16人	他地域と島内地区住民との交流を図り、仲間づくり等へつなげるため、山菜狩りなどで交流を図る。	健康福祉部門関係者と内容・日程を調整	地区として3回目の取組みとなるが、今年も新規参加者が多く、前回に続いて参加した住民を核に交流の輪が広がった。	
春季スポーツ大会	5月22日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	地域住民の交流と健康増進のため、町会対抗でバドミントンとグラウンドゴルフで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	久しぶりの開催となり、参加者はコロナ前と比べると大分少なくなってしまった。 しかし、開催することができたので、今回の反省を踏まえて来年度の開催につなげていきたい。	
健康ウォーキング大会	6月18日 10月 1日	2回	地域事業 (体育)	その他	154人	健康増進と世代間交流を図るため、地区内健康ウォーキングコース4km & 7. 5km歩くもの。10月は地区内の歴史的文化遺産を核にしたコースを設定し、住民の地域への愛着を深める。	福祉ひろば・平瀬古城会関係者と日程・運営方法等について調整	6月は通常の健康ウォーキングコースを歩いたが、秋は地区内の町・東方町会の史跡などを巡り、昨年度の倍近くの参加があった。途中の大日堂では、平瀬古城会の会員が、歴史や仏像などの解説を行い、人材発掘・育成にもつながった。	
ソフトボール・バレーボール大会	7月 3日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗でソフトボールとバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
人権教育推進視察研修	7月21日	1回	その他	その他	23人	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施	主催者の町会・町内公民館長・地域づくりセンター長と実施内容について検討	平塚らいてうの家を訪ね、女性の人権について学んだ。	
夏休み子ども講座 ※小学1～6年生対象	7月27日 8月 3日	2回	その他	青少年	98人	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子どもたちの生きる力の醸成へつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	日頃学校では体験できない学年を超えた交流のなかで、子どもたちが主体的に行動する仕掛けを取り入れて実施したことで、人間力醸成へつながった。次年度も、行先を変更して実施予定。	○

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中学生のための島内公民館開放	8月1日 ～8月17日 うち8日間 予定	1回	その他	青少年	60人	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	中学生が公民館とつながる機会として有効であり、生徒にも好評であった。食事支援・学習支援を地域住民が行い、交流の場にもなった。今年は、松本大学とも連携した。	○
(第36回灯籠まつり) 夏休みおはなしファミリー劇場2023夏	8月6日	1回	その他	その他	200人	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ劇場を実施し、島内伝統行事の灯籠まつりの充実へ寄与する。	公民館図書視聴覚委員会や文化委員会、公民館読み聞かせサークルや総合企画のオフィス蘭と実施有無について検討	灯籠まつりは中止となったが、おはなしファミリー劇場だけは、公民館委員が運営スタッフとして関わることで、実施へつなげられた。	○
夏季スポーツ大会	8月20日	1回	地域事業 (体育)	成人	93人	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で野球とソフトバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	数年ぶりの開催となった。参加者はコロナ前に比べるとかなり減少してしまったが、声を掛け合いながら行っていた。来年は夏の気温も考慮し時期をずらす。	
島内歴史講座	8月23日 3月15日	2回	地域文化	成人	55人	島内地区の歴史について学習することで、地域への愛着や関心を高めるために、講演会を開催	島内史談会と講師・内容・日程等を調整	地元の堰や石仏をテーマに、講演会を企画。堰は梓川と絡めて、石仏は市内全域で捉えるなど、広い視野から地区を見るような学習会となった。	
河西部球技大会	8月28日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	スポーツを通じて、河西部地区（島内・島立・和田・新村）で交流を図る。（バレー・野球は市長杯争奪大会出場地区選考を兼ねる）	今年は和田が当番地区のため、実施方法を模索し、4地区体協関係者と開催方法について検討	開催することができた。ただし、ママさんバレーが1チームしかなかったため、球技大会は行えなかった。今後、どのようなスポーツを行っていくか考える必要がある。	
島内公民館子育て講座	8月30日 9月26日 11月15日	3回	子育て	家庭教育	46人	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげるため、人形劇・親子体操・親子ヨガを実施	福祉ひろば・民生と内容や講師、日程等を検討	子どもが小さいことから、参加に抵抗ある親子もいたが、参加への理解も得られた。親子交流の大切な場であるため、次年度も継続開催予定。	

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
陶芸講座	9月20日 9月27日	2回	地域文化	成人	20人	山田地籍の登り窯を会場とし、陶芸を切口に地域文化・歴史を学び、作品を制作するなかで、地域への愛着醸成や仲間づくりへつなげる。	登り窯を管理する「山田炎の会」と講座内容について調整し、単なる陶芸作品制作に留まらない取組みへつなげる。	公民館にとっては、登り窯で3回目の開催となったが、陶芸や地域文化への関心を更に高められた。また、炎の会への新規登録へつながったり、会主催の陶芸教室への参加へつながったりと、講座後も広がりを見せた。	
第66回市民体育大会	10月9日	1回	スポーツ	成人	20人	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催（地区対抗は中止）。島内からはマレットゴルフとソフトバレーボールのみ出場。	
第69回島内地区大運動会	10月15日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	地域住民の交流と健康増進を図るため、例年は、16種目で町会対抗競技も設ける。昼食時に、島内小学校4年生と消防団によるアトラクション実施	実行委員会を体協・町会・町内公民館関係者等で組織し、実施有無について検討	6月以降、各町会関係者から運動会の現状や課題について意見を聞き、その内容を基に役員会を実施。今後は形態を変え、来年度行う予定。	
第40回松本市長杯争奪球技大会	10月30日	1回	スポーツ	成人	11人	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催。島内からはマレットゴルフと市民体育大会で入賞したソフトバレーボールが出場。	
第4回島内文化ふれあいまつり	11月5日	1回	地域事業 (文化)	その他	540人	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施（展示やステージなど）	公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で実行委員会を組織し、実施内容等を検討	今年度から従来の1日開催へ戻し、コロナ前と同規模のまつりを開催した。また、今年は大抽選会を行い、かなりの来場者が閉会式まで残った。	○
卓球大会・ニュース スポーツ体験会	11月12日	1回	地域事業 (体育)	その他	40人	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗の卓球大会とニューススポーツ体験会を実施	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	他の球技大会と同様に人数が少なかったが、今回新たに行なったポッチャは参加者に好評だった。来年も行いたい。	

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館委員視察研修	11月10日	1回	その他	その他	16人	公民館委員間の情報交換や交流、視察研修学習を通じて、各委員会活動へつなげることを目的に実施	委員会関係者と研修成果を活かせるような視察場所を検討→結果、茅野市尖石縄文考古館や諏訪市博物館等を視察	視察を通じて学習した成果を、各委員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定。	
島内地区指導者研修会	11月24日	1回	その他	その他	23人	地域内指導者を対象に、地域活動へつなげるために実施	門前プラザにて長野市職員から善光寺通の開発の際住民とどのように調整を図ったか聞いた。	行政と関わりの多い町会長や町内公民館長を対象として話を聞いた。参加者からは、行政の視点からの話は、新鮮で興味深かったという意見が出た。	
刃物研ぎ講座	12月13日 午前・午後	2回	趣味教養	成人	32人	初心者向け。刃物の研ぎ方を学ぶことで、仲間づくりや趣味による生きがいづくりへつなげる	シルバー人材センター刃物研ぎ会員と相談の上実施	今年度も初めての参加者が多く、愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで、仲間づくりへもつながった。	
男性のための料理教室	6月27日	1回	福祉健康	高齢者	12人	高齢者の一人暮らし男性を対象とした料理教室を開催した。 普段料理をしない参加者でもできるよう、簡単なものを作った。	食改や健康福祉部門関係者及び生活支援員と調整を図り、事業を行うことができた。	参加者も固定化してきており、参加者同士で顔なじみとなってきた。 来年度もう一年行い、サークル化へ向けて取組んでいきたい。	
	7月25日	1回	福祉健康	高齢者	12人				
	9月12日	1回	福祉健康	高齢者	11人				
	10月17日	1回	福祉健康	高齢者	12人				
	11月14日	1回	福祉健康	高齢者	13人				
	1月22日	1回	福祉健康	高齢者	15人				
	2月20日	1回	福祉健康	高齢者	13人				
	3月5日	1回	福祉健康	高齢者	14人				
親子の料理教室	12月17日	1回	子育て	青少年	18人	親子で料理の楽しさや健康的な食事について学び、食事に対して理解を深める。	食改とメニューや日程について調整を図った。	食改のサポートの元、親子で楽しく料理をすることができた。特におにぎらずは好評だった。公民館だよりの地区回覧では、人の集まりが悪かったの で、島内小学校に直接たよりを持ち込んだところ、人が多く集まった。	

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権を考える住民の集い 「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月23日	1回	人権平和	その他	504人	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするともに、意識向上の一助へつなげる。島内・島立小学校、松島・高綱中学校の発表の場としても活用する。	人権推進協関係者や学校、出演者等と9月頃から複数回実施内容やコロナ対策について検討	コロナ禍で子どもたちの出演機会が奪われるなか、学校からもステージ開催を望む声が多く、コロナ禍を考慮しながらの開催・準備を進めた。結果、島内小合唱部、島立小・松島中・高綱中金管部などが出演。主催者住民から「ロシア・ウクライナの状況を踏まえ、今回のコンサートを通じて、音楽が民族を越えてつながることができるツールだと感じた」との問いかけがあり、改めて、コンサートそのものの位置づけや重要性を確認する機会にもつながった。	○
こどもの居場所づくり 事業愛ランド島内「おらんちdeランチ」	4月9日 ～3月11日	12回	子育て	家庭教育	650人	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に、学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。	住民組織「愛ランド島内実行委員会」を主宰に、公民館と連携する中で実施内容等を検討	子どもたちが集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子どもたちの人間力醸成へもつながった。新たに松本大学の松田武雄ゼミと連携し、大学生協力による運営や学習支援、「島内防災すごろく」を子どもたちと製作した。夏休みには、アメリカンフラワー工作体験も実施した。また、コロナ対策として、食事をテイクアウトにするなどの工夫も行った。	○
お話しの会 ※うち2回図書館共催 (お話のスペシャル、 クリスマススペシャル) ※うち2回は保育園で実施	5月14日 ～3月11日	8回	子育て	家庭教育	180人	親子参加による図書視聴覚委員会を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。絵本・紙芝居・パネルシアター・OHP等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討の上実施。	読み聞かせの内容は、全て委員会を開催し、図書視聴覚委員会が決定する。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。図書館との共催2回は実施できた。また、昨年度はできなかった、保育園でのおはなし会も行うことができた。	○

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
農業文庫講座 第1回 視察研修 「諏訪湖周辺を訪ねて」	5月25日	1回	その他	成人	43人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	岡谷蚕糸博物館、カゴメ野菜生活ファーム富士見の見学を実施	農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会（公民館・図書館関係者も連携）で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。昨年度に引続き「会員向け学習視察会」を企画・実施した。過去数年間の参加者の中で、常連となっている住民に声掛けを行い、「会員になって一緒に活動したい」と言う方を誘いながら、市内の時計博物館と美術館、食事をを行った。食事会では、新規会員から「一緒に活動できることを楽しみにしている」との話もあり、公民館的な手法により広がりを見せている点が評価できる。	
農業文庫講座 第2回 講演会 「旧開智学校の歴史と島内の学校のこと」	7月21日	1回	地域文化	成人	50人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	遠藤正教氏（旧開智学校学校芸員）を講師に、旧開智学校と島内の学校の歴史や魅力について講演		
農業文庫講座 第3回 講演会 「健康寿命」の延伸から「生きがい寿命」の充実へ	9月19日	1回	福祉健康	成人	100人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	菅谷昭氏（松本大学学長）を講師に招き、市長時代に取組んだ健康寿命についてとそこから更に発展させた生きがい寿命について講演		
農業文庫講座 第4回 視察研修 「大町周辺の歴史と自然」	10月26日	1回	その他	成人	40人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	仁科神明宮、霊松寺、サントリー天然水工場の見学を実施		
農業文庫講座 第5回 世代間交流 「正月の伝統行事と遊び」	12月2日	1回	地域文化	家庭教育	110人	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子どもたちに伝えていくことで、世代間交流を図る。	凧・こま・お手玉を作成して遊ぶ。餅つきを中止し、ぼた餅を配布 ※愛ランド島内共催		○
農業文庫講座 第6回 講演会 「農業から考える環境問題」	2月27日	1回	福祉健康	成人	38人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	齋藤勝晴氏（信州大学農学部教授）を講師に、環境問題と農業の両立をさせることの大切さについて講演		
平瀬古城会の活動	4月～3月	1回	地域事業 （文化）	その他	122人	平瀬城跡（特別史跡）を中心に、関連史跡・関連文化財群などの整備・保全・活用を、地域全体の取組みとして推進することで、地域文化財を活用した地域づくりへつなげる。	公民館を事務局に、社会教育的な発想で文化財の活用や保全を進めるため、全ての取組みについて会員内で協議・調整を行い、実施へつなげる。	令和2年4月発足。通常の整備・周知・学習活動に加え、夏休みの親子向け染め物体験会やどぶろく酒製造などを行った。狼煙まつりは、安曇野市との連携を進めたが荒天で中止となったが、初めて視察研修会も行った。	
さわやか健康スポーツ教室	6月～3月	10回	スポーツ	女性	60人	健康維持のための教室として、ニュースポーツ、ストレッチ体操などを行う。	地区体協関係者と内容等調整	毎月1回、女性の健康づくり推進員OBを中心に開催し、コミュニティの受け皿としても機能していた。今年度は久しぶりの開催となった。	

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ソフトバレーボール リーグ	1月～3月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	地域住民の交流と健康増進のため、 チームによるリーグ戦を行う。	地区体協関係者と内容等調整	島内体協主催事業として、3か月間に わたりリーグ戦が開かれ、毎年楽しみ にしている選手も多い。今年度はコロ ナのため、親睦交流大会へ変更し、集 まれる範囲で楽しく汗を流した。	
公民館ギャラリー “ピアッザ” への展示	4月	1回	地域事業 (その他)	その他	7,800人	地域住民及び島内公民館利用サー クル等の作品展示を常時実施すること で、地域の文化発信を積極的に行う とともに、展示者の生きがいづくり 等へもつなげる。	栗田恒子遺作展	地域住民及び島内公民館利用サークル 等の作品展示を常時実施することで、 地域の文化発信を積極的に行うととも に、展示者の生きがいづくり等へもつ なげる。 ※今年度は、多くの来場があった。ま た、展示に合わせてアメリカンフラ ワーブローチ製作体験や、Nゲージミ ニレイアウトで実際に列車を走らせる 体験会も行ったことで、多くの親子連 れが参加した。松島中学校作品展は、 ここ5年間作品数が減少していたが、 中学校内の働きかけ等もあり、40点以 上の作品がギャラリーを彩った。ギャ ラリーは公民館入口横にあることか ら、マイナンバーカード申請者も来場 したことで、昨年度より来場者が増加 した。	
	5月	1回	地域事業 (その他)	その他			五月人形展		
	6月	1回	地域事業 (その他)	その他			版画・切り絵仲間展		
		1回	地域事業 (その他)	その他			花フレンド作品展（フラワーアレンジ）		
	7月	1回	地域事業 (その他)	その他			アメリカンフラワー展		
	8月	1回	地域事業 (その他)	その他			段ボール模型展		
	9月	1回	地域事業 (その他)	その他			島内小学校6年生作品展		○
	10月	1回	地域事業 (その他)	その他			動物の陶器作品展		
	11月	1回	地域事業 (その他)	その他			ふわもこの会作品展（羊毛フェルト）		
		1回	地域事業 (その他)	その他					
	12月	1回	地域事業 (その他)	その他			松島中美術部作品展		○
	1月	1回	地域事業 (その他)	その他			島内書道愛好家書道展		
		1回	地域事業 (その他)	その他			陶芸作品展（山田炎の会）		
	2月	1回	地域事業 (その他)	その他			鉄道模型展		
	3月	1回	地域事業 (その他)	その他			第13回ひな人形展		

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書視聴覚委員会	5月 9日 ～2月27日	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	36人	「おはなしの会」の企画・実施を通じて、地区内の図書普及と交流を図る。	・お話しの会の企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営	定期的な本の読み聞かせを、委員主体により進められた。	
文化委員会	4月 1日 ～3月23日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	ギャラリーピアッツァの企画・実施を通じて、人材の掘り起こしや地区内の文化活動を活性化させ、島内文化を発信する。	・ギャラリー「ピアッツァ」の企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営 ・ふれあいまつり協力	ギャラリー展示の企画・運営から、ふれあいまつり等への参画まで、委員主体により進められた。	
館報編集委員会	4月12日 ～3月 7日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	地区内の情報を集約し、住民の視点から公民館報を発行することで、地区住民の生活文化の向上を図る。	・島内公民館報の企画、編集 ・おはなしファミリー劇場の運営	館報の企画・編集及について、委員主体により進められた。	
地区大運動会役員会議	3月25日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	16人	第69回地区大運動会の開催有無について検討	役員会（企画）、全体会議（運営方法共有）、反省会	新たな運動会の方向性について議論された。	
町内公民館長会	4月 5日 ～3月17日	10回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	200人	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月1回集まり、町内公民館に関係する事業等について検討する。また、地区事業についても検討され、コロナ禍での町会活動についても議論がなされた。	
公民館報発行	奇数月発行	6回	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	島内地区の情報などについて、住民の視点から発信		偶数月に住民主体で企画会議を行い、掲載内容や取材方法等を検討。奇数月には編集作業を行う。今年度から生活支援員を委員に加えたことで、各町会の福祉活動に関する情報も入るようになった。結果、記事で100歳体操の取り組みを、各町会の活動まで含めて取り扱うことができた。	
公民館だより	毎月	12回	地域事業 (その他)	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用。	

令和5年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ホームページ	随時更新	-	地域事業 (その他)	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信		毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③イベントの子について掲載する。新規に、出張所の方でTwitterを開設したことで、公民館HPとの連携も図られた。また、館報に毎回、公民館HPとTwitterの二次元コードを掲載することで、更なる情報発信にもつながった。	
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随時	-	地域事業 (その他)	その他	-	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と、活動状況などについて情報交換を行う。	

令和5年度 事業報告の概要

中山公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・地域で子どもを育てる仕組みづくりを行うため、学校と連携、協同する。 ・公民館活動への参加が少ない子ども、若者を対象に事業、講座を開催する。 ・コロナ禍で中止になっていた事業について、現状に合わせた実施方法を地区住民と検討し開催する。 ・公民館が高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点となる。										・手づくり教室（縄ない、しめ縄づくりの指導）、クラブ活動の支援に地域の人財を学習の場面に投入するCS事業を展開した。また、中山地区文化祭では、地区内の中学生にステージ発表での司会進行を依頼し、世代を超えて協力し合い文化祭を行うことができた。 ・8月に「なかやま夏まつり」12月に「餅つき大会」を開催した。多くの子ども、若者の参加があったが、一過性のものにせず継続して事業を行っていく。 ・地区住民と検討し、「町会対抗体育大会」「運動会」の見直しを行った。高齢者から子どもまで参加できる「モルック大会」を開催し、地区住民の交流の場となった。 ・高齢化率が高い地区であり、買物弱者も多いため、気軽にお買い物やおしゃべりを楽しめる「なかやまでお買い物」を開催し、高齢者の居場所づくりにつながった。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	1	2	0	3	0	0	3	3	1	1	4	1
延べ 参加人数	100	120	100	250	0	780	0	0	320	330	300	200	427	100

令和5年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
諏訪湖ウォーキング	4月14日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【内容】 地区住民の健康増進、体力アップのため諏訪湖半周（約8km）のウォーキング事業を実施するもの。 【ねらい】 地区住民の健康増進、体力アップ、交流	【準備過程】 館長、主事で下見を実施し、高齢者も歩きやすい平坦なコースを選定	【評価と反省】 新型コロナ禍でも野外に出て運動する機会を提供できた。 【今後の方針等】 福祉ひろば事業と重なる部分も多いことから、ひろばと連携し、定期的な運動の機会提供を継続したい。	
高齢者健康のつどい	6月6日	1回	福祉健康	高齢者	100人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体と福祉ひろば、公民館とで打合せを実施し、開催内容を決定 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 3年ぶりに開催し、多くの参加があり、高齢者の交流の場となった。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者に楽しんでいただけるような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。	
なかやま夏まつり	8月4日	1回	地域事業 (その他)	成人	200人	【事業内容】 公民館で、地区全体の夏まつりを開催 【ねらい】 納涼祭を行っている町会もあるが、地区全体での開催がなかったため、地区住民の交流の場とするため。	【準備過程】 町会連合会含め地区の各種団体とで打合せを実施し、開催内容を決定 【共催団体等】 町会連合会含め地区の各種団体と共催	【評価と反省】 飲食ブースが多くあったため、多くの子ども、若者の参加があった。飲食物がすぐに売切れになったため、数量を検討していく。 【今後の方針等】 多くの継続を求める声があったため、今後も開催していく。	
夏休み自習室	8月 7日 ～8月22日		その他	青少年	10名	【事業内容】 小・中学校、高校の夏休み期間中、視聴覚室を学習室として開放するもの。 【ねらい】 家庭では中々身に付きづらい学習習慣の定着	【準備過程】 学校にチラシを配布し、周知を行った。	【評価と反省】 近隣の小・中学校、公民館だよりで呼びかけを行ったが、参加者は10名ほどに留まった。 【今後の方針等】 静かで集中できる環境であるため、活用してもらえよう、更に周知を強化したい。	
第47回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6種目による6地区対抗競技 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	

令和5年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
2023なかやま体験フェスタ	9月23日 9月24日	1回	その他	その他	300人	【事業内容】 中山地区は市内でも少子高齢化が進んでいる地区だが、令和元年度に作成した地区紹介カタログを元に地区内外の交流人口の増加を目的に体験型ワークショップのイベントを立ち上げた。 【ねらい】 地区内外の交流人口による地域活性化。	【準備過程】 地域づくり協議会地域活性化部会で準備会、プロジェクト会議を重ね、プログラムの選定を行った。 【共催団体等】 地域づくり協議会地域活性化部会	【評価と反省】 昨年に引き続き、中山各地でワークショップを分散型で行った。また、昨年度の開催日を3日間から2日間にする事で、スタッフの負担軽減も図った。また、松本大学の学生3名にプロジェクトに参加してもらい、学生主体のワークショップ、動画撮影等を協力いただいた。 【今後の方針等】 運営面での高齢化、人手不足の課題があるため、松本市内の大学等へ協力を要請する。また、周知方法も検討していく必要がある。	
第66回松本市市民スポーツ大会秋季大会	10月8日	1回	地域事業 (体育)	成人	60人	【事業内容】 市民体育大会に際し中山地区団を結成し、軟式野球、ゲートボール、卓球、マレットゴルフの種目の試合に出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進を図る。	【準備過程】 選手団の結団式、解団式は簡素化し、応援を体育委員に依頼 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 応援が少なかったため、来年度は検討していく必要がある。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参加する体制を継続したい。	
第1回中山地区モルック大会	10月15日	1回	地域事業 (体育)	成人	120人	【事業内容】 子どもから高齢者までが参加し、楽しめるモルック大会を開催 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りながら、地区住民が相互の親睦を深めることにより地域づくりの基礎とする。 また、従来の運動会ではなく、自由に参加できるモルック大会へと変更した。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実行委員会を組織。企画、運営等を行う。 【共催団体等】 町会連合会含め地区の各種団体と共催。	【評価と反省】 事前周知や、福祉ひろばでもモルックを行っていたため、高齢者から子どもまで多くの参加があった。 ルール等を明確にしていける必要がある。 【今後の方針等】 好評だったため、来年度も継続して開催していく。	

令和5年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第47回中山地区文化祭	11月 4日 ～11月17日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【事業内容】 中山小学校の体育館や駐車場でステージ発表、お楽しみひろば（飲食ブース）を行った。中山公民館で2週間、展示部門を実施した。 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員が中心なり、他団体と連携して準備を行った。	【評価と反省】 お楽しみひろば（飲食ブース）を4年ぶりに行ったため、若者の参加も多かった。展示部門は展示期間を2週間としたため、普段文化祭へ足を運んだことのない人達も含め、多くの地区住民に作品を観覧いただき、出展者の満足にもつながった。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業として継続させていきたい。	
父ちゃんの時間ですよ	11月22日 12月 8日 1月26日 2月16日	4回	趣味教養	高齢者	60人	【事業内容】 料理講座、健康体操などを行った。 【ねらい】 ふれあい健康教室等の福祉ひろば事業への出席率が低い、男性をターゲットとして運動習慣の定着、事業への参加意欲を図る。	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催。	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場に、健康増進を図れるよう講座を企画。地区住民同士の交流を図った。 【今後の展開】 継続して事業を行っていく。	
第42回中山小学校手づくり教室	12月8日	1回	地域文化	青少年	150人	【事業内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄づくりを地域住民が講師となって、中山小全学年の児童に教える。 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打合せを行った。 【共催団体等】 中山小学校、中山地区福祉ひろば	【評価と反省】 本年度は参観日に合わせて開催そのため親子でのコミュニケーションの場ともなった。また、子ども会育成会の理事を講師として事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 【今後の方針等】 引続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。	
なかやまでお買い物	12月19日	1回	福祉健康	高齢者	80人	【事業内容】 松本市内の事業者により、移動販売を行った。また、中山地区で活動する「コーヒーを楽しむ会」に依頼しコーヒーの提供も行った。 【ねらい】 高齢者の居場所づくり、買い物弱者支援対策	【準備過程】 社会福祉協議会職員と中山地区福祉対策部会員と打合せをした。	【評価と反省】 公民館で開催したことにより、買い物に行けない住民の参加や、交流の場となった。 【今後の展開】 今後も継続して開催していく。	

令和5年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
木工講座	月2回ずつ 実施	24回	趣味教養	成人	240人	【事業内容】 昨年に引き続き、木の小物づくりからスタートして木工のスキルを磨き、家庭内の簡単な修繕や趣味のひとつとしてコロナ禍でのおうち時間を充実させることを目的に企画したものの。 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として木工に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【準備過程】 初回～2回目までは全員共通でカッティングボードを製作。その後は力量に応じて、製作するものをアドバイスするなど、館長と二人三脚で事業を実施した。また、今年度は座談会用にベンチ、公民館で使用する鏡の枠などを作成した。	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でも身の回りで使うものを作ることで地区住民の満足感につながった。 【今後の方針等】 参加者は木工が趣味のひとつとして定着しつつあるため、館内での常設展示や地区文化祭等で展示でより多くの人に見て興味をもっていただき、参加者増や地区内でサークルとなるような取組みにつなげる。	
ウクレレ講座	月2回ずつ 実施	24回	趣味教養	成人	480人	【事業内容】 気軽にはじめられる趣味のひとつとしてウクレレ講座を実施。 【ねらい】 昨年に引き続きコロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として音楽に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【準備過程】 初心者向け講座であり、楽曲等は公民館で選定。	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でのおうち時間の過ごし方のひとつとして、興味をもって参加してくれている。 【今後の方針等】 地区文化祭やふれあい健康教室などを発表の場とすることで、更に参加者のやりがいが増進するような仕掛けを講じる。	
C S事業クラブ活動支援	5月～1月	7回	地域文化	その他	100人	【事業内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。 【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。	【準備過程】 中山小よりニーズをくみ取り、公民館長がコーディネーターとして地区住民を講師として招き実施しているもの。	【評価と反省】 本年度は卓球、パソコン、縄文体験、手芸、写真、理科実験の6つのクラブで4～6年生を指導した。 【今後の方針等】 これまでのような講師謝礼という財政的支援のみならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。	○
ワイワイ子育て	5月～1月	7回	子育て	家庭教育	100人	【事業内容】 パン作り、読み聞かせ等の7回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。	

令和5年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中山映画会	2月27日	1回	その他	その他	20人	【事業内容】 公民館の大会議室で映画鑑賞会を実施。 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 各町内公民館、地区内の事業所等にポスターを設置することで、多くの参加があった。 【今後の方針等】 日頃なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたり、世代間交流や家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集い、居場所づくりを促進するため、今後も継続したい。	
人権啓発講座「楽団ケ・セラ特別コンサート」	2月29日	1回	人権平和	成人	100人	【事業内容】 障害を抱えながらも自立を目指す「楽団ケ・セラ」の演奏を聴く。 【ねらい】 コンサートを通して平和や人権について考え、理解を深める。	【主催】 中山地区人権啓発推進協議会（中山公民館） 【準備過程】 中山地区人権啓発推進協議会で企画、実施	【評価と反省】 大会議室でコンサートを行い、多くの住民が参加した。 【今後の方針】 今後も継続して人権啓発に関する事業を行っていく。	
公民館専門委員会	通年	25回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	公民館事業の企画・運営のため開催。 ①運営委員会②館報編集委員会③体育委員会④文化委員会⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引続き委員会の主体的な活動を促し、地域の活性化を図っていききたい。	
地域づくり協議会活動支援	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	成人	120人	地域づくり協議会の活動支援、連携強化を図る。 ①運営委員会②地域活性化部会③防災環境保全対策部会④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていききたい。	
町内公民館長会活動支援	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	町内公民館長会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていききたい。	
子ども会育成会支援	通年	9回	公民館委員会・各種会議等	成人	87人	子ども会育成会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていききたい。	

令和5年度 事業報告の概要

島立公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり 公民館最大の行事である島立地区芸術文化祭・福祉ひろばまつりについて、参加者の主体性を促しながら、誰もが気軽に参加でき、交流できる機会の創出を目指す。公民館・福祉ひろばサークル、地元小中学校の日頃の活動成果の発表の場を整える。 2 中央公民館重点施策・推進施策について 若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会を生き抜く力を醸成する。事業推進にあたり、主に小中学生にスポットを当て、地区内関係団体や関係課と連携し、学びや遊びを通じて子どもの居場所づくりを進める。										1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり 島立体育館に会場を集約し、ステージ発表と作品展示を実施した。作品を展示した個人・団体にとっては年に一度の展示発表の機会となった。また、地元小中学校ブラスバンド部、吹奏楽部や公民館利用サークルの活動成果の発表の機会を創出できた。子どもたちやサークル会員が生き生きと発表する姿を保護者をはじめ来場者にも見ていただくことができた。新たに出演・出展される個人・団体が増え、盛り上がりを見せた。 2 中央公民館重点施策・推進施策について ・大学、NPO、子育てサークル、有志ボランティアと協働し、こどもの居場所づくり支援を行った。継続的に実施することで認知度も増し、多くの子どもたちが利用するようになった。 ・小中学校の長期休業中に学習スペースを開放し、子どもの居場所づくり支援を行った。 ・毎月開催される町内公民館長会を各町内公民館で実施し、町会独自の特色や課題を共有した。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	10	1	3	0	2	1	0	7	1	1	6	1
延べ 参加人数	403	80	2202	20	35	0	274	10	0	690	500	0	272	1024

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
救急救命講習会	5月13日	1回	その他	成人	13人	【内容】 町会役員、町内公民館役員、スポーツ協会役員を対象に普通救命講習を行う。 【ねらい】 地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上を目的に行うもの。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 スポーツ協会三役会（スポーツ委員）が中心に参加し、講習受講した。 【今後の方針】 いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催する。	
環境講座 「奈良井川をきれいに して、おもいきり遊 ぼう」	5月21日	1回	環境	青少年	15人	【内容】 ・清掃ボランティア ・川遊び 【ねらい】 ・奈良井川の清掃活動を通じ、河川環境を考える。 ・集まったごみからマイクロプラスチック問題を考える。 ・川遊びや生き物観察を行い、河川の生態系を考える。	【準備過程】 講師と奈良井川の下見や草刈りを行い、子どもたちが安全に川遊びができるようにした。	【評価と反省】 ・ゴミ拾いを通じて、プラごみが多いことに気づき、マイクロプラスチック問題について考えるきっかけとなった。 ・川の生き物を観察することで、身近な河川の生態系についてふれる機会となった。 ・安全な川遊びについて知識を深めることができた。 【今後の方針】 月見橋付近は工事が始まるため、時期をみて開催を検討する。	
町会対抗卓球・ソフト バレーボール大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	100人	【内容】 地区内10町会対抗で、卓球、ソフトバレーボールの大会を行う。 【ねらい】 住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 例年の3競技から卓球、ソフトバレーの2競技にし、バレーボールは別日開催とした。選手の重複が少なくなり参加人数が増えた。 【今後の方針】 毎年の恒例行事であり、運営上の課題を逐一見直しながら今後も継続して開催する。	
町会対抗ゲートボール 大会	6月25日	1回	地域事業 (体育)	成人	100人	【内容】 地区内10町会対抗で、ゲートボールの大会を行う。 【ねらい】 住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・例年3競技を同日実施していたが、役員の負担軽減や選手が重複してしまう等の課題があり、ゲートボールは別日開催とした。選手の重複が少なくなり参加人数が増えた。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事であり、運営上の課題を逐一見直しながら今後も継続して開催する。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町会対抗野球・マレットゴルフ大会	7月23日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（スポ協の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。	
地域づくりグループ 「～島立っ子森杜探検隊～自然体験学習」活動支援	8月6日 10月22日 11月26日 3月26日	4回	子育て	青少年	135人	【内容】 地区内の小学生及びその保護者を対象に自然体験学習を行う「自然体験学習チーム」の活動を支援した。 【ねらい】 児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成する。	【準備過程】 専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 ・日常では本格的に体験できない自然体験を通して仲間同士の協調性や主体性を育んだ。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討が必要。 【今後の方針】 ・今後も継続して活動予定であるため、引き続き支援を行う。 ・運営側の人数確保については、子ども会育成会、PTA、小・中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。	
河西部球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行う。 【ねらい】 河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・合同打合せ会議にて、内容を検討 【共催団体等】 ・河西部4地区公民館 ・河西部4地区スポーツ協会	【評価と反省】 ママさんバレーについては選手不足により中止した。 【今後の方針】 4地区のスポーツを通じた親睦という点に重点を置いて、毎年の恒例行事として継続して開催する。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町会対抗ソフトボール大会	9月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	120人	【内容】 地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行う。 【ねらい】 住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（スポ協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 毎年の恒例行事として今後も課題を見直しながら継続して開催する。	
島立スポーツフェスティバル	10月15日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験会などを行う。 【ねらい】 スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討 ・町内公民館長に協力を依頼 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 前日から当日にかけて降雨予報であったため中止とした。 【今後の方針】 前回実施した反省を活かした見直しを行い、地区の大イベントとして誰もが天候に左右されず参加して楽しめる内容にできるよう引き続き検討していく。	
ハロウィン運動会	10月30日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 未就園児の子どもとその親を対象に軽度な運動を取り入れた運動会を実施 【ねらい】 参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 感染症対策を講じながら実施した。参加した親子はハロウィンの仮装をしたり、のびのびと運動を楽しんだ。 【今後の方針】 今後も共催事業として継続実施できるよう検討する。	
島立地区作品展示発表会（島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり）	11月11日 11月12日	1回	地域事業 (文化)	その他	500人	【内容】 地区文化活動者の発表（ステージ発表、展示発表）、公民館活動功労者表彰、各種体験会などを行う。令和4年度参加人数：323人 【ねらい】 地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能にふれ、新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内関係団体と内容を検討 ・福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会（企画委員会） ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・館報編集委員会 ・女性委員会 ・文化図書委員会 ・福祉ひろば ・地区内小・中学校	【評価と反省】 豚汁の無償配布や、雨天中止となってしまったスポーツフェスティバルの抽選会、電動アシスト付き自転車やシニアカーの試乗体験を盛り込んだ。新規出展者、出演者も増え、参加者同士の交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・各種団体と連携しながら、より良い文化祭となるよう内容を検討する。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
クリスマス会	12月8日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 クリスマスの時期に合わせて、主に未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催した。令和4年度参加人数：30人 【ねらい】 参加した親子にクリスマスにちなんだコンサートなどを楽しんでもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 狙い通り事業実施できた。 【今後の方針】 3館共催事業として今後も継続開催する。	
島内・島立ふれ愛コンサート	2月23日	1回	人権平和	成人	403人	【内容】 島内、島立の2地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行う。 【ねらい】 人権問題の解決に向けた取組みが重要性を増している中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動を展開している。すべての人の人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催	【準備過程】 両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討 【共催団体等】 島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 楽団ケ・セウさんに演奏をいただき、人権感覚を磨く機会となった。小・中学生の活動発表の場を創出し、音楽を通じて児童生徒と地域住民がつながる場となった。 【今後の方針】 子どもの成長を地域全体で見守り、誰もが明るく幸せに暮らせる地域を目指して継続実施する。	
福祉と健康を語る集い (地域包括ケアシステム)	2月29日	1回	福祉健康	成人	80人	【内容】 島立地区では高齢者の買い物支援として「乗り合いタクシー」を運航している一方で、公民館や福祉ひろばへの移動支援には至っていない状況がある。そこで他地区の事例発表を聞きながら、島立地区でできる「高齢者の移動手段」について参加者同士が意見交換しながら考える。	【共催団体等】 島立地区福祉ひろば推進協議会	【評価と反省】 ・通いの場だけでなく、通院にも送迎が必要で、島立地区内の病院であれば移動支援を利用できないか？との意見や、あれもこれも一度にはできない。徐々に移動先も増やしていけば良いのでは。との意見もあり、積極的な意見交換ができた。実現に向けて検討を重ねる趣旨のまとめがあり、今後も引き続き協議していく。	
島立公民館利用者懇談会	2月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【内容】 島立公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行う。 【ねらい】 利用者同士の意見交換（顔合わせ）やさらなる利用状況の改善を図る。		【評価と反省】 書面会議とした。 【今後の方針】 継続開催する。対面での懇談会を基本に、こちらからの情報提供（地区のことなど）や利用者同士の交流について工夫しながら開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
バドミントン大会／モ ルック大会	3月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	70人	【内容】 地区内住民対象のバドミントン大 会、モルック大会を行う。 【ねらい】 町会、世代を越えた親睦と日頃の運 動不足解消を図る。初心者や未経験 者が気軽に参加し、楽しんでもらえ る大会とする。	【準備過程】 スポーツ協会三役会（スポーツ委 員会）、理事会で内容を検討 【共催団体等】 島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・バドミントンについては参加エント リヤーが1名しかおらず、試合になら なかったため中止した。 ・モルック大会は町会対抗形式をと り、和気あいあいと交流試合を楽しん だ。 【今後の方針】 気軽にスポーツを楽しめる機会として 継続して開催する。	
大きくなったね会	3月7日	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 来年度から保育園に入園する子ども を含めたつといの広場利用者を対象 にコンサートを中心としたイベント を開催 【ねらい】 参加した親子にコンサートなどを楽 しんでもらうとともに、皆で今年度 の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つといの広場	【評価と反省】 寸劇を行い、新年度に入園する子ども たちを中心に楽しんでもらい、送り出 すことができた。 【今後の方針】 3館共催の事業として今後も継続して 開催する。	
親子フィットネス	5月～3月	11回	子育て	その他	290人	【内容】 主に地区住民を対象に親子で仲間と 一緒に運動するフィットネスを行 う。 【ねらい】 親子で仲間と一緒に運動する機会を 創出し、地区住民の健康増進と交流 を図る。	【共催団体等】 ・つといの広場 ・主任児童委員	【評価と反省】 地区内の申込者が少数であったため、 地区外にも積極的に周知参加者を増 やした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例事業として引続き開催を 検討する。 ・子どもにケガが無いように会場の整 備を注意深く行う。 ・地区内の未就園児親子の居場所やつ ながりづくりの事業をさらに検討す る。	
しまだちフードドライ ブ	7月11日 3月15日	2回	環境	その他	20人	【内容】 ・市内の子ども食堂を応援するため のフードドライブを実施 ・提供された食料品等はNPO法人 を通じ、島立地区をはじめ市内の子 ども食堂主催者に寄付する。 【ねらい】 子ども食堂並びに食品ロスの啓発	【準備過程】 ・NPO法人と共催を検討 ・環境地域エネルギー課にフード ドライブの実施手法等の詳細を聞 き取った。 【共催団体】 ・ゆいま～る子どもひろば ・NPO法人ホットライン信州	【評価と反省】 多くの住民から食料品等の寄付をいた だいた。 【今後の方針】 不定期開催となるが、次年度も継続実 施したい。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子育て支援講座	3月22日	1回	子育て	家庭教育	27人	【内容】 様々な人生経験のある講師を招き、自身の経験から子育ての考え方やアドバイスについて講演をいただく。 【ねらい】 子育てに悩みを抱える保護者を対象に、講演を通じて新たな気づき等が得られる場を提供する。	【準備過程】 お笑いトリオ“四千頭身”のメンバーの母を講演会講師として調整を行った。 【共催団体】 女性委員会	【評価と反省】 参加者から好評であった。 【今後の方針】 講座の企画に関して今後も広く聞き取りを行い、事業展開していく。	
夏休み学習スペース開放	7月24日 ～8月21日	26回	子育て	家庭教育	100人	【内容】 小・中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放する。 【ねらい】 小・中学生の居場所づくりとする。		【評価と反省】 利用者、保護者からも好評であったため、長期休業中の小・中学生の居場所支援として今後も継続実施したい。	
春休み学習スペース開放	3月15日 ～3月28日	8回	子育て	家庭教育	40人	【内容】 小・中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放する。 【ねらい】 小・中学生の居場所づくりとする。		【評価と反省】 利用者、保護者からも好評であったため、長期休業中の小・中学生の居場所支援として今後も継続実施したい。	
ゆいま～る子どもひろば支援	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	526人	【内容】 これまで「ゆいま～る子ども食堂」を運営していた主催者の都合により活動休止の予定であったが、ボランティア有志が中心となり運営委員会を組織して再始動した。地域に根差した子どもの居場所づくりを目指す。	【準備過程】 ・地区内協力者の募集 ・開催周知の支援 ・会場手配 【共催団体等】 ・NPO法人ホットライン信州 ・松本大学 ・おやこクラブてるてる ・地区内ボランティア有志	【評価と反省】 毎月打合せを行い、より安全で安心できる居場所づくりを目指している。 【今後の方針】 地区内ボランティア有志の更なる拡充に重点を置く。	
卓球をしよう	毎月 第2、第4 木曜日	12回	スポーツ	成人	40人	【内容】 日頃の運動不足解消や、地区内の卓球人口を増やすため、気軽に卓球ができる機会を創出する。	【共催団体等】 島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 地区内の卓球人口の増加や、若年層が気軽に卓球にふれられる機会を創出することができた。	
スポーツをしよう（青少年の居場所事業）	毎月 第4金曜日	11回	スポーツ	成人	234人	【内容】 青少年の居場所事業として、こども育成課と共催し、だれでも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを目指す。	【共催団体等】 ・こども育成課 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・若者を中心にバスケットボールやバドミントン等、各々にスポーツを楽しむ人が参加した。 ・青少年の居場所事業として次年度も継続実施する。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コミュニティスクール 事業	通年	3回	子育て	青少年	1,024人	【内容】 各学校のCS運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行う。 【ねらい】 地域全体で子どもを育てる。	【共催団体等】 ・高綱中学校 ・松島中学校 ・島立小学校 ・各学校ボランティア	【評価と反省】 ・中学校キャリア学習の地区内講師を1人派遣した。生徒と語る会、CS運営委員との語る会に参加し交流、意見交換を行った。 ・島立小学校：1,024人 内訳：運営委員会2日×12人 登下校見守り200日×5人 ・高綱中学校：0人 ・松島中学校：6人 内訳：運営委員会3日×2人 【今後の方針】 ・地域と学校の双方向の交流、子どもの主体的なかかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。	○
企画委員会 (町内公民館長会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	88人	【内容】 ・地区内の意見・要望を聴取しながら、公民館事業を企画、運営した。 ・その他、公民館事業推進に必要な研究、提言を行った。 ・各種研修を行った。 【ねらい】 地区の公民館活動の一層の充実を図る。コロナ禍であっても住民自治意識を低下させないための取り組みについて議論する。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 ・館長同士の有意義な情報交換の機会となった。 ・例年、企画委員会として公民館講座などの事業の企画などにあまり関わっていない面があったが、少しでも企画段階から関わることができるように検討。 【今後の方針】 ・引続き地区の公民館活動のより一層の充実を図る。 ・引続き、各町内公民館で会議を開催する。 ・町内公民館長（副館長も含む）の中での研修の充実を図る。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	99人	【内容・ねらい】 公民館報の編集ならびに編集に必要な取材等を行う。		【評価と反省】 委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・内容がマンネリ化しないように努める。 ・委員のモチベーションにもつなげるため、全国公民館報コンクールへ応募することも検討する。	

令和5年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スポーツ委員会 (スポーツ協会三役会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	39人	【内容】 ・各種スポーツ事業を企画及び運営した。 ・芸術文化祭の運営に携わった。 【ねらい】 地区のスポーツ・健康の向上を図る。		【評価と反省】 委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・引き続き住民が楽しめるスポーツ事業を検討する。 ・スポーツ協会三役と各町会スポーツ協会理事がより一体的に事業を運営できるよう検討する。	
文化図書委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	31人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 ・島立公民館図書コーナーの図書の入替え作業を行った。 【ねらい】 地域文化の向上を図り、各種文化活動を行う。また、地域住民の知識の向上を図り、書籍ほか各視聴覚手法を活用した事業を行う。		【評価と反省】 主な活動となっている図書の入替え作業と芸術文化祭の企画運営について予定通り行うことができた。 【今後の方針】 活動の継続、見直しと合わせて委員会独自の活動について引き続き模索する。	
女性委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	15人	【内容】 芸術文化祭の企画及び運営に携わる。 【ねらい】 女性の地位向上に努めその活動を通じて地区住民の啓発に努める。		【評価と反省】 ・委員の主体性を促すことに課題が残った。 【今後の方針】 ・委員会のねらいを現状に合わせて見直す。 ・委員会での学びをより地域に還元できるよう検討する。	
島立公民館要援護者優先避難所運営委員会	適宜	1回	防災	その他	10人	【内容】 島立公民館が要援護者優先避難所を開設する際の初動を早めるために、同運営委員会を組織し、避難所開設の流れや運営上の課題を話し合う。		【評価と反省】 島立地区避難所運営訓練の際、グループワークに加わった。避難所運営ゲーム(HUG)を体験し、避難所運営の課題等について意見交換を行った。	
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業 (その他)	成人		【内容】 公民館だより、福祉ひろばだより、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布した。 【ねらい】 地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得る。	【準備過程】 福祉ひろば、スポーツ協会と内容について相談の上、決定した。	【評価と反省】 見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開している。 【今後の方針】 ・紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。 ・地域の情報発信と合わせて資源リサイクルの意識啓発を行うためにも再生紙利用も検討する。	

令和5年度 事業報告の概要

新村公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針】 1 公民館事業への参加者の固定化を改善し、より多くの住民が参加できるような魅力ある事業の企画・運営を行う。 2 「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、地区住民や関係機関（小学校、中学校、大学、子ども会育成会）と連携・協働し、松本版コミュニティスクール事業の推進を中心に、子どもたちの地域に対する愛着形成を図る。 3 子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民対象に、地域の歴史や文化への興味・関心を高めるため、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、講座等の事業を展開していく。 【重点的に取り組んだ事項】 1 「ものぐさ大学」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、視察研修や講演会を開催した。 2 コミュニティスクール事業として、小学生を対象とした書道教室を夏と冬に初開催。育成会主催事業として、「新村ちびっ子夏祭り」を初開催。育成会役員が企画・運営を行い、水風船すくいや割り箸鉄砲作りなど手作り感溢れる内容で、多くの児童が参加した。 3 デジタルディバイド対策として、松本大学地域づくり考房『ゆめ』と共催で、高齢者向け講座「大学生がおしえるいちばんやさしいスマホの初歩」を通年で開催。講師は大学生が務め、参加者個人に寄り添いながらスマホやタブレットに関する指導等を行った。										5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類へ移行し、公民館事業を含む各種地区事業が復活した。準備等を含め、会議の回数が大幅に増え、団体の役員に対して大きな負担を強いてしまうことになった。関係団体の役員の多くが、勤め人等の現役世代ということもあり、会議の回数が多い、事業のために休みを取り辛いなど、率直なご意見を頂く機会が多々あった。時代の変化とともに、事業規模の縮小や内容の見直しが求められている。 また、これまで一定以上の参加があった恒例事業で、参加者がほとんど集まらず中止となった事例があった。周知に関しても例年通りに行い、ある程度の参加者数を見込んでいたため、残念な結果となってしまった。これについては、関係する団体と協議を重ねながら、開催時期や内容の見直し等を行い、より多くの方が負担と感じないような開催方法を模索していきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	3	2	4	0	12	2	1	1	6	1	9	8	2
延べ参加人数	361	35	0	56	0	526	26	50	40	440	400	795	813	36

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ものぐさ大学 自然観察会	4月26日 8月22日	2回	趣味教養	成人	36人	【事業内容】 4月26日 小谷村 8月22日 戸隠神社・戸隠自然公園 【ねらい】 自然観察会を通じて、自然環境に関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 現地ガイドに案内を依頼し、地域の自然・環境等への学習を行った。 【今後の方針】 次年度も現地ガイドに案内を依頼し、自然・環境等への理解がより深まるよう内容を工夫していきたい。	
芝沢小学校3年生 「地域探検」	5月2日	1回	地域文化	青少年	70人	【事業内容】 芝沢小学校3年生が地域を巡り、歴史や文化、地域等について学ぶ。 【ねらい】 地域探検を通じて、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 芝沢小学校	【評価と反省】 毎年恒例の行事となっており、3年生2クラスが新村公民館を訪れた。公民館長から公民館・出張所の職員が普段どのような仕事をしているか、それがどのように住民の生活に役立っているのか説明がされた。また、職員による「ものぐさ太郎」の紙芝居が披露された。 【今後の方針】 次年度も学校から要望があれば、対応するようにしたい。	
にいむら防災フェスティバル実行委員会	5月～11月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	175人	【事業内容】 にいむら防災フェスティバルの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 フェスティバルを通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・あたらしの郷協議会 ・民生児童委員協議会 ・松本市社会福祉協議会 ・交通安全協会新村支部 ・消防第11分団 ・防災部、防犯女性部 など	【評価と反省】 初年度ということもあり、月1回のペースで会議を開催した。アドバイザーとして、松本大学の入江教授をお招きし、都度アドバイスをもらう形で事業内容を検討していった。 【今後の方針】 準備等を含め一部の関係者の負担が大きかったため、次年度はイベント内容の見直しを行うほか、負担割合を平準化できるよう工夫していきたい。	
ものぐさ大学 大人の社会見学	5月23日 9月13日 2月29日	3回	趣味教養	成人	81人	【事業内容】 県内の工場や企業を見学する。 5月23日 養命酒駒ヶ根工場 9月13日 野辺山宇宙電波観測所 2月29日 イリセン寒天工場 【ねらい】 見学を通じて、産業への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 施設見学や講義等の受講を通じて、製品や関連する産業の歴史等への理解を深めた。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運動広場等整備	5月14日 10月 1日	2回	地域事業 (その他)	成人	120人	【事業内容】 町会連合会、町内公民館長会、新村 体育協会が分担して、地区内にある 運動広場等の草刈りやゴミ拾いを年 2回実施する。 《場所》 ・ 忠魂碑周辺、ものぐさ自然公園 ・ 秋葉原古墳周辺 ・ 新村運動広場周辺	【共催団体】 ・ 町会連合会 ・ 町内公民館長会 ・ 新村体育協会	【評価と反省】 各団体で担当場所の草刈りやゴミ拾い などの清掃を実施した。 【今後の方針】 次年度も引続き、運動広場等の整備を 実施していきたい。	
町会対抗球技大会 (ソフトボール、ソフ トバレーボール)	5月28日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で球技大会を実施する。 《種目》 ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通じて、地区住民の健康 増進や体力の向上、住民相互の親睦 を図る。	【共催団体】 ・ 新村体育協会 ・ 町会連合会 ・ 町内公民館長会	【評価と反省】 地区の他事業との兼ね合いがあり、や むを得ず開催が中止となった。 【今後の方針】 次年度も引続き、関係団体と連携を図 りながら、開催していきたい。	
ものぐさ大学 まつもと文化遺産巡り	6月19日 1月25日	2回	趣味教養	成人	21人	【事業内容】 「まつもと文化遺産」に認定された 文化財のある地区を歩いて巡り、歴 史等を学ぶ。 6月19日 芳川地区 1月25日 第二地区 【ねらい】 まつもと文化遺産巡りを通じて、他 地区にある文化財の歴史等への理解 を深めるとともに、住民相互の親睦を 図る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 昨年度実施してきた「おでかけウオー キング」に替わるウオーキング事業と して今年度初めて開催。ただ歩くので はなく、文化財への理解を深めること を目的とした。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
公民館講座 写経会	6月27日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 地区内にある専称寺で写経会を開 催。 【ねらい】 写経会を通じて、歴史や文化に対す る関心を高め、住民相互の親睦を図 る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 「一枚起請文」を1字ずつ丁寧に経文 を書き写した。写経の目的について詳 しい説明を受け、写経に対する理解が より深まった。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村地区オープン大会 (ワンハンドふらばー るバレー)	7月2日	1回	地域事業 (体育)	その他	80人	【事業内容】 オープンで参加者を募り、スポーツ 大会を開催する。 《種目》ワンバウンドふらばーるバ レー 《会場》芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進 や体力の向上、住民相互の親睦を図 る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 制限のない形式では4年ぶりの開催と なったが、大学生も含めた多くのチー ムに参加してもらうことができた。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
公民館寺子屋	7月27日 7月28日	2回	地域文化	青少年	36人	【事業内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支 援ボランティアが宿題等の学習活動 を支援。支援以外に、有志団体等に より体験活動を実施する。 7月27日 自由学習 超低温実験 《講師》教育支援協会長野 芝野 氏 7月28日 自由学習 バッククッキング 《講師》J A女性部 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を 実践するため、公民館を会場として 子どもたちが地域の方々と交流する 場を創出する。交流を通して、お互 いが学び合い、地域に対する愛着を 深める。	【共催団体】 福祉ひろば 【協力団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友 部会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 1日目はNPO法人教育支援協会長野 の芝野氏を講師として、液体窒素で植 物やプラスチックなどを凍らせる超低 温実験を行った。2日目はJ A女性部 の皆さんを講師として、災害時に役立 つバッククッキングに挑戦した。それ ぞれ関係者の協力もあり、参加した児 童は学びの多い時間となった。 【今後の方針】 次年度も引続き、関係団体と連携を図 りながら、開催していきたい。	○
親子バランスボール教 室	7月30日	1回	趣味教養	家庭教育	10人	【事業内容】 夏休み中の小学生の子どもたちとそ の親子を対象に、バランスボール講 座を開催した。 《講師》ポジ◎ラボ 丸山亜希 氏 【ねらい】 講座を通じて、健康への理解を深め るとともに、参加者同士の交流を図 る。		【評価と反省】 今年度初めての開催であったが、地区 内外から多くの参加があった。 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するよう にしたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子料理教室	8月2日	1回	福祉健康	その他	20人	【事業内容】 夏休み中の子どもたちとその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 親子料理教室としては4年ぶりの開催であったが、多くの親子に参加してもらうことができた。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
河西部球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	その他	120人	【事業内容】 島内、島立、和田、新村の河西部4地区対抗で競技を実施する。 《種目》 軟式野球、ママさんバレーボール、卓球（硬式・ラージボール） 【ねらい】 河西部4地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・河西部4地区体育協会	【評価と反省】 今年度は島立地区が当番で開催した。各地区選手集めが困難であるため、ママさんバレーボールは開催せず、軟式野球と卓球のみの開催となった。4年ぶりの開催であったが、各地区から大勢の参加があった。 【今後の方針】 次年度も引続き、当番地区を中心に開催を検討されたい。	
防災訓練	8月30日	1回	防災	青少年	50人	【事業内容】 高綱中学校の生徒が放水訓練やAED訓練を行う。 【ねらい】 訓練を通じて、中学生の防災への理解を深め、災害時に活躍できる人材を育成する。	【共催団体】 ・高綱中学校 ・消防団（第11分団） ・松本広域消防署渚消防署	【評価と反省】 1・2年生は、消防団第11分団の協力のもと、松本大学周辺の道路にある消火栓2か所を使って放水訓練を実施。また、3年生は渚消防署の協力のもと心肺蘇生法の講習を新村公民館で受講。 【今後の方針】 次年度も引続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
ものぐさ大学理事会	9月5日 3月7日	2回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動が続けている。各事業の担当に分かれて、企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。		【評価と反省】 公民館と福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。 【今後の方針】 「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭実行委員会	9月～11月	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	180人	【事業内容】 新村文化祭・福祉ひろば祭りの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化・芸術等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・新村地区各種団体	【評価と反省】 文化祭の企画・運営等について、関係者で協議を行った。 【今後の方針】 次年度も引続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
新の里ウォークラリー 2023	10月7日	中止	地域文化	その他	0人	【事業内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出題。問題の正解数に応じて、参加記念品を贈呈 【ねらい】 ウォークラリーを通じて、地区の歴史・文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会 ・子ども会育成会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 チラシを全戸配布、子ども会育成会や松本大学へも周知を行ったが、参加者がなく開催を中止することになった。 【今後の方針】 関係団体と連携を図りながら、実施時期や内容等の見直しを行いながら、事業を継続していきたい。	
松本市市民体育大会	10月8日	1回	スポーツ	成人	20人	【事業内容】 市内35地区が、卓球やソフトバレー等の種目で競う。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 今年度は排球部と野球部が出場した。 【今後の方針】 選手集めをしっかりと行いながら、次年度も出場したい。	
講演会 『カラダを鍛えてフレイル予防！～筋肉の観点からフレイル予防について学ぶ～』	10月24日	1回	趣味教養	成人	45人	【事業内容】 筋肉の観点からフレイル予防について学ぶ講座を開催 ≪講師≫松本大学 人間健康学部スポーツ健康学科 河野 史倫 教授 山本 薫 准教授、その他学生有志 【ねらい】 講演会を通じて、健康への関心を高める。	【共催団体】 ・あたらしい郷協議会 学びの友部会 いきいき部会	【評価と反省】 部会の共催という形で今年度初めて開催。座学のほか実際に身体を動かしながらフレイル予防について学んだ。その他、学生有志による血圧測定なども行われ、充実した内容で講演会を実施することができた。 【今後の方針】 次年度も要望あれば、開催するようにしたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
にいむら防災フェスティバル2024	10月29日	1回	地域事業 (その他)	成人	300人	【事業内容】 住民の防災意識の醸成のため、防災フェスティバルを開催する。 【ねらい】 フェスティバルを通じて、防災に対する意識を高めるとともに、住民相互の親睦を図る機会とする。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・あたらしの郷協議会 ・民生児童委員協議会 ・松本市社会福祉協議会 ・交通安全協会新村支部 ・消防第11分団 ・防災部、防犯女性部 など	【評価と反省】 運動会の代替行事として今年度初めて開催。地区関係団体のほか、松本大学、市社協、渚消防署の協力のもと、様々な防災に関するブースを出展。また訓練も兼ね、昼食として炊き出しで豚汁が無償提供された。 【今後の方針】 地区行事として定着されるよう、次年度も引き続き関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
市長杯争奪球技大会	10月29日	1回	スポーツ	成人	6人	【事業内容】 松本市スポーツ協会主催行事に地区代表として参加する。 【ねらい】 大会を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 今年度は排球部が出場した。 【今後の方針】 選手集めをしっかりと行いながら、次年度も出場したい。	
新村文化祭・福祉ひろば祭り	11月4日 11月5日	2回	地域事業 (文化)	その他	400人	【事業内容】 公民館や福祉ひろば利用団体等の活動成果の発表の場として2日間開催する。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化活動への関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・文化祭実行委員会	【評価と反省】 4年ぶりの開催となり、作品展示やステージ発表が行われた。J A新村支所とタイアップしたスタンプラリーも開催され、それぞれの会場を多くの来場者が行き来した。 【今後の方針】 次年度引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	
新村歴史探訪	11月12日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 地区内を大きく5つのエリア（上新・下新・北新・南新・東新）で分け、エリアごと文化財等について説明を受けながら歩いて巡る。 【ねらい】 歴史探訪を通じて、地区住民の文化財等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 今年度は上新エリアを巡った。町会長や町内公民館長の協力もあり、大勢の参加者に参加いただくことができた。 【今後の方針】 次年度も該当地区の町会長や町内公民館長にも協力をお願いし、大勢の参加があるように内容を工夫していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村地区人権啓発視察 研修	11月20日	1回	人権平和	成人	36人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、県 内視察研修を実施する。 ＜視察先＞ ・ J I C A 駒ヶ根訓練所（駒ヶ根 市） 【ねらい】 視察研修を通じて、地区住民への人 権啓発を行う。	【共催団体】 ・ 新村地区人権啓発推進協議会 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 今年度の視察研修は J I C A 駒ヶ根訓 練所を訪問した。施設内の見学のほ か、元青年海外協力隊員の清水勉氏の 講話を拝聴した。昼食では、施設内に ある食堂で講師も交え昼食（インドネ シアの郷土料理）を取るなど、充実し た視察研修となった。 【今後の方針】 次年度も引続き、視察研修を開催した い。	
健康料理教室	11月24日	1回	福祉健康	成人	15人	【事業内容】 健康への意識を高めてもらうため料 理教室を開催する。 【ねらい】 健康に配慮したメニューを参加者同 士で調理してもらうことにより、食 への理解や健康への意識を高めても らう。	【共催団体】 ・ 新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 食改の会員の皆様の指導のもと、健康 に配慮したメニューを調理した。調理 終了後には管理栄養士からのアドバイ スを受けることができ、内容の濃い料 理教室となった。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
第9回ニュースポフエ ス I N 新村	11月26日	1回	地域事業 （体育）	その他	50人	【事業内容】 ニュースポーツの体験を行う。 ≪種目≫ ボッチャ、モルック、囲碁ボール、 ラダーゲッター、ファミリーバドミ ントン 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が 気軽にニュースポーツを楽しみ、健 康増進や地区住民相互の親睦を図 る。	【共催団体】 ・ 新村体育協会 ・ 子ども会育成会 ・ あたらしい郷協議会 学びの友 部会	【評価と反省】 関係団体に参加依頼をしたが、当日の 一般参加はほとんどなかった。しか し、参加した役員を中心にニュース ポーツを体験することができ、学びの ある1日となった。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
公民館講座 押し絵教室	12月12日 12月19日	2回	趣味教養	高齢者	10人	【事業内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成す る。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図 る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、 参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しな がら、内容の工夫を図っていきたい。	
公民館講座 お正月生け花教室	12月27日	1回	趣味教養	成人	25人	【事業内容】 講師を招き、生け花教室を開催す る。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図 る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、 参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しな がら、内容の工夫を図っていきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第49回元旦マラソン	1月1日	1回	地域事業 (体育)	その他	70人	【事業内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村運動広場の周回コースを走る。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 天候にも恵まれ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の参加があった。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催していきたい。	
人権啓発研修 『教養としての「発達障がい」』	1月17日	1回	人権平和	成人	25人	【事業内容】 人権啓発の一環として研修を開催。 ≪講師≫ ・松本圏域発達障がいサポート・マネージャー 新保 文彦 氏 【ねらい】 研修を通じて、発達障がいへの理解を深める。	【共催団体】 ・町会連合会 ・民生児童委員協議会	【評価と反省】 人権啓発の一環として、町会長と民生委員を対象とした研修を開催。今年度のテーマは「発達障がい」で、その分野の専門家である新保文彦氏を講師に講義を開催した。 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するようになりたい。	
新村地区新年祝賀会	1月13日	1回	地域事業 (その他)	その他	65人	【事業内容】 地区内の関係団体関係者が新年を祝して一同に集まるもの。 【ねらい】 祝賀会を通じて、地区の繁栄や安寧等を願う。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 4年ぶりに新年祝賀会を開催することができた。今回は新村体育協会が当番団体であったが、地区役員への出欠確認や集金、会場設営など、準備から当日の運営まで行った。 【今後の方針】 多くの地区関係者が集める貴重な機会であるので、次年度も当番団体を中心に開催を検討してほしい。	
第36回冬季室内競技大会（綱引き、卓球）	2月4日	1回	地域事業 (体育)	その他	120人	【事業内容】 町会対抗で下記の種目を実施する。 ≪種目≫ 午前：綱引き 午後：卓球 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 4年ぶりの開催となったが、綱引きには6町会、卓球には4町会の参加あり、白熱した試合が繰り広げられた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図りながら、開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
講演会 『安塚古墳・真光寺古墳の発掘調査からみえてきた新村的古代』	3月2日	1回	地域文化	成人	35人	【事業内容】 地区外から講師を招き、歴史や文化財等に関する講演会を開催するもの。 《講師》 ・松本市文化財課 直井 雅尚 氏 【ねらい】 講演会を通じて、歴史や文化財等への関心を高める。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしい郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 40年以上松本地区の発掘調査に携わってこられた考古学の第一人者である直井雅尚氏から、安塚古墳をはじめとする新村地区で行われた発掘調査の成果の紹介、そこから読み取れる古代の新村、奈良井川西岸域、筑摩郡の状況を推定してお話をいただいた。 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するようにしたい。	
公民館講座 多肉植物寄せ植え講座	3月15日	1回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 多肉植物の寄せ植え講座を開催するもの。 《講師》 竹下 光重 氏 【ねらい】 講座を通じて、教養の向上を図るとともに、住民相互の交流を図る。		【評価と反省】 公民館大会議室を会場に講座を開催した。細かな作業が必要であったが、参加者は思い思いに寄せ植えを作った。 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するようにしたい。	
ものぐさ大学 美術館巡り	3月22日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 県内の美術館を見学する。 3月22日 川本喜八郎人形美術館 【ねらい】 美術館巡りを通じて、芸術への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 参加者の理解を深めるため、見学の際は学芸員の説明を受けるなど、見学方法の工夫を図った。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	
利用者懇談会	3月27日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【事業内容】 公民館利用者団体の各代表者から利用に関する要望等を聞き取り、次年度の公民館等の運営の参考とする。 【ねらい】 利用者懇談会を通じて、公民館等の運営の改善を図る。	【共催団体】 ・新村公民館利用団体	【評価と反省】 公民館利用に関する要望等を直接利用者から聞き取ることができ、次年度の公民館運営の参考となった。 【今後の方針】 次年度も引続き開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ講座 「大学生が教えるいちばんやさしいスマホの初歩」	8月～3月	15回	趣味教養	高齢者	150人	【事業内容】 デジタルディバイド対策として、松本大学地域づくり考房『ゆめ』と共催で高齢者向けのスマホ教室を開催。 【ねらい】 教室を通じて、デジタルへの理解を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・松本大学 地域づくり考房『ゆめ』	【評価と反省】 今年度初めての開催であったが、毎回多くの参加があった。講師は松本大学の学生有志が務めてくれ、参加者へ寄り添いながら、スマホ等の指導を行った。 【今後の方針】 次年度も松本大学と連携を図りながら、事業を継続していきたい。	
コミュニティスクール 事業（芝沢小学校）	通年	—	子育て	青少年	—	【事業内容】 各学校（R5担当：芝沢小学校）のCS運営委員会に参画、予算執行管理や授業等への住民講師の紹介などを行った。 【ねらい】 事業を通じて、子どもたちの健全育成を図る。	【共催団体】 ・芝沢小学校	【評価と反省】 今年度も引続き、芝沢小学校と連携を図り、各事業を実施した。昨年実施した書道教室が好評であったため、今年度は夏と冬に書道教室を開催した。 【今後の方針】 次年度も学校と連携を図りながら、事業を継続していきたい。	○
町会別人権啓発懇談会	2～3月	14回	人権平和	その他	300人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権啓発チラシの配布やDVD視聴会を実施。 【ねらい】 懇談会を通じて、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 総会を開催しないため人権啓発懇談会を開催できなかった町会がいくつかあった。それらの町会に関しては、全戸に啓発チラシを配布するなど啓発を行った。 【今後の方針】 今後も引続き地区住民への人権啓発を図っていきたい。	
町内公民館活性化事業	通年	1回	その他	成人	40人	【事業内容】 町内公民館活動の支援を実施する。 【ねらい】 地区住民がいそいそと明るく張り合いを持って生活ができるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は複数の町会で活性化事業が実施された。 【今後の方針】 事業の周知を行い、町内公民館の活性化に寄与していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
いきいき投稿文芸	通年	4回	趣味教養	成人	60人	【事業内容】 春夏秋冬をテーマに俳句と川柳を募集し、選者の講評を受けたのち、広報等に掲載するもの。 《選者》 ・降旗 牛郎 氏 【ねらい】 投稿文芸を通じて、俳句や川柳への関心を高める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 令和3年度から継続した企画で、毎回多くの投稿がある。投稿された作品は、毎月発行している「あたらしの郷通信」に掲載している。 【今後の方針】 次年度も継続していきたい。投稿者が固定化してきているので、無関心層に投稿してもらえるように周知を図っていきたい。	
アクリル画教室	通年	12回	趣味教養	成人	150人	【事業内容】 通年講座としてアクリル画教室を開催するもの。 《講師》 ・松森 清昭 氏 【ねらい】 教室を通じて、芸術への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 通年講座として開催。参加者は思い思いに自由なテーマでアクリル画を描いた。 【今後の方針】 次年度も引続き、開催していきたい。	
育児講座	通年	一	子育て	家庭教育	一	【事業内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月2回講座を実施。 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ・ひよこの会	【評価と反省】 役員を中心に企画・運営を行い、未就園児をもつ親子が参加した。 【今後の方針】 育児講座への参加者が少ないため、周知を工夫していきたい。	
町内公民館長会 (文化委員会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	200人	【事業内容】 町内公民館館長会の活動支援、連携強化を図る。 【ねらい】 町内公民館館長会の活動を通じて、町内公民館の活性化を図る。		【評価と反省】 今年度は公民館のメイン事業である文化祭を4年ぶりに開催することができ、主な運営に携わる町内公民館長には実行委員会から当日までの準備・運営で大変なご苦勞を掛けました。文化祭は晴天にも恵まれ、作品展示やステージ発表に多くの住民が来場してくれた。 【今後の方針】 次年度も引続き、関係団体と連携を図りながら、各種事業を展開していきたい。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村体育協会 (体育委員会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	250人	【事業内容】 地区内で行われる体育行事の企画・ 運営を行う。 【ねらい】 体育行事を通じて、地区住民の健康 の増進や体力の向上、住民相互の親 睦を図る。		【評価と反省】 コロナ禍明け、行事が再開した。それ ぞれの行事で多くの参加があった。5 月の町会対抗球技大会は中止となった ものの、2月の冬季室内競技大会は開 催することが出来た。行事の再開に伴 い、会議の回数が例年並みに戻り、役 員にとっては大変な1年となった。 【今後の方針】 次年度も多くの住民が参加できるよ うな事業を展開していきたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	【事業内容】 公民館報（新の里）の原稿執筆、編 集等を行う。 【ねらい】 公民館報の発行を通じて、公民館活 動や地区内の諸活動、歴史・文化等 に関心を持ってもらう。	【準備過程】 奇数月（1、3、5、7、9、11 月）に発行する公民館報の原稿執 筆や編集を行う。 会議は偶数月に2回開催され、掲 載する内容等を検討する。	【評価と反省】 今年度については、公民館や地域の事 業が再開したことで掲載記事には恵ま れた。記事については担当ごと執筆し てもらい、校正等を自主的に委員が 行った。 【今後の方針】 今後も引続き、編集委員発信で取材・ 原稿執筆等の活動を行ってもらう。	
図書委員会	6月8日 12月6日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	女性	12人	【事業内容】 公民館の図書コーナーにある書籍の 入替え作業を年2回行う。 必要に応じて、公民館やその他施設 に出向き、本の読み聞かせ等を行 う。 【ねらい】 図書委員会の活動を通じて、本への 関心を高める。	【準備過程】 図書の入替えについては、中央図 書館へ出向き、図書委員の判断で 本の選定を行う。ジャンルは限定 せず、子どもからお年寄りまで幅 広い年代に向けた本を選定する。	【評価と反省】 図書の入替えを例年通り実施。委員会 活動が図書入替えのみとなっており、 活動がマンネリしている。 【今後の方針】 図書入替え以外で活動を行う。例え ば、図書委員会主催で県内にある著名 な図書館を視察し、本の魅力や図書館 運営等を学ぶという企画なども実施・ 検討していきたい。	
視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	36人	【事業内容】 地区内に残る文化財や古い町並み、 農作業風景などの生活の様子を記録 として保存し、後世に残す活動を行 う。 【ねらい】 地区内の街並みや文化財等を写真等 で記録・保存し、若い世代に伝えて いくことで、地区への愛着を育む。		【評価と反省】 今年度は専称寺に関する資料の収集お よび整理を行い、「新村のお寺」とい う冊子の原稿案を作成した。冊子につ いて予算化できた段階で発行を検討す ることになった。 【今後の方針】 委員の高齢化や人材確保が課題となっ ている。人材確保については、公民館 事業に関心が高い住民や松本大学の学 生にも声を掛け、加入を促していきた い。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地区支援企画会議	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	—	【事業内容】 社会福祉協議会、河西部西地域包括 支援センター、西部保健センター、 西部福祉課、地域づくり課、地域づ くりセンターの職員が参加し、各部 署の事業や地域課題等について話し 合いを行う。	【共催団体】 ・松本市社会福祉協議会 ・河西部西地域包括支援センター ・松本市西部保健センター ・松本市西部福祉課 ・松本市地域づくり課	【評価と反省】 各部署での取り組みや事業内容、地域 課題について、広い視野での話し合い ができる場となっている。 【今後の方針】 地域課題の解決に向け、関係機関で情 報共有を図っていきたい。	
子ども会育成会の運 営・支援	通年	1回	地域事業 (その他)	成人	250人	【事業内容】 新村地区子ども会育成会の運営・支 援を行う。 【ねらい】 育成会の活動を通じて、地区内の子 どもたちの健全育成を図る。		【評価と反省】 今年度は「新村ちびっ子夏祭り」を初 めて開催した。企画から準備・運営ま で役員が行い、夏休み中の児童を対象 に各種催し物を開催した。その他、共 催事業への動員依頼など協力をお願い した。 【今後の方針】 今後も引き続き、関係機関と連携を図り ながら、各行事を実施したい。	
新村文化財保存会の運 営・支援	5月30日 2月28日	2回	地域事業 (その他)	その他	30人	【事業内容】 新村文化財保存会の運営・支援を行 う。 【ねらい】 保存会の活動を通じて、地区内にあ る文化財の保存・整備を行い、地区 内外の住民の文化財への理解を深め る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友 部会	【評価と反省】 保存会の活動としては、案内板の修繕 や地区外の団体の視察対応を行った。 また、あたらしの郷協議会学びの友部 会や新村公民館と共催で、歴史探訪や 講演会を開催した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、関係団体と連携を図 りながら事業を実施していきたい。	
あたらしの郷協議会の 運営・支援	通年	—	地域事業 (その他)	その他	—	【事業内容】 あたらしの郷協議会（地域振興部 会・安全安心部会・いきいき部会・ 学びの友部会）の運営・支援を行 う。 【ねらい】 協議会の活動を通じて、地域課題の 解決等を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興 部会 安全安心 部会 いきいき 部会 学びの友	【評価と反省】 まちづくり協議会である「あたらしの 郷協議会」の運営・支援を行った。 【今後の方針】 次年度も引き続き運営・支援を図って いきたい。	
新村ホタルを育む会の 運営・支援	5月13日 9月 8日 12月 8日 3月21日	1回	地域事業 (その他)	その他	30人	【事業内容】 ホタルを育む会の運営・支援を行 う。 【ねらい】 ホタルを育む会の活動を通じて、生 態系の保全活動への関心を高める。		【評価と反省】 せせらぎの清掃やカワニナの放流等を 例年通り実施した。 【今後の方針】 会員の高齢化により団体の継続が困難 となり、今年度をもって解散すること になった。	

令和5年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
プチ送迎ボランティア 事業への協力	通年	—	福祉健康	高齢者	—	【事業内容】 地域福祉の推進を目的として、住民 主体のボランティア組織である「プ チ送迎ボランティア」への支援を実 施。 【ねらい】 地区内の高齢者の交通弱者を減ら し、住民相互の助け合い精神を助長 する。	【共催団体】 ・プチ送迎ボランティア	【評価と反省】 昨年度から松本市社会福祉協議会所属 の生活支援員が事務を中心的に担うよ うになり、運行表の作成や利用者等と の調整を行った。 運転手の高齢化が深刻で、人材の確保 が大きな課題となっている。また、会 員数が減少傾向にあり、団体の収入源 である会費が思うように集まっていな い。 【今後の方針】 団体の存続のためにも、団体の活動を PRしていき、会員確保に努めていき たい。	
ものぐさだよりの発行 (公民館だよりの)	毎月	12回	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	【事業内容】 毎月の広報配布に合わせて、公民館 講座等の情報を掲載する広報として 発行。 【ねらい】 公民館講座等への参加者増加を図 る。	【共催団体】 ・あたらしい郷協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 A3判サイズ、フルカラーで毎月発行 しており、公民館以外にあたらしい郷 協議会と福祉ひろばの広報も一緒に掲 載している。 【今後の方針】 住民の関心が向くような紙面作りを心 掛けていきたい。	
ホームページ	随時更新	年間	地域事業 (その他)	その他	—	【事業内容】 新村地区の公民館活動について情報 発信を行う。 【ねらい】 地区内外に対して新村地区のPRを 行い、地区に対する理解を深めても らう。		【評価と反省】 公民館講座や配布物の情報を随時更新 した。 【今後の方針】 引続きホームページの更新作業を行っ ていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

和田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針】 ・アフターコロナの公民館事業の見直し コロナ禍で実施ができなかった公民館事業を、住民の意見（全戸を対象にアンケート調査を実施）を取入れ、持続可能な形で発展させ実施する。 ・子ども向け事業の充実 公民館活動の充実、発展には子どもの参加が必要不可欠な為、公民館を身近に感じてもらえるような事業を実施する。 ・新規講座の実施 地域住民の得意分野を生かし、新規講座を実施する。（地域住民にアンケートを実施し、講師を募集）										・アフターコロナの公民館事業の見直し 全戸を対象としたアンケート調査を基に、スポーツ事業を見直し、一部発展的縮小を行い、年に4回実施した。また、文化祭等の文化事業についても、コロナ禍以前から、形を変えつつ実施した。 ・子ども向け事業の充実 従来から実施していた夏休みの小学生を対象とした学習支援のほか、夏季・冬季に書道講座、育成会と共催でクリスマスコンサートを実施した。また、窪田空穂記念館、高綱中学校ちよこっとボランティアとの共催で、和田公民館の図書を利用し、窪田空穂生家に図書室を開設した。 ・新規講座の実施 応募があった地域住民を講師とし、新規講座を実施した。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	1	2	0	9	3	0	1	6	4	0	8	4
延べ 参加人数	32	0	75	25	0	216	92	0	50	585	315	0	608	125

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第16回和田ウォークラリー	6月18日	1回	地域事業 (体育)	成人	110人	【事業内容】 地区内の文化財等につつまわるクイズを解きながら約6kmのコースをグループごとに歩く。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進と共に、毎年コースを変えながら、地区内の文化財等を学ぶ機会とする。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会 地域づくり協議会 健康づくり推進委員会	【評価と反省】 コロナの影響から約4年ぶりの開催だったが、幅広い年齢層の住民が参加し、交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地区住民も、より充実したイベントへと成長させる意欲があるため、継続の方針。	
ファミリーコンサート	6月25日	1回	地域事業 (文化)	成人	27人	【事業内容】 世代を超えて楽しめるコンサートの開催 【ねらい】 音楽を通じた交流及び情操教育	【準備過程】 共催団体との打合せにより出演者等を決める 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 出演者とやり取りができるコンサートで、参加者も一体となりすべての世代で楽しめた。 【今後の方針等】 地区内の演奏者も掘り起こす等内容を検討し継続したい。	
人権啓発推進協議会視察研修	6月30日	1回	人権平和	成人	32人	【事業内容】 松代大本営を視察 【ねらい】 戦争の悲惨さを学び、人権意識の向上を狙う。	【準備過程】 人権啓発推進協議会と協議し、視察先を選定 【共催団体等】 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 松代大本営を視察することで、戦争の悲惨さを再認識することができた。 【今後の方針等】 内容をさらに充実させ継続したい。	
第1回和田地区健康・スポーツのつどい夏季大会	7月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【事業内容】 町会交流種目：ソフトバレーボール 自由参加種目：グランドゴルフ (雨天のため中止) 【ねらい】 町会内や、町会を越えた親睦の機会、スポーツの振興、健康の増進等	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 コロナ以前に実施していたスポーツ大会を形を変えて実施。全町会の参加は叶わなかったが、大会は盛り上がりを見せた。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。	
映画と語りの会	7月29日	1回	趣味教養	青少年	50人	【事業内容】 人形劇の上演 【ねらい】 地区の子どもに人形劇や映画を見せる情操教育を図書視聴覚委員会の主催で行う	【準備過程】 内容等は図書視聴覚委員会で協議し決定する。 【共催団体等】 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 保育園や児童センターでも、公民館との交流事業と位置付けていただき、多くの子どもたちが参加してくれる。 【今後の方針等】 図書委員会主催の事業として、委員の関わりを大切に複数回開催も考えたい。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み勉強会 (小学生学習支援)	8月1日 8月2日	2回	その他	青少年	50人	【事業内容】 夏休みの宿題を中心に小学生の学習支援と間伐材を使用したペン立てづくりを実施 【ねらい】 子どもと公民館・地域住民をつなぐ行事	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 集中して勉強する時間を作れた。また、間伐材を使用したペン立てを作ること、環境について学習することができた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
書道教室	7月29日 7月30日 7月31日	3回	趣味教養	青少年	34人	【事業内容】 夏休み中に書道の講座を開催 【ねらい】 子どもと公民館をつなぐ行事。書道に親しむ時間をつくる。	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 書道に親しむ時間が作れた。集中して取り組んでいた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
窪田空穂記念館図書室	8月3日～	5回	趣味教養	青少年	41人	【事業内容】 夏休み中に窪田空穂生家に和田公民館図書室の図書の一部移し、図書室を開設。また、中学生のボランティアによる学習指導も実施した。 【ねらい】 子どもと公民館をつなぐ行事。地域の文化施設、図書に触れ合う機会の創出。	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 窪田空穂記念館	【評価と反省】 窪田空穂生家で読書、勉強をする貴重な機会が得られた。また、地域の中学生との交流もできた。 【今後の方針等】 継続の方針で検討。	
刃物の研ぎ方教室	8月20日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 刃物の研ぎ方の講座 【ねらい】 地域人材の活用、刃物について知識と研ぎ方技術の学習	【準備過程】 和田商工親和会と相談し実施 【共催団体等】 和田商工親和会	【評価と反省】 和田商工親和会主催、公民館は事務的な補助を行った。 【今後の方針等】 和田商工親和会と相談し、検討したい。	
河西部球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	32人	【事業内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。軟式野球・卓球。 【ねらい】 市民体育大会の予選、選手や応援の住民の交流とスポーツの振興	【準備過程】 担当地区が主体となり準備 【共催団体等】 島内・島立・新村・和田の4地区公民館及び体育協会	【評価と反省】 コロナ後初の開催となった。ママさんバレーが中止となったため、今後新たな種目の導入が必要。 【今後の方針等】 内容の見直しを検討予定。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
和田地区 マレットゴルフ大会	8月28日	1回	スポーツ	成人	17人	【事業内容】 市民体育大会の地区内予選を兼ねた 男女別マレットゴルフ大会。 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振 興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと相談し実 施 【共催団体等】 和田地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 マレットゴルフクラブの主導で開催で きているが参加者が減少傾向にある。 【今後の方針等】 マレットゴルフクラブが主管する地域 行事として継続していきたい。	
第66回松本市市民体育 大会	10月8日	1回	地域事業 (体育)	成人	73人	【事業内容】 全市的な地区対抗体育大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 出場チームの補助を体育委員が行 うため委員会で確認する。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 コロナ後、約4年ぶりに地区役員の方 に応援をお願いし、出場した選手も奮 起することができた。	
第1回和田地区健康ス ポーツのつどい秋季大 会	10月16日	1回	地域事業 (体育)	成人	110人	【事業内容】 種目：グラウンドゴルフ (雨天時：ボッチャ) 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町 会の結束の強化	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に 企画運営。 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 雨天のため、町会交流はボッチャ、自 由参加はモルックを実施。コロナ以前 に実施していたスポーツ大会を形を変 えて実施。全町会の参加は叶わなかつ たが、大会は盛り上がりを見せた。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大 会として継続したい。	
秋の寄せ植え講座	10月24日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 講師（地区住民）による秋～春頃ま での寄せ植え講座 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環とし て、住民の趣味教養の養成、参加者 同士の交流	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もい て、交流を深めることができた。 【今後の方針等】 引続き検討していきたい。	
市長杯争奪球技大会	10月29日	1回	スポーツ	成人	13人	【事業内容】 全市的な地区対抗球技大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 公民館は出場する運動部の事務的 な補助を行う。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 マレットゴルフ、ママさんバレーが参 加。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第51回芸術文化祭	11月4日 11月5日	1回	地域事業 (文化)	成人	240人	【事業内容】 地区住民全体の文化祭。ステージ発表、展示発表を行う。 【ねらい】 文化的活動の発信の場とし、地区内の文化的交流を図る。	【準備過程】 文化委員を中心に実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 女性役員会 窪田空穂記念館	【評価と反省】 今年度から展示を2日間実施。また展示会場を前年から拡大し実施。 【今後の方針等】 ステージ発表、展示発表ともに尻すばみにならないよう積極的な取り組みをしたい。	
館報編集委員会・図書視聴覚委員会合同研修	11月11日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 黒姫童話館等を視察 【ねらい】 視察したものを委員会活動に活かす。	【準備過程】 委員会で行先等を検討	【評価と反省】 様々な文化施設を視察したことで、学んだことを委員会活動に活かすことができた。 【今後の方針等】 今後も継続の方向で検討したい。	
健康スポーツ教室	11月13日～	5回	スポーツ	成人	62人	【事業内容】 ラージボール卓球とバドミントンを通じた交流及び体組成測定、健康測定等も合わせて実施 【ねらい】 冬場の運動不足を解消しつつ、世代を問わず交流を深める。	【準備過程】 保健師や健康運動指導士と相談し準備 【共催団体等】 有志の体育委員	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い世代が集まりスポーツを楽しむことができた。 【今後の方針等】 新たな参加者の呼び込みや、継続参加者の積極的な参加を呼び込む工夫を考えたい。	
文化財臨地学習会	12月8日	1回	地域事業 (文化)	成人	28人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元の文化財について考える機会ともする。	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 一茶記念館、北斎館等で詳しい説明を聞くことができた。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。	
しめなわ作り教室	12月16日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄の基本や応用のわら細工を学んだ。 【ねらい】 伝統文化の学習と継承	【準備過程】 講師（地区住民）と相談し準備	【評価と反省】 講師が工夫を凝らしたわら細工が好評となっている。参加者の希望を取り入れながら開催。 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
書初め教室	1月5日 1月6日	2回	趣味教養	青少年	33人	【事業内容】 書道（書初め）の講座を開催 【ねらい】 子どもと公民館をつなぐ行事。書道に親しむ時間をつくる。	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 書道に親しむ時間が作れた。集中して取り組んでいた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
書道教室	1月16日～	4回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 書道（写経、細字）の講座を開催 【ねらい】 暮らしに役立つ細字等を学ぶ。	【準備過程】 公民館が準備	【評価と反省】 書道に親しむ時間が作れた。集中して取り組んでいた。 【今後の方針等】 参加者が増えるよう、広報、内容等について検討が必要。	
第1回和田地区健康スポーツのつどい冬季大会	2月18日	1回	地域事業 （体育）	成人	110人	【事業内容】 町会対抗種目：ボッチャ 自由参加種目：ニュースポーツ体験会 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町会の結束の強化	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 秋季大会で実施したボッチャが好評だった為、引き続き実施。年齢、性別問わず参加が可能なため、幅広い世代の住民が参加した。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。	
白菜キムチ漬け・チャブチェづくり講座	2月23日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 近隣の韓国料理店の方を講師に招き、本格的なキムチ、チャブチェを作りながら交流を深める。 【ねらい】 食文化を実際に体験し学びながら交流する。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 キムチ、チャブチェの評判がよく、テーブルごとの交流も促進できた。 【今後の方針】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	
文化講演会 「ふるさとへの眼差しー窪田空穂の随筆からー」	2月24日	1回	地域事業 （文化）	成人	20人	【事業内容】 窪田空穂生家で窪田空穂について学ぶ 【ねらい】 松本市の歴史や文化財について、理解を深める。	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】 窪田空穂記念館 文化財調査委員会	【評価と反省】 地域の文化人について学ぶことができた。 【今後の方針】 文化財調査委員会等で内容を検討しながら実施していきたい。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
手芸講座	2月27日	1回	趣味教養	成人	4人	【事業内容】 ダイヤモンドビーズアートの制作講座 【ねらい】 地区内の人材活用、手芸を通じた交流	【準備過程】 講師（地区住民）と調整	【評価と反省】 地域住民を講師として交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。	
育児学級 「めだかの会」	4月20日～	3回	子育て	家庭教育	75人	【事業内容】 育児サークル「めだかの会」の活動のうち3回を公民館と協力し実施。親子でできる体操などの体育、ベビーヨガなどの学習を行った。 【ねらい】 未就園児と親の交流・学習の場の提供	【準備過程】 めだかの会役員が中心に事業計画を立て、公民館も相談にのる。 【共催団体等】 育児サークルめだかの会	【評価と反省】 団体の自主的な運営を大切にしつつ、講師を招いての学習会等には公民館として協力できた。年間を通じた活動のなかで、親子同士の交流が深まっている。 【今後の方針等】 会員の自主性を保ちつつ持続的な活動を推進したい。	
運営委員会	4月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人	【事業内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 コロナ後初の総会となった。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	100人	【事業内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担し、校正や割付は全体で行う。	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取組むことができた。 【今後の方針等】 委員が交代になるが、主体性を持った活動を推進したい。	
図書視聴覚委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	115人	【事業内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 毎月定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う	【評価と反省】 図書の整理以外の活動の充実が課題 【今後の方針】 図書室利用の促進、新規購入図書、除籍本等協議したい。	

令和5年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	187人	【事業内容】 地区全体の体育事業について、企画・検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 コロナ後の事業について、協議、検討した。 【今後の方針等】 引続き、住民の意見を聞く機会を増やしながら、三役を中心に改善できるところは改善していきたい。	
文化委員会	通年	14回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	130人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。	
文化財調査委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【事業内容】 地区内の文化財の保護活用、文化財学習 【ねらい】 文化財の保護・活用の方策を検討する。	【準備過程】 町内公民館長と町会選出の役員で組織	【評価と反省】 文化財等まつわる講座を企画・実施。 【今後の方針等】 文化財の学習講座等、委員の活動を広げていきたい。	
信州型コミュニティスクール事業（学校運営委員会へ参加）	通年	2回	公民館委員会・ 各種会議等	青少年	8人	【事業内容】 芝沢小学校・高綱中学校の学校運営委員会へ参加。必要に応じて学校と連携。 【ねらい】 学校と地域の相互連携を強め、子どもへの思いを共有しながら地域の子どもを育てる。	【準備過程】 運営委員会の中では、公民館長がコーディネーターとして関わる。	【評価と反省】 コミュニティスクール事業についての検討、地区の子どもについての意見交換ができた。 【今後の方針】 学校との連絡を密にしながら連携を図っていきたい。	○
地域づくり協議会（総会・理事会・部会）	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	13人	【事業内容】 公民館は文化教養部会に属し、部会を開催した。 【ねらい】 地域づくり協議会のなかで、住民が楽しめる行事の企画運営等を担う。	【準備過程】 公民館長が部会長となり、部会を招集する。	【評価と反省】 公民館事業等について協議できた。 【今後の方針等】 必要に応じて地域づくりに係る行事や取組みについて協議していく。	

令和5年度 事業報告の概要

神林公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。 2 各公民館委員の自主的な活動を促し、地域リーダーの育成を図る。 3 神林の自然・文化・芸術に親しみ、地域愛を育む。										・コロナ禍で中止や規模を縮小して開催してきた事業を、各委員会で開催方法や内容について協議を行いながら、コロナ禍以前同等の規模で開催を行うことができた。しかし地区最大のスポーツ事業であるスポーツフェスティバルや文化祭の飲食ブースなど4年ぶりに再開したものについては、各委員もやり方がわからない中で模索しながらの実施となった。 ・事業の参加人数がコロナ禍以前よりも少なくなったという状況もあり、長く継続して開催していくためにも、周知方法や開催要項の見直しなどが必要な時期になってきている。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	4	4	2	5	1	0	1	4	1	0	6	0
延べ 参加人数	15	38	522	163	49	577	25	0	20	355	800	0	231	0

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会 - 種目：軟式野球、婦人バレーボール 【ねらい】 ・西南ブロック3地区（神林・笹賀・今井）の親睦交流	【準備過程】 ・笹賀地区を当番地区として3地区合同会議を開催し、内容の検討や準備を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、選手集めが困難になり中止。	
マスつかみ大会	7月23日	1回	子育て	青少年	210人	【内容】 ・鎖川河川沿いで、マスつかみ体験 【ねらい】 ・自然とふれあいながら、子どもたち同士や親子の交流と絆を深める。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもたちのリーダーは危険予知トレーニングを行い、事業の中心として活躍していた。自然に親しみながら、子どもたち同士や親子の交流を行うことができた。 【今後の方針】 ・子どもたちに貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。	
出前講座 「上條信山の人と書」	8月1日	1回	地域文化	成人	13人	【内容】 ・松本市美術館の学芸員を講師として、上條信山の生い立ちや書の魅力・鑑賞方法を学ぶ講座を実施 【ねらい】 ・自分たちが住む地域の偉大な人物について学ぶ。	【準備過程】 ・美術館学芸員と打合せを行い、内容を決定	【評価と反省】 ・書の魅力を実演なども交えながら学ぶことができ、参加者の反応も良かった。 【今後の方針】 ・子どもたちなど若い年代の方向けにも自分たちの住む地域について学ぶ場を検討したい。	
夏休みわくわく子ども広場	8月10日	1回	子育て	青少年	56人	【内容】 ・国営アルプスあづみの公園大町・松川地区へ行き、クラフト体験や食体験、自然遊びを行う。 【ねらい】 ・子どもたちの交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会・主任児童員が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会	【評価と反省】 ・クラフト体験や食体験を行い、子どもたちが自然に親しみながら交流を行うことができた。 【今後の方針】 ・子どもたちに貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自然観察会	8月17日	1回	環境	成人	32人	【内容】 ・赤沢自然休養林で自然観察 【ねらい】 ・自然散策しながら、健康増進、仲間づくりを図る。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて行先を決定	【評価と反省】 ・行程の途中大雨による視界不良もあったが、自然の中を歩きながら植物等の観察をすることで、健康増進、仲間づくりを図ることができた。 【今後の方針】 ・様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	
第12回神林地区スポーツ協会長杯争奪マレットゴルフ大会	8月29日	1回	地域事業 (体育)	成人	35人	【内容】 ・男性の部・女性の部それぞれ個人戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康づくり	【準備過程】 ・神林地区スポーツ協会役員会にて内容決定 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 【協力団体】 ・神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・コロナ禍明け4年ぶりの開催となった。当初7月の開催予定が雨天により延期となったが、久しぶりの開催に多くの参加があり、健康増進および参加者の親睦を図ることができた。 【今後の方針】 - 地区のスポーツ大会として今後も実施しつつ、あらゆる年齢層の方に参加してもらえるよう周知していきたい。	
神林スポーツフェスティバル	9月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	220人	【内容】 ・ニュースポーツ、パラスポーツ体験。 【ねらい】 ・スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民の交流と絆を深める。	【準備過程】 ・体育委員会にて実施種目や運営について検討。 【主管】 ・神林スポーツフェスティバル実行委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍で中止が続いていたが、4年ぶりに開催することができた。期間が空いてしまうことで実行委員もやり方を模索しながらにはなったが、あらゆる年齢層の参加があり、健康増進のほか、多世代交流の場にもなった。 【今後の方針】 ・参加者が以前の開催時より少なかったため、周知方法や内容を見直ししながら、継続して開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第51回神林ふれあい文化祭	10月22日	1回	地域事業 (文化)	成人	800人	【内容】 ・作品展示、地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施。 【ねらい】 ・地区の芸術・文化及び交流の1年間の集大成の場とし、個人・サークル活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて開催方法や内容を決定 【主管】 ・神林ふれあい文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・令和4年度に50回の節目となる文化祭を終え、新たなスタートとして小学生や中学生によるステージ発表を多く行うなど、地域の子どもから大人までが一堂に会して盛大に開催することができた。 ・コロナ禍明け4年ぶりに飲食ブースを再開したが、予想以上に盛況で午前中には完売してしまう団体が多かった。 【今後の方針】 ・文化委員会で開催内容を検討しつつ、継続して開催していきたい。	
人権啓発推進視察研修	12月7日	1回	人権平和	成人	15人	【内容】 ・JICA駒ヶ根、駒ヶ根シルクミュージアムの見学 【ねらい】 ・人権施設の見学を通じて、外国籍の方との関わりについて考える機会とする。	【共催団体】 ・神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・青年海外協力隊の経験者からお話を伺い、自分たちが地域で外国籍の方とどう関わっていくか学ぶ機会とすることができた。 【今後の方針】 ・様々な人権について、視察研修は継続しつつ、その他の人権啓発事業の実施も検討していきたい。	
正月飾りづくり講習会	12月17日	1回	地域文化	成人	30人	【内容】 ・正月飾りづくり（しめ縄など）の講習会 【ねらい】 ・正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流の場となった。 【今後の方針】 ・地域文化継承のためにも継続して開催していきたい。	
星空観察会	12月17日	1回	環境	成人	17人	【内容】 ・天体望遠鏡で火星・土星・木星・月などの星空観察を行う。 【ねらい】 ・観察会を通じて星に興味を持ってもらいたい。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて内容決定 ・講師との打合せ 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・正月飾りづくり講習会と同日にすることで、引き続き参加ができるよう工夫した。 ・屋外での観察は、気温が低く、風も強かったため、短時間しか行うことができなかった。 【今後の方針】 ・星空に興味を持ってもらえるよう、他の方法も検討していきたい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
神林地区球技大会	2月25日	1回	地域事業 (体育)	成人	100人	【内容】 ・町会対抗の球技大会。 - 競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 ・住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消	【主管】 ・神林地区球技大会実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・選手は寒い時期にも関わらず、真剣勝負を行っていたが、選手集めが困難で参加を辞退する町会があった。 【今後の方針】 ・町会対抗の唯一の事業となっているため、継続した開催ができるよう参加要項を見直すなど内容を検討していきたい。	
西南ブロック地区 ポッチャ交流会	3月19日	1回	スポーツ	成人	25人	【内容】 ・西南ブロック3地区（笹賀・今井・神林）によるポッチャの交流会 【ねらい】 ・西南ブロック3地区の親睦交流	【準備過程】 ・笹賀地区を当番地区として3地区合同会議を開催し、内容の検討や準備を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・以前は3地区でゲートボール大会を行っていた。競技人口の減少により開催できずにいたが、新たに合同で企画し、3地区の交流の場を作ることができた。 【今後の方針】 ・3地区の親睦交流のため、様々な競技を行ったり、大会形式にするなど内容を変更しての開催を検討していく。	
春のわくわく子ども広場	3月20日	1回	子育て	青少年	48人	【内容】 ・いちご狩り（筑北村） 【ねらい】 ・子どもたちの交流と公民館事業に親しんでもらう。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・大勢の子どもたちが参加し、笑い声や驚きの声を聞くことができた。 【今後の方針】 ・子どもたちの貴重な経験ができる事業として、内容を検討しつつ継続していきたい。	
史跡めぐり	6月2日 11月1日	2回	地域文化	成人	60人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。 6月：小布施町（高井鴻山記念館、岩松院） 11月：森將軍塚古墳、県立歴史館 【ねらい】 ・様々な史跡について学びとともに、仲間づくりを目指して開催	【準備過程】 ・文化委員会にて行先を決定	【評価と反省】 ・大勢の参加申込みがあり、大変好評だった。 【今後の方針】 ・様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ポスターコンクール	7～9月		地域文化	青少年	60人	【内容】 ・画題を神林ふれあい文化祭とし、神林の素晴らしいところ、素敵ところを表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林ふれあい文化祭にて表彰。 【ねらい】 ・地域の魅力再発見と併せて神林ふれあい文化祭の周知を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定	【評価と反省】 ・神林の素晴らしいところ、素敵ところを表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と文化祭の周知を図ることができた。 ・一般の部の申込みがなかったため、小学生を3部門に分ける形に急遽変更し、多くの子どもが入賞できるようにした。 【今後の方針】 ・自分たちの住む地域の関心を高めるため、また、神林ふれあい文化祭の周知のためにも継続して開催したい。	
食改の料理教室	10月11日 12月14日	2回	福祉健康	成人	38人	【内容】 ・カルシウムを多く摂れるメニューを作る料理講座 【ねらい】 ・性別問わず、健康を意識した食事の調理方法を学ぶ。	【共催団体】 ・神林地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・毎回定員いっぱい参加があり、女性だけでなく、男性の参加もあった。食改の皆さんの説明だけでなく、栄養士も参加することで、健康を意識した食事内容について学びを深めることができた。 【今後の方針】 ・食改の皆さんとメニューを検討し、継続して開催したい。	
バスdeおでかけ	10月24日 12月26日	2回	その他	成人	20人	【内容】 ・ぐるっとまつもとバスを利用してショッピングモールに買い物に出かける。 【ねらい】 ・ぐるっとまつもとバスの利用促進	【共催団体】 ・神林地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・ぐるっとまつもとバスの路線改変に伴い、今年度新たに企画し、定員いっぱいの参加で好評であったが、買い物の時間を持て余してしまう様子も見られた。 【今後の方針】 ・ぐるっとまつもとバスを利用した新たな事業を検討したい。	
包丁研ぎ講座	1月16日 3月14日	2回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・砥石を使った包丁研ぎ講座 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、日常的に使用する包丁をより使いやすく見直す。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 ・1回目は講師の研ぎ方を見て学ぶだけになってしまったため、2回目は実際に体験してもらうなど、方法を見直しながら開催した。 【今後の方針】 ・住民のニーズに合わせて、開催方法を検討したい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ教室	4～1月	10回	趣味教養	高齢者	132人	【内容】 ・スマートフォンの基本的な使い方から日常よく使う機能を中心に解説 【ねらい】 ・高齢者のデジタルデバインド対策	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 ・高齢者のスマホに関する関心の高さを感じた。テーマを決めて進めることはできたが、一人一人のレベルが違い、一定の内容で進めることが困難になってきたため、1月で教室は終了し、公民館主事が予約制で相談を受ける形に変更した。 【今後の方針】 ・デジタルデバインド対策のためにも、地域住民である講師と一緒に相談会形式にするなど、開催方法を検討したい。	
パソコン喫茶	通年	12回	趣味教養	成人	110人	【内容】 ・ワード・エクセルの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流する。 【ねらい】 ・初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。コロナ禍が明け、コーヒーを飲む喫茶の時間を再開することができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
俳句講座	通年	12回	趣味教養	成人	192人	【内容】 ・俳句について学ぶ。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 ・日常で感じたことを俳句として詠むことで、参加者同士の交流をすることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
写真勉強会	通年	12回	趣味教養	成人	123人	【内容】 ・デジタルカメラの基礎知識と撮影技術をお互い学び合う。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定	【評価と反省】 ・写真を通じて、参加者同士の交流を深めることができた。 ・撮影会を行うなど、直接的な撮影方法を学ぶ機会もつくることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
ぼんぼこりんのひろば	通年	12回	子育て	家庭教育	208人	【内容】 ・パネルシアター、人形劇、工作、クリスマス会など親子のふれあい事業 【ねらい】 ・未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦・交流	【準備過程】 ・主任児童員と打合せし、内容を決定 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運営委員会	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人	46人	【内容】 ・事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。地区行事開催可否の審議		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、近年中止してきた事業について、開催に向けて検討することができた。 【今後の方針】 ・より一層公民館活動の充実を図りたい。	
館報編集委員会	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人	79人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集 ・神林公民館だよりの企画編集		【評価と反省】 ・地区内の時事的な事柄について情報を共有し、公民館報の企画編集を行った。 【今後の方針】 ・親しみやすい館報の紙面づくり心がけていきたい。	
体育委員会	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人	46人	【内容】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の内容検討及びスポーツ振興		【評価と反省】 ・地区内最大のスポーツ事業であるスポーツフェスティバルをコロナ禍明け4年ぶりに開催することができた。 ・地区球技大会を開催することができたが、選手集めが困難で参加辞退した町会があった。 【今後の方針】 ・恒例の事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
文化委員会	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人	44人	【内容】 ・神林ふれあい文化祭、史跡巡り、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ・委員会で内容を協議し、コロナ禍明け4年ぶりに飲食ブースを再開するなど、第51回神林ふれあい文化祭を盛大に開催することができた。 【今後の方針】 ・恒例の事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
図書視聴覚委員会	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人	16人	【内容】 ・自然観察会・星空観察会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓		【評価と反省】 ・概ね予定していた事業を計画的に実施できた。 【今後の方針】 ・恒例の事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	

令和5年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地区内関係諸団体と事業 共催及び活動支援	随時		公民館委員会・ 各種会議等	成人		【内容】 ・神林地区スポーツ協会、神林地区 こども会育成会、神林地区人権啓発 推進協議会などとの事業共催及び活 動支援		【評価と反省】 ・各団体の自主性を尊重しつつ、連携を 深めた活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、 連携を深めていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

笹賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・地域住民の幅広い要望や課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、住民自治力の向上を図る。 ・町内公民館および地区内関係団体、学校との連携協力を図る。 ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。 ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。 【重点的に取組んだ事項】 ・コロナ禍で実施できていなかった各事業について見直し、実施した。 ・新しい講座を企画、既存事業の申込みや広報のデジタル化、公民館の利用報告等のデジタル化を行った。										・町内公民館対抗球技大会など数十年に渡り地域住民の交流に大きな役割を果たしてきた恒例事業や、地域の伝統行事、住民から声の上がった新規事業にも取り組み、それをきっかけに住民同士の交流も促進することができた。 ・今年度は講座の申込みや公民館の利用報告等デジタル化した選択肢を作り、最大限使ってもらえたと感じた。今年度はさらに公民館ニュースや館報といった広報の部分にオンラインで見れる動画や画像の選択肢を増やして伝えることができた。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	7	3	0	4	1	0	0	9	2	0	5	1
延べ 参加人数	26	30	868	67	0	194	0	0	0	297	708	0	140	40

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
お花見とポッチャ	4月13日	1回	地域事業 (体育)	成人	34人	【事業内容】 ポッチャをしてお花見しながらお弁当を食べる。 【ねらい】 ポッチャとお花見を通して交流	【準備過程】 公民館とひろば、地区スポーツ推進員で企画実施 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 ポッチャは未経験者と経験者に関係なく、盛り上がった。お弁当があるため、事前に申込み制とした。桜がほぼ散ってしまっていたため、適切な開催日を設定したい。 【今後の方針等】 サークルが盛り上がるように大会形式のものを企画していきたい。	
新緑の上高地を歩こう！	5月22日	1回	福祉健康	成人	30人	【事業内容】 上高地をガイドと歩く 【ねらい】 自然観察と健康づくり	【準備過程】 公民館とひろばで企画実施 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 歩きながら交流、自然観察を行えた。 【今後の方針等】 継続して企画していきたい。	
笹賀地区ウォーキング大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	47人	【事業内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。	【準備過程】 公民館体育委員会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となっている。今年度は、地区内にメグリスポットがあるコースで実施。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。	
ハンドベル体験教室	6月	3回	趣味教養	成人	27人	【事業内容】 ハンドベルの体験教室 【ねらい】 ハンドベルの楽しみを知り、実際に演奏を学ぶ。	【準備過程】 公民館で企画実施	【評価と反省】 体験教室終了後、サークル活動開始となった。地区文化祭にもご出演いただいた。 【今後の方針等】 地域での活動拡大	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区町内公民館対 抗球技大会	7月2日	1回	地域事業 (体育)	成人	100人	【事業内容】 地区行事として例年実施している町 内公民館対抗の球技大会。ソフトバ レーボール、ソフトボールの2種目 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を 図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、多くの町会から若年層から高齢 者までの幅広い年齢層の参加があり、 地区住民の親睦を深め、世代間交流に もつながっている。4年ぶりの開催。 【今後の方針等】 数十年続いている恒例行事が潰れてし まうことのないよう、体育委員ととも に継続していきたい。	
西南ブロック球技大会	7月	1回	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選 を兼ねた今井、神林、笹賀の3地区 による球技大会。軟式野球とママさ んバレーボールの2種目 【ねらい】 3地区の交流事業として実施	【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行 う。今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林公民館 今井公民館	【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎 年実施しており、3地区の交流にもつ ながっている。 参加者不足により、西南ブロック球技 大会は中止としたが、市長杯争奪球技 大会の代表は3地区の協議により決定 した。 【今後の方針等】 3地区の交流事業として今後も継続実 施したい。できるだけ多くの選手が参 加できるように開催時期を調整してい きたい。	
子ども会育成会夏休み 事業	7～8月	3回	子育て	青少年	100人	【事業内容】 地区内小中学生親子を対象とした公 演会や体験教室等。ジャグリングク ラブ等から講師を派遣。小中学生の 企画会議からお楽しみ会も実施 【ねらい】 公演会や体験教室を通して子どもた ちの豊かな心を育てることを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 今年度は4年ぶりに事業を実施それぞ れの立場から子ども会に関わり、子ど もたち自身も主体的に活動を行った。 【今後の方針等】 小・中学生、PTA、育成会の声を聞 きながら、子どもたちにとって良い経 験となる行事を行っていききたい。	
親子の料理教室	7月27日		子育て	青少年	21人	【事業内容】 小中学生親子を対象に調理実習を実 施 【ねらい】 今から丈夫な歯と身体ために噛むこ との大切さを学ぶ	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企 画実施 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 親子で楽しく学んで取り組める良い機 会となった。 【今後の方針等】 食について学ぶことで、健康につな がるということを今後も内容を検討し、 継続実施していきたい。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月10日		地域事業 (体育)	成人	100人	【事業内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会。 【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。	【準備過程】 公民館、体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えた地区住民の交流につながっている。4年ぶりに実施できた上、参加者も100人以上で盛り上がった。 【今後の方針等】 地区住民の親睦、交流の場として今後も実施していきたい。暑さ対策について特に注意したい。	
柵池自然園を歩こう！	9月15日		地域事業 (体育)	成人	32人	【事業内容】 柵池自然園をガイドと歩く 【ねらい】 自然観察と健康づくり	【準備過程】 公民館とひろばで企画実施 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 歩きながら交流、自然観察を行えた。 【今後の方針等】 継続して企画していきたい。	
笹賀地区文化祭	10月29日	1回	地域事業 (文化)	成人	700人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施 その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施 【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業	【評価と反省】 例年、日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会ともに多くの参加がある。ステージの故障もありステージ発表は中止。代わりに小中学校や地域住民・団体と連携し、演奏映像の撮影、編集、上映を行った。 (出演：14団体) 作品展示会と合わせてVRやeスポーツ体験会を開催。空港図書館とも連携し、リサイクル用の図書館除籍本を準備した。菅野小タイムカプセル開封も行った。 【今後の方針等】 地区の一大事業として継続実施していくが、新たな出品者や出演者の掘りおこしや新しい企画等について、実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
季節の料理教室	45246	1回	地域事業 (文化)	成人	8人	【事業内容】 季節の郷土食の調理実習を通して、次世代へ郷土の食文化、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 季節の郷土食や伝統行事に触れる良い機会となっている。 【今後の方針等】 地区には様々な伝統行事や郷土食があるので、内容を検討し、継続実施していきたい。	
笹賀マネースクール	11月	3回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 地区住民を対象にお金の勉強会を実施 【ねらい】 小中学校や高校でも始まったお金の教育。地区住民の学ぶ機会とする。	【準備過程】 近隣にお住いのF P（ファイナンシャルプランナー）に依頼。申込みの段階で質問事項等を収集。それをもとに資料を作成していただいた。	【評価と反省】 全3回で実施参加者の金融リテラシーに差があると講座形式は難しいかとも考えたが自由に話せるような時間や事前の質問収集を実施参加者にとって日頃抱えている悩みや、気になっている疑問等、活発な意見交換も行われていい学ぶ機会になった。 【今後の方針等】 経済・金融に関する情報は日々更新されていくため継続実施していきたい。	
笹賀地区人権啓発推進協議会視察研修	12月13日		人権平和	成人	18人	【事業内容】 バスで長野県立歴史館、人権センター、長野市立博物館を視察。 【ねらい】 歴史から平和や人権について学ぶ。	【準備過程】 公民館で企画、実施 【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 県の歴史館と長野市立博物館を視察した。人権センターでは性に関する講座を受け、交流しながら学べた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
多国籍料理教室	1月16日		人権平和	青少年	8人	【事業内容】 多文化共生キーパーソンによる料理教室 【ねらい】 文化の違いを知り、学ぶ	【準備過程】 地区多文化共生キーパーソンと相談し企画実施 【共催団体等】 笹賀地区多文化共生キーパーソン	【評価と反省】 海外の話を聞いて、家庭料理のことや生活文化の違いを知る良い機会となった。 【今後の方針等】 継続実施していきたい。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区町内公民館対 抗卓球大会	1月29日		地域事業 (体育)	成人	59人	【事業内容】 地区行事として例年実施している町 内公民館対抗の卓球大会。 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を 図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 未経験者でもラリーが続き、皆が楽し めるように平成28年度からラージボ ール卓球に変更している。 今年度は5年ぶりに町会対抗で実施 【今後の方針等】 体育委員とともに良い形での開催 を検討していきたい。	
松本の芸術文化と歴史 を学ぼう！	2月28日		地域文化	成人	27人	【事業内容】 バスで松本市立博物館、美術館を視 察。 【ねらい】 地域文化について学ぶ。	【準備過程】 公民館で企画、実施 【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 美術館や新しくなった市立博物館を視 察した。企画展も新しく、交流しなが ら学べた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
ポッチャ体験会	4月～9月	6回	スポーツ	成人	100人	【事業内容】 ポッチャを中心としたニュースポー ツの学習及び体験会。 【ねらい】 老若男女、障害の有無を問わず競う ことができるニューススポーツを体験 し学ぶ。	【準備過程】 スポーツ協会とスポーツ推進員を 中心に企画運営。 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区スポーツ推進員 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 昨年度からの継続事業。続けて参加し てくれた方も多く、10月からサークル となった。 【今後の方針等】 スポーツ推進員と協力し、新たな ニューススポーツ企画をしていきたい。	
育成会3地区合同会議	3月		公民館委員会・ 各種会議等	成人	9人	【事業内容】 笹賀、今井、神林の3地区の子ども 会育成会事業についての情報交換 会。 【ねらい】 3地区の子ども会育成会事業につい て情報交換することで、課題の共有 や解決策を探る。	【準備過程】 当番地区子ども会育成会が中心と なり企画実施。今年度は笹賀地区 が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会 今井地区子ども会育成会 神林地区子ども会育成会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 昨年度と役員と事務局に変更なかった ため、今年度は実施しなかった。 【今後の方針等】 地区により状況が異なるため、共有が 難しい面も多少あるが、各地区の育成 会が盛り上がっていくよう今後も情報 交換を継続していきたい。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロックゲート ボール大会	3月		地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるゲートボール大会 【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。	【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施しているが、競技人口の減少もあり、市民祭・市長杯にも出場できておらず中止の判断となった。 【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して開催していきたい。	
西南ブロック地区ポッ チャ体験会	3月11日		地域事業 (体育)	成人	25人	【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるポッチャ交流会 【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。	【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 参加者不足により、3地区の大会が中止となったので今年度新たに企画。 【今後の方針等】 継続して開催していきたい。	
親子で多国籍料理教室	3月22日		子育て	青少年	8人	【事業内容】 小中学生親子を対象に調理実習を実施 【ねらい】 文化の違いを知り、学ぶ	【準備過程】 公民館で企画実施	【評価と反省】 親子で文化の違いを楽しく学んで取り組める良い機会となった。 【今後の方針等】 継続実施していきたい。	
笹賀地区子ども会育成 会だよりの発行	3月		子育て	青少年		【事業内容】 子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布 【ねらい】 子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうとともに、地区住民へ行事の楽しさを伝える。	【準備過程】 育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催。	【評価と反省】 例年、子どもたちの個性が良くでている文章が集まり、カラー写真も多く掲載し、行事の楽しさの伝わる内容になっている。今年度は5年ぶりの発行となった。 【今後の方針等】 育成会役員は1年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるように、事前説明などの準備をしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ほっとスペース笹賀	通年	48回	子育て	青少年	480人	【事業内容】 不登校支援アドバイザーと心理師による居場所支援 【ねらい】 家や学校以外の居場所として学ぶ居場所づくり。	【共催団体等】 学校教育課学校支援室 こども福祉課	【評価と反省】 親子で来て、楽しく過ごしている様子が伺えた。笹賀公民館の多目的ホールの広さを生かしたスポーツ活動等ができて良かった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
デジステ笹賀	通年	18回	趣味教養	成人	80人	【事業内容】 パソコンやスマートフォンを使いデジタルに触れ、互いにスキルのレベルアップを目指す。 【ねらい】 デジタル化が進む中でデジタル機器の取り扱いに困らないよう支援する。	【準備過程】 デジタル活用に積極的な地区内住民と実施地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 継続して来てくれる方も入れば新規も豊富なため需要を感じる。高齢者等1回で理解が難しい参加者同士でカバーする様子もあった。 【今後の方針等】 継続実施していきたい	
笹賀地区スマホ相談会	通年	17回	趣味教養	成人	72人	【事業内容】 スマートフォンの基本的な使い方や参加者が普段使っていて分からないことを相談しながら解決していく。 【ねらい】 デジタル化が進む中で特に高齢者がデジタル機器の取り扱いに困らないよう支援する。	【準備過程】 ソフトバンクのスマホ相談員の講習を受けた地区内住民と実施地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 継続して来てくれる方も入れば新規も豊富なため需要を感じる。相談員の事情による継続不可が懸念される。 【今後の方針等】 継続実施していきたい。	
地域の畑で松本一本ネギ栽培	通年		地域文化	青少年	40人	【事業内容】 菅野小学校が総合学習の時間で地域が協力して実現した松本一本ネギ栽培 【ねらい】 子どもたちの学びを深め、成長へとつなげるとともに、地域住民との交流により地域への親近感や帰属意識を育む。	【準備過程】 地域住民の畑を借用、地域住民で水やり等の協力 【共催団体等】 菅野小学校 地域住民	【評価と反省】 子どもたちの学びと成長のため、松本一本ネギの栽培から収穫まで長期に渡り学校からの要望に応えながらサポートすることができた。地域住民と子どもたちが協力することにより、地域にとっても良い交流の場となった。 【今後の方針等】 畑の借用や栽培指導等について他のクラスからも要望が広がっている。地域と学校の仲介役として引き続き協力していきたい。	○

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子どもと本の集い	通年	11回	子育て	家庭教育	220人	【事業内容】 地区内未就園児親子を対象に絵本を介した子育て支援事業。絵本の読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施 【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施	【準備過程】 おはなしの会「すがのつくる」が中心となり企画・運営 【共催団体等】 おはなしの会「すがのつくる」 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場になっている。 また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。 【今後の方針等】 「すがのつくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。	
笹賀おやこ教室	通年	2回	子育て	家庭教育	39人	【事業内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。 お話会、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施 【ねらい】 様々な体験を通して、親子でともに成長する場として実施また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待	【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブてるてる」を中心に企画運営 【共催団体等】 笹賀おやこクラブてるてる 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、思うように開催できなかったが、感染状況が比較的落ち着いた時期に事業を開催。感染対策の徹底や事前予約等により、運営役員も含めた親子皆で楽しむ姿を見ることができた。 【今後の方針等】 引続き協力していきたい。	
公民館ニュースの発行	通年		地域文化	成人		【事業内容】 毎月公民館ニュースを発行、地区内全戸配布している。松本市公式ホームページに同内容のPDFデータを公開している。 【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る	【準備過程】 公民館で紙面を考え、発行	【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。市ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。 【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。	

令和5年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館運営委員会	4月24日		公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【事業内容】 公民館運営委員会を開催し、笹賀公民館運営についての審議等を行う。	【準備過程】 予算、決算及び事業報告、事業計画の作成。	【評価と反省】 新規事業の計画や昨年度の振返りを兼ねて実施4年ぶりに開催する事業が多く、役員には丁寧な説明を行った。 【今後の方針等】 継続したい	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	63人	【事業内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館館報紙面の企画、校正を行う。 【ねらい】 地域話題を掘り出し地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。	【準備過程】 館報編集委員を中心に、紙面の企画および校正を行う。	【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りをお願いしており、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要。 【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。	
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	48人	【事業内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等 【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施	【評価と反省】 コロナ禍における体育事業の開催可否・内容について対面で会議を行った。ここ数年行われていなかった中、卓球大会を実施できたことは大きかった。 【今後の方針等】 引続き体育委員会を開催し、各事業の運営を円滑に行えるようにしたい。また公民館ニュースの内容変更にも余裕をもって対応できるよう、委員会の開催日に注意したい。	
文化祭実行委員会	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人		【事業内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。 【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。	【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施	【評価と反省】 コロナ禍での文化祭開催方法について、委員を集めて検討した。公民館主体で企画運営を行った。地域全体で作り上げていく意識をもっと大切にすべきだった。 【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やすことなく継続していけるように、地区住民が協力しあい運営できるよう助力していきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

芳川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・コロナ禍後の新しい生活様式において、人気講座・新規講座を考え、以前の活気を取り戻せるような工夫をし、事業を展開する。 ・デジタル化が進む社会情勢に対応するため、デジタルの格差の解消を進める。 ・土地区画整理事業等による人口増を始め、松本国際高等学校開校や村井駅再整備など地域が様変わりしてきている現状と合わせ、子どもが多いという特色がある。 ・地域住民が1万7,000人を超えるため、マスコミ等も活用した地区の活動の周知等情報の発信に力を入れる。 ・地域で子どもを育てることに力を入れ、学校・地域と連携し、長期休暇の居場所づくりとして夏休みの体験講座や公民館の開放事業を行う。 ・次世代や新住民に公民館や地域を知ってもらう活動をする。 ・小学校での活動を地域に知ってもらうため、文化祭での展示を充実する。 ・既存の住民と新しい住民が一体となれるような事業の展開や、芳川地区をより深く知る講座の開催をし、自分の住む地域に愛着を持ってもらうことを目指す。										・社会情勢を考慮しながら、新しい生活様式に対応したスポーツイベント等を実施できた。 ・地区内小学生向けの夏休み講座を展開した。申込みは二次元コードを活用し、保護者の同伴も伴わない講座にし、公民館の活動に気軽に参加できるものとした。 ・筑摩野中学校との連携事業で長期休暇の公民館開放を行った。自主学習の場として継続的に参加する生徒もあり、公民館が学校に根付いた活動ができている。 ・デジタル化推進のため、スマートフォンの個別相談会やeスポーツ体験会を実施した。 ・通常の生活を取り戻せるよう1月から7つの新規講座を実施、シニア世代を対象にした講座でも二次元コードからの申込みもあった。 ・主体性を大事にし、地域からの声を逃さず、黒子となり、地域の力を活かしていきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	2	3	0	1	10	0	2	3	3	2	8	5
延べ 参加人数	10	38	475	210	0	613	670	0	161	184	526	216	511	804

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春のソフトバレーボール祭	4月10日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとoshi、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 参加チームが不足し、中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	
ニューススポーツ体験会	5月8日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ニューススポーツの体験会 【ねらい】 気軽にできるニューススポーツを地区の方々に知ってもらう。地区の体育大会で正式種目として導入したため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新しい生活様式に対応しながら実施した。地区住民がたのしくスポーツをする姿が印象的だった。 【今後の方針】 気軽に身体を動かす機会としてニューススポーツを取り入れたい。	
芳川公民館運営委員会	5月18日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	19人	【内容】 地区役員へ芳川公民館の4年度の事業報告と5年度の事業計画案を説明 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	【共催団体】 ・芳川町会連合会 ・町内公民館長 ・芳川小学校校長 ・芳川小学校PTA ・筑摩野中学校校長 ・筑摩野中学校PTA ・芳川地区子ども会育成会長 ・民生児童委員協議会長 ・健康づくり推進員会長 ・交通安全協会支部長 ・農村女性委員会 ・体育協合理事長 ・館報編集委員長	【評価と反省】 芳川公民館活動について、様々な視点から協議できた。 【今後の方針】 次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うため必要に応じ開催する。	
ビーチボールバレー交流会	5月27日	1回	スポーツ	成人	22人	【内容】 ビーチボールを使用し、様々な世代でスポーツイベントを実施した。 【ねらい】 交流会とすることで初心者でも参加できるようにした。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区体協と協力し、難しい社会情勢であったが楽しく実施できた。 【今後の方針】 住民の声を取り入れ、様々な競技を検討する。	
芳川地区人権啓発推進協議会視察研修	6月2日	1回	人権平和	成人	10人	【内容】 人権学習の視察 【ねらい】 人権問題を考えていただく機会とした視察研修	【準備過程】 視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】 芳川地区男女共進を進める会と共催	【評価と反省】 視察を通じて、人権への理解を深めた。 【今後の方針】 新しい視点を得られるような内容を企画する。	

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
よしかわスポーツひろば	7月2日	1回	地域事業 (体育)	その他	120人	【内容】 芳川地区住民のオープン参加競技 【ねらい】 地区住民体力向上及び交流の場と考える。	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を協議 【共催団体】 芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】 町会対抗体育大会という形から、気軽に参加できる様式へ変更し好評いただいた。 【今後の方針】 オープン参加による交流から、従来の形に戻すか検討する。	
第45回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	30人	【内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とする	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 他地区と協力しながら実施した。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
芳川バドミントン交流会	9月 3日 12月10日	2回	スポーツ	その他	28人	【内容】 バドミントンおよびファミリーバドミンントンの交流会 【ねらい】 地区住民体力向上及び交流の場と考える。	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を協議 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 初心者も気軽に参加できるよう道具を整え、教える環境となった。 【今後の方針】 継続的に行い、バドミンントンの競技人口を増やしていきたい。	
芳川地区マレットゴルフ大会	9月11日	1回	地域事業 (体育)	成人	34人	【内容】 芳川地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。朝早くから活気のあるイベントとなった。 【今後の方針】 交流、親睦の場として、次年度も実施したい。	
第5回芳川公民館長杯野溝緑地オープン・マレットゴルフ大会	10月14日	1回	スポーツ	成人	34人	【内容】 生涯スポーツであるマレットゴルフを楽しむ機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と野溝緑地マレットゴルフ愛好会の協力により景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。	

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ふれあいウォーク	10月14日	1回	福祉健康	成人	38人	【内容】 奈良井宿のウォーキング 芳川地区の方と健康増進・歴史探訪 を目的に実施した。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 毎年恒例の芳川ふれあいウォーキング を実施した。 【今後の方針】 来年度も活気のあるイベントとしたい。	
芳川児童センターまち あるき	10月21日	1回	地域文化	青少年	38人	【内容】 芳川児童センターの児童と寿地区の まちあるきを実施 【ねらい】 児童に地域の歴史を知ってもらう。		【評価と反省】 まちあるきをしながら解説をすること でより身近に地域を感じてもらうこと ができた。センターからも好評であつ た。 【今後の方針】 地域に興味を持つ事業を展開してい きたい。	
芳川地区文化祭	11月4日 11月5日	1回	地域事業 (文化)	その他	330人	【内容】 芳川地区文化祭 【ねらい】 各サークルや小中学校の日頃の活動 の成果発表の場とする。文化活動 を通して地区住民の輪を広げ絆を深め ることを目的とする。	【準備過程】 文化委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 C S ふたむら	【評価と反省】 実行委員会を開き、新しい生活様式で 実施した。 【今後の方針】 展示方法やイベント内容をより考 えていきたい。	○
しめ縄づくり事前講習	11月28日	1回	地域文化	成人	19人	【内容】 地域の伝統であるしめ縄作りを体験 してもらう。 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通し て地域の伝統文化の継承を目的とす る。また、参加者には芳川小学校の しめ縄作り講習会のボランティアを 担ってもらう。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 地区内に呼びかけを行い、公民館活動 へ初めて参加する方もいた。 【今後の方針】 ボランティアの養成だけではなく、新 たな公民館活動参加者を増やすもの としたい。	
しめ縄づくり講習会	12月8日	1回	地域文化	成人	153人	【内容】 毎年芳川小学校5年生を対象に行つ ているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通し て地域の伝統文化の継承を目的とす る。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 クラスごとに地域ボランティアが実演 をし、子どもたちがおやすみを作成し た。しめ縄作りに興味を持ってもら った。 【今後の方針】 伝統文化の継承は地域の課題のため、 次年度も実施していきたい。	○

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
冬のソフトバレーボール祭	12月15日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおり、交流を深める。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 参加チーム減少に伴い中止した。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	
もちつき大会	1月25日	1回	地域事業 (文化)	青少年	36人	【内容】 毎年恒例のもちつき大会 【ねらい】 地区住民を対象に公民館工作室で餅つき。伝統文化の継承、また住民間の交流を目的として行う。	【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 小さな子ども連れの母親から大変好評だった。公民館報でもその活気を取りあげた。 【今後の方針】 応募多数により参加できない家族があったため、今後対応を検討する。	
芳川ファミスポDAY	3月24日	1回	スポーツ	その他	36人	【内容】 ニュースポーツ・ブラインドチャレンジを実施した。 【ねらい】 多世代交流だけでなく、様々な事情を持つ方でも安心して参加できる環境づくり	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 様々な事情を持つ方でもスポーツが楽しめる環境を考えるきっかけとできた。 【今後の方針】 新たなスポーツへ挑戦していく。	
芳川地区セーフティマップ作成	3月	1回	その他	青少年	20人	【内容】 芳川小学校の通学路や安心の家の情報を載せたマップの作成 【ねらい】 子どもを守る安心の家の通学路マップを作成し、小学校1年生や転入生に配布する。	【共催団体】 芳川地区防災防犯協会 芳川小学校 芳川小学校PTA	【評価と反省】 今年も各種協力団体と連携してスムーズにマップが作成できた。 【今後の方針】 1年生の保護者からも好評なので、次年度も作成していきたい。	○
食育学級	4月～12月	9回	子育て	家庭教育	192人	【内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう 【ねらい】 じゃがいもや野沢菜等を植える、育てる、収穫、調理を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【共催団体】 芳川保育ゆりかご会 寺田会	【評価と反省】 食育と農育の両面を持ち、参加者から好評であった。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。畑で土に触れ合う機会として、作業を子どもたちと保護者にやってもらうことを増やし、より興味を持ってもらうようにする。	

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康体操ぽかとれ	4月～3月	12回	スポーツ	高齢者	126人	【内容】 健康増進を目的とした講座 【ねらい】 初回に体力測定を行いデータ化。 テーマ別体操を実施し、最終回で身体の変化を体感頂く。	【共催団体】 リハビリデイサービスぽかぽか 芳川	【評価と反省】 ボランティア講師にデイサービス職員の方をお呼びして実施。シニア世代の体力に即した内容を設定できた。 【今後の方針】 先方の事情で次年度から休止となった。	
第46回ソフトボールリーグ戦	5月～9月	10回	スポーツ	成人	352人	【内容】 ソフトボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区5町会のソフトボールチームによる交流戦。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 例年の2周り10試合のリーグ戦に戻した。数年ぶりに全日程を行えた。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦なので継続していきたい。	
芳川シニア短期大学	5月～3月	22回	趣味教養	高齢者	613人	【内容】 高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを求めた学習講座 【ねらい】 シニア世代の学習意欲を刺激する。	【準備過程】 昨年の参加者人数や現在の状況を元に講師を決定	【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいづくりとして定着。男性の参加者が多く、人気の講座となっている。 【今後の方針】 内容を考え、次年度も実施していきたい。	
プレイスクールぽかぽか	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	283人	【内容】 未就園児を対象とした親子の講座 【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。	【共催団体】 芳川民生児童委員協議会 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 芳川地区の親子の居場所となるような講座を展開したい。新しい先生に依頼したところとても好評だった。 【今後の方針】 次年度も継続実施したい。工夫をして、親子で楽しんでもらえる時間としたい。	
芳川バレーボール交流親善試合	6月～12月	7回	スポーツ	成人	42人	【内容】 硬式バレーボールの交流戦を実施 【ねらい】 リーグ戦の代替として実施	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 交流戦を実施することで、バレー競技人口の確保を行えた。 【今後の方針】 リーグ戦を開催できるように参加チームと相談していく。	

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川公民館長講話	7月～3月	8回	地域事業 (文化)	その他	160人	【内容】 町内公民館で開催する講話 【ねらい】 地区住民が参加しやすい場所でも開催	【準備過程】 町内公民館館長と協力して計画	【評価と反省】 会場が近いことで、「足の不自由な私でも参加できた」「地元住民で交流できて嬉しい」とお礼の言葉をいただいた。 【今後の方針】 開催時期を検討し、幅広く参加いただけるようにしたい。	
夏休み特別講座	7月～8月	5回	地域事業 (その他)	青少年	56人	【内容】 信大出前実験講座 ・「飛行機はなぜ飛ぶの？」 ・正しい知識を学ぼう！「電子マネー」 ・アイシングクッキーを作ろう！ ・ダブルダッチを体験してみよう！ の4つの講座 【ねらい】 夏休みに地区内の小学4～6年生に様々な体験をしてもらう。	【準備過程】 講師との日程調整 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 二次元コードを活用した申込みにし、働き世代の保護者が気軽に申し込めるものとした。長期休みにおける子どもたちの居場所となった。 【今後の方針】 子どもの居場所づくりや新体験をとおり、視野を広げる取組みを継続的に行いたい。	
日本語学級	毎週木曜日	42回	その他	その他	141人	【内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週1回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 芳川地区のボランティアの方に講師をお願いしている	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近では地区外の方も来ている。留学生同士の口コミから受講者が増えた。 【今後の方針】 今後も地区内外を問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。	○
公民館開放 (夏・冬・春)	通年	30回	地域事業 (その他)	青少年	160人	【内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために芳川公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 Wi-Fi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施 【共催団体】 C Sふたむら運営委員会	【評価と反省】 長期休み期間に生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 学校と連携し、来年度も実施したい。	○

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
あいさつ3・3運動	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	青少年		【内容】 あいさつ運動 【ねらい】 毎月3のつく日に、水色のサポーターベストを着て小学生の通学時にあいさつをすることによって、世代間を超えた交流を図る。	【共催団体】 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 サポーターの高齢化により、発足当時よりサポーター数が減少してしまった。 【今後の方針】 今後は地区内の回覧など積極的にサポーターを募集し、活動を推進したいと考えている。	
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	33人	【内容】 各種体育事業の企画・運営 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。	【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新しい生活様式を意識しながらスポーツイベントの企画会議を実施できた。 【今後の方針】 地区の活性化を図れるように、考えていきたい。	
町内公民館長会	随時	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	15人	【内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等		【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けているが、連携が不足している部分が多い。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう、町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。	
文化・図書視聴覚委員	随時	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	19人	【内容】 文化祭準備 【ねらい】 文化祭実行委員会と協力して、芳川地区文化祭の準備を行う。	【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 本年度から文化祭再開に伴い、協議を重ねることができた。 【今後の方針】 文化祭の在り方について考えていきたい。	
館報編集委員会	毎月1回	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	75人	【内容】 館報芳川版の発行。毎月1回開催	【共催団体】 芳川地区館報編集委員会	【評価と反省】 各町会から選出されている強みを活かし、取材・記事の作成を行った 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。	

令和5年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
サークル活動支援	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	150人	【内容】 公民館利用サークルの活動支援 【ねらい】 公民館利用サークルへの運営補助・ 助言等		【評価と反省】 本年度は活動するにあたって、公民館 の不足品や故障しているものを整備 し、利用しやすいように準備した。 【今後の方針】 利用者が利用しやすいように館内の整 備につとめ、利用サークル間の交流も 深められるよう配慮したい。	
芳川地区関係団体活動 の支援	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	200人	【内容】 芳川地区関係団体活動支援 【ねらい】 芳川地区関係団体の活動が、円滑に 行えるように支援する。	【共催団体】 ・芳川地区人権啓発推進協議会 ・芳川地区男女共生を進める会 ・芳川地区福祉ひろば推進協議会 ・芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 関係団体の活動支援をスムーズに行え た。 【今後の方針】 これからも関係団体が円滑に活動でき るよう支援する。	

令和5年度 事業報告の概要

寿公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にします。 （公共の施設であるという認識） 2 地域住民の絆を深め、健康・体力増進に向けた講座や催事を企画し開催していきます。 3 サークル活動ばかりでなく、文化祭など公民館の全体行事に、利用者自らが積極的に参加してもらう体制づくりを進めます。 4 学校応援団活動を軸とした公民館活動に取り組み、地域住民と児童・生徒の皆さんの交流の場を広げていきます。 5 公民館の持つ学習機能を発揮し、寿地区地域づくり協議会の三つの専門部会（総務・福祉・子ども部会）での議論をもとに地域課題に対して、講座や講演会など学習につなげていきます。										1 公共の施設として規律ある利用をしていたのだが、部屋や物置の整理整頓をする必要がある。 2 健康・体力増進に向けた講座への参加者が減少傾向にある。内容の改善が必要とされる。 3 文化祭では多くの団体に協力いただけた。来年度は広報に力を入れ、さらに多くの団体・一般住民の参加を目指す。 4 学校応援団を軸に、地域住民と児童・生徒の交流の場を多く開催できた。継続事業の周知や、新たな取り組みに力を入れていきたい。 5 寿地区地域づくり協議会の各専門部会にて、地域課題の解決に向けて取り組んだ。年間の活動が当初の目的から外れていないか、確認する必要がある。				
項目	学級講座・学習会等												公民館委員会 ・各種会議等	C S
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	3	4	1	4	3	0	3	4	4	2	4	3
延べ 参加人数	56	48	170	161	53	68	788	0	3082	606	1537	2842	540	5892

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春の撮影講座	4月21日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 野沢温泉村にて撮影講座を実施 【ねらい】 写真撮影の技術力向上と住民の作品 展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と反省】 桜の撮影を主目的にしていたが、すで に散っていた。 【今後の方針】 日時に左右されない主目的を設定す る。	
公民館運営委員会	4月26日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	16人	【事業内容】 寿公民館事業における前年度事業報 告及び新年度事業計画の検討を実施 【ねらい】 寿公民館活動の推進を図る。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 現在は報告が中心となっている。 【今後の方針】 地区内の多くの役員が集まる機会であ るため有効活用できるような内容を検 討する。	
春のバスウォーキング	5月11日	1回	福祉健康	成人	20人	【事業内容】 県内でウォーキングを開催 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住 民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 身体状況により歩けない参加者がい た。 【今後の方針】 参加者募集の際に長時間の歩行が可能 か確認する。	
第3回寿地区ウォーキ ング大会	5月21日	1回	地域事業 (体育)	成人	33人	【事業内容】 最大50名でのウォーキング大会を実 施 【ねらい】 寿地区を歩くことで体力向上に努 め、地区内をより良く知り、地区住 民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区ウォーキング大会実行委員 会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準 備、実施	【評価と反省】 参加申込みが数人で、最終的には地区 の役員等に参加を求めた。 【今後の方針】 事業内容の変更が必須。	
ウォーキング講座	6月 8日 6月15日 6月29日 9月 6日 9月14日 9月28日	6回	スポーツ	成人	20人	【事業内容】 正しい準備運動や歩き方を学び、寿 地区内をウォーキング 【ねらい】 運動することで健康増進と住民同士 の親睦を深める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 出発地点を公民館から変更したため、 目的地の選択肢が広がった。 【今後の方針】 さらなる内容の改善が必要。	
寿地区地域づくり協議 会専門部会	6月21日 8月23日 12月13日 2月 7日	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	224人	【事業内容】 寿地区地域づくり協議会において総 務・福祉・子どもの専門部会をつく り、実践的な取組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通 じて、地区内の課題解決を推進す る。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小 委員会が企画	【評価と反省】 地区の役員住民が地域についての学 び、意見交換を行う貴重な機会となっ た。 【今後の方針】 次年度も引続き、各部会毎に実践的な 取組みができるよう情報共有・課題解 決に向けての意見交換を図る。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿地区子育て講座	6月28日 7月24日	2回	子育て	成人	24人	【事業内容】 子どもの事故防止、救命救急を内容とした子育て講座を実施 【ねらい】 子どもに対する幅広い知識の習得とともに地区内で託児ボランティアとして活動してくれる人材を募集	【主催】 寿地区地域づくり協議会子ども部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 寿ペンギンの会で企画、寿地区福祉ひろばで実施	【評価と課題】 子育て世帯に事故防止など伝えることができた。 【今後の方針】 来年度も要望があれば実施したい。	
第76地区球技大会	7月2日	1回	地域事業 (体育)	成人	269人	【事業内容】 野球、排球、ソフトバレー（39歳以下、40歳以上）、ソフトボール、卓球の5種目による町会対抗の球技大会。 【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【協力】 【準備過程】 寿スポーツ協会が準備、実施	【評価と反省】 怪我人がほとんどおらず、安全に競技を行うことができた。 【今後の方針】 次年度以降も怪我防止のための準備運動の徹底及び声がけを図る。	
令和5年度公民館利用者一斉清掃	7月8日 3月2日	2回	環境	成人	53人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館内や敷地の清掃を実施 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 公民館内や敷地の環境整備ができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催したい。	
寿地区から見た松本	7月13日 9月14日 11月22日	3回	地域文化	成人	32人	【事業内容】 松本地方に伝わる行事の姿や由来、四季折々に伝承されている行事の内容について学ぶ。 【ねらい】 地域行事、伝統について学び、伝統の継承を促す。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 地区住民に松本の伝統について学んでいただけた。 【今後の方針】 講師の要望により、来年度は中止。	
スマホ講座	8月28日 9月7日 12月20日	3回	趣味教養	成人	34人	【事業内容】 講師指導のもと、スマホの使い方について学ぶ。 【ねらい】 スマホについて学ぶことでコロナ禍での交流の幅を広げたり、生活をより豊かにしていただく。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 スマートフォンの使い方からアプリの使い方まで幅広く学んでいただけた。 【今後の方針】 参加者はスマホに関する自身の悩みを解決して欲しいため、今後は「スマホ相談室」として通年で相談を受け付ける。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第48回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	244人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 周辺地区同士の交流ができた。 【今後の方針】 今後も引続き実施したい。	
第16回寿地区子連れコンサート	9月2日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	26人	【事業内容】 子育て中の親子を対象に大会議室にてコンサートを実施 【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供	【主催】 192サロン運営委員会 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 バイオリン・ピアノの演奏者による演奏を間近で楽しんだ。 【今後の方針】 人気のため次年度も検討したい。	
第12回寿地区福祉の文化祭	9月13日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	156人	【事業内容】 楽団ケ・セラのコンサートを体育館で実施7つの障がい者福祉施設の利用者と地区住民の交流の場とする。 【ねらい】 障がい者との作品交換を通じてお互いを理解し合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 寿地区社会福祉協議会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 施設同士の交流や、地域住民との交流の場になり、演奏も盛り上がった。 【今後の方針】 次年度も障がい者と住民が交流できるように計画していきたい。	
秋の撮影講座	10月6日	1回	趣味教養	成人	23人	【事業内容】 乗鞍高原にて撮影講座を実施撮影写真を公民館にて展示。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 紅葉の時期を外したため、撮影に苦労した。 【今後の方針】 引続き実施していきたい。	
令和5年度寿地区スポーツフェスティバル	10月15日	1回	地域事業 (体育)	成人	60人	【事業内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会の名称変更と内容を見直し実施 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区スポーツフェスティバル実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 実行委員会で企画、寿スポーツ協会が主に準備、実施	【評価と反省】 参加者を町会から3名選出した。 【今後の方針】 事業内容の見直しが必要。	
秋のバスウォーキング	10月17日	1回	福祉健康	成人	28人	【事業内容】 県内でウォーキングを開催 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と反省】 参加者全員でウォーキングができた。 【今後の方針】 歩く距離が短かったため、1時間以上は歩くよう計画する必要がある。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭協賛事業 「第35回寿地区史跡めぐり」	10月28日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、解説つきで、寿地区の史跡（白川・白姫コース）を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 寿子ども会育成会、寿史談会、寿公民館 【準備過程】 史談会、育成会と連携して企画、実施	【評価と反省】 参加者が少なく、ほぼ役員の勉強会となっている。 【今後の方針】 子ども会育成会と今後の方針について話し合いたい。内容の改善は必須。	
第46回寿地区文化祭	11月5日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	1,250人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及び各団体発表の動画放映を実施 【ねらい】 寿地区における文化向上と、世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【準備過程】 実行員会で企画、公民館、町内公民館長会で準備、実施	【評価と反省】 数年ぶりの体育館でのステージ発表、作品展示や駐車場での出店があり、盛大に開催できた。 【今後の方針】 次年度は準備等の効率化を図り、住民やサークルの参加者の増加を図る。	
クリスマスリース講座	12月11日	1回	趣味教養	成人	5人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、クリスマスリースをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
お正月飾りを作ろう講座	12月25日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、お正月飾りをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
寿地区人権学習講座 「楽団ケ・セラ コンサート」	2月16日	1回	人権平和	成人	40人	【事業内容】 障害を抱えながらも自立を目指す「楽団ケ・セラ」の演奏を聴く。 【ねらい】 コンサートをととして平和や人権について考え、理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会（寿公民館）、寿地区福祉ひろば 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 大会議室でコンサートを行い、大変盛況であった。 【今後の方針】 人気だったため、次年度も実施したい。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
令和5年度公民館利用者懇談会	3月2日	1回	その他	成人	19人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取りを実施 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 懇談会前に行う一斉清掃もあわせ、サークル同士の顔合わせをすることができた。 【今後の方針】 次年度も引続き公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、サークル利用者からの要望や意見を聞いていきたい。	
寿地区ソフトバレーボールリーグ戦	4月～3月	12回	スポーツ	成人	480人	【事業内容】 寿地区内の6町会対抗ソフトバレーボールリーグ戦を実施 【ねらい】 バレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 スポーツを通じた地区内の交流ができた。 【今後の方針】 次年度も理事会で相談しながら開催していきたい。	
寿ナイターソフトボールリーグ戦	5月～9月	24回	スポーツ	成人	288人	【事業内容】 寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 スポーツを通じた地区内の交流ができた。 【今後の方針】 次年度も理事会で相談しながら開催していきたい。	
共幸講座	5月～10月	8回	地域事業 (文化)	成人	105人	【事業内容】 地区内7つの福祉施設と地区住民の交流。 【ねらい】 福祉施設への訪問や利用者との交流により、福祉についての理解を深める。	【運営】 共幸講座実行委員会 【準備段階】 上記実行委員会で企画、実施	【評価と反省】 地域住民が施設を訪問し、施設への関心を深めた。利用者との楽しい交流会が開催できた。事業は寿地区地域づくり協議会福祉部会が引継いだ。 【今後の方針】 福祉部会内で継続したい。	
寿古文書基礎講座	6月～3月	10回	地域文化	成人	72人	【事業内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは寿の幕末のでき事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 参加しづらいお盆の時期は日程から外したい。	
公民館報の発行	隔月	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	70人	【事業内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 引続き、開催したい。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿小学校 にこにこルーム応援隊	通年	28回	その他	家庭教育	3,050人	【事業内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、2時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のように地域住民が出入りしているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 地域住民が児童と交流することができた。寿保育園との交流も8回開催した。 【今後の方針】 学校・保育園と連携し、今後も実施したい。	○
学校応援団事業	通年	30回	地域事業 (その他)	家庭教育	2,166人	【事業内容】 地域と学校が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組む事業。公共施設見学、歴史学習、ミシン学習、田植え体験、農業体験など。 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子どもたちに伝える。またそこに関わる人たちの生きがいづくり、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教える場となった。 【今後の方針】 引続き地域住民と子どもが交流できる場をつくっていきたい。	○
公民館図書コーナーの運営	通年	13回	その他	成人	13人	【事業内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月1回掃除 図書委員で年2回図書入替	【評価と反省】 図書の入れ替えは9月7日は実施、3月6日は大雪のため中止。 【今後の方針】 図書委員の活動内容について、今一度検討したい。	
五部門委員会	通年	24回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	230人	【事業内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けをはかる。	【準備課程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大のため活動は制限されてしまったが、感染対策をして、内容を工夫した上で開催ができた。 【今後の方針】 引続き、企画、運営を行いたい。	

令和5年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿史談会及び視察研修	通年	3回	地域文化	成人	37人	【事業内容】 地区内有志により地区の歴史・文化の保存・活用をはかる団体として活動し定例会と2回の視察研修を実施 【ねらい】 寿地区における歴史文化の活用や保存について考える機会とする。	【主催】 寿史談会 【準備過程】 公民館が事務局となり会議の実施及び視察研修の企画	【評価と反省】 視察研修は中野市を訪問し、歴史について学んだ。 【今後の方針】 役員のなり手がいないため、今年度をもって解散した。	
寿ペンギンの会	通年	2回	子育て	家庭教育	3人	【事業内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による192サロン、PTA作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいづくりを図る。	【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い寿ペンギンの会が実施	【評価と反省】 今年度は1月30日、2月6日に寿保育園にて託児活動が実施された。 【今後の方針】 引続き、依頼に応じて託児活動を行いたい。	
子育て支援192サロン	通年	9回	子育て	家庭教育	143人	【事業内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で、子育て家庭同士がつながり必要な情報を得ることができる支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・食生活改善推進協議会・健康づくり推進員会・福祉ひろば 【協力】 つどいの広場 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 一部講師が体調不良のため中止となった。コロナ対策しながら寿児童センターと協力・情報を共有して集客、内容の充実を図れた。 【今後の方針】 引続き子育ての手助けとなるような講座を企画したい。	
町会別人権懇談会	通年	1回	人権平和	成人	16人	【事業内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を計画(6町会) 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会 町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 赤木町会のみ1月7日に開催 【今後の方針】 引続き、対象町会に対して人権懇談会の場を設けてもらいたい。	
C Sふたむら	通年	51回	地域事業 (その他)	青少年	676人	【事業内容】 筑摩野中学校と寿・芳川地区が協力し、長期休みの公民館開放や地域住民による学習支援を実施 【ねらい】 筑摩野中学校生徒の学力向上や、地域住民との交流を図る。	【運営】 C Sふたむら実行委員会 【準備段階】 上記実行委員会で企画、実施	【評価と反省】 長期休み期間に公民館の一室を自習室として開放しているが、利用者は固定されている。文化祭へのボランティア参加があった。 【今後の方針】 次年度も継続したい。	○

令和5年度 事業報告の概要

寿台公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針】 ・親しみやすく、気軽に来館できる公民館にする。 ・利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする。 ・サークル活動はもとより、文化祭などの全体行事に利用者らが率先して協力できる体制づくりをする。 ・生活課題や地域課題に目を向けて、積極的に学習活動などを行い、地域づくりの拠点となることを目指す。 ・町会連合会をはじめとする地域関係団体や地域づくりセンター・福祉ひろば等地区内行政関係機関との連携を今まで以上に密にとり、地域づくりにおいて公民館事業（主に学習機能）により積極的に支援・参画する。 【地域課題】 ・少子高齢化の深刻化により役員のみでの各種行事運営が困難となっている。 ・一人暮らし高齢者の割合が市内35地区中1番多く、通いの場の創出が必要である。 【重点的に取り組んだ事項等】 ・新型コロナウイルスの影響を脱却し、敬遠されていた食育関連の講座を多く実施することができた。 ・町会連合会が創立50周年を迎え、恒例の各種地区行事を記念行事として盛大に開催した。加えて記念式典や記念祭等活発に行事が開催され、公民館をはじめとする各種地区団体同士が協働・連携して事業を実施した。 ・町会役員等のなり手不足が課題となっている中、町会連合会との共催事業において、地区住民と協働しながら行事を行うことができた。										・役員不足による課題が大きいですが、行事ではコミュニティスクール事業として中学生の主体的な参加・協力があり、スムーズな運営を行うことができた。特に夏祭りでは、屋台の運営や飾り付けなど中学生のアイディアに任せ自由にやってもらった部分が多かったが、楽しんで取り組んでいる様子がうかがえ、地域住民にも好評であった。また、単なるマンパワー的な手伝いではなく、いかに中学生が楽しんでボランティアに参加できるかを考え、新たな要素を取り入れた行事運営をすることができた。 ・引続き、町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を行っていきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	2	13	3	0	7	1	0	0	5	1	0	7	13
延べ 参加人数	76	55	644	26	0	210	50	0	0	644	422	0	573	1192

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月8日	1回	人権平和	成人	16人	人権啓発推進協議会総会開催後に、学習会として「私の歩んだ道 ～差別の中を生きて～」のビデオ上映を実施。	【共催団体】 寿台地区人権啓発推進協議会	誰もが安心して暮らせる地域の実現に向け、地域課題に即した内容で継続していきたい。	
池の平湿原自然観察トレッキング	5月24日	1回	福祉健康	高齢者	20人	高齢で普段遠出できない方を対象に、池の平湿原での自然観察およびウォーキング講座を実施し、健康意識を高めると共に、参加者同士の交流を深める。【環境】	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	トレッキングをしながら池の平湿原の自然環境について学ぶことができた。また、高齢で普段遠出のできない方々に非常に喜ばれ、参加者同士の親睦が図られた。	
寿台町会連合会創立50周年記念球技大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	130人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興、住民相互の親睦と結束をはかる。	【共催団体】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	高齢化により大会形式での実施が難しい競技がある。気軽に体を動かせる要素を増やしていきたい。	
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	6月29日	1回	子育て	青少年	1人	明善小学校校課外授業支援として、1・2年生の川遊び引率・見守り支援。先生以外の大人（地域の方）との関わりを通じて学校以外での社会性を培うと共に、地域への愛着を高める。	【準備過程】 住民ボランティアの募集、学校との連絡・調整 【共催団体】 内田公民館・松原地区公民館	地域住民と小学生の良い交流機会となった。恒例行事となっているため、継続していきたい。	○
夏休みおはなし会スペシャル	8月5日	1回	子育て	青少年	18人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、おはなしサークルによるおはなし会と七夕人形作りを開催。	【共催団体】 寿台図書館 【協力】 図書・視聴覚委員会	本に親しむとともに、普段利用の少ない親子世代が公民館に足を運ぶきっかけとなった。また、松本の七夕の風習について学ぶ機会となった。	
第48回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【事業内容】 軟式野球、バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	4年ぶりの開催となり、地区対抗が困難である競技があった。親睦の機会として活性化できるよう協議していきたい。	
寿台地区防災訓練	9月10日	1回	子育て	青少年	80人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。【防災】	【共催団体】 寿台町会連合会	段ボールベッドの組立訓練補助や片付けを行った。高齢化により訓練への参加が困難となっている町会もあるが、中学生のサポートにより全町会が訓練をすることができた。	○
寿台町会連合会創立50周年記念寿台秋の体育祭	9月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	200人	運動会を通して、楽しく地区住民同士の親睦をはかる。	【共催】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	中学生ボランティア13人の協力により、4年ぶりの体育祭を盛大に開催できた。会場への移動が困難となっている等の課題があるため、規模の縮小・会場の変更を検討していく。	○

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第66回松本市市民スポーツ大会秋季大会	10月8日	1回	地域事業 (体育)	成人	12人	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束をはかる。	【共催】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	選手の人数が揃わず、一部種目が出場できなかった。多くの種目に参加できるよう、通年を通して若い世代を取り込む工夫等を考えたい。	
みんなの中華料理教室	10月11日	1回	趣味教養	高齢者	9人	中国人講師から水餃子作りを学ぶことで多文化理解を深める。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	「男子の厨房」で実施した水餃子作りに参加したかったという女性の意見が多くあり、再度実施した。ほかの料理も開催してほしいと好評であった。	
寿台町会連合会創立50周年記念第47回寿台文化祭	10月22日	1回	地域事業 (文化)	成人	422人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦をはかる場とする。【子育て】	【主管】 寿台文化祭実行委員会	参加者が多く、寿台地区の大きな行事として根付いている。中学生ボランティアの協力によって一部マンネリ化していた部分は新たな取組みを実施し、多くの住民に楽しんでもらえる行事となった。今後も内容を精査しながら継続実施していきたい。	○
寿台秋のウォーキングクイズラリー&ニューススポーツ体験会	11月4日 11月5日	1回	地域事業 (体育)	成人	152人	感染症の影響により外出・運動の機会が減少したことから、密にならず楽しく運動する機会を提供する。	【共催】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	年によって違うニューススポーツ体験会を同時開催し、ボランティアの中学生と一緒に楽しめるように計画したことで、多くの方にご参加いただけた。継続してほしいとの要望も多いため、コースやクイズについて改善しながら来年度も実施したい。	○
音の花束コンサート	11月21日	1回	子育て	青少年	220人	地区の様々な行事に協力してくれた明善中学校の生徒の皆さんに、「楽団ケ・セラ」の音楽を通じて感謝の気持ちをお伝えすると共に、普段学校ではあまりふれる機会がない演奏や話にふれてもらう機会とする。	【共催】 内田公民館・松原地区公民館	明善中学校区3地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○
人権啓発先進地視察研修（田中本家博物館・長野刑務所）	11月27日	1回	人権平和	成人	25人	長野刑務所の視察を通して地域住民の人権意識の向上を図る。	【共催】 寿台地区人権啓発推進協議会	普段立ち入ることのできない刑務所の見学は印象深かったとの感想があった。人権は多岐にわたる問題なので、継続して取り組みたい。	
クリスマスおはなし会スペシャル	12月9日	1回	子育て	青少年	32人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、「こんこん座」によるおはなし会を開催。	【共催】 寿台図書館 【協力】 図書・視聴覚委員会 【準備過程】 チラシ・HPにて周知	子どもたちと地域住民がつながる機会として、文化祭に出展したハンドメイド作家にクリスマスプレゼントの制作を依頼した。好評であったため今後も継続していきたい。	

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ヒンメリ作り講座	12月11日	1回	趣味教養	成人	6人	フィンランドの伝統装飾ヒンメリを作り、異国の文化にふれる。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	近隣の福祉施設「アルプス福祉会コムハウス」の利用者へ講師を依頼。地域と関わる機会が少なかったため感謝していただいた。今後も協働の機会を継続していきたい。	
ライフプランセミナー	12月20日	1回	趣味教養	成人	9人	ゆうちょ銀行松本店の店長を講師に、制度改正を控えるNISAを中心とした投資信託について学ぶ。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知 (近隣郵便局へも設置を依頼)	普段気軽に学ぶ機会が少ない投資信託について学ぶことができ、教養の習得につながった。	
お正月飾りを作ろう！	12月25日	1回	地域文化	成人	6人	しめ縄飾りの作り方を学ぶことで、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	参加者はコツを掴み楽しんで作業を行っていた。地区外からの参加もあり、伝統文化にふれる良い機会となった。	
小学生書き初め教室	1月5日	1回	子育て	青少年	4人	小学校3年生から課題となる書き初めの指導を受け、習字の技術を磨く。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	回覧による周知のタイミングと長期休みが合わず参加人数が少なかったと思われる。周知の方法を工夫し、来年度も開催したい。	
まゆ玉を作ろう！	1月13日	1回	地域文化	青少年	13人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆだまを焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	生地の色付け作業から親子で実施した。それぞれ思い思いのまゆ玉を作っており、親子で伝統文化にふれる良い機会となった。	
明善中学校コミュニティスクール事業 三九郎	1月13日	1回	子育て	青少年	4人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。	【準備過程】 学校へお知らせ配布・受付、町会役員との連絡調整	櫓の作り手が少なくなっている中、中学生ボランティアのおかげで無事に開催することができた。	○
学校サポート ミシン学習支援	1月17日 1月24日	2回	子育て	青少年	6人	小学校から依頼があり、地域のボランティアによる支援を実施。	【準備過程】 ボランティアの募集・連絡調整	小学生にとっては難しい作業も多かったが、楽しんで取組んでいた。また、感染症の影響により減少していた地域住民との交流機会となった。	○
学校サポート 1年生むかし遊び支援	1月23日 1月25日	2回	子育て	青少年	10人	小学校から依頼があり、地域のボランティアによる支援を実施。	【準備過程】 ボランティアの募集・連絡調整	感染症の影響により減少していた地域住民との交流機会となった。	○
やしょうまを作ろう！	2月8日	1回	地域文化	成人	7人	郷土料理の「やしょうま」を作り、信州の食の伝統を伝える機会とする。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	地区外からの参加もあり、食文化を継承する良い機会となった。	

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
学校サポート 待機児童見守りボランティア	2月8日	1回	子育て	青少年	4人	小学校から依頼があり、地域のボランティアによる支援を実施。	【準備過程】 ボランティアの募集・連絡調整	P T A解散の影響もあり地域ボランティアの必要性が増している。今後も依頼に応じて協力していきたい。	○
講演会「リビングウィル【人生会議】ってなに？」	2月9日	1回	福祉健康	高齢者	35人	寿台の高齢化率は市内でも5番目に高い地区であり、老々世帯や独居老人も多いことから、高齢者が必要な知識・情報を総合的に学ぶことを目的とする。	【共催】 寿台福祉協議会・寿台町会連合会	住民参加型の会議として福祉施設の施設長を招いて講演会を実施。今後も地区の課題に即して開催していきたい。	
人権啓発研修会	3月10日	1回	人権平和	成人	35人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて「新春寄席」を開催。	【共催】 寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	楽しく笑って参加者の親睦と融和を図り、差別のない地域づくりの一助となった。	
おやき作り講座	3月19日	1回	趣味教養	成人	9人	郷土料理の「おやき」を作り、信州の食の伝統を伝える機会とする。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	定員を大幅に超える申込みがあり好評だったため、来年度以降も開催していきたい。	
飾り巻き寿司講座	3月27日	1回	趣味教養	成人	10人	飾り巻き寿司の作り方を学び、食文化の振興を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	季節を感じることができ参加者からは別の時期にも実施を希望する声があったため、来年度以降も開催していきたい。	
デジタル講座・中級編	4月～3月	12回	趣味教養	成人	121人	デジカメで撮った写真をそのまま保存しておくのではなく、パソコンを使って補正に挑戦する。また動画撮影機能を用いて動画の撮影・編集を行う。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	撮影会3回、座学9回開催。10年間開催してきた講座だが、今年度をもって終了する。来年度以降は撮影会のみ実施していく予定。	
地域づくり担当職員会議	4月～3月	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	地域づくり推進にむけて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月1回開催。	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館・地域づくり課	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引続き関係職員との会議を継続していきたい。	
やってみよう！包丁研ぎ	5月～3月	11回	趣味教養	成人	46人	定期的に包丁研ぎを行うことにより、技術の習得および通いの場とする。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	今年度新たに始めた講座であり、毎回通ってくれる人が定着し通いの場として機能し始めている。引続き継続していきたい。	
子どもテニス教室	5月～10月	14回	子育て	青少年	222人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室。【スポーツ】	【共催】 寿台スポーツ協会	天候により1回中止。テニスを通じ、寿台テニスクラブ会員と子どもたちの交流にもつながった。今後も継続実施していきたい。	
松本版信州型コミュニティースクール運営委員会	5月～2月	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	50人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内3地区（町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館）・関係団体	引続きコミュニティースクール事業の推進に向けて協議を行ってきたい。	○

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
双葉会軽スポーツ大会	6月 6日 10月25日	2回	スポーツ	高齢者	50人	例年高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い。【福祉健康】	寿台高齢者クラブ連合会双葉会・寿台地区福祉ひろば・体力づくりサポーター	ベタンクによる交流・健康教室を実施。高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。	
寿台町会連合会創立50周年記念寿台夏祭り	7月30日 8月 6日	2回	子育て	青少年	36人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。	【準備過程】 ポスターコンテストの周知・依頼 【共催団体】 寿台町会連合会	準備として御輿制作やポスター展示準備、屋台準備を行い、当日は屋台運営を行った。自ら工夫し積極的に接客に取組む姿が住民に好評だったため、来年度も継続していきたい。	○
中学生への学習スペース開放	7月～8月	16回	子育て	青少年	7人	寿台図書館には学習スペースが無いため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供する。		課題となっている子どもたちの居場所づくりのため、今後も継続していきたい。	○
運営委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	公民館の事業計画案の検討・活動への提言など。		ご提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。	
館報編集委員会	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	64人	松本市公民館報（寿台版）の編集・発行。		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。	
図書視聴覚委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	30人	公民館の図書視聴覚事業への提言、蔵書点検の手伝い、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営。		感染症による影響を受けて以来、初めて計画通りに事業を実施することができた。来年度も継続していきたい。	
文化委員会 （文化祭実行委員会）	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	92人	寿台文化祭の企画・運営。		高齢化のため組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することができた。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。	
体育委員会 （寿台スポーツ協会役員会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	181人	町会連合球技大会、体育祭等の企画・運営。		感染症の影響により中止していた行事が盛大に開催できた。高齢化が進んでいるため、各行事での種目等の見直しを含め、実施について検討していきたい。	
町会連合会支援	通年					・地域づくり推進にむけての支援 ・町会連合会理事会への出席		「地域づくりセンター」と連携し取組んでいきたい。	

令和5年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館支援	通年					各町会の公民館活動の活発化をはかる。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。	
寿台地区人権啓発推進協議会支援	通年					事務局担当。		人権意識啓発のため、引続き実施していきたい。	
その他、諸団体との連携による活動支援	通年					双葉会、子ども会育成会、児童館など。		引続き実施していきたい。	
サークル活動支援	通年					サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。2月利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応。事務室モニターを活用した映像放映。		サークル活動活性化のため、引続き実施していきたい。	
広報活動	通年					「寿台公民館だより」の発行 (毎月1回地区内全戸配布と窓口設置) 地区福祉ひろば・寿台ふれあいセンターへの事業周知ポスター掲示 事務室モニターを活用した事業のようす放映		公民館事業周知のため、引続き実施していきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

松原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 【方針】 松原地区の生涯学習の拠点として、住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を地区の町会連合会、福祉ひろば、地域づくりセンターなどの団体と連携して行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。 【重点的に取り組んだ事項】 ① 共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる ② 生きる力となる学びや、遊びを提供する ③ 学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘 ④ 町内公民館活動の支援 ⑤ 子育ておよびコミュニティスクール事業の充実 ⑥ オンラインコミュニケーションの可能性追求										感染症での制約が明け、4年ぶりの事業実施となったが、地区住民一丸となって、従来の手法にこだわらない新しい形で取り組むことができた。 町内公民館活動は、実施できたのは計5町会であり、地区公民館との共催を含め、町会内の交流が図れるよう支援していきたい。 引続き力を入れている子育て事業については、地区だけでなく学区の子どもたちへも対象を広げることにより、さらに手厚く事業実施ができたものとする。地域で活躍する中学生と地元有志、職員の熱意が相乗効果を生み、松原版こども食堂「松原地区公民館食堂」として新たな視点で包括的な事業を開催することができた。 町会の負担軽減が求められる中、遊びや体験から学びを作り、地域へ還元するという公民館の理念は曲げず継続していきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	10	15	3	1	9	0	1	2	5	1	1	1	13
延べ参加人数	29	296	901	77	38	303	0	32	22	482	241	1000	231	1514

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウォーキング講座 美ヶ原とハヶ岳山麓を 歩こう！	5月9日	1回	福祉健康	成人	6人	新緑のハヶ岳を散策し、運動不足の 解消と地域住民の交流を図る。		デジカメ講座と同日に行うことで、数 少ないバスを利用した研修機会の増加 につなげることができた。 傾斜の緩いコース選定を心掛けた。	
路線バスの旅 城下町と博物館を知ろ う！	5月21日	1回	趣味教養	成人	9人	新設される博物館を含めた「松本ま るごと博物館」に着目し、新たな視 点での街歩きを実施する。	【協力】 松本市はかり資料館 松本市時計博物館	市街地の小さな博物館や松本城で行わ れるイベントの観覧は新鮮であり、趣 味教養の向上へつながった。	
ウォーキング講座 日本最長の宿場町 奈 良井宿を歩こう！	6月1日	1回	福祉健康	成人	20人	歴史的な街並みの中、運動不足の解 消と地域住民の交流を図る。	【共催】 松原地区福祉ひろば	福祉ひろば共催のため、普段公民館へ お越しにならない方の参加が多かつ た。	
ホテル学習会と観察会	6月23日	1回	環境	その他	38人	研究者からホテルや生息環境につい て講義を受け、隣接する内田地区の 塩沢川でホテル観察を行う。	【共催】 内田公民館 【講師】 藤山 静雄	住宅地であるため地区内にはない自然 環境について学習する機会となってい る。また夜間に観察するため、学校教 育の中での実現は難しいことから、今 後も公民館事業として開催していき たい。	○
町会交流スポーツ大会	6月25日	1回	地域事業 (体育)	その他	62人	地区・町会の交流のため実施するス ポーツ大会。 ソフトバレーボール、マレットゴル フ、新卓球、バドミントン、キャッ チバレーの5種目を行う。	【主催】 松原地区スポーツ協会 【共催】 松原スポーツクラブ	感染症による生活スタイルの変化や町 会の負担軽減の観点からオープン参加 としたが、人数が集まらなかった。 事後にアンケートを実施し、球技によ らない健康・交流の機会創出を計画 中。	
歴史学習in飛騨高山	7月11日	1回	趣味教養	成人	28人	城下町・商都として発展した高山市 を地元ガイドに案内してもらい、同 様にして栄えた松本との文化の比較 を行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 高山市シルバー人材センター	遠出をする機会が減っている高齢者を 中心に非常に人気を博していた。 松本にある山車も見に行きたいという 声もいただいた。	
松原いいづら祭	7月29日	1回	地域事業 (その他)	その他	1,000人	地区をあげての夏祭り。住民相互の コミュニケーション創出を目的とす る。各町会・専門部・有志の出店、 お楽しみ抽選、アトラクション等。	【主催】 松原地区町会連合会	4年ぶりの開催となり困惑する場面も あったが、事後マニュアル化すること もできた。担い手不足も表面化してき ている中で、今年度から中学生に主体 的に出店を協力いただき好評であった ことから継続していきたい。	○

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子どものための健康食 事講座 よく噛むを考えよう	8月2日	1回	子育て	青少年	12人	松原地区の健康課題である食事の速さについて、噛み応えのあるグミ作りを通して考える。	【共催】 松原地区町会連合会	「飲み込む前にあと5回」を合言葉に、楽しく健康について学習することができた。	○
収穫祭～夏～ 野菜たっぷりカレーを 作ろう！	8月4日	1回	子育て	青少年	13人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。 収穫後の野菜を使って、カレーの調理方法を学習する。	【共催】 松原地区町会連合会 松原食生活改善推進協議会	野菜を育てる大変さを学び、フードロスへも前向きに取り組む姿勢が伺えた。 調理台の高さ等、小学生低学年へは配慮を要すると感じた。	○
夏休み子ども自然体験 会	8月8日	1回	子育て	青少年	18人	夏休みの小学生を対象に、地区内では体験できない自然を訪れ、学習する。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 アルプスリゾート整備本部	職員及び関係課の協力により、保護者の参加なしで実施できた。参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のニーズが高かったことが分かったことから、継続して実施したい。	○
東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	その他	150人	バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技・6地区対抗により、他地区住民との親睦を図る。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会	競技によっては地区内でチームを組むことができない課題が挙げられたため、地区対抗と親睦のどちらを主題とするか検討していきたい。	
Let's アクティ ブ・ライフ！ ～スマホで健康管理～	9月5日	1回	福祉健康	高齢者	6人	デジタルツールを活用したコミュニティをつくり、健康管理を行う。	【共催】 松原地区福祉ひろば 【協力】 高齢福祉課	講座時には利便性を感じることができていたが、デジタルへのハードルがやや高く継続性に欠けていた。	
MEGURY体験イベ ント 松原ウォーク	9月23日	1回	福祉健康	その他	18人	MEGURY（デジタルスタンプラリー）を活用したウォーキングを行い、健康増進と地区内の見どころの再発見を行う。	【共催】 松原地区体力づくりサポーター 松原地区町会連合会 松原食生活改善推進協議会	歩くことで普段目に入らない地区内の資源を再発見できた。隣接する地区との共催で相互作用が期待できると考える。	
歴史学習in上田城下町	10月2日	1回	趣味教養	成人	7人	上田城下町を地元ガイドに案内してもらい、歴史への教養を深める。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 上田地域シルバー人材センター	ガイドの解説があると理解が深まるとの声があった。寺社仏閣への興味が高いため、継続して実施していきたい。	
オンデマンドバス利用 体験会	10月3日	1回	その他	高齢者	3人	寿・寿台・松原で実証運行される「のるーと松本」の利用体験会を行い、新たな移動手段の活用を促進する。	【主催】 松原地区町会連合会	新しい施策及びデジタルツールへは、公民館の関与が必要不可欠であると感じた。	

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
アルプスびのマンドリーノ10周年記念コンサート	10月4日	1回	趣味教養	その他	70人	公民館講座からサークル化したマンドリンサークルの支援について館を挙げて実施する。	【主催】 アルプスびのマンドリーノ	当サークルに限らず、公民館を利用する活動の支援を行っていきたい。	
町会対抗ウルトラゲーム大会	10月22日	1回	地域事業 (体育)	その他	200人	ゲーム感覚で健康づくり・体力づくりを行うとともに、地区住民相互の親睦を図る目的で実施する。	【主催】 松原地区町会連合会	中学生の運営参加もあり、世代間交流の機会創出となった。一方、会場設営等の負担が多いことから内容の刷新が求められる。	○
収穫祭～秋～ 焼き芋大会	10月25日	1回	子育て	青少年	50人	公民館の畑及び地元の方からいただいたさつまいもを使って焼き芋を行う。	【共催】 松原地区町会連合会	放課後の居場所としてとても賑わった。 参観日等、下校時刻の早い際には同様の事業展開をしていきたい。	○
時計台イルミネーション／コンサート	11月11日	1回	趣味教養	その他	60人	松原ショッピングモールにある時計台の修復やモールを通した地域活性化の支援を行う。11月からイルミネーションで装飾し、時計台前でコンサートを実施する。	【主催】 松原モールばろじえくと	恒例となったイルミネーションイベントでは、設置作業を地元住民と協力して実施することができ、地域の賑わいを創出することができた。	
秋の料理講習会 ～フレイル予防編～	11月15日	1回	趣味教養	成人	7人	食を学び、食生活の見直しや生活習慣病予防に役立てるとともに、交流・仲間づくりを図る。	【主催】 松原食生活改善推進協議会	普段料理を行わない男性や独居で料理機会の減っている方の参加もあり、テーマに沿った講座となった。	
晩秋の小布施ウォーキング	11月20日	1回	福祉健康	成人	26人	秋で色づく小布施の街並みを散策し、運動不足の解消と地域住民の交流を図る。	【共催】 松原地区福祉ひろば	福祉ひろば共催のため、普段公民館へお越しにならない方の参加が多かった。平坦なコースではあったが、体力差が目立つ結果となってしまった。	
平和を学ぼう！in山梨	12月7日	1回	人権平和	成人	14人	浅川伯教・巧兄弟資料館、ポール・ラッシュ記念館を訪問し、国境を超えて尽力した先人の足跡をたどる。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	回覧がされていない町会があったため、効果的な周知方法を検討する。	
しめ縄づくり	12月9日	1回	地域文化	その他	17人	伝統文化である“しめ縄づくり”を通じて、文化の継承、環境や暮らしという視点の育成とともに、高齢者・親世代・子どもたちの顔の見える関係づくりを図る。	【共催】 松原地区子ども会育成会 【講師】 小池 春隆	子ども会育成会と共催としているが、役員の子どもの参加がほとんどなく、周知の仕方や共催のあり方を検討していく必要がある。	

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
路線バスの旅 松本市 イルミネーション 2023ー2024／新博物館 見学会	12月20日	1回	福祉健康	成人	10人	松本城プロジェクションマッピング、新博物館の見学を通じて、松本市の文化観光瀬策を学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 博物館 観光プロモーション課	夜の市街地を歩く機会が少ないため、新鮮な取組みとなった。自由解散としたが、バスの本数が少なかったこともありタイムスケジュールが必要と感じた。	
収穫祭～冬～ 焼き立てパンを味わおう！	12月26日	1回	子育て	青少年	15人	公民館の畑及び地元の方からいただいた野菜を使ってパン作りを行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 柳澤 早苗	地域の講師が教える料理の楽しさを通じて、学年を超えた子どもたちの交流が生まれた。	○
新春！書初め大会	1月4日	1回	子育て	青少年	17人	冬休みの宿題の書初めを書道の先生に教わりながら仕上げる。 地域の中の達人の存在を知るきっかけとする。	【講師】 市ノ瀬 進	参加した子どもたちは集中して取り組み、積極的に先生に質問するなど活発な姿が見られた。	
ニューススポーツ体験会	1月28日	1回	地域事業 (体育)	その他	20人	ゲーム感覚の軽スポーツを通じた健康づくり、さらに、参加者間の交流と絆づくりや健康状態の確認と記録の機会とする。	【共催】 松原地区スポーツ協会 松原地区体力づくりサポーター	ポッチャ、モルック、囲碁ボールの3種目を実施したが、年代性別に関わらず参加者同士が同じ競技に参加することができた。	
伝統文化学習会 節分を楽しもう！	2月3日	1回	子育て	青少年	9人	恵方巻づくりと豆まきを通じて、楽しく伝統文化を学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	節分のあらましについて楽しく学ぶことができた。 保健師の協力もあり、「飲み込む前にあと5回」を合言葉に、健康な食事についても学習することができた。	○
旧三信鉄道で行く 冬の天竜峡	2月5日	1回	人権平和	成人	15人	朝鮮人が過酷な労働条件と差別により苦しみながら完工した旧三信鉄道（飯田線）を乗車・見学し、平和への意識啓発を図る。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	大雪警報に伴い、満蒙開拓平和記念館へ行先変更。	
レッツ手づくり バレンタインスイーツ を作ろう！	2月10日	1回	子育て	青少年	16人	手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会	過去最多となる参加者が訪れ、お菓子作りのニーズを感じた。 冷やす・固めるといった待ち時間のかからないメニューの選定が難しかった。	
のーと松本乗車クーポン 付き説明会	2月14日	1回	その他	その他	19人	寿・寿台・松原で実証運行される「のーと松本」の利用体験会を乗車券付きで行い、新たな移動手段の活用をさらに促進する。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 公共交通課	金額面を一部補助することで、市の交通施策を前向きに理解していただくことができた。	

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自然派ワイン教室	2月26日	1回	趣味教養	成人	15人	ワインの作り方から味わい方について、ご縁のあるソムリエを招き試飲会を行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 カーヴ・ド・ユニソン	ワインに対する趣味教養の向上はもちろん、飲酒によりにぎやかな会話が生まれた。	
世界遺産 忍野八海を 体感しよう！	3月6日	中止	趣味教養	成人	0人	富士山麓の湧水池を体感し、水のきれいな松本の街並みへの理解を深める。	【共催】 松原地区町会連合会	大雪警報の発令により中止。	
中学生が教える！春休み 小学生卓球教室	3月22日	1回	子育て	青少年	26人	明善中学校の卓球部員が講師を務める。小学生と中学生が卓球を通じた楽しみや学びを共有するとともに、地区住民との三者間交流の機会を提供する。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 明善中学校 卓球部	中学生たちが事前に予行演習を行い準備をしていたこともあり、小学生は楽しく卓球教室を体験することができた。	○
春休み子ども研修会	3月25日	1回	子育て	青少年	33人	春休みの子どもたちを対象に飯田市を訪問し、天竜峡が織りなす景色・文化を学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	子どもの興味が移ろいやすいため、訪問先の工夫が必要であった。バス利用のルール・マナーの徹底が図れた。	○
仕上りをイメージしてシャッターを切ろう！ -カメラマンから学ぶ写真撮影-	春5回 秋5回	10回	趣味教養	成人	107人	デジカメ操作の基本、写真の撮り方等を学ぶとともに、現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う目的で実施。	【講師】 En1. 2. 3（エンカウント） 市川 まど香	参加者が意欲的に活動しており、作風にも現れている。撮影会後の座学ではそれぞれの作品を発表し合い、作品がより良くなるアドバイスをもらったりと、参加者にも刺激となった。	
野溝箒を育てて作ろう！	5月～10月	7回	地域文化	成人	43人	芳川地区の伝統産業である野溝箒を、畑で育て、収穫・作成まで一連で行うことで、地域文化を学習する。	【講師】 野溝箒振興会	芳川地区との交流が生まれ、東南ブロックの一体感がより強固なものとなった。地区内で畑がなく、除草作業に疲弊してしまった。	
スポーツ体験会	6月 4日 6月11日 6月18日	3回	地域事業 (体育)	その他	50人	町会交流スポーツ大会へ向けての講習と、生涯スポーツの実践。ソフトバレーボール、バドミントン、新卓球、キャッチバレーの4種目。	【主催】 松原地区スポーツ協会 【講師】 松原スポーツクラブ	昨年度の課題であった周知は徹底されたが、参加者数はふるわなかった。町会交流スポーツ大会の在り方とともに研究していく。	
やさしいヒップホップ	7月 1日 7月 8日 7月15日 7月22日	4回	子育て	青少年	63人	近年人気が高まっているヒップホップを通して、子どもたちが身体を動かし自己表現できる機会を身近な公民館で創出する。	【講師】 小林 美穂	いいづら祭での発表会をきっかけとして松原地区住民にもダンスの楽しさを周知できた。	

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
伝統文化学習会 青山様・ぼんぼんと七夕人形	7月19日 7月28日	2回	地域文化	成人	17人	松本地域に伝わる青山様・ぼんぼんの歴史や松本市街地での風習を学ぶ。また、七夕飾りについても学習し、実践する。	【講師】 ベラミ人形店 【協力】 博物館	松本の伝統行事の起源や各地域での違いなどについて学んだ。子どもたちに伝統行事の大切さを伝えてくれることを期待します。	
夏休み子ども学習室	7月24日 ～8月18日	16回	子育て	青少年	128人	休み期間の子どもの居場所づくりとするため。また、普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとする。	令和元年度より実施	今年度も学習だけでなく遊びの場としても利用されており、夏休みの子どもたちの居場所づくりとして貢献できた。使い方やマナーの徹底を明確に設定し、伝えられるようにしたい。	
ラジオ体操旬間	8月1日 ～8月10日	7回	子育て	青少年	501人	P T A活動が休止となったため、公民館事業としてラジオ体操を開催。休暇中の規則正しい生活を促す。	【共催】 松原地区町会連合会	多くの子どもたちが訪れ、結果として三世代交流へも結びついた。小学校と綿密な打合せのうえ、ラジオ体操カードを事前に配る等、対応していきたい。	
認知症支え合い講座	9月30日 11月18日 1月20日	3回	福祉健康	その他	79人	地区内でも認知症患者や介護をする人が増えてきていることから、認知症の症例や予防法について専門家から学ぶ。また、認知症当事者や支える人から実体験を伺う。	【協力】 南東部包括支援センター	普段公民館講座に参加しない方の参加も見受けられ、アンケート結果も好評だった。一方、前年度と内容が似ていたことも指摘されたため、マンネリ化を避けつつ、定期的な学習機会の創出が大切だと感じた。	
松原地区文化祭・ひろば祭り	10月27日 10月28日	2回	地域事業 (文化)	その他	241人	地区の日頃の文化活動・学習活動の成果の発表機会とする。また、成果の発表を通して今後の交流・コミュニケーションのきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会 松原地区福祉ひろば	感染症を経て、サークル活動が低調となったこともあり、出展数及びステージ数が減少となった。養護学校・ろう学校の協力も得て、見ごたえのある展示となった。	
楽々ボディメンテ	11月15日 11月29日 12月 8日	3回	福祉健康	成人	31人	地区住民の運動欲求に応えるため、筋肉の収縮する冬前に柔軟とストレッチを行う。	【共催】 松原地区福祉ひろば 【講師】 加藤 百合子	女性を中心に非常に多くの方が参加された。公民館の利用状況を鑑みて継続的に実施していきたい。	
人権ポスター展in松原	1月17日 ～1月31日		人権平和	その他		アカデミア館で掲出されていた人権ポスターを地区公民館へ掲示し、人権平和への理解を深める。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	小・中学生の面力の高さもあり、足を止めて鑑賞する方が多くいた。	
防災講座 学び直しの地震の備え	3月 8日 3月12日	2回	防災	その他	32人	新年早々に能登半島地震が起きたことから、改めて災害対策について学ぶ。	【講師】 宮澤 信 【協力】 危機管理課	地区在住の有識者や実際に能登半島の現場を視察した危機管理課の方のお話を伺い、自助の重要性を再認識した。	

令和5年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春休み子ども学習室	3月18日 ～3月29日		子育て	青少年		休み期間の子どもの居場所づくりと するため。また、普段公民館を利用 しない子どもに公民館を身近に感じ てもらい、今後の公民館講座等に参 加しやすくなるきっかけとする。	今年度より実施	夏休みに好評であったことから、春休 み期間にも実施。子どもたちの居場所 づくりとして貢献できた。	
松原地区公民館食堂	8月10日 3月18日 3月28日	3回	福祉健康	その他	100人	松原いづら祭での売上金の一部を 利用し、地元有志の協力のもと、給 食のない長期休暇時の栄養補給を目 的に実施。	【共催】 松原地区町会連合会	口コミを中心に、徐々に子どもだけ でない参加者が増加しており、三世 代交流へつながった。作り手・食材 の提供等、持続可能性を高めてい きたい。	○
運動習慣啓発 ラジオ 体操	通年 (月曜日・ 木曜日)		福祉健康	その他		日頃の運動不足解消として、屋外 でのラジオ体操を週2回行う。	【共催】 松原地区福祉ひろば	年間を通して実施でき、地域の方 の中で習慣化することができた。今 後も継続して実施していきたい。	
ほっとスペース松原	通年 (木曜日)		子育て	青少年		不登校児童・生徒の学校と家以外 の第三の居場所を提供する。	【共催】 学校教育課 あるがキッズ支援室	通常は学校へ通っていない子ども に対してC Sで関わる機会はない が、スペースの開設を通して機会 の提供ができた。	○
公民館委員会	通年	20回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	231人	松本市公民館条例施行規則第8条 に基づき、地区の実情に合わせた 委員会活動を実施。	【主催・共催】 松原地区町会連合会 松原地区文化広報委員会 松原地区スポーツ協会	委員による活発な議論が生まれて いる。町会の負担軽減とコミュニ ケーションのバランスが取れた運 営を行っていききたい。	

令和5年度 事業報告の概要

岡田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・コロナ禍の閉塞感から脱却し、地区住民の学びの場を確保する。 ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティ構築の推進を図る。特に地区の三大事業である夏まつり、球技大会、新春サークル発表会については、コロナ禍において中止・縮小されていたことから、新型コロナウイルス感染対策も講じつつ、内容変更等も念頭に再開する方策を探る。 ・地区内の学校（岡田小学校、女鳥羽中学校）と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。 ・地区関係団体等と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。 ・公民館委員は町会持ち回り選出の委員も多く、積極性に欠ける面がある。地域の各種団体も含め、地域づくりの根幹を担っているという意識を持ってもらい、自主的・主体的に事業に取り組むことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要がある。										・新型コロナウイルス感染症の分類が5月に5類感染症へと移行したため、感染防止を図りつつも事業の再開・実施に注力した。住民が集い、学び、語り合うという原点に立ち戻り事業の構築を行った。特に地区の三大事業を4年ぶりに全て実施できたことは大きな成果である。 ・コミュニティスクール事業についてはコロナ禍を経て縮小、廃止となった事業があり、学校との連携が薄くなった印象がある。 ・市担当課等との共催でいくつかの新規事業を実施し新たな学びの場を提供することができた。 ・コロナ禍を経て公民館委員の参画意識がさらに低下した一面があり、自主的な参画を図る工夫がより一層必要となった。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	6	4	0	1	0	1	3	1	1	1	1	1
延べ 参加人数	29	82	217	254	0	7	0	70	713	150	210	1200	300	670

令和5年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
植林&駒打ち体験	4月16日	1回	地域文化	青少年	57人	地域の子どもたちが、植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出することを目的に、岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施したものの。	子ども会育成会 岡田財産区	地区の財産である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土、伝統文化を学習する機会を提供することができた。地区の自然を生かした体験型事業であり、伝統文化（三九郎）の継承にもつながるため、継続実施していく予定。	
おかだ七夕会	7月1日	1回	地域文化	青少年	42人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施したものの。	図書委員 児童センター	コロナ禍を経て4年ぶりに開催。児童センター利用者だけでなく、その他の地区住民（親子）の参加も見られた。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの自主精神の醸成も図ることができた。	
おかだ夏まつり	7月29日	1回	地域事業 (その他)	その他	1,200人	岡田地区で活動している地区関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図ることを目的に、夏まつりを開催したものの。	夏まつり実行委員会	コロナ禍を経て4年ぶりに大規模開催。岡田地区を代表するメインイベントであり、町会による出店、花火の打上げ等、地域の子どもから大人まで大勢が参加し盛大に行われた。その結果、地域の連帯感を深めることができた。運営費の大部分を占める協力券の売上げについては、年々減少傾向であることから、運営面での工夫や新たなスポンサーの掘り起こし等、財源確保策について、引続き検討していく必要がある。	
自然体験キャンプ	8月8日 8月9日	1回	子育て	青少年	51人	芥子坊主農村公園でキャンプ地の設営から薪集め、自炊等、野外活動を体験することを通して、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付けることを目的に、1泊2日のキャンプを実施したものの。	子ども会育成会	コロナ禍を経て4年ぶりに開催。多くの申込みがあり、再開を喜ぶ声が聞かれた。高学年児童をチームリーダーとして、キャンプ設営、夕飯作り（カレー）、花火大会を行い集団生活の中で社会性を身に付けることができた。	
川で遊ぼう	8月26日	1回	子育て	青少年	66人	地元の自然を活用した自然体験活動として、女鳥羽川で魚のつかみ取りを行い、実際に焼いて食べる事業を実施したものの。	子ども会育成会	普段の生活の中では、体験することができない魚のつかみ取りは参加者に好評であること、また、地域の自然風土について親子で学習する機会を提供することができる事業のため、次年度も継続実施予定。	
町内公民館親睦球技大会	9月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	スポーツによる地域住民の生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に、軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの5種目による球技大会を町会対抗形式で開催したものの。	地区町内公民館長会 地区スポーツ協会 地区町会連合会	コロナ禍を経て4年ぶりに開催。多数の地域住民が参加し、交流や健康増進を図ることができた。年々参加者が減少しチーム編成が困難になっているとの声があり、町会対抗形式は残しつつ、合同（混成）チームとして個人単位の出場も認めることとした。	

令和5年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子なぞときウォーク ラリー	10月15日	1回	地域文化	その他	66人	岡田地区やその周辺の名所旧跡に チェックポイントを配置し、親子ま たは子ども同士でウォーキングを行 い、楽しみながら地域について学習 したもの。	子ども会育成会	地区内在住者でも知らない歴史や名所 旧跡を親子でウォーキングしながら学 習することができる、例年人気の事業 である。地域について学習できる貴重 な機会であることから、次年度も継続 実施予定。	
親子で学ぼう性教育講 座	10月30日	1回	子育て	家庭教育	12人	子育て支援の一環として、主に小学 生の保護者を対象に、性や子どもと の接し方、性暴力防止等について学 習したもの。	福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施 した講座。参加者からは高評価であっ たが参加人数が少なかったため、周知 方法を検討するなどして次年度以降も 継続実施したい。	
おかだクリスマス会	12月9日	1回	地域文化	青少年	89人	地域子ども文庫活動として、読み聞 かせや演劇鑑賞を行い、子どもたち の豊かな心の育成を図ることを目的 に実施したもの。	図書委員 児童センター	コロナ禍を経て4年ぶりに開催。児童 センター利用者だけでなく、その他の 地区住民（親子）の参加も見られた。 参加児童が司会を務めるなど企画運営 に携わっており、子どもたちの自主精 神の醸成も図ることができた。	
スマホちょこっと相談 会	12月16日 12月18日	2回	その他	その他	16人	デジタルディバイド解消のため、ス マホの使い方について、画一的な内 容の講座形式ではなく、各個人の疑 問を解決するための相談会として開 催したもの。同時に学生との交流を 図り地区の活性化を図ったもの。	信州大学生有志 松商学園高校生有志	参加者が少なかったためほぼマンツ ーマンの相談会となり、結果的に参加者 には好評であった。デジタルディバ イド解消は継続している課題であるこ とから、今後はニーズに合わせた事業実 施を検討したい。	
ハタチの記念撮影	1月7日	1回	その他	成人	27人	同級生と交流できる機会を通じて、 地域への愛着心や帰郷意識の醸成を 目的に、岡田地区出身の二十歳の者 を対象とする記念撮影を実施したも の。	町会連合会 子ども会育成会	総合体育館で行う市「ハタチの記念式 典」の前に岡田地区出身者で記念撮影 できることが特徴であり、参加者同士 の旧交を温める場となっている。公民 館報にも写真と記事を掲載するなど、 地域としてこれからの時代を担う若者 の新たな門出を祝う貴重な機会となっ ているため、今後も継続実施していく 予定。	
新春サークル発表会	2月3日 2月4日	1回	地域事業 (文化)	その他	210人	地域の生涯学習活動の推進を図るこ とを目的として、主に岡田公民館、 町内公民館、旧農林漁業体験実習館 を拠点に活動しているサークルに関 する活動成果の発表会と作品展示会 を開催したもの。	文化委員 町内公民館長会 福祉ひろば 公民館利用団体 旧農林漁業体験実習館利用団体	コロナ禍を経て4年ぶりに大規模開 催。作品展示のほかステージ発表も開 催し賑やかな内容となった。また、地 域包括支援センターによる「認知症相 談会」、健康づくり推進員による「健 康チェックコーナー」など、地域住民 や関係団体のつながりを重視した取り 組みも実施し好評であったことから、 来年度も多くの方が参加できるよ う、発展させた内容としていきたい。	

令和5年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
防災訓練	3月3日	1回	防災	成人	70人	地区住民の自主防災意識の向上を図ることを目的に、防災物品（段ボールベッド、パーテーション、簡易トイレ等）の組立体験を実施したものの。	岡田地区自主防災連合会	災害対応については継続的な訓練が重要なことから、毎年テーマを設定し、今後も継続実施したい。	
コーヒー講座	3月22日	1回	趣味教養	その他	7人	趣味教養に係る講座を実施することにより、共通の趣味をもった住民同士のつながりの構築を図るとともに、学生との交流により地区の活性化を図るもの。	信州大学サークル 市地域づくり課	初対面の参加者同士もテーマに関して積極的に意見交換を行う姿が見られ、交流を図ることができた。参加者の評価も高かったため、次年度以降もニーズを踏まえた事業を実施したい。	
あかちゃんのタッチケア講座	5月 8日 11月13日	2回	子育て	家庭教育	22人	子育て支援の一環としてスキンシップの方法を学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施したものの。	福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で、参加者から高評価を得ることができた。また、参加者と保健師・福祉ひろば職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながったため、意図した成果も得られた。子育て世代のニーズ把握を行いながら、次年度以降も継続実施したい。	
自然と歴史に親しむ講座	6月 1日 6月23日 9月22日	3回	福祉健康	成人	40人	岡田地区及び近隣の自然、歴史について学習する講座。地域への郷土愛を育むとともに住民の生きがいづくりを目的に実施したものの。 ①上高地 ②岡田宿 ③旧野麦街道		地域住民の健康増進と自然・歴史学習を目的にウォーキングを兼ねて実施した。地域づくりの基盤である人と人とのつながりを構築するとともに地域学習による教養の向上を図ることもできた。地域住民の地域学習及び健康づくりの推進が期待できることから次年度以降も継続予定。	
離乳食講座	7月4日 2月6日	2回	子育て	家庭教育	12人	子育て支援の一環として離乳食について学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施したものの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で、参加者から高評価を得ることができた。また、参加者と保健師・福祉ひろば職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながったため、意図した成果も得られた。子育て世代のニーズ把握を行いながら、次年度以降も継続実施したい。	
学習スペース開放	8月1日 ～8月4日 3月21日 ～3月29日	11回	子育て	青少年	54人	小中学校の長期休業に合わせ、学習スペースとして公民館の会議室を開放するとともに、希望者には地区住民有志等による学習支援を実施したものの。	地区住民有志 信州大学生有志 松商学園高校生有志	参加者及びその保護者からは好評であったが参加者は少なかった。ニーズや支援方法等を検討し、今後も継続実施したい。	

令和5年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
健康づくり講座	9月 5日 1月18日	2回	福祉健康	成人	42人	健康づくり推進のために以下の講座を実施したもの。 ①口腔ケアと健康づくり（災害時の口腔ケアを含む） 講師：歯科医師 ②フレイル予防と健康づくり 講師：健康運動指導士	地区健康づくり推進委員会	住民の関心の高い健康維持、増進について、それぞれのテーマから内容と実践方法を学ぶことができた。体験メニューもあり参加者が自分事としてとらえることができた。また、参加者同士の交流も図ることができた。 次年度以降もテーマを検討し実施したい。	
人権学習会	11月28日 3月25日	2回	人権平和	その他	29人	人権学習・啓発を行ったもの。 ①視察研修 JICA駒ヶ根、日本聴導犬協会を視察・研修し、国際協力・多文化理解や障がい者福祉について学習したもの。 ②座談会 松本連隊（旧陸軍歩兵第五十連隊）について知ること及び後世へ記憶の継承を目的に開催したもの。	地区人権啓発推進協議会	①JICAの概要や青年海外協力隊員の体験談を聞くことにより国際理解を深めるとともに、介助犬や聴導犬についての実演を通して障がい者福祉への理解を深めることができた。 ②連隊について、参加者が見聞した内容を語り聞く機会とし、記憶を風化させないための取り組みを行うことができた。 次年度もテーマを検討し、引き続き地区住民への人権啓発に努めたい。	
コミュニティスクール事業（岡田小学校）	通年	2回	その他	青少年	670人	学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てていくことを目的に以下の事業を実施するもの。 ①小学校縦割り班遠足の安全指導及び見守り。参加者は370名。（10月13日実施） ②中学校強歩大会の安全指導及び見守り：参加者数は300名。（10月19日実施） ③中学校読み聞かせ（中止） ④小学校読み聞かせ（中止）	岡田小学校 女鳥羽中学校	コロナ禍により中止、縮小された事業がそのまま廃止になったものがあり、残念な一面もあった。 小・中学校での読み聞かせについては、地域の子どもの豊かな心を育むため、次年度以降は復活を目指したい。 小・中学校行事に付随する講師や見守りのボランティア人材の確保については、要請に応じて地域の有識者や有志に依頼する方針で臨みたい。	○
5部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	300人	公民館事業への協力を依頼し、事業への主体的な参加を促すため開催したもの。		各委員とも、町会推薦による選任がほとんどであるが、参加意識の低い委員や事業実施に後ろ向きな委員もあり対応に苦慮している。2年任期で改選される委員が多いことから、年度当初に開催する運営委員会等で、改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、個別の会議等でも継続的に意識啓発を実施していくこととした。	

令和5年度 事業報告の概要

入山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 【取組方針】 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、大人と子どもが共に学べる講座を展開し、公民館利用者のすそ野を広げる。 ・「学ぶ」「集う」「繋げる」を実現するために、地域住民が気軽に集える場、仲間づくりの場づくりに積極的に取り組む。 ・地域の課題把握、解決に向けた学習機会を提供し、地域住民による主体的な地域づくりを推進するための支援を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が制限される中、安易に中止にするのではなく、「どうすれば実施できるか」を地域住民とともに考え、事業展開していく。										・昨年に比べ、新型コロナウイルス対策をきちんと講じたうえで、事業の実施ができた。その背景として、取組方針に掲げている「どのようにすれば開催できるか」に焦点を当て事業の企画検討を進めることができたことがいえる。特に主要行事の一つである、第44回入山辺地区文化祭が開催できたことは非常によかった。ステージ発表をなくし、やや規模を縮小したものの、3年ぶりに開催し、多くの方にご来場いただいた。お年寄りから子どもたちまで幅広い世代の方にお越しいただき、住民同士のふれあいや交流が生まれ、地区に活気があふれていた。また、公民館講座は予定以上に実施することができ、地区住民からは、「公民館でみんなと会えるのが楽しい」と喜ぶ声も多く聞かれた。コロナ禍における公民館の必要性を認識するとともに、住民の身近な存在となれるよう、公民館の存在意義を改めて見つめ直す機会としたい。 ・令和3年度に公民館講座に関わるアンケートを実施。調査の結果、スマホの使い方がわからないという声が多数寄せられたため、昨年に引き続き参加者のレベルに合わせた3回連続のスマホ講座を開催。今年は内容を少し変え、大人数に授業形式で行うものではなく、講座の人数を少人数にし、個人のわからないことを手厚く教える講座とした。参加者からは非常に好評で、講座の継続を希望される方が多かった。次年度もスマホ講座を開催し、住民ニーズの高い講座を中心に企画していきたい。 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、魚のつかみ体験や、シイタケのコマ打ち体験等の子どもを対象とした事業を積極的に行った。子どもが集まれば、その親御様、祖父母等も集まり、地域に活気が生まれる。次年度は引き続き子ども向けの事業の推進を図るとともに、新型コロナウイルスで中止となっていた「親子ひろば」「入山辺通学合宿」などの主要事業も再開させたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	1	5	5	1	12	3	0	0	3	3	1	9	3
延べ 参加人数	27	36	477	70	400	406	36	0	0	200	955	63	712	309

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第20回山辺の郷健康 ウォークラリー大会	4月15日	中止	地域文化	その他	0人	【内容】 ・自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 ・子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 (入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺健康づくり推進員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館)	【評価と反省】 ・雨天のため中止。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
山辺小学校草刈り	5月20日	1回	地域事業 (その他)	成人	63人	【内容】 ・山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 ・山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会 (里山辺、入山辺) 里山辺公民館	【評価と反省】 ・里・入山辺の町内公民館長会で協力し、エリアごと分担を決め、スムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	○
山菜を楽しむ日	5月26日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・地元の山へ行き、山菜狩りをする。 【ねらい】 ・健康促進と地域住民の交流を図る。	福祉ひろば	【評価と反省】 ・山菜の生態を学び、知識向上を図るとともに、山菜を目指し山道を歩くことで、健康増進を図り、地域住民の相互交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
町会対抗球技大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	160人	【内容】 ・男性はソフトボール、女性はソフトバレーボール 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・ソフトボールは山辺小学校のグラウンド、山辺運動広場にて4年ぶりの実施。ソフトバレーは山辺小学校の体育館にて実施した。地区住民の親睦が図られ、健康増進につながった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
文化委員会(町内公民館長会) 視察研修	6月24日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 ・牛伏川フランス式階段工(内田地区)、四賀化石館(四賀地区)の見学 【ねらい】 ・文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会(町内公民館長会)	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権啓発推進協議会総会	7月6日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	31人	【内容】 ・事業計画、予算の審議、中信教育事務所出前講座「いちから学ぶ性の多様性」～みんなが幸せに生きるダイバーシティをめざして～ 【ねらい】 ・性の多様性について正しく理解し、すべての人々が幸せに生活ができる地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・中信教育事務所職員による出前講座を実施。性の多様性について正しく理解をするためのとても貴重な機会となった。 【今後の方針】 ・内容を変えながら継続開催していきたい。	
ひろばまつり	7月8日	1回	地域事業(文化)	成人	105人	【内容】 ・ひろばサークル活動紹介、発表会、作品展示等。 【ねらい】 ・住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため、公民館講堂へ会場変更した。ひろばサークルを多くの人に知ってもらう機会となり、同時に多くの人が集い、交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
スポーツ協会東山部ブロック親睦大会	7月9日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロック（入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀）5地区の親睦を目的に岡田でグラウンドゴルフを開催する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・雨天中止 【今後の方針】 ・継続開催	
ウォーキング講座 「ハケ岳山麓！自然を感じて楽しく歩こう！」	7月15日	1回	趣味教養	その他	24人	【内容】 ・ハケ岳山麓にある白駒池周辺をウォーキングし、花や植物を楽しむ。 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・2つのコース設定を行ったことで、参加者の体力に応じた対応をすることができた。白駒池周辺の自然を観察しながら参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・場所を変えて継続開催していきたい。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第33回親子ひろば	7月29日	1回	地域事業 (文化)	青少年	350人	【内容】 ・地区の夏祭り。竹の水鉄砲作り、ニジマスのつかみ取り、スライムづくり、綿あめ配布、ポップコーン配布、景品がもらえるゲーム等を実施。 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	実行委員会（J A 山辺支所、子ども会育成会、スポーツ協会、社会福祉協議会、入山辺記念林協議会、町内公民館長会、健康づくり推進員会、交通安全協会、民生児童委員協議会、山辺スポーツ少年団）	【評価と反省】 ・4年ぶりの開催となり、多くの皆さんにご来場をいただき、親子のふれあい、世代間交流が深まる場となった。運営側もコミュニケーションを取りながら実施できたことで地域の連帯感の促進に繋がった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
親子おやつ教室	8月2日	1回	子育て	青少年	11人	【内容】 ・ヨーグルトババロア、平面ルービックキューブづくり。 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・ヨーグルトババロアづくりを通して、子ども同士だけでなく、その保護者同士のふれあいもあり、世代を越えた交流ができた。平面ルービックキューブも楽しく作ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
薄川で魚つかみ体験	8月8日	1回	趣味教養	青少年	33人	【内容】 ・薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 ・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館 エクセラン高校	【評価と反省】 ・子どもが自然と触れ合えるだけでなく、小学生と高校生が水生生物の観察を通じて、相互に交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
山辺地区歴史研究会視察研修	8月10日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	22人	【内容】 ・松本市文書館、乃木殿、了智上人の墓、正行寺、松本市歴史の里、正行寺（裏町）の見学 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	山辺地区歴史研究会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第6回入山辺地区 通学合宿	8月31日 ～9月2日	1回	子育て	青少年	124人	【内容】 ・小学校高学年を対象に、異年齢の 子どもたちが2泊3日の共同生活を 営むことで、主体性や自立心を育 む。 【ねらい】 ・共同生活を通して「社会力」や 「生きる力」等を育むとともに、 「地域の子どもは地域で育てる」と いう地域循環型の取組みを構築して いく。	実行委員会（子ども会育成会、山 辺小学校、松本大学、農村女性委 員会、J A女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 ・4年ぶりの開催となったが多くの児 童に参加いただき、無事に実施する ことができた。参加児童の満足度も高 かった。運営側もコミュニケーション を取りながら実施できたことで「地域 の子どもは地域で育てる」という地域 循環型の取組みを実践することができ た。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	○
第40回松本市長杯争奪 球技大会東山部ブロッ ク予選大会	9月10日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロックから 軟式野球とバレーボールの松本市長 杯争奪球技大会への代表チームを選 出する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流を図り ながら、ブロック代表チームを決め る。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・軟式野球は出場し、地区内及びブ ロック内の交流を図ることができた。 バレーボールは不参加。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
農村女性委員会視察研 修	10月3日	1回	公民館委員 会・各種会議 等	成人	14人	【内容】 ・池田ハーブセンター、国宝仁科神 明宮、塩の道ちようじや、寄って亭 松川の見学 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図 る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担ってい る。また、会員同士の相互交流を図 ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
きのこを楽しむ日	10月6日	1回	趣味教養	成人	16人	【内容】 ・地元の山へ行き、きのこ狩りをす る。 【ねらい】 ・健康促進と地域住民の交流を図 る。	福祉ひろば	【評価と反省】 ・きのこの生態を学び、知識向上を図 るとともに、きのこを目指し山道を歩 くことで、健康増進を図り、地域住民 の相互交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第66回松本市市民体育大会秋季大会	10月8日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 ・地区より5競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加。 【ねらい】 ・交流促進及び健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・軟式野球は出場し、地区内及びブロック内の交流を図ることができた。その他の競技は不参加。 【今後の方針】 ・継続開催	
第91回入山辺地区大運動会	10月15日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【内容】 ・各種競技で町会ごと得点を競う（半日開催） 【ねらい】 ・健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（スポーツ協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 ・雨天中止。 ・4年ぶりの開催に向け準備を進めたが、雨天のため中止とした。 【今後の方針】 ・開催に向け、実行委員会を中心に準備を進めていく。	
探検いりやまバ	10月28日	1回	趣味教養	青少年	36人	【内容】 ・家族単位で地区内を歩いてウォッチング（自然観察、建造物等） 【ねらい】 ・家族内にとどまらず、家族同士で交流し、住民同士のつながりの機会を提供する。また、健康増進を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・天候にも恵まれ、地区内を自然観察等をしながら歩き、家族同士での交流をすることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
第45回入山辺地区文化祭	11月5日	1回	地域事業 (文化)	その他	500人	【内容】 ・展示作品発表、福祉用品コーナー、健康コーナー、物販コーナー、ニュースポーツ体験コーナー 【ねらい】 ・地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。	実行委員会（町内公民館長会、健康づくり推進委員会、農村女性委員会、スポーツ協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、入山辺福祉ひろば）	【評価と反省】 ・4年ぶりにステージ発表を開催し、運動会で実施を予定していた「クイズ王選手権」を実施したことで多くの方にご来場いただいた。作品展示や各コーナーも多くの来場者で賑わいをみせた。 【今後の方針】 ・引き続き多くの方に来場いただけるよう、内容の充実を図る。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町会対抗ゲートボール大会	11月5日	1回	地域事業 (体育)	成人	40人	【内容】 ・町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 ・健康増進。仲間づくりや親睦を深める。	ゲートボール愛好会 スポーツ協会 松風園	【評価と反省】 ・天候に恵まれ今年度も継続して多くの地区住民に参加いただき開催することができた。また、文化祭と同時開催し、相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
東山部不用食器回収事業	11月12日	1回	環境	成人	400人	【内容】 不用になった食器を無料回収し、状態の良いものは、「もったいない市」で無料配布するもの。 【ねらい】 ゴミの減量と資源の有効活用を図る。	東山部不用食器回収委員会	【評価と反省】 ・来場世帯数は 269世帯と昨年度よりも多くの方に来場いただいた。地区外からも多くの方が来場された。 【今後の方針】 ・継続開催	
新しくなった博物館を見学しよう！	12月6日	1回	趣味教養	成人	60人	【内容】 ・新しくなった松本市立博物館の見学 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	老政会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
山辺地区立志式	2月3日	1回	子育て	青少年	122人	【内容】 ・山辺地区に住む中学2年生を対象とした「立志」の式典。 【ねらい】 ・中学生に町会の組織や機能を知ってもらう機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 ・生徒たちの進路決定の一助となり、社会性の向上につながった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	○
健康料理教室	2月7日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・ヘルシー餃子・焼売づくり。 【ねらい】 ・健康について考える機会の提供。仲間づくりや親睦を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・参加人数を増やしていきたい。 【今後の方針】 ・地区の関係団体と共催していきながら参加者の裾野を広げたい。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
みそ作り講座	2月17日	1回	趣味教養	その他	17人	【内容】 ・松本産の大豆を使ったみそ作り 【ねらい】 ・みそ作りを通じて子どもから大人まで世代を超えた交流を促進するもの。	農村女性員会 地区団体	【評価と反省】 ・小さい子から大人まで幅広い世代の方々にご参加いただき、みそ作りを通して、地区内外問わず、参加者同士で交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
講演会 懐かしいふるさとの映像 紫紺亭志い朝 落語会	2月22日	1回	趣味教養	成人	73人	【内容】 ・懐かしいふるさとの映像及び紫紺亭志い朝（入山辺出身）落語会。 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	老政会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
人権講座視察研修	3月2日	1回	人権平和	成人	27人	【内容】 ・満蒙開拓平和記念館視察 【ねらい】 ・地区住民の人権啓発の推進を図るもの。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・多くの方にご参加いただき、満蒙開拓の歴史を学び、人権について考えるとともに、参加者同士の交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
しいたけコマ打ち体験講座	3月3日	1回	趣味教養	その他	47人	【内容】 ・入山辺里山辺財産区の山から切り出した原木を使用しいたけのコマ打ちを行う。 【ねらい】 ・入山辺里山辺財産区を知っていただくこと。また、世代を越えた交流を図る機会とするもの。	子ども会育成会 入山辺里山辺財産区	【評価と反省】 ・子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まって交流することができた。また、地区住民の方に入山辺里山辺財産区を知っていただく機会を作ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
寄せ植えとフラワーアレンジメント講座	6月22日 11月 2日	2回	趣味教養	成人	26人	【内容】 ・花の寄せ植えと、牛乳パックを使用したフラワーアレンジメントを実施。 【ねらい】 ・仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	地区住民 松風園	【評価と反省】 ・地区住民だけでなく、松風園の入所者の方も多くご参加いただき、相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
みんなのそばで楽し味 隊 SOBA講座	7月22日 9月30日 10月21日 11月25日	4回	趣味教養	成人	60人	【内容】 ・そばの種まきから、刈取り・脱穀 まで関わり、収穫した新そばで蕎麦 打ちをし、そばを味わう。 【ねらい】 ・そば栽培を通じ農業と自然に親し むことで、入山辺の魅力を再発見 し、世代・地域を越えた交流を図 る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 そば栽培を通じて、入山辺の魅力を 知ってもらいきっかけとなった。ま た、他地区からの参加者も多く、地区 住民と他地区の方の相互交流が図れ た。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施し ていきたい。	
みんな集まれ！「楽し く学ぼう会」	7月31日 8月 7日 8月14日 8月21日 3月18日 3月25日	6回	子育て	青少年	74人	【内容】 ・夏休み及び春休み期間における学 習支援とレクリエーション。 【ねらい】 ・地域の方が学習を支援することで 「地域の子どもは地域で育てる」と いう循環型の取組みを行うととも に、レクリエーションを実施するこ とで世代を超えた子どもたちの交流 を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 多くの子どもに参加いただき、交流を 図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
ウォーキング講座	通年	6回	福祉健康	成人	36人	【内容】 ・入山辺地区ウォーキングコースを 中心に歩く。 【ねらい】 ・健康意識の高揚、仲間づくり	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・四季折々の季節感を満喫でき、入山 辺の魅力再発見につながった。それと 同時に地区住民の健康増進に寄与し た。 【今後の方針】 ・継続開催	
入山辺地区カレンダー 発行	毎月1回 全12回	12回	地域文化	成人		【内容】 ・地区内の行事や各種団体の会議予 定などを幅広く掲載するように努め ている。 【ねらい】 ・全戸配布して幅広く住民に周知す る		【評価と反省】 ・学校、保育園だけでなく、地区関係 団体の様々な情報を盛り込むことが でき、地区住民に対し、入山辺地区情報 発信することができた。 【今後の方針】 ・各種団体等に情報提供を呼びかけ、 引続き掲載内容の充実化を図りたい。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
山辺ワイナリー掲示板 写真貼り替え	毎月1回 全12回	1回	地域文化	成人		【内容】 ・こんな山辺にするじゃん会「観光と魅力発信G r」の活動の一環であるワイナリー写真の貼替作業 【ねらい】 ・ワイナリーに足を運んでいただいた方へ、地区の魅力を発信する。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 ・入山辺地区で行われたイベント・行事等の情報を掲載し、ワイナリーを訪れた方々へ入山辺の魅力を発信することができた。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施していきたい。	
公民館自習室	通年	40回	子育て	青少年	146人	【内容】 ・平日の開館時間（9時～17時）に自習室として開放する。 【ねらい】 公民館が子どもたちにとって身近なものとして利用してもらい、小中学生の居場所づくりの一助とする。	山辺小学校 山辺中学校	【評価と反省】 ・昨年は夏休み期間のみの開放であったが、今年度は平日も開放し、長期休暇期間以外にも利用があった。 【今後の方針】 公民館をもっと身近なものとして感じてもらえるような工夫をしながら、継続したい。	
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 ・公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 ・引続き連携を密にして、支援を継続していきたい。	
入山辺地区の将来ビジョンを考える会 (こんな山辺にするじゃん会)	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	350人	【内容】 ・地域の課題解決に向けて会を4グループ（観光と魅力発信・食農振興・住みやすい地域づくり・D I Y）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 ・将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体長	【評価と反省】 ・入山辺の地域課題の解決に向けた取り組みを住民主体で検討していく。 【今後の方針】 ・地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の関わり方、支援のあり方を模索していきたい。	

令和5年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
5部門委員会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人	250人	【内容】 ・各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 ・住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 ・各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 【今後の方針】 ・委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。	
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 【ねらい】 ・各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。		【評価と反省】 ・団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。	
公民館だより発行	通年	12回	地域文化	成人		【内容】 ・公民館講座の開催周知を図るため、月1回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 【ねらい】 ・公民館活動や事業の周知。		【評価と反省】 ・主に講座の開催周知を行っている。 【今後の方針】 ・読みやすい、読みたくなるような紙面となるよう工夫していきたい。	
図書貸し出し	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	45人	【内容】 ・図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約700冊を配架している。図書委員が年2回入替作業を実施している。 【ねらい】 ・子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。	図書委員会	【評価と反省】 ・周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。	
公民館報「いりやま」発行	年6回	6回	地域文化	成人	70人	【内容】 ・毎月1回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 【ねらい】 ・地区内の様々な情報提供	館報編集委員会	【評価と反省】 ・地区内の出来事、イベント、行事を中心に情報を載せることができた。また、地区住民の多くの方にご寄稿いただき、直接的な声を館報に反映することができた。 【今後の方針】 ・読みやすい、面白い館報を作れるよう工夫する。 ・館報編集委員会が主体的に取組めるようサポートしていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

里山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取組んだ事項等										評価・反省等				
【地域課題】 ・里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が1割弱であり、潜在的な該当者も合わせると1割を超すと予想され、高齢化率も28%と高い。また、一人暮らし家庭も多いことからコロナ禍は家に閉じこもり、人と人との繋がりが希薄になることで様々な弊害を生じさせている。 ・小・中学生の地域との関わりが希薄であり、地区の行事等への参加が低調である。 【活動方針】 1 学校、地域および保護者が子どもたちをどのように育てたいかについて子どもを取り巻く状況から意見を交わし、そこから学校や保護者が地域に求めることを明確にする。コミュニティスクール運営委員会をもとにそれぞれの主体で活動を展開する。 2 町内公民館長会との研修を重ね、住民が参加しやすく、住民の生きがいづくりから住民同士のつながりの創出を図る公民館活動のあり方について議論を深める。 3 専門委員会で委員同士が自らアイデアを出し合い、地域の実情に合った活動の展開を促進する。 4 多世代の住民が気軽に参加できる講座を企画し、住民の要望や意見を聴きながら実施内容を見直していく。 5 地区内の小・中学生が地域活動に参加できるきっかけをつくる。 【重点的に取組んだ事項】 ・これまで山辺ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、これまで地域と学校が連携して取組んでいったが、コロナ禍にあって活動が制限されてきた。一昨年度新たに起こした、1学年ドリーム大学において「山辺の地域再発見」として、積極的に地域に関心を持つように取組んだが、ドリーム大学も徐々に元のように活動できるようになってきたこともあり、『地域再発見』は終了した。今年度は中学校の教職員を対象とした『地域再発見』を実施した。 ・公民館として令和2年から取組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施し、今では1,200名を越える事業となっている。										・ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通したり、これまでコロナ禍で実施できなかった地域で立志を祝う『立志式』を通して、自分も山辺の一員で地域で成長しているという意識を持ってきている。 ・コロナ禍の中で、地域住民、特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として令和2年から取組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施する盛況ぶりであった。 また、ただ単にウォーキングに止まるだけでなく、山辺の歴史・文化・自然・産業等に関わる『歴史・自然探訪』のコーナーを設け、山辺について知っていただけるように取組んでいる。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	5	6	7	1	2	0	1	2	10	3	1	4	0
延べ 参加人数	0	1578	446	83	63	61	0	63	6	788	502	114	274	0

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第20回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月15日	中止	地域文化	その他	0人	レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施している。 山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名のいわれなどに因んだ問題を出題する。時間得点（ゴール時間と標準時間の差）と課題得点（問題の正答数）で順位を競う。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成団体は、入・里山辺公民館、入山辺健康づくり推進委員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団	今回のウォークラリー大会は、里山辺地区の担当であったが、雨天のため急きょ中止を決定した。来年度も里山辺地区が担当する予定。	
わいわいカレー事業	4月16日 5月14日 6月17日 7月22日 9月 9日 9月23日	6回	子育て	その他	188人	小学生以下の子どもたちを対象に、地域のボランティアの指導を受けながら農作業を体験し、地域の自然や営みに関心をもってもらう講座。子どもたちには、自分たちが育てた野菜・米の収穫まで継続して参加してもらう。 地域づくり推進交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。	まちづくり協議会と共催。 ・（有）ファームワーク山辺 ・地域ボランティア（農作業支援、調理支援） ・J A松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	子どもたちが、食について学習するとともに、家族ぐるみで多くの住民（ボランティアや他の参加家族）と関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まっている。 新型コロナウイルス感染症の感染防止の対策を講じ、今年度は6回全て実施。最後には大収穫祭で自分たちで育てたお米と野菜を使ってカレーを食べることができ、毎年参加している家族からは2年ぶりにカレーが食べられて良かったという感想が聞かれ、大変好評であった。	
さとのわファーム	5月 7日 6月10日 7月29日 9月 3日 10月28日	5回	子育て	その他	65人	地区に住む子どもが里山辺地区に住んでいることに誇りをもち、地域の方々に見守られて育っていく温かいコミュニティづくりを目指す事業。 事業内容は①休耕地を利用した農作物（さつまいも、トウモロコシ、スイカ、大根、ホウレンソウ）栽培と収穫祭（焼きトウモロコシとスイカ・焼き芋とおでん）を2回実施。	まちづくり協議会と連携して、子ども向けの企画を検討し、地域の住民にできるだけ協力を仰ぎながら実施する。	参加者全体で管理する畑以外に、各家庭において育てたい野菜を育てる家庭菜園を実施したが、家庭によって手の入れ方に差が見られ、家庭菜園の難しさを感じた。 来年度から『わいわいカレー事業』と『さとのわファーム』事業を統合した子育て支援事業を展開していきたい。	
ガーデニング講習会	5月15日 11月20日	2回	趣味教養	成人	49人	春と冬の年2回開催。 季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う講座。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原 文夫さん 塩原 幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。 花のない冬の時期にも開催し、長く咲き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
山辺小学校校庭の草刈り作業	5月20日	1回	環境	成人	63人	小学校の運動会の2週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どもは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長の協力で、各町会関係者等に声を掛けてもらい、実施している。ビーパー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	山辺小学校の校地は広大なため環境整備が大変な状況であるので、毎年行われる草刈り作業への期待度は大きく今後も実施していきたい。	
第8回里山辺地区親睦ゴルフ大会	5月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	78人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。競技終了後に、表彰式および懇親会を公民館にて実施している。	里山辺親睦ゴルフ大会実行委員会（町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から1名ずつ選出）と共催。	これまでコロナ禍により3年間中止となっていたが、コロナウイルス感染症類型が緩和されたことで4年ぶりに開催した。参加者が楽しみにしていた大会であり、多くの参加があった。	
第54回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	171人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。ソフトボール競技は4月1日の満年齢で49歳以上の男性を中心にチームを編成し、2会場を使用してA・Bブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトバレーボール競技はAブロック（4月1日の満年齢で39歳以上の男女でチーム編成）、Bブロック（4月1日の満年齢で38歳以下の男女でチーム編成）の2ブロックトーナメント方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	これまで3年間はコロナ禍により中止の体制を取ってきたが、コロナウイルス感染症類型が緩和されたことで、4年ぶりの開催となり、多くの町会で参加し、活気ある大会となった。	
スポーツ協会東山部ブロック親睦球技大会	7月9日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	松本市スポーツ協会第一ブロックの5地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）の親睦球技大会。今年度は岡田地区が計画し、稲倉運動広場において、グランドゴルフを行う予定であったが、前日の雨によりコース状況不良のため中止となった。	松本市スポーツ協会第一ブロックの5地区の体育協会（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）で共催。本年度岡田地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツ・ウォーキングや球技を内容とした企画が続いていたが、球技では参加者の人数の確保が困難な状況があり、少人数でも開催できる内容となっている。来年度は里山辺地区が担当となり実施する予定。	
元気プロジェクト	7月12日 8月4日	2回	福祉健康	成人	15人	地元の『公民館』元気プロジェクトとして、全国公民館連合会と明治安田生命が共同で活動する事業。令和4年度に松本市公民館長会の指定を受けて開講する。	里山辺公民館と明治安田生命の共催。	今年度は『健康増進』のテーマを選択し、『睡眠と健康』『健康づくり栄』についてチーフ・コンシエルジェから講義を受ける。今後も実施する予定。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
塩の道ウォーク	7月20日 9月11日	2回	地域文化	成人	29人	当初は福祉ひろばと公民館の共催事業で始まった『週一ウォーク』で歩いた距離を意識することで、信濃の街道を地図上で踏破する目的で『千国街道』踏破から発展した事業。せっかくなら『塩の道』を実際に歩いてみようと思った。	塩の道が整備されている白馬村から出発するコースにする。全行程を3年間かけて踏破する計画。 ①千国越えコース②石坂越えコース③天神道コース④大綱峠越えコース⑤養老坂コース⑥地藏峠越えコース⑦大峯峠越えコースを計画	糸魚川と松本を結ぶ命の道でもある「塩の道」を実際に歩いて見聞することを通して、往時の人々の暮らしや文化をガイドから学ぶ新たな機会となっており、最も人気があり好評であるので来年度は⑧高町越え⑨中山峠越えを実施する予定。	
山辺の地域再発見	7月31日	1回	地域文化	成人	18人	「知る知る山辺探検隊」の発展として、地域住民と共に学び合う「山辺ドリーム大学」の中に1年生対象に「地域再発見」という形で2年間実施してきた事業であるが、本年度は中学校の教職員を対象に実施し、勤務している山辺地区の歴史を学ぶ機会となった。	里山辺公民館	これまで中学生を対象として2年間実施してきた事業であるが、学校側の強い要望を受け、教職員対象の『山辺の地域再発見』とし、古墳時代から平安時代に焦点をあて、講義と現地研修（兎川寺・針塚古墳・須々岐水神社）を行い、山辺の歴史を学んだ。	
夏休み親子魚つかみ体験	8月8日	1回	子育て	青少年	53人	薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座。 今年度も小松橋上流 200m位の浅瀬で実施した。犀川漁協（河川使用の許可）、（有）カワグチ（ニジマスの購入）に協力してもらい実施。	入山辺公民館と共催。 両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。 エクセラン高校環境科学コースの生徒に、参加する子どもたちへ水生生物の観察指導を行ってもらっている。	夏休みに近くの川で自然と触れ合える貴重な体験となっている。また地元の高校生が先生となり子供たちに水棲生物についての学習をしてくれるということで、夏休みの事業として大変好評である。	
第70回野球大会	8月20日	1回	地域事業 (体育)	成人	183人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 軟式野球競技は地区居住の男性を中心に各町会1チームを編成し、A・B・Cの3ブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトボール競技は地区居住の女性を中心に各町会1チームを編成し、A・Bの2ブロック（予選リーグと決勝トーナメント）方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	これまでコロナ禍により3年間中止とされていたが、コロナウィルス感染症類型が緩和されたことで、4年ぶりの開催となり、多くの町会で参加し、しばらくぶりの活気ある大会となった。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。	
第18回マレットゴルフ大会	8月22日	1回	地域事業 (体育)	成人	27人	個人競技の地区大会。 中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年も芝・林間・桜の全コースで競技を実施。	里山辺マレットゴルフ同好会と共催	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行ってもらっている。 全コースをめぐる事が参加者に好評であり、いかに参加者がプレーを満足できるか考えていきたい。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
美ヶ原ウォーク	9月6日	1回	趣味教養	成人	12人	美ヶ原ロングトレイルのコースを活用し、市の庁用バスを使って日帰りで巡る講座 ①地域在住者も意外と行ったことがない美ヶ原の魅力を歩いて知ってもらうこと ②参加者同士で楽しくふれあいながら歩いて山の散策に興味をもってもらうことを目的とする。今回のコースは扉峠から三峰山目指すコースで実施した。	講座開催の広報をする前に、コースの下見を実施して、危険箇所や休憩箇所（トイレ・昼食）を確認している。 バスへの乗り降りを行う地点をバスの運転手と確認し、行程をあらかじめ知らせておく。	松本の代表的な観光地である美ヶ原高原を中心に整備された『美ヶ原ロングトレイルコース』を歩く貴重な講座である。 8年間継続してきた講座であり、美ヶ原高原ロングトレイルのコースをほぼ網羅し、ほぼ全コースを踏破した。初期の目標はできたことと、コース上のトイレの確保が困難である点、市バスの利用回数が削減された点を踏まえ、今回をもって終了とする。	
市長杯争奪球技大会 第一ブロック予選・本戦	9月10日 10月29日	2回	地域事業 (体育)	成人	56人	予選では、軟式野球が決勝戦で抽選で敗れ本戦への出場を逃す。 本戦では、ソフトバレーボール準優勝・第3位、ゲートボール準優勝、卓球第4位、マレットゴルフ第8位と好成績を残す。	地区スポーツ協会で必要物品・用具の準備や当日のチームの支援を行った。 ブロック予選については5地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）のスポーツ協会と実施日程と競技内容を検討し、年度初めの会議で決定する。	予選会、本戦へは全ての種目で参加する事ができ、市民スポーツ大会での総合準優勝の勢いそのままに、市長杯争奪球技大会でも好成績を収めることができた。	
市民スポーツ大会	10月8日	1回	地域事業 (体育)	成人	57人	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの5種目で、地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。	各種目に本部体育委員が分担して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	今年度は、ソフトバレーボール・ゲートボール男女・マレットゴルフ男女の3競技に出場し、軟式野球優勝、女子のゲートボール優勝、男子ゲートボールで3位、ソフトバレーボール2位、3位の成績で総合準優勝となった。	
第68回大運動会	10月15日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	地区関係団体（町会連合会、町内公民館長会、交通安全協会里山辺支部、消防団第19分団）と共催。 本部体育委員会で開催要項およびプログラムを策定し、町内公民館長会との打合せ、共催団体会議、全体会議において協議し、開催内容を決定している。準備および運営は、町会等から選任した競技役員と本部体育委員が中心に行う。 競技は町会対抗または自由参加の形式をとる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっている。入山辺地区運動会と同日開催であり、両地区に関係する方々には時間をずらして参加いただいている。しかし、別の時期の検討は現状難しい。 開催内容については、令和2年に実施したアンケートの結果を踏まえ、検討・改善し、4年ぶりの開催に向けて細心の準備を進めてきたが、雨天中止となった。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
秋の山城ウォーク	10月22日	中止	地域文化	成人	0人	講師：澤柳 秀利さん（松本市学芸員） 平成29年2月に国史跡に指定された林城跡と関連の深い小笠原氏の築城した山城群を順々にめぐる講座。今回は桐原城跡（入山辺地区）をめぐる。講師の研究資料や当時の文献と紐づけて城の歴史等を紹介してもらい、今話題の登山と歴史探訪を掛け合わせた内容である。	講師とともにコースを確認し（下見）、行程を組むようにしている。 説明資料は講師に作成をお願いしている。	今回は諸般の事情により中止とする。市内の山間部に点在する山城群の形成はその地域の生活様式や文化にも影響しており、歴史と共に深く学ぶことで、地域の魅力を発見できる講座と考えているが、山辺地区7城と中山地区1城と近隣の山城は全て歩いたので、今年度をもって終了とする。	
第48回文化祭	11月4日 11月5日	2回	地域事業 (文化)	その他	393人	日頃から取組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。1日目は作品展示会・体験コーナーを開催、2日目はそれに加えてステージ発表を開催する。 また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会で主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。 作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生（エクセラン高等学校）から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示する。 ステージ発表では、山辺小学校合唱団およびブリーズウィンズ（金管バンド）、山辺中学校ドリーム大学、公民館・福祉ひろばの各サークルなどが出演する。	本部文化委員会で企画し、町会などの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。 開催要項について、実行委員会（福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会）で検討し、決定している。文化祭の準備と当日の運営については、本部文化委員および町内文化委員で担う。 ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打合せを行う。	コロナ禍にあっては作品展示のみの実施や、中止という対応をとってきたが、4年ぶりに全面開催をした。	
文化祭出店（工作）	11月5日	1回	地域事業 (文化)	青少年	40人	地区文化祭に合わせて実施	図書視聴覚委員会で企画、準備、当日の運営を行っている。	コロナ前までは本の読み聞かせも行っており今年度は全面開催となったが、実施するスペースの問題もあり工作のみの実施となった。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
秋葉街道と塩の道	11月9日	中止	地域文化	成人	0人	塩の道の南信版として南の塩の道である「秋葉街道」の歴史と文化に視点をあてた事業。	秋葉街道の歴史で国の重要無形民俗文化財に指定されている「霜月祭り」と日本の里 100選の『下栗の里』の自然環境と文化を学ぶ企画。	日本のチロルと呼ばれている「日本の里 100選」の下栗の里、遠山郷を巡り、秘境と称される下栗の自然と歴史を学ぶ人気の高い講座で3年目を迎える人気講座であったが、諸般の事情により本年度は中止した。来年度は再開する。	
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	11月13日	1回	その他	成人	6人	里山辺地区町内公民館長会と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 今回は、「野麦街道と飛騨街道が育んだ歴史と文化」をテーマに、高山の歴史的建造物、高山陣屋、高山まつりの森について研修した。	里山辺地区町内公民館長会と合同で実施	内容については町内公民館事業での研修に参考になる県内の歴史・文化・産業関連の施設及び事業所等を視察先として選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場とした。	
親子そば打ち講習会	11月18日	1回	子育て	その他	18人	親子で信州の伝統文化と食を学び、文化の継承と食育につなげている。地域住民が講師となり、親子にそば打ちを教える講座	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
第67回卓球・第44回ゲートボール大会	11月19日	1回	地域事業 (体育)	成人	160人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	これまでコロナ禍により3年間中止となっていたが、コロナウィルス感染症類型が緩和されたことで、4年ぶりの開催となった。町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。	
里山辺公民館健康講座	12月 7日 1月11日 1月25日 2月 8日 3月 7日 3月14日	6回	福祉健康	成人	52人	歌で健康力アップ講座 全3回 27名 ボールウォーキング講座 全3回 25名	開催日程の調整、講師への依頼、必要な用具の準備は公民館で行う。	冬の時期は運動不足になりがちなため、室内で簡単にできる講座として継続して開催している。講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル活動や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。	
男の料理教室	12月12日	1回	福祉健康	成人	11人	料理の楽しさ、自分で作った料理を味わいながら、地域における人と人との関係づくりになることを期待し開催。対象者は男性。 講師：里山辺地区食生活改善推進員	地区食生活改善推進員と共催。メニューや講座内容は講師に考えてもらい、季節の食材を使うように知恵を出してもらっている。	コロナ禍及び講師不在により中止となっていたため、申込み数に心配があったが、これまで参加していた住民の参加が多数であったこと、新しく参加した住民もいた。 また、申込みに余裕があったため、周知方法の検討し多くの方が参加できるよう実施したい。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
餅つき大会	12月16日	1回	子育て	その他	102人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域のボランティアに協力いただき、親子を対象に杵と臼を使って餅つきを体験する講座	地域ボランティアに準備および当日のお手伝いをお願いしている。	これまでコロナ禍という事もあって制限を設け親子対象の餅つき大会を実施していたが、コロナウイルス感染症類型が緩和されたことで、制限を撤廃して全ての住民が参加できる餅つき大会とし、100名を越える参加があり大盛況であった。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会場でつくたてのお餅を食べることが叶わないため、ついたお餅はボランティアの方に丸めて頂き、持ち帰る工夫をした。	
親子しめ縄教室	12月23日	1回	子育て	その他	20人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。地域住民が講師となり、親子にしめ縄づくりを教える講座	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
甲州街道と勝沼ぶどう郷の歴史と文化	1月15日	1回	地域文化	成人	15人	『歴史散歩・信州の街道の歴史と文化』で始まった地域文化事業でも人気の高い事業。特に信州葡萄栽培の発祥地の山辺地区と関係が深い『甲州ブドウ』の産地でもある勝沼を巡る企画。	里山辺公民館の『歴史散歩』事業の①中山道と木曾漆器文化②飯山街道と仏壇、栄村の自然と文化③野麦街道と小京都高山の文化と歴史④千国街道が育んだ歴史と文化⑤秋葉街道と神々の郷遠山郷に続く第6段の事業。	山辺地区と関係が深い甲州の歴史と文化に焦点をあてたことで関心も高く、参加者からは大変講評であった。	
山辺地区立志式	2月3日	1回	地域事業 (その他)	青少年	114人	参加者が地域の先輩の話を聞き今後の進路決定の一助とするともに、地域の一員として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学2年生を対象とした「立志」を祝う式典。3／4成人式。今年度は、嘉納雅彦・嘉納尚代ご夫婦によるチェロとピアノの演奏とトークを聴き、佐々木第19分団長による消防団の活動、多田連合町会長による町会の仕組みと活動の様子を聞いた。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成員は、 ・山辺中学校長 ・里山辺地区町内公民館長 ・里山辺公民館図書視聴覚委員長 ・里山辺地区子ども会育成会長 ・山辺中学校PTA ・入山辺公民館	コロナ禍中で昨年3年ぶりの開催をした。立志式に対する意義が中学生に十分浸透しなかったこともあって参加者が少なかったが、今回は学校側の協力もあり多くの生徒の参加が見られた。1月に発生した能登半島地震にふれ、地域にとっても中学生の存在はかけがえの無い存在であることを強くアピールしたこともあり、参加者からは大変講評であった。 来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やしょうま作り教室	2月18日	1回	地域文化	青少年	21人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域住民が講師となり、親子に「やしょうまづくり」を教える講座	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、2年間中止となっていたが、コロナの状況も落ち着いてきたので昨年度3年ぶりに開催し、本年度も開催する。 親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
防災講演会	3月24日	1回	防災	成人	63人	令和4年度に松本市のモデル事業指定地区となったことで、『防災』に特化して自主防災連合会を三班に分け、 1班：町会単位で災害時の体制の構築 2班：ICT活用を含めた安否確認体制の検討 3班：防災訓練の実施のテーマで推進をしてきた。今回の防災講演会はその発展として、松本大学の尻無浜教授から『里山辺ハザードマップから見る里山辺地区の課題』と題して講演を聴いた。	里山辺地区自主防災連合会、里山辺地区防犯協会防災部と共催。	昨年度から3年間松本市モデル事業推進地区の指定を受けたことで、防災に特化事業を展開するため、里山辺地区安否確認カードを作成した。	
まちづくり協議会	通年	中止	その他	成人	0人	町会長や地区関係団体の代表者などで組織する協議体であり、地域全体に関わる課題や今後へ向けての展望について話し合っている。話し合いで確認されたことを地域住民や各種団体へ発信したり、協力してもらえ方とどんな活動につなげられるか協議するなど、住民が自由に意見を交わす場とする。	まちづくり協議会事務局と連携して、住民や各種団体との連絡調整を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、4年間中止とした。地区や町内、サークルによる公民活動が具体的なまちづくりの取り組みにつながるように、連絡調整を進めていきたい。令和6年度は5年ぶりに再開する予定。また、公民館独自の学習会や講座にも生かせる内容や意見を参考にしていきたい。	
週一ウォーク	通年	46回	福祉健康	その他	1,272人	里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が1割弱であり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想される。生活習慣においても、国民保健加入者における「1日に1時間以上の運動をしない人」の割合は4割超である。このような状況を踏まえて、年齢を問わず、住民が運動習慣を身につけてもらうために、週1回の頻度でウォーキングをする講座を実施した。	里山辺地区福祉ひろばと共催。地区住民誰でも参加できる方へ向けて、公民館だよりおよび福祉ひろばだよりで周知している。ウォーキングの結果を記録できるように『週一ウォーク手帳』を作成した。参加者の継続意識を高めるポイント制を導入し、段階的ポイント達成者にプレゼントを用意した。	ウォーキングの習慣を身につけてもらうための講座であり、講座に参加するだけが目的でなく、参加者が日常生活で運動する習慣を身に付けてもらうことを目的としているが、通年通して実施したことで定着してきた。今年度は年間46回計画し、雨天・降雪で3回の中止があった。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
さと健 (里山辺健康教室)	通年	12回	福祉健康	成人	228人	毎月第2金曜日に開催。地区体力づくりサポーターに指導してもらい、無理なくできるストレッチや筋トレ、脳トレなど、気軽に体を動かす講座。	福祉ひろばと共催。	里山辺体育館を主な会場とするが、夏の暑い時期にはバスハイク等を実施し、冬の厳寒期には福祉ひろば教養娯楽室で開催するなど、工夫をしている。	
体育委員会	通年	7回	地域事業 (体育)	成人	56人	地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。 本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う。	本部体育委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 体育委員会を本部体育委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらうことが大切である。 体育委員会の所管する事業は大がかりで、かつ休日開催であるため、会議の数などできる限り役員の負担を軽減する必要がある。また、特定の競技に偏らずに、住民が気軽に参加でき、楽しめる内容を企画するように委員会で協議・運営している。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	84人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さとやまべ」の編集を行う公民館委員会。	館報編集委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、入稿記事を整える。記事および紙面割り付けレイアウトを印刷業者へ入稿し、校正確認を行い、最終紙面を確定する。	地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にしたい。	
公民館だよりの発行	通年	12回	地域事業 (文化)	成人	69人	広報まつもとの配布にあわせて公民館事業の広報として配布。 地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行。	開催日までに十分な申込期間を設定して、事業の募集について記事を掲載している。 公民館が立上げに関わった団体や事業を共催する団体の活動報告もできるだけ取り上げて掲載している。	紙面のデザインや内容について見やすく、公民館の開催事業や住民の活動内容に興味をもってもらえるように、工夫をしていきたい。	
図書コーナー管理	通年	36回	公民館委員会・各種会議等	成人	150人	・返却本の整理作業 ・図書の入れ替え（中央図書館所管本、年2回） ・新刊図書の貸出準備、紹介文の掲示 ・未返却図書の返却促進の掲示	図書視聴覚委員会で分担して作業にあたってもらっている。	図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。 未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっている。	

令和5年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	保育園や小学校での保護者同士のつながり、読み聞かせサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 会の運営は委員による自主運営を基本とする。	子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会をあ美させたい。	
図書の購入	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	・新刊図書の購入（年3回程度） ・立志式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲り受け	図書視聴覚委員会で作業にあたってもらっている。	今話題の新刊図書や山辺地区立志式で紹介する「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。新刊図書の紹介文の作成と掲載。	

令和5年度 事業報告の概要

今井公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針】 ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる。 ・地区住民が、自分たちの暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する。 ・事業の企画運営に住民が参画する。 【地域課題】 ・地区役員が1年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている。 【重点的に取り組んだ事項】 ・今井地区の4大行事（支部対抗球技大会・今井ドンパン夏祭り・いまいスポーツ健康フェスティバル・今井地区文化祭）を実施し、住民の親睦・交流を図った。 ・食育講座を実施し、地域の伝統文化や異文化を理解した。										・今井地区の4大行事をコロナ禍前と同様に、実施することができた。住民同士の親睦、交流の機会となった。来年度は、内容をさらに拡充して開催したい。 ・地域の伝統文化を引継ぐ取組みとしてそば打ち講座、異文化理解を深めるためタイ料理教室・キムチ作り講座を開催した。楽しく学べ、参加者同士も交流できた。来年度も食育講座を実施したい。 ・文化祭では12時頃を境に来場客が大幅に減少したため、午後の時間帯における内容の充実を検討し、多くの方に来場してもらえる文化祭を企画したい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	4	7	1	0	4	0	2	2	3	0	5	2
延べ 参加人数	37	58	536	430	10	0	338	0	19	220	1320	0	164	377

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権視察研修 (人権啓発推進事業)	4月27日	1回	人権平和	成人	11人	【内容】 ・浅川兄弟資料館・原田泰治美術館を見学する。 【ねらい】 ・多文化共生・障がいを持つ方への理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・視察先・ガイドとの調整 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・浅川兄弟資料館では、日韓友好の懸け橋となった浅川兄弟について学び、異文化への理解を深めた。 ・原田泰治美術館では、絵画を通して障がいを持つ方への理解を深めた。 【今後の方針】 ・今後も人権学習ができる視察先を選定し継続したい。	
春の自然観察会	5月7日	1回	環境	成人	10人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策、山菜採取、山菜料理の試食を行う。 【ねらい】 ・住民同士が親睦・交流を深めながら今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井財産区	【評価と反省】 ・雨天のため、鉢盛山での自然観察・山菜摘みは中止し、公民館で会食のみ実施した。 ・会食の際に、今井財産区の歴史や自然を学び、住民同士が親睦を深めた。 【今後の方針】 ・安全対策をしながら開催したい。 ・山菜料理の試食を行いたい。	
公民館居酒屋	5月19日	1回	地域事業 (文化)	成人	20人	【内容】 ・お酒やおつまみを地区の有志の方にご用意いただき、交流する。 【ねらい】 ・気軽に公民館に足を運んでもらうきっかけづくりをする。 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、交流の機会を設ける。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・楽しく交流できる場となった。 【今後の方針】 ・有志が主導となってきているが、参加者が固定化しないように、開催していきたい。	
初夏のスカイパーク ウォーキング	6月14日	1回	福祉健康	成人	21人	【内容】 ・ウォーキングの基礎を学び、バラの咲く信州スカイパークでウォーキングをする。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・健康づくり課の健康運動指導士にウォーキングの基礎を学び、バラ園までウォーキングを行った。 ・バラの見頃で時期が良かった。 【今後の方針】 ・定期的に企画したい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
支部対抗球技大会	7月9日	1回	地域事業 (体育)	成人	70人	【内容】 ・支部（町会）対抗の球技大会（バレーボール・ソフトボール）を行う。 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・健康増進	【準備過程】 ・スポーツ協会役員・支部長・各部役員によるスポーツ協会総会で開催可否を協議 ・打合せ会で内容を協議 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・ソフトボールは雨天のため中止、バレーボールのみ実施（参加4町会） ・マレットゴルフは別日程で、個人参加形式で実施することとした。 ・ゲートボールは休止とした。 【今後の方針】 ・多くの住民が参加できるように、内容を検討し、継続したい。	
ストーンアート スイカ割り	8月7日	1回	子育て	青少年	60人	【内容】 ・夏休みを利用して、小学生を対象としてレクリエーションを行う。 【ねらい】 ・子どもたちの思い出作り	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会で内容を検討 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・材料の調達 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・児童センターを利用する児童が参加し、楽しんでもらえた。 【今後の方針】 ・子どもたちがより楽しめるような内容を検討し継続していきたい。	
今井ドンパン夏祭り	8月14日	1回	地域事業 (文化)	成人	1,000人	【内容】 ・花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り 【ねらい】 ・地域の活性化 ・子どもたちの思い出作り	【準備過程】 ・実行委員会で開催可否・内容を協議 ・花火関係申請等 【共催団体等】 ・今井ドンパン夏祭り実行委員会 ・今井小学校 ・今井地区子ども会育成会 ・今井小学校 150周年事業実行委員会	【評価と反省】 ・4年ぶりに花火と松本音楽団のコラボ、盆踊り、抽選会、飲食の出店を復活させ、多くの方に楽しんでいただけた。 ・今井小学校開校150周年実行委員会による出店もあり、大変盛り上がった。 【今後の方針】 ・地域でつくる夏祭りとして今後も継続していきたい。	
白駒の池コケの森 ウォーキング	8月21日	1回	福祉健康	成人	23人	【内容】 ・佐久穂町の白駒の池でコケなどの自然観察を行いながら、ウォーキングをする。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・視察先・ガイドとの調整 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・夏だったが、涼しくウォーキングができ、リフレッシュできた。 【今後の方針】 ・ウォーキングは、来年度も継続して行いたい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
未就園児親子バス遠足	9月12日	1回	子育て	青少年	19人	【内容】 ・未就園児の子どもと保護者を対象に、市のバスを使用しての遠足 【ねらい】 ・子ども・親同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる。	【準備過程】 ・りんごサークル・視察先との調整 【共催団体等】 ・りんごサークル（子育てサークル）	【評価と反省】 ・木曽おもちゃ美術館を訪れ、親同士・子ども同士の交流もできた。 ・遊ぶ時間を十分に取れるようにしたい。 【今後の方針】 ・地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	
マレットゴルフ大会	9月30日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ・個人参加形式のマレットゴルフ大会。 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・健康増進	【準備過程】 ・体育委員会で大会内容の検討 ・スポーツ協会ニュース・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・町会の枠を超えて、交流と親睦が深まった。 ・上位者のほか、全員に参加賞を用意した。 ・表彰状を用意すれば良かった。 【今後の方針】 ・今後も多くの参加を得て継続したい。	
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月22日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 ・ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・健康増進 ・子どもたちの思い出づくり	【準備過程】 ・事前打合せ会を開催し、内容を協議 ・各コーナー協力団体との調整 ・スポーツ協会ニュース・公民館ニュースで周知 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・モルック・スラックライン等を新しく実施した。 ・来場者が少なかった。 【今後の方針】 ・屋外（校庭）での競技を検討したい。 ・来場者を増やすために、小学校等へ周知を強化したい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
今井地区文化祭	11月5日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【内容】 ・地区全体の文化芸術に関する展示、発表、出店を行う。 【ねらい】 ・地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す。	【準備過程】 ・地区内活動団体に発表、展示の希望調査 ・実行委員会で内容を協議 【共催団体等】 ・今井地区文化祭実行委員会 ・今井地区福祉ひろば ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・小中学生の発表で文化祭を大いに盛り上げることができた。 ・鉢盛中学校吹奏楽部と地区のサークルでコラボ発表ができた。 ・4年ぶりにそば屋などの飲食ブースを復活し、会場内での飲食を可能とした。 ・これまでの2日間開催を1日開催に変更し、午後3時までの時間設定をしたが、午後1時頃までで来場が途絶えた。 【今後の方針】 ・午後の時間帯における内容の充実を検討し、多くの方に来場してもらえる文化祭を目指したい。	
秋のスカイパーク ウォーキング	11月10日	1回	福祉健康	成人	14人	【内容】 ・インターバル速歩を学び、信州スカイパークでウォーキングをする。 【ねらい】 ・ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・雨天のため、公園西町会の多目的ホールで開催した。 ・熟年体育大学の講師からインターバル速歩を学び、歩く時の姿勢など意識を変えることができた。 【今後の方針】 ・定期的に企画したい。	
人権啓発推進事業 タイ料理教室 キムチ作り講座	12月26日 1月20日	2回	人権平和	成人	26人	【内容】 ・外国出身で市内在住の講師から、その国の伝統、家庭料理などの作り方を教わる。 ・12月26日：タイ料理 ・1月20日：キムチ作り 【ねらい】 ・異国の料理を学びながら、多文化共生の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・同じアジア圏のタイや韓国の伝統的な衣服や食文化を学べた。 ・参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・今後も文化、習慣の違いを学ぶ機会を設け、多文化共生を目指したい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
eスポーツ体験 ソーブカービング	2月19日	1回	スポーツ	成人	23人	【内容】 ・core塩尻で今話題の電子機器を使ったeスポーツ体験とタイの伝統工芸のソーブカービングを体験する。 【ねらい】 ・eスポーツは、目、耳、体を使って脳の活性化を目指す。 ・ソーブカービングは、癒しとストレス解消を目指す。	【準備過程】 ・今井福祉協議会健康部会の冬期健康講座として企画 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井福祉協議会健康部会	【評価と反省】 ・人数が多かったため、2グループに分かれて、eスポーツの体験とソーブカービングを行った。 ・eスポーツは適度に体を動かせ、脳トレもできた。 ・参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・今後もeスポーツを実施したい。	
文化系委員会合同視察	3月2日	1回	地域文化	成人	12人	【内容】 ・文化系委員会で下諏訪町の諏訪大社下社春宮、万治の石仏、茅野市の守矢史料館等を視察する。 【ねらい】 ・他市の文化施設を学び、今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 ・参加者募集 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・委員に視察先の希望を提案してもらった。 ・視察先では、ガイドによる説明をお願いし、教養を深めることができた。 ・委員同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・委員から要望を踏まえ、視察先を選定していきたい。	
松本市内めぐり	3月8日	1回	地域文化	成人	22人	【内容】 ・身近にあって普段なかなか訪れる機会の少ない、美術館や歴史の里、浮世絵博物館を視察する。 【ねらい】 ・松本市内の文化施設を学び、今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・視察先では、ガイドによる説明をお願いし、教養を深めることができた。 ・参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・住民の視察先の希望を取り入れていきたい。	
マレットゴルフ教室	4月～11月	12回	スポーツ	成人	106人	【内容】 ・鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う。 ・ルール、技術は参加者同士で教え合う。 【ねらい】 ・高齢者同士の親睦・交流、仲間づくり ・健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・飲料の準備 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・雨天、熱中症対策として6月の1回、8月の2回を中止としたが、それ以外は開催できた。 【今後の方針】 ・高齢者の健康増進のため、今後も参加促進を図りたい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
小学校米作り (C S事業)	5月～10月	5回	地域文化	青少年	100人	【内容】 ・道の駅今井恵みの里に講師を依頼し、今井小学校5年生が米作りを体験する。 【ねらい】 ・児童と地域の方が交流する貴重な機会とする。	【準備過程】 ・小学校・道の駅との連絡 【共催団体等】 ・道の駅今井恵みの里 ・今井小学校	【評価と反省】 ・田植え、稲刈り等を行い、今井地区の特色である農業に親しんでもらった。 【今後の方針】 ・今後も引続き実施したい。	○
親子すくすく教室	5月～3月	9回	子育て	家庭教育	180人	【内容】 ・未就園児の子どもと保護者を対象に、健康運動指導士に講師を依頼し、親子体操等のレクリエーションを行う。 【ねらい】 ・子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ。 ・子ども・親同士の交流を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・りんごサークル (子育てサークル)	【評価と反省】 ・講師の都合がつかず8月、大雪のため2月を中止とした。 ・参加者は楽しみながら自発的・積極的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	
卓球教室	6月～10月	21回	スポーツ	成人	209人	【内容】 ・卓球教室を開催し、参加者同士で技術を高めあう 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・市民体育大会への参加を目標とする。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・開催時の飲料の準備 ・講師との調整 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会 ・今井卓球クラブ	【評価と反省】 ・今井卓球クラブの協力もあり、開催できた。 ・講師からの指導によって、参加者のモチベーションや技術が向上した。 【今後の方針】 ・今後も引続き実施し、幅広い年代に周知したい。	
小学校クラブ活動支援 (C S事業)	6月～10月	4回	子育て	青少年	277人	【内容】 ・児童たちがクラブ活動としてやってみたいことを地域の方々に支援していただく。 【ねらい】 ・児童と地域の住民が交流する貴重な機会とする。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、支援者を募集 ・小学校・支援者との調整 【共催団体等】 ・今井小学校	【評価と反省】 ・バスケット、ジャンプロープ、将棋、昔の遊び、ペーパークラフト、ものづくり、イラスト全てのクラブに支援者を依頼できた。 【今後の方針】 ・学校と連携し、児童の希望に沿ったクラブ活動支援に協力できる方を募集したい。	○

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
女性のためのそば打ち講座 (水曜開催)	1月～3月	4回	地域文化	女性	43人	【内容】 ・地区のそば打ち名人から、そば打ちの技術を学ぶ。(水曜・女性対象) 【ねらい】 ・今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 ・公民館ニュース等で周知、参加者を募集 ・講師との調整	【評価と反省】 ・地区外からも参加してもらえた。 ・参加者同士でのつながりが深まった。 ・打ち方がわからなかった方がいたので、サポートできるようにしたい。 【今後の方針】 ・そば打ちだけでなく、アレンジ料理等も開催していきたい。 ・休日に参加を希望する方が増えているので、開催日を検討したい。	
こだわりのそば打ち講座 (日曜開催)	1月～3月	4回	地域文化	成人	36人	【内容】 ・地区のそば打ち名人から、そば打ちの技術を学ぶ。(日曜) 【ねらい】 ・今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整	【評価と反省】 ・地区外からも参加してもらえた。 【今後の方針】 ・来年度も継続して行いたい。	
夏休み・春休みは公民館で勉強しよう	7月24日 ～8月23日 3月13日 ～4月 3日	2回	その他	青少年	19人	【内容】 ・長期休み期間中に公民館の会議室を学習室として開放し、自由に勉強できる場を提供する。 【ねらい】 ・子どもたちの居場所づくり	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・学校ヘチラシの配布依頼 【共催団体等】 ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・夏休みの始めの時期に、中学生がグループで利用をしてくれた。 ・楽しそうに宿題を行っていた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
絵画から学ぶ近代史	通年	12回	地域文化	成人	133人	【内容】 ・文化委員が講師を務め、今井公民館にある聖徳記念絵画館の壁画の縮小版から近代史を学ぶ。 【ねらい】 ・近代史を学び、今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・参加者は積極的に意見・質問を行い、意欲的に学べた。 ・講座を周知するため、市民タイムスへ掲載を依頼した。 【今後の方針】 ・来年度は「郷土の先人から学ぶ近代史」を開催予定。(文化委員会主催ではなく、公民館主催)	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
今井地区文化財委員会	通年	10回	地域文化	成人	84人	【内容】 ・地区内の文化財の案内板建替、設置作業 ・地区内の歴史に関する学習会 ・文化財ニュース（会報）の発行 ・文化財活用事業の実施 【ねらい】 ・今井地区の歴史文化の伝承者の人材育成 ・地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 ・毎月の会議開催通知 【共催団体等】 ・今井ふるさと歌留多の会 ・松本市文化財課	【評価と反省】 ・全12回を予定していたが、熱中症防止のため8月、体調不良者が多かったため1月は休会とした。 ・委員同士が親睦、交流しながら地区内の文化財の案内板建替を行うことができた。 【今後の方針】 ・老朽化した案内板の立替えを継続したい。 ・学習会など文化財活用事業を行っていききたい。 ・書籍を購入したい。	
運営委員会	4月24日 3月26日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人	【内容】 ・公民館事業計画、事業報告、予算、決算の審議	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・体育委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍で前年まで書面会議としていたが、対面での開催ができた。 【今後の方針】 ・引き続き開催したい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	74人	【内容】 ・隔月発行の館報いまい版の取材、編集 ・文化祭での展示	【準備過程】 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・委員がアイデアを出しあい、工夫しながら紙面構成をした。 ・文化祭では、コーヒーの販売を行った。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	

令和5年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育委員会	通年	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	24人	【内容】 ・スポーツ事業の企画運営 ・文化祭での出店 ・スポーツ協会ニュース発行	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・委員がアイデアを出しあい、工夫しながら、支部対抗球技大会・スポーツ健康フェスティバルを行うことができた。 ・文化祭では、焼きそばの出店をした。 ・スポーツを語る会・新春ボウリング大会・ポッチャ交流会等を開催した。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
文化委員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	10人	【内容】 ・文化祭での展示 ・講座「絵画から学ぶ近代史」の開催	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・文化祭では、聖徳記念絵画館の壁画を展示した。 ・文化祭での展示は、今年度で終了とする。 【今後の方針】 ・来年度は専門委員を設けず、町内公民館長が文化委員を兼ねるようにする。	
図書視聴覚委員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	21人	【内容】 ・図書入替（年2回） ・子ども向けイベントの開催 ・今井ドンパン夏祭りでの放送 ・文化祭でのステージ発表司会・おすすめ図書の展示	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・図書入替は協力して行った。 ・子ども向けにストーンアート・スイカ割りを企画し、多くの子どもたちに楽しんでもらえた。 ・今井ドンパン夏祭りや文化祭で放送等を行った。 【今後の方針】 ・ストーンアート・スイカ割りは好評だったため、来年度も実施したい。 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
公民館ニュース発行	通年	12回	その他	成人	全戸	【内容】 ・毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 ・公民館事業の周知、募集	【準備過程】 ・編集、印刷	【評価と反省】 ・紙面内容を工夫しながら発行することができた。 ・HPへの掲載も行った。 【今後の方針】 ・多くの方に周知できるように、紙面を工夫する。	

令和5年度 事業報告の概要

内田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・コロナ禍で中止となった事業を4年ぶりに再開する。従来のやり方に囚われずに時代に合わせた実施方法を地域住民と共に考える。 ・学習講座には、地域で活躍する人材の育成や学習したことを実生活に活かせるような内容を取り入れる。 ・関係部局、関係団体と連携し地域の資源を活用した学習活動を実施する。 ・公民館活動へのICT導入										・子ども防災合宿、ササラまつり、東南ブロック球技大会、内田地区大運動会を4年ぶりに実施できた。各実行委員会で内容や感染対策等を検討し、参加者が健康の不安を抱かないやり方を考えた。 ・PPKスクール（健康づくり講座）は、日常生活に取り入れられる運動、筋肉の意識の仕方を内容に取り入れた。心の健康で人生について考える機会を設けた。受講後、参加者アンケートの結果から、ほとんどの参加者に健康に対する意識変容、行動変容が見られ、健康習慣の継続化にもつながった。 ・内田児童館、馬場家住宅との連携事業では、普段公民館事業に参加しない層の参加があった。 ・市外の講師がリモートで講座を行った。講座への申込み、会議や行事への出欠確認をインターネットフォームで実施し、相互の利便性をはかった。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	1	2	6	5	2	2	1	3	4	1	1	2	4
延べ 参加人数	48	49	50	215	94	30	73	48	335	765	245	350	364	1210

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「敵を知り倒す！外来種駆除体験講座」事前学習	4月17日	1回	環境	成人	6人	【事業内容】 外来種と図書館利用方法について学び、資料を用いて外来種について自分で調査 【ねらい】 地域課題である外来種駆除の人材育成、図書館の利用方法啓発	【準備過程】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館で内容の検討を行い、公民館だより、広報まつもと、新聞、ラジオで周知 【共催団体等】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館	【評価と反省】 様々な媒体で周知したが、参加者が少なかった。普段図書館を使わない方の利用促進につながった。 【今後の方針】 地域課題という固いテーマへの関心を高められるよう、内容、広報を工夫したい。	
お花で手形アート（親子ひろば共催）	4月29日	2回	子育て	家庭教育	23人	【事業内容】 フォトフレームと手形を使った工作を親子で行う。 【ねらい】 作品づくりを通して親子でふれあいの時間を過ごす。民生・児童委員協議会主催の親子ひろばへ公民館が関わることで新規参加者の獲得を図る。	【準備過程】 民生児童委員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区民生・児童委員協議会	【評価と反省】 親子でふれあいの時間を提供できた。父親の参加もあった。親子ひろばへ初参加する方がいた。 【今後の方針】 今後も民生・児童委員には協力したい。	
内田スポーツDay	5月7日	1回	スポーツ	家庭教育	44人	【事業内容】 クイズラリー、ニュースポーツの体験。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 スポーツを通じて交流を深めることができた。 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。	
自然観察・環境学習会	5月17日	1回	環境	成人	13人	【事業内容】 サントリー天然水工場見学で環境について学び、白馬岩岳でトレッキングをしながら自然観察を行う。 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を促進することにより町会や公民館活動の活性化を図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 自然環境への理解、住民同士の仲をより深めることができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を検討していきたい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「敵を知り倒す！外来種駆除体験講座」実地体験	5月22日	1回	環境	成人	4人	【事業内容】 講師から外来種の講義を1時間、女鳥羽川での実地体験を1時間実施。講義では、参加動機の聞き取り、事前学習での質問事項を踏まえつつ、質疑応答の時間を設ける。 【ねらい】 外来種駆除ができる人材育成。	【準備過程】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館で内容の検討を行い、公民館だより、広報まつもと、新聞、ラジオで周知 【共催団体等】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館、長野県保全研究所	【評価と反省】 様々な媒体で周知したが、参加者が少なかった。普段図書館を使わない方の利用促進につながった。 【今後の方針】 地域課題という固いテーマへの関心を高められるよう、内容、広報を工夫したい。	
街めぐりウォーキング	6月16日	1回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 路線バスで市街地まで出かけ、「石井味噌」「はかり資料館」を見学し、市街地を歩いて巡る。 【ねらい】 1日1往復の内田線を利用することで、地域の交通について考えるきっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知	【評価と反省】 普段市街地へ出かけない方の参加があり、評判も良かった。地域交通を考えるきっかけにもなった。男性の参加、新規参加者がいた。 【今後の方針】 内容次第では、男性の参加も見込めるため見学場所を検討したい。	
ホタル学習と観察会	6月23日	1回	環境	家庭教育	38人	【事業内容】 信州大学教授を講師にホタルと環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川でホタルを観察。 【ねらい】 ホタルを切り口に自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホタル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホタルを通して自然環境を考える良いきっかけとなった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者の評判も良いので継続したい。	
内田親睦ゴルフコンパ	6月27日	1回	スポーツ	成人	29人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会場は地区内の松本カントリークラブ。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。新規の参加者の発掘。	【準備過程】 町会連合会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 ゴルフを通じて交流を深めることができた。また、普段あまり公民館事業に参加しない方の参加もあった。 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、継続して実施したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田地区球技大会	7月9日	1回	地域事業 (体育)	成人	149人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲートボール、ソフトバレー、ボッチャの大会。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、主事、町会長、体協役員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 軟式野球、ソフトバレー、ゲートボールを参加希望町会対抗で実施。大変盛り上がり住民の交流が深まった。ボッチャを種目に追加し、子どもや高齢者も選手として出場できた。 【今後の方針】 子ども、高齢者もスポーツに参加する貴重な機会となっているため継続したい。	
子ども防災合宿	7月28日 7月29日	1回	防災	家庭教育	48人	【事業内容】 非常食作り、防災について、避難所生活と感染症対策の学習、防災クイズ、ダンボールベッド組立体験。 【ねらい】 子どもたちや実行委員の大人が防災について考えるきっかけとする。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公民館長、町会長、子ども会育成会役員、民生・児童委員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 南部保健センター	【評価と反省】 4年ぶりに宿泊体験が実施できた。参加した子どもたちからも地区の方からも好評であった。 【今後の方針】 子どもが防災について考える機会となっているため継続したい。	
昔の道具を使って江戸時代にタイムスリップ	8月3日	1回	地域文化	家庭教育	18人	【事業内容】 重要文化財馬場家住宅の見学と昔の道具を体験後、本を使った調べ方の説明を図書館司書から受け、図書館資料を用いて参加者が見学や体験を通して抱いた疑問や気づきについて調査した。職員は調査のサポートをした。 【ねらい】 地域資源を活用した子どもたちへの地域学習機会の提供、公民館学習と博物館・図書館利用の啓発。	【準備過程】 馬場家住宅、寿台図書館と内容の検討を行い、公民館だよりで全戸、内田児童館へ周知 【共催団体等】 馬場家住宅、寿台図書館、内田児童館	【評価と反省】 社会教育機関の連携事業として、実施した。実物に疑問を持ち調べるという良い流れができた。職員数に対して子どもの数が多く、サポートが難しかった。 【今後の方針】 参加者の感想から見るとニーズはあるため、広報の時期を早める等の工夫をし参加者を増やしたい。	
水生昆虫観察会	8月8日	1回	環境	家庭教育	33人	【事業内容】 信州大学の先生を講師に水辺環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で観察。 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松本ホテル学会、内田児童館	【評価と反省】 水生生物採取を通して自然環境を考えるきっかけとなった。講師との質疑応答の中で子どもの考える力を養えた。 【今後の方針】 今後も連携して実施したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田ササラまつり	8月14日	1回	地域事業 (その他)	家庭教育	350人	【事業内容】 子ども向けのイベント、打ち上げ花火、屋台、参加者によるササラ踊りなど。 【ねらい】 地域の伝統文化であるササラ踊りの継承と子どもからお年寄りまで楽しめる行事として実施。	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知 屋台やビンゴ大会は公民館委員が中心となって運営。	【評価と反省】 公民館委員が主体的に運営することができている。今年はボランティアで参加してくれる中学生が多かった。 【今後の方針】 ササラ踊りの継承と地域の交流の場として定着していることから継続して実施したい。	○
第47回東南ブロック球技大会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	35人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6種目による6地区対抗競技。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
第60回内田地区大運動会	9月10日	1回	地域事業 (体育)	その他	547人	【事業内容】 町会対抗によるリレーや、自由参加の個人競技など。 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にもなっている競技を通じて、子どもからお年寄りまで参加できる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、健康づくり推進員等）と実施の可否を検討し、中止を決定。	【評価と反省】 好天に恵まれ、全ての競技を事故なく終えることができた。子どもからお年寄りまで幅広い世代の参加があった。 【今後の方針】 子どもからお年寄りまで参加できる貴重な機会となっているため継続したい。暑い時期の開催のため、熱中症対策に気を配りたい。	○
第46回内田地区文化祭・第25回内田地区福祉ひろばまつり	11月5日	1回	地域事業 (文化)	その他	245人	【事業内容】 サークルによるステージ発表や個人作品などの展示、豚汁・おにぎりの提供、くじびき、農産物の直売。 【ねらい】 子どもからお年寄りまで楽しむことができる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等）で内容を検討。プログラムを作成して周知 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、実行委員会	【評価と反省】 4年ぶりの豚汁・おにぎりの提供ができ、飲食を通じた交流ができた。個人作品の展示が減少傾向にある。作品が増えるような手法を検討したい。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっており、また、子どもからお年寄りまで参加する機会にもなっているため継続したい。	○

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化芸術視察研修	11月22日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 黒曜石体験ミュージアム、ニデック オルゴール記念館すわのね見学。 【ねらい】 黒曜石と地域の学習、美術品の鑑賞 を通して芸術意識の向上を図るとと もに、住民同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、 公民館だよりで周知	【評価と反省】 地区に通ずる歴史の学習と優れた作品 の鑑賞で得る感動を共有することで、 住民同士の交流を深めることができ た。 【今後の方針】 芸術作品に触れることができる貴重な 機会であることから今後も継続した い。	
音の花束コンサート	11月21日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者 を招いてのコンサート。 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼と して開催。公民館活動について、生 徒の理解を深める。【趣味教養、地 域文化】	【準備過程】 公民館と中学校が連携して準備を 進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を 聴ける貴重な機会となった。中学生の 公民館に対する認識を広げることがで きた。 【今後の方針】 C S運営委員会に中山公民館も出席し ていることから、同館を加えての開催 を検討したい。	
しめ縄・ふかし饅頭づ くり	12月2日	1回	地域文化	家庭教育	45人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理。 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わり ながら世代間交流を図るとともに、 伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館 だよりで周知 【共催団体等】 子ども会育成会、内田児童館	【評価】 地区在住の講師ということもあり、世 代間交流をより深めるとともに伝統文 化に対する理解を深めることができ た。子ども会育成会のクリスマス会と 同日で開催したこともあり、育成会役 員の協力を得られた。 【今後の方針】 今年度同様、子ども会育成会と連携し て実施したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
勾玉と本でキミも縄文人！？	12月16日	1回	地域文化	家庭教育	54人	【事業内容】 考古博物館の不思議探し、考古博物館長による展示解説、中山文庫の図書資料を使った調べ学習、勾玉制作体験を小学生の親子向けに実施。 【ねらい】 松本まるごと学都構想を軸に公民館・博物館・図書館の3つの社会教育機関の連携により、それぞれの特色を活かしながら学びの場を提供する。 連携事業をきっかけに、職員同士の連携強化や体制づくりを目指す。	【準備過程】 公民館主事会プロジェクトチーム、中山文庫、考古博物館で内容の検討、小中学校へのチラシ配布、市ホームページで周知 【共催団体等】 中山文庫、中山児童センター、考古博物館、中山公民館、庄内地区公民館、和田公民館、松原地区公民館、中央公民館	【評価】 対象学年を絞らず、参加対象地区も絞らなかったため多くの地区、学年から参加があった。低学年には内容が難しい部分もあったが、体験活動の満足度は高かった。 【今後の方針】 ただの勾玉づくり体験では終わらない、学習の要素は今後も必要。対象学年を絞って実施されたい。	
人権啓発講座	1月18日	1回	人権平和	成人	25人	【事業内容】 聴覚障がいのある講師から生い立ちや普段の生活について講話を聞く、体験やジェスチャーゲームを体験。 【ねらい】 聴覚障がいのある方への理解を体感し、地域にあるろう学校への関心を高める。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 ジェスチャーゲームで声を出せないもどかしさを体験し、他者への理解促進につなげることができた。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
スタンプと絵本で野菜を好きになっちゃおう	1月26日	1回	子育て	家庭教育	27人	【事業内容】 講師による野菜の絵本の読み聞かせ、野菜スタンプを使った作品制作 【ねらい】 作品づくりを通して親子でふれあいの時間を過ごす。民生・児童委員協議会主催の親子ひろばへ公民館が関わることで新規参加者の獲得を図る。食育	【準備過程】 民生児童委員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区民生・児童委員協議会	【評価と反省】 親子でふれあいの時間を提供できた。父親の参加もあった。親子ひろばへ初参加する方がいた。 【今後の方針】 今後も民生・児童委員には協力したい。	
ニューススポーツ体験会	1月28日	1回	地域事業 (体育)	家庭教育	34人	【事業内容】 ボッチャ、モルック、わなげ、ラダーゲッターの体験 【ねらい】 ニューススポーツを通して冬場の運動不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで一緒に楽しみ、世代間交流が深まった。 【今後の方針】 体育館から公民館に会場を移し、参加者が増加したため、冬場は公民館で実施したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホお悩み相談会 & 体験会	2月9日	1回	その他	高齢者	8人	【事業内容】 スマホの使い方の個別相談会、i P h o n e、アンドロイド端末の体験会を実施 【ねらい】 地域のデジタルディバイド解消、スマホの防災への活用を促す。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知福祉ひろば事業の「ひろば喫茶」に来た方を対象とした。 【共催団体等】 特定非営利活動法人 信州ソフトウェア協会、福祉ひろば	【評価】 事前申し込みは少なかったが、当日に相談申込者があった。個別で対応したため、参加者の悩みは解消された。 【今後の方針】 開催回数について検討したい。	
人権啓発視察研修	2月19日	1回	人権平和	成人	23人	【事業内容】 満蒙開拓平和記念館、藤村記念館の視察 【ねらい】 人権尊重の理念に関する理解と普及・高揚を図るとともに、住民同士の交流を深めることにより町会や公民館活動の活性化を図るもの。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 満蒙開拓団について説明を受け理解を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 新聞の連載が影響し、参加が多かった。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
明善小学校3年生 サササ踊り学習講座	2月20日	1回	地域文化	家庭教育	68人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財である「内田のサササ踊り」の学習及び体験。 【ねらい】 子どもの頃からサササ踊りに親しむことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授業の中で実施。 【共催団体等】 サササ踊り保存会	【評価と反省】 地区内の子どもだけでなく、他地区の子どもにもサササ踊りを知ってもらった機会となった。 【今後の方針】 サササ踊りに親しむ貴重な機会となっているため、学校と連携して実施したい。	○
内田地区ウォーキング	3月2日	1回	地域文化	その他	29人	【事業内容】 地区内の神社仏閣や旧跡などを歩いて巡る。内田かるたも使用。 【ねらい】 内田かるたの活用、地区の文化財等への理解を深めるとともに、健康づくりを通して住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば、馬場家住宅と内容の検討を行い、公民館だよりで周知内田児童館へチラシの配布を依頼。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、馬場家住宅、内田児童館	【評価と反省】 講師の解説から昔を振り返り、住民同士の親睦を深めることができた。ウォーキングで健康づくりにつながった。多世代交流の機会となった。 【今後の方針】 内田かるたの活用のため来年度も実施したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ササラ踊り演奏学習講座	3月26日	1回	地域文化	青少年	1人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財「内田のササラ踊り」の唄と演奏の学習。 【ねらい】 ササラ踊りの歌い手や演奏者が少なくなっているため、次代の担い手の育成を図る。	【準備過程】 中学校で参加募集のチラシを配ってもらった。 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 参加者が少なく、声を掛けても部活の予定と重なってしまう中学生が複数いた。 【今後の方針】 引続き実施して担い手の育成につなげたいが、開催時間を午後にはずらす等検討したい。	
自習室開放	7月31日 ～8月18日 12月25日 ～1月5日	20回	その他	青少年	27人	【事業内容】 夏休み・冬休み期間に公民館の会議室を自習室として開放し、地区の住民が勉強できる場を提供。 【ねらい】 市民への学習場所の提供、公民館への来館機会の増進を図る。	【準備過程】 公民館だよりを全戸配布、小中学校で配布し周知	【評価と反省】 学区外の学校へ通学している地区児童の利用があり、公民館利用の機会を創出できた。 利用者同士の交流の場にもなっている。 【今後の方針】 利用があるため今後も継続したい。春休み中の開放も検討したい。	
健康づくり講座 「PPKスクール」	12月～3月	4回	福祉健康	成人	49人	【事業内容】 理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせた運動の実施。介護施設の方からリビングウィルの講座ともしバナゲームの実施。 【ねらい】 介護予防の啓発と運動習慣のきかけづくり。	【準備過程】 講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 南東部地域包括支援センター、地区生活支援員、介護事業所、整骨院	【評価と反省】 介護予防の知識を深めるとともに運動習慣のきかけとすることができた。 参加者が運動を習慣化できるよう健康ビンゴを作成、配布した。第4回目でビンゴ達成者を表彰し、健康習慣が継続された。 市外の講師にリモートで出演していただいた。 【今後の方針】 引続き、専門職の講師を招いて実施したい。	
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	26回	公民館委員会・各種会議等	成人	320人	【事業内容】 公民館事業、地区事業の企画運営。 【ねらい】 公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】 年度の始め、事業の前後等に随時開催	【評価と反省】 各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】 住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。	

令和5年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館報「はちぶせ」	通年	7回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	44人	【事業内容】 公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録。 【ねらい】 公民館事業や地区の出来事、課題等の周知	【準備過程】 館報編集委員会において、記事の検討、推敲	【評価と反省】 公民館事業や地区事業等を住民の視点で記録することができた。一度も行事に参加したことがない委員の行事参加につながった。 【今後の方針】 事業の記録だけでなく、地区の事に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。	

令和5年度 事業報告の概要

本郷公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 地区住民による、より自主的な活動ができるよう意識し、主に次の事業に取り組んだ。 1 公民館委員会 地区公民館主導の活動から脱却し、より自主的な活動となるよう心掛けた。コロナ禍で地区行事等が少ない中、館報編集委員では、令和6年に迎える本郷地区合併50周年に併せて記事を考えたり、状況に応じた自主的な判断で取り組んだ。コロナ禍からの回復期にあたり、各委員会による工夫を行い、事業実施をした。 2 地区文化祭 感染対策から、文化委員会等で検討を重ね、日程・規模をコロナ前と同等とした。公民館活動サークルによる展示・発表、小・中・高・大連携の本郷音楽祭を実施できた。 3 講座 例年実施している講座に加え、子ども向け又は親子向けの体験型講座を多数実施した。 4 貸館 本郷公民館利用者説明会を午後・夜間の1日2回オンライン開催をした。感染症対策をして利用者との意見交換、公民館を利用するうえでの基本事項の確認を行った。公民館設備の老朽化への対応を求める意見も多く聞かれる。 5 コミュニティスクール 本郷小学校に対し、授業サポートや各種ボランティア紹介、学校登山へのサポート随行を実施した。また、女鳥羽中学校生徒のボランティアとしての受入、強歩大会への支援等行った。										従来の活動に加え、なにか一つでも付け加えることができるよう意識し、各事業に取り組んだ。力の及ばなかった点はあるが、ある程度の成果を上げられたと感じている。 1 公民館委員会 各公民館委員会の自主的な発案等により事業が継続できている。感染症等により中止を余儀なくされ、実施できなかったものもあったが、子どもの健全育成を主眼に取組みが行われた。 2 貸館 利用者からの施設に対する要望が多数あげられているが、特に床の不陸、故障した暖房設備の更新、寒冷時に明滅を繰り返す照明器具等に多くの意見が寄せられ、一部改善に取り組めた。引続き、所管課へ改善要望を提出したい。 3 新しい仕組みづくり 従来からの生涯学習の場として、物理的な場所を提供することに加え、新しい技術（インターネット等）の取り込みにより、今までのやり方を大事にしつつ新たな取組みが必要と考える。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	0	1	1	3	2	4	1	2	1	8	0	7	12
延べ 参加人数	51	0	66	0	56	59	60	22	35	0	462	0	606	217

令和5年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書委員会視察研修	5月24日	1回	趣味教養	成人	9人	・公民館図書委員会主催、地域に開かれた公民館の在り方、先進事例について、見学、講義を受け、以って地域での図書普及活動を図るもの。	【共催団体等】 ・本郷公民館図書委員会	・木曾町立木曾図書館を視察し、司書の方から取組み、館内の特徴、地域とのかかわりについて学習できた。 ・地域での図書普及活動を効果的に実施するためにも継続して実施したい。	
美鈴湖親子ディスカバリー	6月4日	1回	スポーツ	青少年	15人	・親子で地区公民館から地元の里山を歩き、地元の自然に親しむとともに、ルート上にある文化財等にも関心を持ってもらう。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・本年度は行き先変更し、新たな参加者をターゲットに募集したが、集まらなかった。 ・次年度以降、内容を大きく変更し、地元の自然に地域の子どもがふれる機会として開催したい。	○
親子でホタルを見よう	6月27日	1回	環境	青少年	20人	・ホタルの観察会を通じ、自然環境について考える。	【共催団体等】 ・浅間温泉ホタルの里づくりの会	・申込みがあった参加者の他に、温泉の宿泊客などの参加もあり、賑やかな会となった。 ・今後も開催していく予定だが、ホタルの発生時期のピークを予想するのが困難。 ・今年は数多くのホタルが見られ、参加者の満足度は高かった。	○
人権啓発推進講演会	6月29日	1回	人権平和	成人	34人	・地区人権啓発推進協議会の総会に併せ、「ロシアのウクライナ侵攻の背景について」をテーマに講師を招き、講演会を行った。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会	・今後もテーマを考えながら開催していく。	
親睦マレットゴルフ大会	7月13日 9月3日 11月22日	3回	スポーツ	成人	55人	・健康づくり、体力増進とともに、地区住民の親睦の向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷公民館体育委員会	・参加者からは好評を頂いている。 ・令和4年度から町会毎の参加割合の低下により、町会対抗から地区全体の親睦に改めた結果、十分な参加者が得られた。 ・新規参加者の拡充が課題。	
親子星空観察会	7月29日	1回	環境	青少年	20人	・今年度新規事業。浅間温泉からアクセスする美ヶ原自然保護センター近隣から、星空を観察し、宇宙への興味の増進、地区の自然環境等の学習を図り、子どもたちに地域への愛着を持ってもらう。	【共催団体等】 ・スターウォッチングクラブ北斗	・今年度新規事業として十分な参加者確保ができた。当日あいにくの天気ではあったが、講師としてお呼びした北斗の会の方の機転で、バス内でもわかるお話、雲間から北斗七星を観察でき、好評であった。 ・次年度以降も天候等のアクシデントに備えつつ実施したい。	○

令和5年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
七夕飾りを作ろう	8月3日	1回	地域事業 (文化)	青少年	8人	・例年親子料理教室としているものをコロナ対策から調理した七夕料理を持ち帰り、七夕飾りづくりとしたもの。 ・季節の文化を知り、親子で伝統文化にふれる機会を作る。	【共催団体等】 ・本郷地区女性3団体（J A本郷女性部、本郷地区農村女性協議会、食生活改善推進協議会）	・夏休み期間中であつたため、十分な参加であつた。 ・今後も継続して開催していく。	○
美ヶ原を歩こう	8月10日	1回	スポーツ	その他	8人	親子、仲間に参加するウォーキングイベント。楽しみながらの健康増進を目的とする。	【共催団体等】 ・食と旅を愛する会（地元登山愛好家団体）	・親子や仲間同士など、様々な参加者。年齢層も幅広く、多世代交流が見込めるため、今後も継続。	
親子で化石を掘ろう	中止	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	・四賀化石館を見学した後、自分でも実際に化石を採取してみる体験学習の講座。	四賀化石館	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	○
親子プラネタリウム鑑賞会	8月20日	1回	環境	青少年	16人	・親子星空観察会（7月29日開催）の関連事業として実施。	教育文化センター	・星空観察への理解を深めるため、今後も継続して実施予定。	○
スマホ講習会	8月26日 12月16日	2回	その他	高齢者	21人	・DX推進本部から提供されたカリキュラムとして、ソフトバンク株式会社講師による、スマートフォン講習会。 ・デジタルディバイド解消のための講座	【共催団体等】 ・DX推進本部 ・ソフトバンク株式会社	・地区福祉ひろばで定期的に講習会を実施しているため、その補完として実施。 ・地区内の要望、又は市の指針に基づき実施。	
伝統的建造物群 保存地区視察	8月27日	1回	地域事業 (文化)	その他	15人	・伝統的建造物保存地域である千曲市稲荷山地区の商家群見学等、文化委員会主催の文化施設視察研修。	文化委員会主催	・地元観光ボランティアガイドの方からの講義が大変わかりやすく、参加者から好評であつた。商家の街並みの保存活動や、温泉街の活動等、地域での文化活動の振興を図る学習となつたため、今後も内容を変え実施予定。	
親子ニュースポーツ大会	9月10日	1回	地域事業 (体育)	青少年	15人	・5種類ほどのニュースポーツ体験講習会。	【共催団体等】 ・本郷地区体育協会 ・本郷地区子ども会育成会 ・本郷公民館体育委員会	少人数ではあつたが、コロナ前同様に実施できた。	○

令和5年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
浅間温泉と 芸者文化Part 4	10月13日	1回	地域事業 (文化)	成人	27人	・浅間温泉の歴史・文化について、 地元在住の講師を招き講演会を開催 する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深 め、地域に対する愛着と感心の向上 を図る。	図書委員会主催	・図書委員からの発案により昨年に引 続き開催。 ・常に定員以上の参加があり、次年度 開催の要望もあるため、令和6年度も 開催する予定。	
文化施設視察 (文化祭特別企画)	10月22日	1回	地域事業 (文化)	その他	16人	・森將軍塚古墳の見学。文化、歴史 について造詣を深める機会。	文化委員会主催	・地元古墳を含めた古代史について学 習でき、地元案内ボランティアガイド の案内によって、姥捨地区も含め、 十分な学習が図れた。 ・今後も学習内容を吟味し、継続した い。	
本郷地区文化祭	11月10日 ～11月12日	3回	地域事業 (文化)	その他	540人	・地区文化活動者の発表（ステージ 発表、展示発表）、地区に関係する 学校（本郷小学校、女鳥羽中学校、 第一高校、信州大学）の吹奏楽部等 による音楽祭の開催など。 ・地区文化活動者の発表の場を提供 することで、活動者がより生きがい を持って文化活動を行なうことを期 待し、またその他の参加者が身近な 文化・芸能にふれることで、新たな 文化活動の担い手となることを目的 とする。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織 し、開催可否・内容を検討した。	・新型コロナウイルス感染症への配慮 から文化祭の内容変更を行い実施。 ・開催日程・期間・発表方法等につ いて、感染症対策に限らず幅広く検討 し、来年度実施したい。	
三九郎作り講習会	12月4日	中止	地域文化	青少年	0人	・地域の伝統行事である三九郎の作 り方を子どもたちに教え、行事の持 つ意味や、手法を次の世代に伝えて いく。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・コロナ対応により、中止 ・好評であり、伝統行事を次世代へ受 け継ぐためにも今後も開催する予定。 ・本郷小学校以外の学校へ通う子ども たちの参加が難しい。日程も含め課題 が残る。	○
人権ふれあいDVDコ ンサート	12月10日 ～12月26日	13回	人権平和	その他	不明	・音楽活動を行っている障がい者支 援団体のコンサートを行い、人権に ついて考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会 出演 楽団ケ・セラ	・新型コロナウイルス感染症への配慮 からDVDへ収録した映像によるコン サートとして実施。 ・長年同じ出演者で開催しているが、 視聴者からは「またやって欲しい」と の声が聞かれる。 ・出演団体からの要望もあるため、今 後も開催していく予定。	

令和5年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子そば打ち教室	12月17日	1回	その他	青少年	14人	・地元のそば粉を使い、親子でそば打ちの体験学習。 ・食べ物への関心向上と共に、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・毎年、ほぼ定員いっぱいの申込みがある。 ・人気講座であり、今後も継続して開催する予定。 ・新型コロナウイルス感染症へ配慮し、そば打ちのみで持ち帰りとした。	○
書き初め講座	1月5日	1回	地域事業 (文化)	青少年	20人	・地区内の小中学生を対象に開催。 ・伝統文化の継承、技術の向上を図り、子どもの学習支援につなげる。		・申込みのあった参加者の他に、当日参加もあった。 ・今後も開催予定。	○
図書委員会主催講演会 浅間温泉よもやま話 Part10	1月17日	1回	地域事業 (文化)	成人	26人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・コロナ対策を行い実施。 ・毎年行っているが常に定員以上の参加があり、引続き開催方法を工夫し実施したい。	
人権啓発視察 「富岡製糸場見学」	3月1日	1回	人権平和	成人	17人	・年度当初の研修会に関連し、現在の社会情勢から富国強兵について考える機会とした。	本郷地区人権啓発推進協議会	・地元案内ボランティアガイドによる講義を受けながら、戦争について考える機会とできた。	
里山トレッキング	3月11日	1回	スポーツ	成人	23人	・地元の里山を歩き、健康増進、体力向上の機会とすると共に、地元の里山に親しんでもらう機会とする。		・参加者からは好評をいただいているが、参加者が固定化する傾向にある。 ・講師の高齢化が進みつつあり、今後の開催に不安な面もある。	
本郷公民館利用者説明会	2月19日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	50人	・本郷公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 ・利用者との意見交換を行い、使用するうえでの基本事項の共有を図った。 ・午後・夜間2回、Z o o mによるオンライン開催。		・利用者からの要望については、すぐに対応できないものもあるが、今後も定期的に開催していく必要を感じた。 ・オンライン併用開催とすることで普段参加できない代表者も参加でき好評であったので継続したい。	
コミュニティスクール 事業	6月23日 ～9月29日 6月21日 ～7月14日 12月12日 ～12月22日 7月 8日 1月10日	25回	子育て	青少年	66人	・地域全体で子どもを育てることを目的に、地元住民によるクラブ活動指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山のサポートなどの活動を行った。		・事業は今後も継続していくが、ボランティアやクラブ活動指導者が固定化しており、新しい人の加入が少ない。	○

令和5年度 事業報告

本郷公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会	4月15日 ～4月5日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	232人	・全員が文化祭実行委員となっているため、文化祭内容の企画をはじめ、文化祭の運営を行った。 ・また公民館長同志の交流を深め、地区内の親睦と結束の向上に努めた。		・昨年から役員交代により、半数近くが未経験者だが、自主的な活動を行えた。 ・活動予算が少なく、新しい事業を行うことは困難。	
館報編集委員会	4月12日 ～3月 6日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	92人	・公民館報の編集ならびに作成、編集に必要な取材等を行う。		・地区公民館主導での編集が多かったが、次第に自主的な活動が行えるようになってきた。	
体育委員会	5月16日 ～11月22日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	29人	・各種体育行事を企画・実施し、地区住民の健康増進と交流・親睦の向上を図る。		・親睦を目的としたマレットゴルフ大会へ変更したが、十分な参加があった。 ・参加者が固定化されているため、次年度以降の体育事業に子ども向けの物を検討したい。	
文化委員	5月 9日 ～2月28日	7回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	98人	・文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と地区住民の交流・親睦を図る。		・経験者も多く、自主的な活動が行えた。	
図書委員会	4月21日 ～1月17日	9回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	54人	・年4回の図書日より発行により、読書についての啓蒙を図り、また本郷図書館の活動に協力する。 ・地域文化伝承を図るため、年2回講演会を実施する。		・自主的な活動が最も盛んな委員会。 ・前年通りにいかない場合となっても、自分たちで解決方法を考えて活動できる。 ・委員が固定されているので、新しい委員の加入が問題か。	
運営委員会	5月12日 ～3月 8日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	51人	・本郷公民館の事業計画、予算案、徐行報告、決算報告などについて協議を行い、本郷公民館の活動方針について決定を行う。			

令和5年度 事業報告の概要

四賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ○新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより、感染防止には十分気を付けながら、コロナ以前と同じように事業を開催し、地域コミュニティの推進を図る。 ○CS事業については、四賀小学校、会田中学校と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。										○計画した事業を予定どおりに開催でき、住民の交流を行えた。 ○3年ぶりに開催する事業は、人集めなど大変なことが多く、コロナの影響は非常に大きいと感じた。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	1	3	1	3	3	0	3	3	3	7	10	3
延べ 参加人数	18	165	5	55	80	60	53	0	423	630	960	7559	283	443

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀小学校春の遠足	5月12日	1回	その他	青少年	123人	【内容】 ・四賀小学校遠足に同行し、地域の案内や説明を行う。 1・2年（百体観音） 3・4年（立峠） 5・6年（虚空蔵山）の3ルート 地域同行者9名 【ねらい】 ・地域学習の進化を補助し、地域の人との交流を図る。	【準備過程】 ・下見により距離・時間・安全面の確認。ルート上の説明事項の確認（下見4月14日） 【共催団体等】 ・四賀小応援団 他	【評価と反省】 ・無理のない範囲で長く歩くことができた。地区の自然や文化財を見学することができた。 【今後の方針等】 ・今後も登山道に倒木がある場合は、事前に撤去しておく。安全面には最善の注意をする。	○
第19回四賀地区球技大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	360人	【内容】 ・町会対抗でソフトボール、ゲートボール、マレットゴルフ、ソフトバレー、卓球の5競技を行う。 【ねらい】 ・地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼して、要項を検討し、地区体育部長に参加依頼する。 【共催団体等】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館長会 ・町内体育部長会	【評価と反省】 ・コロナのため参加チームは以前より減少してしましたが、3年ぶりに全5競技を開催することができた。 【今後の方針等】 ・より多くの人が参加できるように、勝負より楽しめる大会にしていきたい。	
ヨガ教室	6月3日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 ・ヨガ初心者にもわかるように、指導してもらう。 【ねらい】 ・地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせにて募集 ・ピナスホールで開催	【評価と反省】 ・地区外からも参加者があり盛況に開催できた。 【今後の方針等】 ・来年度は、地区内にヨガ教室ができたので開催しない。	
「北鷲斎弘探」解説講演会	6月20日	1回	趣味教養	成人	25人	【内容】 ・県立美術館で開催される葛飾北斎の企画展に四賀地区から出品される2作品（絵馬・涅槃図）について、解説してもらう。 【ねらい】 ・四賀のお宝を多くの人に知っていただく。	【準備過程】 ・会場の準備、資料の印刷 【共催団体等】 ・四賀文化財保護協会	【評価と反省】 ・地区外からも参加者があり盛況に開催できた。 ・四賀のお宝の由来を多くの方に知っていただいた。 【今後の方針等】 ・四賀の文化財については、多くの人に知っていただきたいので、年に一度は開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀地区人権啓発推進協議会視察研修	7月5日	1回	人権平和	成人	18人	【ねらい】 ・人権について研修し学習する。 【内容】 ・上田市「無言館」、長野市「松代大本営象山地下壕」を訪問し戦争の悲惨さ愚かさ等を学習	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員と研修場所を検討し選定 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・当時の学生の絵画、地下壕を観ることにより、戦争の悲惨さ愚かさを改めて学習することができた。 【今後の方針等】 ・若い人たちや住民にも幅広く参加できる研修を企画する。	
文化財環境整備	6月24日 3月10日	2回	地域事業 (その他)	成人	34人	【ねらい】 ・文化財周辺の環境整備を行い。来場者の安全と文化財の保全を行う。特に枯松の伐倒や松枯れ倒木の撤去等 【内容】 ・虚空蔵山登山道の環境整備	【準備過程】 ・「公民館からのお知らせ」に事業案内と募集を掲載。現場での作業内容と必要人員の把握 【共催団体等】 ・四賀文化財保護協会 ・地域づくり協議会 - 生活安全環境保全部会	【評価と反省】 ・林業従事者や山仕事に慣れた参加者が多く、作業が効率よく安全に進められた。 ・階段 160段の整備と、倒木5本処理した。 【今後の方針等】 ・若い人を中心に幅広く住民参加を促す。 ・登山道の整備は、継続的に行っていく。	
第30回四賀夏まつり 2023	7月22日	1回	地域事業 (その他)	成人	2,000人	【内容】 ・ふるさと公園を主会場に地元で活躍するバンド演奏、歌などのステージイベントや露店が並ぶ。最後は、花火の打上げも行われる。 【ねらい】 ・「ふるさと四賀」の地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・共催団体による実行委員会を立ち上げ企画、運営をする。 【共催団体等】 - 四賀観光協会、町会連合会、商工会議所、四賀元気プロジェクト、J A、町内公民館長会、社会福祉協議会、消防団、地域づくり協議会等	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3年間中止していたが、4年ぶりに開催し大盛況であった。 【今後の方針等】 ・地区在住の音楽家、ダンサー、小学校の金管バンドなど、地域で活躍する方たちのステージ発表や、露店も中学生が出店するなど地域交流をメインに企画し、これからも地域住民主体の祭として開催していきたい。	
図書室談議 「四賀に生きるホタルに学ぶ」	8月25日	1回	環境	その他	80人	【内容】 ・四賀小学校児童と共に研究してきた四賀のホタルについての講演 【ねらい】 ・四賀のホタルの様子を学び、環境について考える。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸周知 ・演奏会場の準備 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・夜の開催となったが、多くの参加者があった。 ・四賀のホタルの発生状況がよくわかった。 【今後の方針等】 ・今後も環境に関係する講座を開催していく。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽団ケ・セラ演奏会	9月12日	1回	福祉健康	成人	50人	【内容】 ・福祉ひろばと共催で開催 ・血圧測定、健康相談、お茶会も行う。 【ねらい】 ・障がいを持つ若者たちが音楽を通じて社会的自立を目指している姿を見て、人権について考える。 ・福祉ひろばの利用者と交流を図る。	【準備過程】 ・ピナスホールの会場準備 【共催団体等】 ・福祉ひろば ・四賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・とてもいい演奏会だったので、もっと多く集客できればよかった。 【今後の方針等】 ・福祉ひろば、四賀地区人権啓発推進協議会と連携して開催していきたい。	
第19回ソフトバレーボール大会	9月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	120人	【内容】 ・町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 ・幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ・ソフトバレーボール競技の2団体に役員を依頼し、企画・運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・四賀ソフトバレーボールクラブ ・刈谷原町ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 ・4年ぶりの開催となり、参加チームが減少（19チーム）したが、中学生・高校生の参加もあった。 ・冬場の運動不足解消のため行ってきたが、けがなどが心配のため今回9月開催とした。 【今後の方針等】 ・今年は稲刈りが最盛期の時期の開催となってしまったが、来年度は9月上旬の開催としたい。	
第15回四賀マレットゴルフオープン大会	10月15日	1回	スポーツ	成人	35人	【内容】 ・マレットゴルフ大会 【ねらい】 ・高齢化で会員が減少する中ではあるが連盟会員以外も参加でき、会員の新規加入促進する。	【準備過程】 ・会員以外も参加できるので、公民館からのお知らせで参加募集等を行った。 【共催団体等】 ・マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 ・マレットゴルフ連盟が運営し、四賀公民館は住民に周知することで協力している。 ・コロナ禍が原因で年々参加者が減少してきている。 【今後の方針等】 ・マレットゴルフ競技人口を増やすため今後も協力して、開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第2回 四賀の里写真 コンクール テーマ：歴史を感じ る 文化財	10月20日 締め切り	1回	地域事業 (その他)	その他	9人	【内容】 ・テーマに沿った写真を撮って応募 してもらおう。1人3点まで。A4サ イズプリントで応募する。秋の文化 祭で発表展示し、投票により評価す る。 【ねらい】 ・四賀地区の知らない魅力を発見し てもらい、広く周知して観光や活性 化に寄与する。	【準備過程】 ・4月から「公民館からのお知らせ」に募集掲載し、周知を図つ た。	【評価と反省】 ・地区内からの応募9名、地区外1名 の応募があり写真点数は17点になつ た。もう少し大勢に応募していただ けるようにPR等に努めたい。 【今後の方針等】 ・興味を引く楽しいテーマを考え毎年 実施していく。	
四賀地区文化祭	10月28日 10月29日	1回	地域事業 (文化)	成人	400人	【内容】 ・保育園児、小中学生、各クラブ、 団体、サークルの作品展示を行う。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の 「そばまつり」、社協主催のバザー を開催する。 ・写真コンクールの発表も実施す る。 【ねらい】 ・地区で活動する団体が一堂に会 し、文化活動の発展と交流を図る。 ・地区住民の文化活動を推進する。	【準備過程】 ・文化関係団体・個人に通知し、 出展者を募る。 ・出展者により運営、準備、片付 けを行う。 【共催団体等】 ・福祉ひろば・社会福祉協議会・ 福寿草倶楽部・四賀小学校・会田 中学校・双葉保育園他	【評価と反省】 ・多くの参加と作品展示ができ、社協 のバザーも行え盛況であった。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の 「そばまつり」も同時開催し好評で あった。 【今後の方針等】 ・作品を展示し、来場者に見ていただ く貴重な機会であるので継続開催し、 新規企画も行いたい。 ・来年度は、生涯学習フェスティバル と共同で開催したい。	
四賀地区食生活改善推 進協議会視察研修	11月1日	1回回	公民館委員会・ 各種会議等	女性	15人	【内容】 ・食育について視察研修を行う。 【ねらい】 ・食についての理解を深め、今後の 活動に生かしていく。	【準備過程】 ・四賀地区食生活改善推進協議会 と研修場所や内容を検討する。 【共催団体等】 ・四賀地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・大町市「サントリーの飲料水工場」 で製造過程を視察、最新の設備を備え た工場、製品のできる工程が勉強で きた。 【今後の方針等】 ・食の大切さについて、今後も学ぶ機 会を作っていきたい。	
第64回四賀一周駅伝競 技大会	11月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 ・地区内を6区間14.2km(6人～ 9人)のコースで駅伝大会を行う。 【ねらい】 ・コロナ禍によりで減少したスポー ツ競技を復興し地区住民のスポーツ 人口の拡大と明日への活力を養い、 健康で充実した生活を送り、活気あ る地域づくりを図る。	【準備過程】 ・実行委員会をつくり、要項の検 討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 ・昨年より2チーム多い8チームの参 加があり、事故もなく実施できた。 ・区間数は増やさずに距離を伸ばし、 赤怒田地区までコースを伸ばすことが できた。 【今後の方針等】 ・参加チーム数を増やせるような新規 運営方法の検討をする。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第35回四賀コンサート	11月11日	1回	地域事業 (文化)	その他	450人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、四賀小学校4・5・6年生、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓、四賀混成合唱団が出演する。 【ねらい】 ・四賀の生涯学習推進の基盤として、地区住民総参加のもとに、心の豊かさ、潤い、やすらぎのある生活、情操豊かな文化を創造する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運営を行う。 【共催団体等】 ・主催 松本市、松本市教育委員会 ・主管 四賀コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため3年間中止していたが、4年ぶりに開催し大盛況であった。 ・暑さ対策のため今回初めて開催を9月から11月に変更した。 【今後の方針等】 ・チケットの売上げを伸ばす。 ・開催時期を寒さ対策のため10月に移動する。	
第18回生涯学習フェスティバル	11月25日	1回	地域事業 (文化)	その他	110人	【内容】 ・福寿草倶楽部を中心とした発表会 ・実践活動として中学生による文化祭の様子を映像発表 【ねらい】 ・生涯学習の大切さを認識し、同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに対する喜びを推進するために開催する。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部 ・会田中学校	【評価と反省】 ・昨年に続き実施でき、多くの発表ができた。 ・スケジュールの都合で小学生が参加できず残念であった。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークル発表の貴重な機会となっているが、住民の観客が少ないため、多くの人が集まるフェスティバルにしていきたい。 ・来年度は文化祭と組み合わせて開催したい。	
そば打ち教室	12月2日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・手打ちそばづくり ・定員10名 【ねらい】 ・そばのこね方、打ち方のコツを学び自宅でもできる技術をつかむ。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸に告知	【評価と反省】 ・講師に、打ち方、ゆで方、つゆの作り方を教わり、試食をした。美味しくて大好評だった。 ・今回は、講師の打つのを見ての講習だったので、次回は参加者も実際に打てるようにしたい。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も開催していきたい。	
しめ飾り体験学習会	12月9日	1回	地域文化	その他	35人	【内容】 ・正月に飾るしめ飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸に告知 ・大結ぶ市と共同で開催	【評価と反省】 ・小学生から70代の方まで体験してくれた。大結ぶ市と共同開催だったので、親子連れが多く参加してくれた。 【今後の方針等】 ・しめ飾りを作る人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄つくり学習会	12月18日	1回	地域文化	青少年	20人	【内容】 ・四賀小学校5年生に正月に飾るしめ縄の作り方を教える。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深め、長く継承できるようにする。	【準備過程】 ・材料の藁を準備 ・地域の講師3名	【評価と反省】 ・地域の伝統と飾る意味などを説明でき、縄の縄い方や作り方をほとんどの子が形にできるようになった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催したい。	○
空き家のお悩み相談会	1月23日 1月24日	2回	地域事業 (その他)	成人	30人	【内容】 ・空き家の所有者などを対象にしたお悩み相談会 【ねらい】 ・四賀地区には空き家は多数あり、移住希望者も多いが、借りたり購入したりできる物件が少なく、移住の受け皿を増やす狙いで、相談会を開催	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸周知 ・市民タイムスで開催の告知 【共催団体等】 ・四賀地区地域づくり協議会	【評価と反省】 ・昼の部、夜の部と2回開催したが、多くの参加者があり、関心の高さがうかがえた。 ・空き家の登録も6件ほどあった。 【今後の方針等】 ・関心が高いので、今後も折を見て開催していきたい。	
エンディングノートを作ってみましょう	2月9日	1回	福祉健康	高齢者	25人	【内容】 ・自分に何かあったときに備えて、家族など親しい人に残すノートの作り方を学ぶ「自分のこれまで」「家族や親族」「介護や治療の希望」「財産・相続」「葬儀や墓地」「遺品の整理」 【ねらい】 ・自分に何かあったときに備えて、家族など親しい人に残すノートの作り方を学ぶ。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸周知 ・エンディングノートの配布 【共催団体等】 ・北部包括支援センター ・地区生活支援員	【評価と反省】 ・深刻になりがちな話題であるが、講師のおかげで明るい雰囲気にもまれた学習会ができた。 【今後の方針等】 ・また、折を見て開催したい。	
国宝松本城及び世界遺産に関する学習会	2月22日 2月29日	2回	地域文化	成人	32人	【内容】 ・座学「松本城の歴史」「松本城と世界遺産」 ・松本城見学会 【ねらい】 ・松本城の世界遺産登録を目指し、学習会を開催し松本城の素晴らしさとその価値を周知し、機運の醸成を図る。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・文化振興課 ・文化財課	【評価と反省】 ・参加者は歴史や松本城に興味がある方が多く、大変好評だった。 【今後の方針等】 ・松本の歴史に興味がある方たちが多くいるので、歴史講座を開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
長いも収穫体験とウォーキング	3月7日	1回	地域事業 (その他)	成人	15人	【内容】 ・山形村で長いもの栽培の歴史、育て方を学び、収穫体験をする。 ・スカイパークでウォーキング 【ねらい】 ・長野県有数の長いもの産地について学び、収穫体験をする。また、ウォーキングで冬場の運動不足を解消する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布	【評価と反省】 ・雪のため畑でのいも掘り体験ができずに非常に残念だった。 ・J Aの方や部会長さんが親切に見学・説明をしていただき、山形村と長いもの結びつきについてよくわかった。 ・スカイパークでウォーキング約4 km 楽しく全員が完歩できた。 【今後の方針等】 ・いも掘り体験ができなかったのも、また条件のいいときに計画してみたい。	
木のおもちゃ作り教室	3月9日	1回	子育て	家庭教育	5人	【内容】 ・木でおもちゃを作る。 【ねらい】 ・家族でコミュニケーションを取りながら、物を作る楽しさを体験する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 ・保育園、小学校へチラシを配布	【評価と反省】 ・公民館のお知らせを全戸、保育園・小学校へ募集チラシを配布したが、2組5名の参加しかなかった。会場が遠方だったのが原因かもしれない。 ・参加した2名の小学生は、目を輝かせて作っており、親子の会話も弾んでいた。 【今後の方針等】 ・クラインガルテンに木工室があるので、使用できるのであれば開催してみたい。	
星を見る観察会	11月18日 2月 3日 2月10日	3回回	その他	その他	10人	【内容】 ・野球場の芝生に寝っ転がりながら、冬の星座を観察する。 【ねらい】 ・四賀は星の観察場所として適している場であることを再認識してもらい、宇宙に興味をもってもらう。	【準備過程】 ・グラウンドに望遠鏡を設置 ・観察できないときのために、室内で座学を行う。 【共催団体等】 ・信州グリーン	【評価と反省】 ・3回とも天候不順で外での観察はできなかった。 ・1回目のみ室内でビデオを見ながらの講義を行った。 【今後の方針等】 ・夏の星座の観察会を計画したい。	
バタック交流会	12月 8日 1月19日 2月16日 3月15日	4回	スポーツ	成人	90人	【内容】 ・バタック競技の講習、交流戦を行う。 【ねらい】 ・冬場の運動と住民交流を促す。四賀地区内でも競技人口が増えており、高齢者も無理なく行えるためより多くの参加者を増やす。	【準備過程】 ・屋内ゲートボール場を使用しコースを設定 ・公民館からのお知らせで全戸周知 【共済団体等】 ・板場バタッククラブ ・大手公民館	【評価と反省】 ・屋内ゲートボール場を活用し、さらに地区外からも参加してもらい交流戦が実施でき良かった。 【今後の方針等】 ・競技人口をより増やし、年間を通した競技会や体験会を開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀探訪ウォーキング	4月24日 5月11日 9月28日 10月11日	4回	福祉健康	成人	90人	【内容】 ・4月 反町地区 ・5月 執田光地区 ・9月 原山地区 ・10月 横川地区 【ねらい】 ・四賀地区をウォーキングしながら、地区の自然、歴史、文化を体験する。 ・地区に残る文化財を巡り学習する。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区内の自然や今に残る文化財を巡り歩くことにより新しい発見をすることができた。 ・小学生も授業の一環として9月、10月参加してくれた。 【今後の方針等】 ・地域再発見のために、年数回開催したい。	C
コミュニティスクール事業	5月～12月		その他	青少年	300人	【内容】 ・地域住民による付き添いや四賀小学校児童への指導 ・5月 遠足付き添い ・5～11月 菊栽培・稲作学習 ・6～10月 冒険クラブ、ダンスクラブ、ゲートボールクラブ ・12月 書初め、正月飾りづくり 会田中学校 ・部活動支援（野球部週1回） 【ねらい】 ・地域住民やコーディネーターによるクラブ活動や授業の支援や交流 ・地域特性を学ぶ。	【準備過程】 ・参加できる方や地元講師を探し、四賀小学校・会田中学校と調整する。	【評価と反省】 ・地元住民から、普段の授業では学習できないことを学び、交流を深めることができた。 ・地域の特徴や資源の活用を考えることができた。 【今後の方針等】 ・仕事や趣味で特技のある地元の方を募集し、学校と連携してコミュニティスクール事業を推進していきたい。 ・地域資源を活用する学習を続けたい。	○
スマホサークル	4月から3月 月1回 (1月なし)	11回	趣味教養	成人	50人	【内容】 ・スマートフォンの基礎と操作方法を学ぶ。 【ねらい】 ・スマートホンの操作を学び、使いこなせるようにする。	【準備過程】 ・スマホをある程度使える方にサークルでの指導を依頼 ・公民館からのお知らせで全戸周知	【評価と反省】 ・スマホの得意な方1名、職員1名で、わからないことへの対応を行った。 【今後の方針等】 ・デジタル社会の中で、スマートフォンの操作は必要なため、今後もサークル活動を実施していきたい。	C

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
クリスマスツリー飾り	12月6日～ 12月27日	1回	地域事業 (その他)	青少年	5人	【内容】 ・支所玄関ロビーに地域の方から提供いただいた高さ4.5mのもみの木を設置し、クリスマスツリーの飾り付けを行った。 【ねらい】 ・クリスマスツリーを見て、いろいろ話をしてもらう。	【準備過程】 ・モミの木を用意して、職員で飾り付けをした。	【評価と反省】 ・高さ4.5m程のもみの木を設置し、来庁者から喜ばれた。 【今後の方針等】 ・継続するため、もみの木の提供先を模索する。 ・今後、双葉保育園・放課後児童クラブ等へ飾り付けを依頼したい。	
公民館図書室	年間	1回	地域事業 (その他)	成人	5,500人	【内容】 ・図書の貸出、整理 ・開館 平日10:00～18:00 土・日・祝日10:00～17:00 ・休館 毎週月曜日 (祝日の場合は次の日) 12月29日～1月3日 【ねらい】 ・地域の方が気軽に本を借り、知識を深める。	【準備過程】 ・会計年度職員6名で勤務表を作り、図書室の運営を行う。 ・新刊本にパソコンで管理するためのバーコードを貼り、カバーをする。 ・古くなった書籍等を除籍し、整理整頓を行う。	【評価と反省】 ・蔵書が約1万8千冊あり、身近な図書室として多くの住民に利用されている。 ・絵本等の子ども対象本も充実している。利用率が低い主に児童を対象としたスペースの利用促進を促す。 ・図書室スペースが限られ入れ替え本の選択に苦労しているため、定期的に書籍の整理を行う。 ・図書購入予算が限られるため、購入本の選定に苦労している。 【今後の方針等】 ・色々な分野の蔵書の充実を図り利用を拡大していく。 ・中央図書館で検討中である松本市の図書館所有の書籍借用へ協力を行う。	
町内公民館町会	年間	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	25人	【内容】 ・四賀公民館事業について協力を依頼する。 ・公民館振興業務委託料、町内公民館町会費の依頼をする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・今後も連絡を密にし、協力して公民館事業を開催していきたい。	
体育部長会	年間	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	50人	【内容】 ・四賀公民館事業について協力を依頼する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・今後も連絡を密にし、協力して公民館事業を開催していきたい。	
運営委員会	年間	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	15人	【内容】 ・四賀公民館の全体計画を検討する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・町会連合会長、町内公民館町会長、公民館委員会の委員長等によって構成され、全体的な調整の場となっている。	

令和5年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	年間	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	42人	【内容】 ・「公民館報しが」の取材、編集する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・今後も連絡を密にし、協力して公民館事業を開催していきたい。	
スポーツ委員会	年間	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	57人	【内容】 ・四賀公民館体育事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・4地区町会体育部長代表、スポーツ推進委員、競技団体の代表等が委員となっている。四賀一周駅伝競技大会はスポーツ推進委員、他の球技大会については競技団体が主管し実施している。	
図書視聴覚委員会	年間	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	33人	【内容】 ・四賀公民館図書室の運営を検討する。 ・図書だよりの発行 ・図書室談義計画	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備 ・図書室談義内容計画	【評価と反省】 ・図書だよりの内容を充実できてきた。図書室の利用促進を図っていく。 ・「四賀に生きるホタルに学ぶ」と同様。	
文化委員会	年間	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	14人	【内容】 ・四賀公民館文化事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀コンサート、文化祭の企画・運営を主に対応。 ・今後の行事運営に対する改善策や新たな事業を行うかどうかを必要に応じ、検討していきたい。	
四賀地区スポーツ推進委員会	年間	8回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	18人	【内容】 ・四賀地区のスポーツの推進を図る。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀一周駅伝を主体に活動している。新しい事業も企画立案していきたい。	
四賀文化財保護協会	年間	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	14人	【内容】 ・文化財について調査研究し、歴史と伝統の保存と保護を目的とする。 ・次世代の人員を確保し、つなげていく。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・設立3年目となり四賀地区の文化財を学習するとともに、文化財保護や環境整備について検討・活動につなげていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

安曇公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 1 学都松本をめざして、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引継ぐまちをめざし、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。 2 広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難 3 少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著 4 特定健診受診率が低く、閉じこもり者の割合が多い。※JAGESより 【重点的に取り組んだ事項等】 1 伝統行事の継承（ウェストン祭記念山行、安曇地区文化祭等） 2 日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識を醸成（鎌倉街道シリーズ等） 3 安曇地区の様々な課題を、各種団体と共有したうえで、解決に向けた一助となるような事業を実施（学校登山の未来を考える等）										1 安曇地区の魅力を再発見できるよう事業を行なった。 2 「（仮称）狸平トンネル工事見学会」では、新たな参加者の掘り起こしにつながった。 3 「学校登山の未来を考える」では、在校生、学校職員、PTA、山岳ガイド等から出された多様な意見を、地域学校協働本部等と共有した。 4 関係団体（町会等）とともに作った、新たな通いの場の定着を目指し、地区生活支援員等とともに、多様な企画を同時開催できた。 5 事業の検討段階から、住民の声を集めながら進めていくことを心掛けたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	3	0	0	6	3	1	0	2	3	3	4	0
延べ参加人数	56	0	110	0	0	97	66	10	0	17	253	262	139	0

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウェストン祭記念山行 及びウェストン祭参加 児童引率	6月3日 6月4日	1回	地域事業 (文化)	青少年	66人	【内容】 ・安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教員は2日目のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの 【ねらい】 ・日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。	【準備過程】 ・山行ルートの下見 ・安曇地区子ども会育成連合会総会で、記念山行の実施可否を協議 【共催団体等】 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・伝統行事として継続したい。	
そうだ！諏訪湖に行こう	7月6日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ・諏訪湖一周ジョギングロードをウォーキングするもの 【ねらい】 ・「市民歩こう運動」の取組みとして、自然の中で身体を動かすことの楽しさを感じるとともに、運動を通じた健康づくりを目指すもの ・公用バスを活用した外出機会を創出することで、移動手段を確保しながら、安曇地区の課題（閉じこもり者及び認知機能低下者割合が多い）解決に向けた一助とするもの	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇地区福祉ひろば	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、行先等を変更しながら、事業を継続したい。	
知っておきたい相続のお話	7月26日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・長野銀行から講師を招き、相続トラブルや遺産の分け方等を学ぶもの 【ねらい】 ・生活支援に資するもの ・「いきいき百歳体操」の終了後、同一会場で実施することで、両事業の来場者数向上を図る。 ・地元の町内公民館と共催することで、認知度向上を図る。	【準備過程】 ・講師及び共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 ・共催団体による声掛け 【共催団体等】 ・島々町内公民館	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
今年の自由研究はこれで決まり！ ひろばと公民館が夏休みをお手伝い！	8月9日	1回	子育て	青少年	18人	【内容】 ・小学5年生以上を対象に、公用バスを使用し、学習支援及び運動支援に資するもの 【ねらい】 ・夏休み期間中の子どもの居場所づくりの一つとして実施するもの ・学校も学年も異なる、児童・生徒とともに、学び、遊ぶことで、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につなげるもの	【準備過程】 ・講師及び共催団体等との調整 ・学校を通じて周知 【共催団体等】 ・安曇地区福祉ひろば	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
乗鞍サマーセミナー	8月19日	1回	地域事業 (その他)	成人	80人	【内容】 ・東京大学のOB・OGの会が主催の、乗鞍にまつわる講演会を開催 ・臥雲市長より、「岳都」のシンカに向けた乗鞍の挑戦を紹介するもの 【ねらい】 ・乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮V S Aの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会 ・のりくら観光協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・地域と東京大学OB・OG会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・住民と協議をする中で、声を拾い、地域に合ったテーマを相手方に提案していく。	
梓川源流域を訪ねる山旅シリーズ 奥又白池トレッキング	9月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	6人	【内容】 ・安曇地区内を流れる梓川の源流に係る学習及び体験 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・地域学習及び体験を通じた、安曇地区の魅力の再発見 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・周知チラシ（案）の作成 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・荒天のため中止 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
安曇ゴルフ大会	9月15日	1回	スポーツ	成人	12人	【内容】 ・安曇村時代の旧姉妹都市である静岡県賀茂郡松崎町との交流ゴルフ大会 【ねらい】 ・松崎町住民と地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・松本市安曇ゴルフクラブ	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策等により、松崎町との交流は中止し、安曇地区住民のみで開催した。 【今後の方針】 ・今年度をもって、松本市安曇ゴルフクラブが解散したため、事業を終了	
鎌倉街道シリーズ 「安房平～信濃峠」トレッキング	9月24日	1回	地域事業 (体育)	成人	11人	【内容】 ・安曇地区内を通る鎌倉街道を辿るもの 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・地域学習及び体験を通した、安曇地区の魅力の再発見 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
多肉植物寄せ植え体験	10月18日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 ・多肉植物の寄せ植えを体験するもの 【ねらい】 ・「ちょっとよっていきましょ」と同時開催することで、両事業の来場者数向上を図る。 ・同日に複数回実施することで、参加しやすいさの向上を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 ・メール配信サービスで周知 【共催団体等】 ・なし	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	
安曇地区文化祭	10月29日	1回	地域事業 (文化)	成人	153人	【内容】 ・地域の文化活動発表と、地区全体の住民交流のための文化祭を開催 【ねらい】 ・普段会う機会が少ない住民同士が交流し、地区内の名産品や文化活動を知る機会として開催	【準備過程】 ・地区内全戸配布 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会にて内容を検討 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 ・安曇村時代の旧姉妹都市である静岡県賀茂郡松崎町の名産品の販売を行い、完売した。 【今後の方針】 ・これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていきたい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
(仮称)狸平トンネル 工事見学会	11月6日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 ・安曇地区内を通る国道 158号線で 工事が進められている、(仮称)狸 平トンネルを見学するもの 【ねらい】 ・国道 158号改良の重要性の理解を 深めること	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・狸平JV(鹿島・守谷・北信特 定建設企業体)	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・地区内で起こる様々な変化に注目 し、公民館として何が出来るかを考え 続け、必要な事業を企画したい。	
地域を守る砂防防災講 座	11月8日	1回	防災	成人	10人	【内容】 富士川水系釜無川流域砂防施設等 の学習及び見学 【ねらい】 梓川流域に暮らす安曇・奈川地区 住民を対象に、砂防防災や災害に対 する防災知識を高める。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本 砂防事務所 ・(一社)北陸地域づくり協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続し たい。	
学校登山の未来を考え る	11月29日	1回	子育て	成人	60人	【内容】 ・講演 「令和5年度奥穂高岳登山 実施 報告」 「信州の「教育文化財」、学校登 山の行方」 ・グループワーク ・グループワークの結果の共有 【ねらい】 ・学校登山の現状と課題の共有 ・学校登山の歴史や大切にしてきた こと等の共有 ・安曇地区の学校登山の今後の在り 方を考えるきっかけづくり	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 ・共催団体等との調整 ・講師との調整 【共催団体等】 ・大野川小中学校地域学校協働本 部 ・安曇小中学校学校運営委員会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・安曇地区の学校登山の持続可能な形 を、学校及び地域等とともに探ってい きたい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春を迎える 寄せ植えづくり	3月21日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・春の花を使用した寄せ植えを体験するもの 【ねらい】 ・春の花について学習するとともに、指先を使うことで脳が活性化し、認知症予防効果が期待できるもの ・入門編とすることで、参加へのハードルを下げ、未経験者の参加を促すことを狙うもの	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇地区福祉ひろば	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	
マレットゴルフ大会	5月16日 7月4日 9月26日	3回	スポーツ	成人	34人	【内容】 ・安曇地区マレットゴルフ協会を中心にマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 ・スポーツを通して地域住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・今年度をもって、安曇地区マレットゴルフ協会が解散したため、事業を終了	
ちょっと よっていきましょ	5月17日 6月21日 7月19日 8月23日 9月20日 10月18日	6回	地域事業 (その他)	成人	155人	【内容】 ・関係団体（町会等）とともに新たな通いの場をつくるもの 【ねらい】 ・健康とくらしの調査結果から見る安曇地区の課題解決を目指す。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・一部長会への全戸配布にて周知 【共催団体等】 ・大野川区町会 ・のりくら観光協会 ・乗鞍うまいもの工房 ・大野川区町会民生委員 ・安曇地区地域づくりセンター ・安曇地区福祉ひろば ・西部地域包括支援センター ・西部保健センター ・松本市社協安曇事業所	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・関係団体から、事業継続の意向が示された。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
座ってできるツボ押し 体験	5月17日 6月21日	2回	趣味教養	成人	9人	【内容】 ・松本協立病院協立はりきゅうマッサージセンターから講師を招き、ツボ押しを学ぶもの 【ねらい】 ・「ちょっとよっていきましょ」と同時開催することで、両事業の来場者数向上を図る。 ・自宅でできるフレイル予防対策を学ぶもの	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 【共催団体等】 ・なし	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
まつもと お山ですくすく子育てサロン	6月28日 10月 4日 12月13日 3月 6日	4回	子育て	成人	32人	【内容】 ・中山間地域で子育て中の親子が、気軽に集える場をつくるもの 【ねらい】 ・親の孤独感の解消 ・地域の魅力、山暮らしの楽しさを味わってもらうもの ・地域住民及び保健師とのつながりづくり	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・乗鞍すも庄	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。 ・運営に関われる人材を確保しながら、実施回数を増やしていきたい。 ・共催団体等と連携し、移住推進の取組みと合わせてPRしていきたい。	
今すぐできる相続の準備	7月19日 8月23日 9月20日	3回	趣味教養	成人	27人	【内容】 ・長野銀行から講師を招き、財産管理及び終活等を学ぶもの 【ねらい】 ・「ちょっとよっていきましょ」と同時開催することで、両事業の来場者数向上を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧等で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 【共催団体等】 ・なし	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	
松崎町・松本市安曇地区中学生交流事業	8月20日 ～8月22日	1回	地域事業 (その他)	青少年	27人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。(7月に松崎町への訪問、8月に松崎町からの受入) ・令和元年度から、松崎町への訪問を隔年実施、松崎町からの受入を毎年実施としているもの。 ・令和5年度は受入のみ。 【ねらい】 ・双方の中学生が普段行くことのない山や海的环境に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
のりくら陶芸教室	9月 5日 9月27日 10月10日 10月12日 10月24日	5回	地域事業 (文化)	成人	34人	【内容】 ・ふれあいパーク乗鞍の窯を使用した陶芸教室 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・新たな生きがいづくり ・新規参加者の掘り起こし	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・のりくら陶芸クラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。 ・さらなる新規参加者の掘り起こしのため、共催団体等と連携し、日程及び会場を複数設定する等、工夫しながら、事業を続けたい。	

令和5年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
絵本を使った人権学習 講演会	10月26日 11月 1日	2回	人権平和	青少年	56人	【内容】 ・絵本を通して持続可能な人権と社会のありかたを学習するもの 【ねらい】 ・人権啓発推進事業の推進	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧等で周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	74人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・館報の刊行を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 ・地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけたい。	
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・ふれあいパーク乗鞍	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年2回、入れ替えた。 【今後の方針】 ・大野川区の身近な図書館としてより多くの本に接する機会を提供したい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	42人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・文化祭開催を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	3人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・スポーツ活動を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・主に高齢者を対象としたスポーツを通し、健康寿命の延伸をはかっていきたい。	

令和5年度 事業報告の概要

奈川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・安全対策に配慮しながら事業を計画し、地域住民の学びと参加の機会の創出に心がけた。 ・参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。 ・参加者の運動不足の解消や、健康増進を図った。 ・各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。 関係機関：地域づくりセンター、福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区子ども会育成連合会、奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館等										・4年ぶりに地区運動会、地区文化祭を開催し、地域住民の交流の場づくりができた。 ・新たな講座も開催できたので、参加者に好評だった講座は今後も継続していきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	5	1	5	0	4	0	1	1	1	1	2	1	3
延べ 参加人数	22	97	267	130	0	43	0	14	534	150	200	87	78	39

令和5年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ふるさと学習 (中学生 奈川地区内 巡り)	6月5日	1回	地域文化	青少年	14人	【内容】 ・奈川地区内巡り 【ねらい】 ・奈川地区の史跡巡りを通して、奈川の歴史や自然について関心をもつ。	【準備過程】 ・関係者との綿密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・奈川の歴史や自然について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
ふるさと学習 (小学生 奈川地区内 巡り)	6月8日	1回	地域文化	青少年	15人	【内容】 ・奈川地区内巡り 【ねらい】 ・奈川地区の史跡巡りを通して、奈川の歴史や自然について関心をもつ。	【準備過程】 ・関係者との綿密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・奈川の歴史や自然について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
すこやかウォーキング	7月7日	1回	福祉健康	成人	15人	【内容】 ・奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との綿密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に変な好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
白樺湖・花・湖散策	7月12日	1回	福祉健康	成人	31人	【内容】 ・白樺湖畔巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との綿密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に変な好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
夏休みこどもひろば	7月24日 ～8月22日	18回	地域事業 (その他)	青少年	52人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	
夏休みふれあいウォーキング 「上高地散策」	8月9日	1回	福祉健康	成人	14人	【内容】 ・奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との綿密な打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に変な好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第20回 奈川地区秋の大運動会	9月9日	1回	地域事業 (体育)	成人	150人	【内容】 ・学校、公民館共催で運動会を実施 【ねらい】 ・地域住民の体力向上を図るとともに、日頃の運動不足解消と地域住民の親睦を図る。	【準備過程】 ・関係者との打合せのうえ実施 【共催団体】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の交流が図られた。 【今後の方針等】 ・関係団体と種目を検討して来年度も継続して開催していきたい。	
人権視察研修 「製糸業にたずさわった女性たち～政井みねの故郷を訪ねて～」	10月19日	1回	人権平和	成人	22人	【内容】 ・野麦峠資料室等の見学 【ねらい】 ・昔、飛騨から岡谷などへ出稼ぎにきていた工女（政井みね）の故郷を訪ね、工女のルーツを学び、人権についての知識を深める。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
秋の恵みのリースづくり講座	10月27日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・リースづくり 【ねらい】 ・秋の恵みの素材を使ってリースづくりを通して、参加者の交流を図る。	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催していきたい。	
陶芸教室	11月1日 11月8日	2回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・小・中学生と一般参加者が陶芸に挑戦 【ねらい】 ・陶芸と通じ子どもたちが地域との交流を深める。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	○
第64回 奈川地区文化祭	11月3日 11月4日	1回	地域事業 (文化)	成人	200人	【内容】 ・農産物展、文化展、出店、芸能祭 【ねらい】 ・住民の交流と文化振興を図る。	【準備過程】 ・文化委員との打合せ ・展示品、農産物を地区内から募った。 ・芸能祭出演者の募集	【評価と反省】 ・参加者が多く好評だった。 【今後の方針等】 ・新企画の検討や、他団体との共催で来場者を増やしていきたい。	
地域を守る砂防防災講座	11月8日	1回	防災	成人	14人	【内容】 ・釜無川流域砂防施設等の学習及び見学 【ねらい】 ・梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防施設や災害に対する知識を高める。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・安曇公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・一般社団法人北陸地域づくり協会松本支所	【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携し、事業を継続したい。	

令和5年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
奈川地区世代間交流事業	12月9日	1回	地域文化	成人	70人	【内容】 ・子どもと一緒にしめ縄づくり、餅つき体験 【ねらい】 ・高齢者・小学生の世代間交流を図る。	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区社会福祉起用議会	【評価と反省】 ・高齢者と小学生の交流が図られた。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	
男しよの体力講座	12月11日 1月15日 2月19日 3月4日	4回	福祉健康	成人	29人	【内容】 ・男性を対象としたストレッチ、体操 【ねらい】 ・普段、公民館を利用する機会が少ない男性同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催していきたい。	
そば打ち講習会	12月12日 1月16日	2回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・そば打ち講習会 【ねらい】 ・奈川伝統の丸打ちをおぼえる。そば打ちを通して、参加者の交流を図る	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催していきたい。	
肩こり・腰痛・予防改善講座	1月18日	1回	福祉健康	成人	8人	【内容】 ・肩こり、腰痛予防ストレッチ・体操 【ねらい】 ・肩こり、腰痛予防ストレッチを学び健康増進に役立てる。	【準備過程】 ・講師との緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催していきたい。	
そばもちづくり体験	2月15日	1回	地域文化	成人	15人	【内容】 ・そばもちづくり体験 【ねらい】 ・地域の伝統料理の作り方を学ぶ。	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、他の伝統料理についても講習会を開催したい。	
歴史探訪 「江戸享保雛」・「葛飾北斎」を学ぶ	3月14日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・江戸時代の「享保雛」や葛飾北斎の作品を見学し、日本の伝統文化を学ぶ。 〈視察先〉 ・須坂アートパーク ・岩松院 【ねらい】 ・義仲館等をめぐりながら参加者同士の親睦を図る。	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	

令和5年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春休み子どもひろば	3月18日 ～4月 3日	12回	地域事業 (その他)	青少年	35人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係者との緻密な打合せのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	
スマホ初心者お困りごと相談会	3月19日	1回	趣味教養	成人	3人	【内容】 ・スマホ使い方相談会 【ねらい】 ・高齢者などがスマホの使い方に困まらないように支援する。	【準備過程】 ・学生が相談員となり実施。	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	
各種委員会	通年	15回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	78人	【内容】 ・公民館事業、地区事業の企画、運営を行う。		【評価と反省】 ・委員会で委員同士の連携が図られた。 【今後の方針等】 ・住民の要望に応える活動を展開していきたい。	
放課後子ども教室の支援	通年	89回	子育て	青少年	267人	【内容】 ・小学生が放課後安心、安全に過ごせるように支援	【準備過程】 ・放課後子ども教室コーディネーターとの緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施できた。 【今後の方針等】 ・利用者の意見を取り入れながら開催したい。	
夢の森図書室	通年	344回	その他	その他	534人	【内容】 ・図書館の管理運営	【準備過程】 ・図書室職員と連携を図りながら運営	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の利用があった。 【今後の方針等】 ・利用者の希望を取り入れながら書籍の購入を行いたい。	

令和5年度 事業報告の概要

梓川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・コロナ禍により中止していた事業を実施するにあたり、前回の反省点や改善点をもとに内容を見直し、企画・実施した。また、福祉ひろばやまちづくり協議会等の多様な関係団体と連携しながら、講座や教室のより一層の充実を図った。 ・文化祭などの地区事業の開催にあたっては、地区内関係団体により実行委員会を組織し、公民館委員と連携を図りながら、地域住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善を図った。 ・地区内の学校（梓川小学校、梓川中学校）と地域住民とが連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくための仕組みの、松本版コミュニティスクール「あずさっ子応援隊」の活動支援と地域への浸透を図った。 ・多様化・複雑化する人権問題の現状を、障がい者によるコンサート・交流会を通じ、地域で互いに尊重し支え合うために自分たちができることを考え、行動する意欲を醸成した。										・住民アンケートにより運動会が廃止となったため、代わりとなるスポーツ振興事業を、地区スポーツ委員等と協議のうえ検討し、開催したい。 ・文化祭については4年ぶりの開催となったが、多くの地域住民が来場され、公民館利用団体等が日頃の活動成果を発表する良い機会となった。当日までの準備や当日の会場の設営、期間中の運営を出演団体・文化委員と連携して行うことができた。 ・「あずさっ子応援隊」「あずさっ子みまもり隊」は、まだまだ地域全体には浸透していないものの、活動を通して子どもと住民との間で良い関係が築かれており、やりがいを感じている隊員も多い。人材確保を呼び掛けると同時に地域全体に浸透させる取組みを検討していきたい。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	5	1	0	5	2	0	0	1	2	0	7	1
延べ 参加人数	80	0	149	22	0	77	0	0	0	0	765	0	249	13

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
梓川地区リーダー研修会	6月10日 6月24日	2回	子育て	青少年	16人	【事業内容】 1回目はネイチャーゲーム、2回目は地区の散策・歴史学習を行う。 【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の5・6年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年をこえた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動を進める研修会とする。	【準備過程】 梓川小学校を通じて参加者を募集した。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会 1回目講師 信州やがいたいけん楽校がらす 2回目講師 NPO法人安曇野 ふるさとづくり応援団	【今後の方針等】 今後も御浜町との交流会の事前学習に位置付け、リーダー研修会を実施し、御浜町の児童との仲間づくりや自分たちの力で活動を進める能力を身につけていきたい。	
つどい子育て講座	6月28日	1回	子育て	成人	8人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象としたアロマ講座 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し合い、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。	
梓川地区スポーツ祭2023	7月2日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町内公民館対抗により、囲碁ボール、ポッチャの2種目で競う。 【ねらい】 年齢性別を問わず誰もが楽しく気軽に参加し、スポーツを通じて住民同士の親睦や団結を図るとともに、地域住民の健康増進を目指す。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症による開催の可否について、構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【今後の方針】 会場を1会場とし、ミニバレーをなくしシャッフルボードをポッチャに変更。次年度は梓川体育館大規模改修工事の関係で実施は困難かと思われる。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ママのリフレッシュ講座	7月 3日 ～11月22日	3回	子育て	成人	30人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、アロマの虫よけスプレー作りや、入園グッズを制作する。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。	
苔玉づくり講座	7月7日	2回	趣味教養	成人	21人	【事業内容】 苔玉づくりをおこなう。 【ねらい】 植物の潤いと季節感を感じる苔玉づくりにより、地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。	【準備過程】 講師と内容・日程調整を行った。	【評価と反省】 定員を超える多くの申込みがあり、2部制で実施した。また、できる限り材料費を抑え、参加者の負担が大きくなるよう講師と打合せを重ね実施した。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
上高地ウォーキング	7月13日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 上高地（河童橋から明神池まで）をガイドの案内で散策し、植物等を観察する。 【ねらい】 上高地の自然や歴史について学び、自然に親しむとともに、自然環境について関心を高める。	【準備過程】 ガイドと散策ルートや日程について打合せを行った。	【評価と反省】 雨天により中止。 【今後の方針等】 今後も継続的に開催していきたい。	
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月2日 ～8月4日	1回	子育て	青少年	8人	【事業内容】 毎年交互にお互いの地を行き来し交流を図る。 【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。	【準備過程】 事前にリーダー研修会を実施した。リーダーとしての自覚を養わせること、また自主決定させることに重きをおいて企画した。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会	【評価と反省】 4年ぶりの開催となったが、計画通りに実施することができた。児童も積極的に交流しており、次年度以降の交流につながる活動ができた。 【今後の方針】 次年度は松本市で受け入れるため、引き続き共催団体と協議のうえ実施する。なお、本事業は梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきている経過からも、今後も継続していく必要がある。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
米粉でつくるパン講座	9月22日 10月4日	2回	趣味教養	成人	24人	【事業内容】 全2回で4種のパンを作成 【ねらい】 年々減少している米の消費への取組みの一環として、米粉の活用の仕方、おいしさを広く知ってもらう。	【準備過程】 講師と内容・日程調整を行った。	【評価と反省】 全2回で異なるパン作りを実施。米粉代は公民館で負担するなどできる限り材料費を抑え実施した。 【今後の方針】 多くの申込みがあり参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
市民講演会（梓弓）	10月14日	1回	地域文化	成人	22人	【事業内容】 松本平及び梓川地区の歴史を学ぶ。 【ねらい】 住民が自分たちの地区の歴史を学習する機会とする。	【準備過程】 梓弓研究会と企画実施した。 【共催団体】 ・梓弓研究会	【評価と反省】 昨年に比べ参加者が若干増加した。今後地区の文化財等に関心を持ってもらうよう考えていく必要がある。 【今後の方針等】 住民にとって地区の歴史を学ぶ良い機会となっているため、今後も共催して講演会を開催していきたい。	
梓川ウォークラリー 2023	10月15日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 家族や友人などのグループごとに、コマ図を使い梓川地区内を歩き、途中で地区に関連する問題を解いたり、輪投げなどのゲームゾーンも設ける。 【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。	【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当 ・まちづくり協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 雨天により中止。 【今後の方針等】 地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していく。	
第37回梓川地区文化祭 （美術展）	11月9日 ～11月12日	1回	地域事業 （文化）	成人	365人	【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館で作品を展示する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 出展者が参画した実行委員会を組織し、企画・運営について協議した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会 ・梓川アカデミア館	【評価と反省】 準備や運営を出演団体が中心になり行い、自立した活動になっている。年々出展者が減少しており、引続き小中学校に作品の展示を依頼するほか、個人の出展など増やしていきたい。 【今後の方針等】 昨年同様小中学校にも参加を呼びかけ、多くの作品を展示したため好評であった。梓川の特産品であるりんごの収穫時期とも重なるため、出展者や参加者の意見を聴取しながら、検討していきたい。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第37回梓川地区文化祭 (芸能祭・音楽祭)	11月12日	1回	地域事業 (文化)	成人	400人	【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の2部制で開催する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	【準備過程】 実行委員会（公民館文化委員、まちづくり協議会役員等）で内容を検討。プログラムを作成して周知 【共催団体】 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 4年ぶりの開催となり、御浜町のみかんや地区商工会など飲食の出店も出すことができ、幅広い年代に来場いただいた。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっている。出演団体の減少が課題。	
梓川図書館 クリスマス会	12月2日	1回	子育て	青少年	90人	【事業内容】 児童を対象とした読み聞かせ・マジックショーを実施する。 【ねらい】 公民館図書委員による読み聞かせやマジックショーを通じて、本や図書館に親しむ機会とする。	【準備過程】 図書館や公民館図書委員と協議のうえ、企画・実施した。 【共催団体】 ・梓川図書館	【今後の方針】 今後も図書委員に協力してもらい実施していきたい。	
家庭教育学級支援 「ストレッチ教室」	12月3日	1回	健康福祉	家庭教育	15人	【事業内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、講座を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 上立田町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
小さなお飾りと縁起植物の寄せ植えづくり	12月15日	1回	趣味教養	家庭教育	13人	【事業内容】 新年に向け、縁起植物で寄せ植えを行う。 【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整	【評価と反省】 できる限り材料費を抑え参加者の負担が大きくならないよう講師と打合せを重ね実施できた。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
食生活改善 調理実習講座	12月19日	1回	健康福祉	成人	13人	【事業内容】 減塩をテーマに生活習慣病予防を目的とした調理を学ぶ。 【ねらい】 住民の食生活の改善と健康増進を目指す。	【準備過程】 講師と内容・日程調整を行った。	【評価と反省】 想定よりも応募が少なかったため、開催時期を変更するなど対応を検討したい。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ファミリースキー教室	1月14日	中止	スポーツ	青少年	0人	【事業内容】 野麦峠スキー場を会場にして、初心者、初級者の親子を対象としたスキー教室 【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供をし、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。	【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 スキー場雪不足のため中止。 【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていく。 次回は乗鞍のスキー場を検討。	
福祉のつどい 楽団ケ・セラコンサート	1月27日	1回	人権平和	成人	80人	【事業内容】 楽団ケ・セラによるコンサート及び交流会。 【ねらい】 障がいを持つ若者たちが音楽活動を通じて社会的自立を目指す、楽団ケ・セラの演奏と交流会を通じて、障がい者に対する理解を深めることを目的に実施。	【準備過程】 共催団体や楽団と協議のうえ企画・実施した。 【共催団体】 ・梓川地区社会福祉協議会 ・まちづくり協議会	【評価と反省】 演奏と交流会を通じて、障がい者に対する理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を養うことができた。 【今後の方針】 今後関係団体と共催し継続的に開催していきたい。	
家庭教育学級支援 「歌の教室」	2月4日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、講座を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 八景山町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携を図り、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
歌ごえ公民館	5月11日 ～3月21日	22回	健康福祉	高齢者	537人	【事業内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、1時間30分程度合唱する。 【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。	【準備過程】 講師と連絡を取り合い、歌詞カードの作成等を行った。	【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。本講座を楽しみにしている方も多いため、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれないうかが検討する。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	13人	【事業内容・ねらい】 子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施し、「子どもは地域の宝」として、小中学生の安全な登下校に努める。	【準備過程】 隊員から登下校時の児童の様子や、道路の危険箇所など意見を聞き、小学校に報告するとともに、警察署等にも出された意見を伝え改善を図った。	【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在13人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができており、やりがいを感じている隊員も多い。 【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて児童・生徒数が多いが、隊員数は13人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。	○
町内公民館長会の運営	4月15日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 ・梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や文化祭を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力し合いながら、展開していきたい。	
運営委員会	3月11日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。（書面開催）	【準備過程】 特別な諮問事項が無いため書面開催とした。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深めることができるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。	
広報委員会	4月10日 ～3月 4日	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	42人	【事業内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。 また、全市版の館報編集員を講師に館報の作り方等について学んだ。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員と協働し作り上げることができた。 【今後の方針等】 館報を読んでいる住民が少ないため、多くの住民に読まれるような紙面づくりを考えていく必要がある。	

令和5年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会	6月20日 ～12月 5日	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	84人	【事業内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営 等を行う。	【準備過程】 文化祭の実行に合わせて委員会を 招集した。	【評価と反省】 委員それぞれが役割を理解し、企画・ 運営することができた。 【今後の方針等】 実行委員会と連携を図りながら、公民 館事業の開催に合わせて、委員会を開 催する。	
体育委員会	中止		公民館委員会・ 各種会議等	成人		【事業内容】 スポーツ祭と運動会の企画、運営等 を行う。	【準備過程】	【評価と反省】 地区スポーツ行事が中止となったた め、会議は未開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公 民館事業の開催に合わせて、委員会を 開催する。	
図書委員会	8月31日 2月29日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	8人	【事業内容】 公民館談話室の本の入替作業を年2 回行い、秋のお楽しみ会（人形劇 等）を企画する。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員 会を招集した。	【評価と反省】 図書館と共催しクリスマス会を開催し た。 【今後の方針等】 本の入替作業や秋のお楽しみ会を実施 する。	
地域関係団体の運営・ 支援	通年	5回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	80人	【事業内容】 ・子ども会育成会：会議の開催（2 回）、子ども会安全共済会事務、各種 子ども会育成事業の取りまとめ等 ・スポーツ推進委員会の運営、支 援：会議の開催（2回）、地区内体 育事業の企画・運営 等 ・地区スポーツ協会の支援：常任理 事会への出席（1回）、市スポーツ 協会との連絡調整、相談等	【準備過程】 ・適切な時期に会議を開催し、協 力依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 ・各団体と連携・協力を図りながら、 事業の実施や取りまとめを行うことが できた。また、各団体と活発な意見交 換を行うことができた。 【今後の方針等】 公民館にも関わりの深い団体であるた め、継続的に育成、支援を行う必要が ある。	

令和5年度 事業報告の概要

波田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
【方針・地域課題】 ・体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等にあたっては、公民館委員（運営・体育・文化・館報編集）と連携しながら、地区住民主体により、多くの方が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう実施内容の見直しや運営方法の改善等を図る。 ・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催する。前年度の反省や地域住民からの声を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体、地区関係団体との共催や利用者団体の方を講師に講座を開催するなど、学習の成果を還元できる場を設ける。 ・小・中学生向けの講座を企画し、青少年教育の推進を図る。										・体育事業については運営方法等を協議し、コロナ禍の間中止となっていた町内公民館対抗の行事を全て開催することができた。文化祭については、今年度新たな試みをしたが、体制の整理、運営方法を見直すことで、委員各々の負担を減らし、事業も無事開催することができた。今後もより多くの方が参加いただけるよう委員の方々と協議、検討していきたい。 ・地域の様々な団体と連携しながら、様々な事業を開催することができた。利用団体の方を講師とした講座では、講座後に団体に加入した受講者もあり、利用団体の活性化につなげることができた。 ・小・中学生向けの講座をいくつか開催したことにより、例年より多くの小中学生に公民館を利用する機会を提供することができた。				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	1	4	5	8	2	0	2	4	2	0	8	4
延べ 参加人数	179	156	1814	58	57	606	96	0	139	478	2016	0	745	180

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
オオルリを探そう (雨天中止)	4月26日	中止	環境	成人	0人	地区内をウォーキングしながら、オオルリを探す。	福祉ひろば		
町内公民館対抗ソフト ボール大会	5月28日	1回	地域事業 (体育)	その他	154人	町内公民館対抗でソフトボール大会 を行い、地区内の親睦を深める。	体育委員会 波田スポーツ協会	コロナ禍前、平成30年以来の開催。 13チーム参加。 久々の開催であったが、怪我等なく運 営でき、地区内の親睦につなげること ができた。コロナ禍前より参加チーム 数が減少してしまったため、今後継続 していくためにも、運営方法の見直し の検討が必要。	
歴史バスウォーク 「戸隠神社と鏡池を周 るよくばりウォーク」	6月27日	1回	環境	成人	18人	戸隠神社奥社から鏡池・戸隠自然園 をウォーキングするもの。		時間が押してしまい歩くペースを速め たため、大変だった方も見られたが、 体調を崩す方もおらず、参加者からは 楽しかったとの感想をいただいた。バ スウォークは人気講座のため、今後も 開催していきたい。	
人権文化伝承講座 「ぼくらは開智国民学 校一年生」	6月30日	1回	人権平和	青少年	141人	作者の松本での戦争体験を紙芝居に し、子どもたちへの口演を通して、 戦争のない平和の尊さを伝える。	人権啓発推進協議会	当たり前のように過ごしている日々 が、戦争によって当たり前に送ること ができない様子が児童に伝わり、今を 大切にしようとする気持ちを抱かせる 内容であった。戦争の悲惨さ平和の尊 さを改めて認識する機会となった。	
町内公民館対抗ソフト バレーボール大会	7月2日	1回	地域事業 (体育)	その他	160人	町内公民館対抗でソフトバレーボー ル大会を行い、地区内の親睦を深め る。	体育委員会 波田スポーツ協会	コロナ禍前、令和元年以来の開催。 16チーム参加。 怪我人が出てしまったのが残念だった が、地区内の親睦につなげることがで きた。怪我防止のためにも、今後は準 備運動等の徹底が必要である。	
健康歴史ウォーク 「若澤寺を訪ねて歩こ う」 (雨天中止、10月再実 施)	7月8日	中止	地域文化	成人	0人	江戸時代には、信濃日光と称された 若澤寺跡を訪ねて、往時の面影に触 れる。 波多神社から片道2km山道を歩く健 脚向けのコース。	若澤寺史跡保存会		
健康バスウォーク 「柿其溪谷ウォーキン グ」 (雨天中止)	7月13日	中止	環境	成人	0人	自然観察と健康ウォーキングを兼ね たバス研修。健康増進と地形や植物 などの学習を目的とする。			

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み自然観察会 「水辺の生き物調べ」	7月30日	1回	環境	青少年	8人	夏休みの子ども向け企画として、上川原のビオトープ及び、梓川河原の生物を観察し、生き物の違いなどを調べる。	波田希少動植物保存会	梓川で捕獲した生物について、講師から説明を受けながら楽しく散策することができた。ビオトープでは捕獲を目的にザリガニ釣りをし、夢中で楽しむ姿が見受けられた。参加者が思いのほか伸びなかったため、今後は開催日の見直しを検討したい。	○
人権啓発講座 「親子で楽しく手話講座」	7月～8月	3回	人権平和	家庭教育	38人	親子で楽しく手話を学びながら、ろう者への理解を深め、手話が言語の一部であることを理解する。	人権啓発推進協議会	「なかなか学ぶ機会に出会えなかったため、参加できて良かった」「子どもたちの間で手話が流行っており興味があつた」という感想をいただいた。19時から21時までの時間を設定したが、子どもにとっては少し長いように見受けられたため、今後は時間設定の見直しを検討したい。	
はたっ子塾 「決めろスマッシュ！卓球教室」	8月1日 8月2日	2回	スポーツ	青少年	23人	夏休みの小学生向け講座として、今まで教室やチームに所属していない小学生を対象に開催。	波田中学校 卓球部	ほとんどの参加者が初心者であり、ラケットの持ち方から始めたが、2日間でもかなり上達していた。協力いただいた中学生も講師の方から技術を学ぶことができる良い機会となった。今後も開催していきたい。	○
はたっ子塾 「ダムの下・探検ツアー奈川渡ダム」	8月4日	1回	趣味教養	青少年	14人	梓川上流にある東京電力奈川渡ダムの背面及び内部の見学、電気や建設の歴史を学ぶ。		普段見ることができない施設の内部に、子どもたちは興味深く見入り、質問するなどして学びを深めていた。参加者が減少しているため、今後どのように開催していくか検討が必要である。	○
夏休み学習室開放	7月26日 ～8月10日	1回	その他	青少年	135人	夏休み中の小・中学生を対象に、公民館の会議室を学習室として開放し、学習習慣の維持、確立に寄与する。		小学生は多数の利用があつたが、中学生の利用が少なかった。近隣に図書館もあるため、そちらの方を利用している生徒もいると考えられる。今後も継続して、学習室として開放していきたい。	○
歴史講座 「諏訪歴史の旅」	8月20日	1回	地域事業 (文化)	成人	14人	縄文時代の遺跡や発掘された資料より縄文文化及び、諏訪地方の歴史を学ぶ。	文化委員会	文化委員会歴史担当で企画及び実施。尖石縄文考古館では学芸員の方の説明を、熱心に聞き学ぶ参加者の姿が見受けられた。悪天候により途中で計画変更を余儀なくされたが、楽しんでいただくことができた。	

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化伝承・教養講座 「松本てまりを作ってみよう」 (9月まで全2回)	8月29日 9月29日	2回	趣味教養	成人	21人	松本の伝統的な手工芸品である「松本てまり」を作る。	創作てまりの会	公民館利用団体の方を講師に迎え、講座を実施。2回を通じ参加者全員が作品を作り上げることができた。参加者の中から数名、団体に参加したいという方がおり、目的としていた利用団体の活性化にもつながった。今後も同様の方法で講座を実施し、団体の活性化へつなげたい。	
町内公民館対抗バレーボール大会	9月3日	1回	地域事業 (体育)	その他	119人	町内公民館対抗でバレーボール大会を行い、地区内の親睦を深める。	体育委員会 波田スポーツ協会	コロナ禍前、平成30年以來の開催。10チーム参加。久々の開催であったが、怪我等なく運営でき、地区内の親睦につなげることができた。コロナ禍前より参加チーム数が減少してしまったため、今後継続していくためにも、運営方法の見直しの検討が必要。	
町内公民館対抗マレットゴルフ大会	9月3日	1回	地域事業 (体育)	その他	45人	町内公民館対抗でマレットゴルフ大会を行い、地区内の親睦を深める。	体育委員会 波田スポーツ協会	コロナ禍前、令和元年以來の開催。10チーム参加。久々の開催であったが、怪我等なく運営でき、地区内の親睦につなげることができた。コロナ禍前より参加チーム数が減少してしまったため、今後継続していくためにも、運営方法の見直しの検討が必要。	
かんたん・らくらく 「スマホ講座」	9月21日	2回	趣味教養	高齢者	17人	高齢者向けのスマートフォンの使い方講座		少人数で行い、個別相談もできるよう同日に2回開催した。できることや知りたい事に応じグループに分け、個別指導や相談、設定を行った。学ぶだけではなく、同グループの方と意見交換する姿も見受けられ、楽しみながら受講いただけた。	
波田文化祭	10月28日 10月29日	1回	地域事業 (文化)	その他	2,002人	公民館利用団体、地区関係団体等が舞台発表や活動の成果を発表し、地域住民が芸術・文化を鑑賞する。	文化祭実行委員会 町会連合会 町内公民館長会	令和4年度にコロナ禍の間中止となっていた文化祭を一部制限を設け再開。今年度は飲食の提供も可とし、フードコートを設置するなど、新たな試みを取り入れて開催した。実行委員の協力もあり、運営面でも大きな問題なく、住民相互の交流の場を創出することができた。今後は参加団体が増えることも見込まれるため、スペースの活用方法を検討していく必要がある。	

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
災害時だけではない！ 毎日使える「バック クッキング」	10月5日	1回	その他	成人	4人	災害時や少人数の食事を簡単に作る ことのできるバッククッキングの方法 について学ぶ。	食生活改善推進協議会	食材、調味料を合わせて袋に入れ、お 湯に入れるのみと非常に簡単に調理を することができた。参加者からは、簡 単で洗い物が少なくて良い、家でも 作ってみたいという感想をいただいた。	
リベンジ講座 「若澤寺を訪ねて歩こ う」	10月7日	1回	地域文化	成人	6人	7月に雨天中止となった講座の再実 施	若澤寺史跡保存会	歴史のみならず、道中で散見される植 物について学ぶなど、自然にも触れあ うことができ、若澤寺跡まで楽しみな がら進む参加者の姿が見受けられた。 地区文化伝承のため、今後も開催して いきたい。	
盛泉寺を目指して！	11月11日	1回	地域文化	成人	14人	石仏等を鑑賞しながら、盛泉寺まで 片道約1.5kmを歩くウォーキング 講座	福祉ひろば	普段は気にせず通り過ぎてしまう道端 の石碑だが、講師の説明があることで 興味を持てた。ききかけとなった。 盛泉寺では若澤寺遺物も鑑賞し、 健康だけでなく、波田の歴史、文化を 学ぶ良い機会となった。	
歴史講座 「真光寺跡から二基の 古墳 まほろば荒田の 郷水は梓川から」	11月24日	1回	地域文化	成人	38人	波田道路の建設に伴って発見された 二基の古墳について、近接する古墳 との関係性、当時の集落と水路開発 との関係について学ぶもの。		地元で発見された古墳についてという ことで、興味を持たれた聴講者が多く いたと思われるが、専門的な内容かつ 資料の明瞭さが欠けていたこともあり、 理解するのが難しいという声が挙 がった。今後は、講師と事前打合せ及 び資料の確認を行う必要がある。	
「お正月の寄せ植え」 講座	12月12日	1回	趣味教養	成人	20人	縁起の良い南天や葉牡丹、季節のお 花を使い、お正月だけでなく、春 先まで楽しめる寄せ植えを作る。		賑やかかつ華やかな雰囲気で行われ、 参加者同士もお互いに見せ合う、写真 撮影するなど楽しみながら行われた。 寄せ植えする際の注意点や、管理方法 の説明の際は熱心に学ばれていた。今 後も開催していきたい。	
たまには書道を楽しも う！	12月27日	1回	趣味教養	青少年	34人	小学校3年生以上を対象に、文字を 書くことが少なくなっている今日、 新たな夢や希望を書道で表現する機 会を提供する。		一般向け講座として行ったが、冬休み の宿題の時期ということもあり、小学 生の参加者が大半であった。参加希望 が多く、すぐ定員に達してしまい受講 できなかった方も多数いるため、募集 方法は今後検討したい。	

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自分好みの勾玉づくり で縄文気分！	2月3日	1回	趣味教養	青少年	42人	縄文時代に、魔除けやお守りとして 身に着けていたとされる勾玉につい て、実際に作ることで学びを深め る。		作業時間が長いこともあり、子どもた ちの集中力が持つか心配されたが、お 互いに模様を見せ合うなど楽しみなが ら取り組んでいただけた。今後も開催し ていきたい。	
身体の声を聴く「葉膳 のお話」はじめて講座	2月29日	1回	福祉健康	成人	26人	基礎編として健康状態や体質の傾向 を確認し、必要な食材を知ることが 目的とする。		自身の身体を知ることや確認方法、食 材の特徴を学ぶことができ、参加者か らも好評であった。今後は実習を兼ね たランチ会の開催も検討したい。	
みゆき先生の「ほんわ かヨガ」講座	2月～3月	5回	福祉健康	成人	130人	身体をほぐして温めるヨガと、機能 や痛みを改善するストレッチを行 い、自身の健康へとつなげる機会を 提供する。		ヨガ中心に行う予定であったが、体の 硬さが気になる季節のため、ストレッ チを中心に行った。日々の生活でも取 組める内容であり、身体のケア方法を 学ぶことができた。今後も開催してい きたい。	
環境・教養講座 「西山山麓のチョウと 里山動物」	3月10日	1回	環境	成人	31人	波田地区西山山麓に生息するチョウ と哺乳動物の生態調査の結果報告、 身近な小動物の生態について講演す るもの。	波田希少動植物保存会	身近な地域での調査ということもあ り、興味を持って聞いていただけた。 農作物の被害対策を期待して参加した と思われる方もいたため、募集時の表 記については今後検討したい。	
チャレンジフェス in H ATA	3月20日	1回	スポーツ	青少年	73人	各種スポーツやダンス・体操など、 年齢を問わず楽しく体験できるプロ グラムを用意し、健康づくりや体験 する機会を提供する。	波田スポーツ協会 CFM実行委員会	怪我等なく運営でき、多くの方に様々 なスポーツを体験していただく機会を 提供することができた。今後はより多 くの団体に協力していただくことも検 討したい。	
竹の子教室	5月～12月	44回	子育て	家庭教育	1,814人	2歳から3歳の未就園児とその保護 者を対象に、運動や遊びを通じて親 と子のふれあいと体力づくりを行 い、心身の健全教育と親子の絆を育 む。波田地区で長く続く子どもの育 成教室として定着している。		波田地区の伝統事業として、今年度は 26組の親子に参加いただいた。ふれあ いと体力づくりをするともに、季節 毎に四季折々の行事を取り入れるな ど、様々な体験を提供できた。近年の 幼稚園、保育園の受け入れ拡充や、保 護者の就労により、参加者の減少が見 込まれており、運営方法等を検討して いく必要がある。	

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
遊YOU大学 テーマ 「心と体の健康」	6月～12月	7回	趣味教養	高齢者	330人	65歳以上の方を対象に、様々なプログラムを通し、参加者相互の交流や体力づくりを行う。		毎年開催している講座「心と体の健康」をテーマに、今年度は日常生活に役立つ座学や太極拳、バスハイク等を行った。高齢者の体力増進、交流の場として継続的な内容だけでなく、新規内容も取り入れながら今後も継続していく。	
歌声いっぱい公民館	7月～12月	6回	趣味教養	成人	128人	発声練習、歌唱練習を行いながら、楽しく童謡唱歌を歌うもの。		講師の方が音楽療法士として活動されていることもあり、歌唱指導と音楽療法が半々程度の割合で行われた。受講者からは発声の仕方を学べて良かったという感想をいただいた。もう少し歌いたいという声もあったため、今後内容については講師と相談していきたい。	
地区担当職員連絡会議		11回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	140人	波田地区地域づくりセンター、波田公民館、健康づくり課、地域づくり課、西部福祉課、社会福祉協議会、福祉ひろば、西部包括支援センター、市立病院の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		各部署での取組みや事業内容、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。	
人権啓発推進協議会		1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	0人	地域に根差した人権教育・啓発を推進し、差別のない地域社会の実現を図ることを目的に運営する。		今年度は会員が集まらず、事業報告及び計画は書面にてお伝えした。会員の負担軽減のためにも、今後の会議のあり方を考えていく必要がある。	
学校応援団		2回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	80人	地区内小中学校の支援を目的に地域住民で組織し、運営を行う。		毎年恒例となっている波田小学校1年生の下校見守りでは、延べ 109名にご協力いただき、見守りのみならず世代を超えた地域住民との交流の場となっている。今後も学校からの要望等について協議しながら協力していきたい。	
町内公民館長会		4回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	99人	地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、町内公民館長同士の意見交換を行う。		地区の文化祭や、波田まちづくり協議会事業へ積極的に参加・協力いただいた。コロナ禍明けで事業を再開するにしても、中止期間の引継ぎが無く、苦慮されている町会も多いため、今後は公民館長同士の意見交換の機会を多く設けていきたい。	

令和5年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館運営委員会		2回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	16人	公民館の事業計画等についての検討 や提言を行う。		積極的に公民館活動へ関わっていただき、事業計画について検討や提言をいただけるようにしていきたい。	
体育委員会		9回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	201人	町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営に携わる。		今年度はコロナ禍の間中止になっていた町内公民館対抗行事を全て開催することができた。	
文化委員会		12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	136人	文化祭、イベント、歴史の担当に分かれ、それぞれの活動の企画、運営に携わる。		役員の負担軽減のため、年度中に体制の見直しを図り、イベント担当については、文化祭担当とともに文化祭の運営に携わっていただいた。来年度からは、3担当制を撤廃し、委員全員で文化祭の運営に協力いただくこととした。	
館報編集委員会		7回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	73人	松本市公民館報（波田地区版）への原稿執筆、編集を行う。		各月5名づつ、執筆・編集を分担して行う。記事内容は号毎の担当者在会議で内容を決定。今後も地区の様々な情報を記事にしていけるよう取組んでいきたい。	

公民館長会 令和5年度（2023年度）定例会等事業報告

No.	期日	会場	内 容	No.	期日	会場	内 容
①	4月19日(水)	中央公民館	【公民館長会総会】 ・R4年度事業報告 ・R4年度会計報告 ・R5年度役員 ・R5年度事業計画（案） ・R5年度予算（案） ・県公民館長総会並びに研修会大会ほか	⑦	10月18日(水)	浅間温泉文化センター	【地域情報発信】本郷地区 【協議事項、報告事項】 ・姫路市・松本市 公民館交流学習会 【研 修】 ・浅間温泉探究 会場 浅間温泉文化センター2階 中会議室 予約時間 9:00-16:30 駐車場は本郷文教ゾーンハ
		3-2	理事会 4月11日(火) 中公3-2				理事会 10月10日(火) 中公3-2
②	5月17日(水)	大手公民館	【地域情報発信】松原地区 【連絡事項】 ・宇都松本寺子屋事業の取組みについて ・デジタル活用支援事業について ・地域行事に関するアンケート結果の活用について ・第63回関東甲信越静公民館研究大会の従事者について 【研 修】 ・ChatLuckの使い方、YouTube発信に向けた動画編集 ・令和5年度公民館長会研修について（グループワーク） 【 歓送迎会 】	⑧	11月16日(木)・17日(金)	姫路市	【姉妹都市交流事業】 第20回 姫路市・松本市 公民館交流学習会 ア 日程 11月16日(木)、17日(金) イ 会場 姫路市 ウ 参加人数 公民館長23人・職員2人 エ 予算措置 ・公民館長日当・宿泊費 366千円（費用弁償） ・職員日当・宿泊費 18千円（普通旅費） ・貸切バス代（大型） 450千円（借上料） 駐車場料金、有料道路料金代込
			理事会 5月9日(火) 中公3-2				理事会 11月7日(火) 中公3-2
③	6月21日(水)	寿台公民館	【地域情報発信】寿台地区 【連絡事項、協議事項、その他】 ・令和5年度「公民館職員支援講座」について ・第45回全国公民館研究集会 第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会について ・令和5年度松本市町内公民館長会ブロック別研修会の開催について ・公民館長会研修計画 ・第76回優良公民館表彰について ・令和5年度松本市公民館長会「歓送迎会」会計報告 【研 修】 ・これからのCS（グループワーク）	⑨	12月20日(水)	中央公民館	【地域情報発信】第一地区 【協議事項、報告事項】 ・部活動の地域移行について ・未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて ・松本市・姫路市公民館交流学習会の決算について 【研 修】 - 蕎麦の研究 【 忘年会 】有志開催
			理事会 6月13日(火) 中公3-2			3-2	理事会 12月12日(火) 中公3-2
④	7月19日(水)	岡田公民館	【地域情報発信】岡田地区 【連絡事項、協議事項、その他】 ・第73回“社会を明るくする運動”について ・松本市平和祈念式典への出席について ・公民館研究集会について ・令和5年度公民館長会研修計画について ・別冊「信州らしく」について、写真付き名簿について ・姫路市との公民館交流学習会について 【研 修】 ・ニュースポーツ体験講座 ポッチャ、モルック	⑩	1月24日(水)	大手公民館	【地域情報発信】安原地区 【協議事項、報告事項】 ・令和6年度公民館長会役員の選出について ・松本市長選に関する個人演説会の対応について ・未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて ・令和6年度公民館長会 県外視察研修について 【研 修】 講義 モノの防災から考え方の防災へ 講師 天野和彦さん（福島大学人間発達文化学類特任教授、一般社団法人ふくしま連携復興センター代表理事）
			理事会 7月11日(火) 中公3-2				理事会 1月9日(火) 中公3-2
⑤	8月23日(水)	大手公民館	【地域情報発信】島立地区 【協議事項、報告事項】 ・令和5年度公民館長会研修計画について ・第63回関東甲信越静公民館研究大会長野大会について ・姫路市との公民館交流学習会について 【研 修】 ・新博物館探究 【暑気払い】 ビアガーデン・スターライト	⑪	2月21日(水)	島内公民館	【地域情報発信】島内地区 【協議事項、報告事項】 ・令和6年度公民館長会役員の選出について ・松本市公民館主事会研修会へ出席のお願い ・令和5年度松本市公民館長会会計について 【研 修】 生成AIについて 【DX推進本部】
			理事会 8月8日(火) 中公3-2				理事会 2月13日(火) 中公3-2
⑥	9月20日(水)	奈川公民館	【地域情報発信】奈川地区 【協議事項、報告事項】PM 【研 修】AM ・奈川地区探究 鷺鷹の渡り	⑫	3月19日(火)	中央公民館	【地域情報発信】第三地区 【協議事項、報告事項】 ・令和6年度公民館長会役員の選出について ・令和5年度今後の日程及び令和6年度公民館長会の予定について ・退任予定館長からのメッセージ 【研 修】 ・令和5年度振り返り グループワーク
			理事会 9月12日(火) 中公3-2			ホール	理事会 3月12日(火) 中公3-2

- (1) 地区公民館で実施の場合、地区情報発信を開催公民館館長が行う。
中央公民館で実施の場合、持ち回りで地区情報発信を行う。
- (2) 会場について駐車場等の関係で物理的に開催が困難な場合は、中央公民館を会場とする。
- (3) 3月は20日(水)が春分の日のため、19日(火)に開催
- (4) 県公民館運営協議会関係
ア 県公民館長総会並びに研修会大会（佐久市コスモホールほか）5月10日(水) 40人乗バス－特大車－（松本200は287）
イ 全国公民館研究集会、関東甲信越・県公民館大会（長野市芸術館ほか）9月28日(木)、29日(金)
40人乗バス－特大車－（松本200は287）、（松本200は189）
- (5) 姉妹都市交流事業第20回 姫路市・松本市 公民館交流学習会
日程 11月16日(木)、17日(金)

令和5年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 22 回開催し、延べ 663 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
1	4/13(木) 13:30～17:00 中央公民館	43	テーマ：令和5年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について 1 教育長あいさつ（伊佐治教育長） 2 令和5年度中央公民館重点目標について（石川中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 (1) 令和5年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和4年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和5年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和5年度予算について - ア 公民館管理運営費 - イ 公民館講座事業費 - ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 令和5年度 松本市小中学校環境教育支援事業について (8) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (9) 公民館総合補償制度対応手順について
2	4/下旬 ブロック研修会	35	テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案 各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。
3	5/11(木) 13:30～17:00 中央公民館	30	テーマ：「貸館の基礎を学ぶ」 1 研修趣旨 (1) 背景 社会教育施設である公民館は、地域住民、各種団体・サークル、民間企業など多様な主体から貸館を求められる。貸館の可否および減免の判断については、社会教育法や公民館条例等の関係法令に基づき判断する必要があるが、多種多様なケースが存在し、判断に迷うケースも散見される。一定の判断基準に基づいた貸館の可否および減免の判断を行う必要がある。 (2) 目的 貸館の基本となる関係法令を読み解き、松本市の公民館として統一的な見解を導けるよう、具体例を基に適正な貸館判断ができることを目指す。 2 事務連絡・協議事項 (1) デジタル活用支援事業等について(DX 推進本部) (2) 令和5年度長野県公民館主事研修会について(丸山中信公運協評議員) (3) 町内公民館振興業務委託料について(生涯学習課) (4) 「まつもと日和」上映会について(まつもとフィルムコモンズ) (5) 令和5年度松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」について(生涯学習課) (6) プラチナ大学視察受入地区の選定について(生涯学習課) (7) 生涯学習課・中央公民館重点目標等について(生涯学習課) (8) 令和5年度後期庁用バスの予約について(朝倉幹事長) 3 研修 (1) 貸館についての基礎知識、関係法令について (2) 個人ワークおよびグループワーク

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
4	5/25(木) 13:30～17:00 大手公民館	30	テーマ：「①お悩み相談会」、「②公民館プロジェクトについて」 1 研修趣旨 (1) 背景 ①新年度から2ヶ月弱が経過し、コロナ対策の緩和等を受け、公民館活動が活発化する時期となる。新任の主事を始め、公民館活動について誰に何を相談すれば良いか分からず、悩みを抱える主事が多いと推察される。 ②主事会プロジェクトは、主事有志によるチーム(貸館・DX・町内公民館振興等)で今日的課題の検討及び自己研鑽を行うことを目的に、令和3年度に発足した。チーム再編を経て活動を継続してきたが、人事異動等に伴い、チームによっては、活動が十分に行えない等の課題がある。 (2) 目的 ①各主事の悩みを相談できる機会を提供するとともに、その内容や対応策について全体で共有する。 ②プロジェクトの目的に照らし、改めてチーム再編やメンバーについて主事会全体で検討し、今回の結果をもとに、今後の幹事会で調整を行う。 2 事務連絡・協議事項 (1) 食育計画について(健康づくり課) (2) 庁用バスの予約について(幹事会) (3) 令和5年度長野県公民館運営協議会事業等について(県公運協理事) (4) 令和5年度関ブロ大会参加申込書について(事務局) 3 地区情報発信(中央地区) 4 研修 「お悩み相談会」、「公民館プロジェクトについて」
5	6/9(木) 13:30～17:00 笹賀公民館	34	テーマ：「会計事務」、「市民歩こう運動～地域の魅力再発見～」 1 研修趣旨 (1) 背景 ①今年度は新財務会計システムに変わり、新任主事を始め、主事全体で会計事務について同じ悩みを抱えていると推察される。 ②幅広い世代が地域を知り、関心を持つ機会の創出。また運動機会の確保と充実、地域づくりを担う公民館に求められている役割の一つだと考えられる。 (2) 目的 ①財務会計システムが新しくなったことも踏まえ、事前に質問を集め、情報共有することで会計事務を学ぶ機会とする。 ②「第3次松本市教育振興基本計画」で重視されている「学びに、遊びと体験を。」を意識し、「市民歩こう運動」として、今年度5月8日に松本市が公開したMEGURY(メグリ)を実際に体験。各地区で「市民歩こう運動」を実施している事例共有や、地域学習や健康増進の工夫(ツール)の共有を行う。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会参加申込について(続報)(事務局) (2) 主事会プロジェクトについて(続報)(事務局ほか) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) 3 研修 「会計事務」、「市民歩こう運動～地域の魅力再発見～」について

回	日時・会場	出席者	研修内容
6	6/22(木) 13:30～17:00 里山辺公民館	33	テーマ：公民館事業を見せる！魅せる！広報のイロハ 1 研修趣旨 (1) 背景 講座・イベントを開催しても、「人が集まらない」「参加者が固定化している」などは、どの地区でも共通した課題となっている。公民館事業の価値は集客数のみで決まるものではないが、公費で開催する事業として、また町会配布物としての広報の費用対効果の観点から、より多くの地区住民に事業の効果が波及するよう、人の目を引き、興味を持ってもらうための広報が求められる。 (2) 目的 事業の目的や魅力を地区住民に向けて効果的に伝え、人が集まる・興味を持つ公民館講座の広報の仕方を学ぶ。また、各地区で現状どのような広報を行っているのか、その手法等を共有することで、自身の地区での広報活動を改めて見直す一助とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会参加申込について(事務局) (2) 松本市町内公民館館長会ブロック別研修会について(中央公民館) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) 3 地区情報発信(第一地区) 4 研修 「公民館事業を見せる！魅せる！広報のイロハ」
7	7/13(木) 13:30～17:00 鎌田地区公民館	31	テーマ：フューチャーデザインワークショップ 1 研修趣旨 (1) 背景 地区によって様々な地域課題があり、それに対する住民の意見集約や合意形成は難しく、課題に対する意見の対立も起こりうる。環境問題を代表例として、現代に生きる人間が自分たちの利益を追求することで、未来の人間が不利益を被るという事例が増えている。公務員として今後の計画立案には、中長期的な視点が必要不可欠である。 (2) 目的 フューチャーデザインワークショップを体験することで、課題の見える化や住民との意見交換（集約・合意形成）の手法を学ぶ。未来人としての視点を持つことで、現代や近い未来ではなく、未来思考・中長期的な考え方の重要性を学ぶ。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） (2) ChatLuck「公民館主事会ルーム」について(副幹事長・事務局ほか) (3) 報償費について(事務局) (4) 公民館事業に係る事故・怪我の発生の多発について(事務局) 3 地区情報発信(鎌田地区) 4 研修 「フューチャーデザインワークショップ」
8	7/27(木) 13:30～17:00 中央公民館	33	テーマ：特別な支援を要する人々の学習の場 1 研修趣旨 (1) 背景 学びを保障する場として、公民館は地域住民、様々な状況の方(貧困の状況にある子供、障がい者、高齢者、孤独・孤立の状態にある者、外国人、女性)の学習ニーズに応じ、学習機会を提供する役割があり、そのために公民館主事は多様な人や組織を理解し、つながりを持つ必要がある。 特に、多様な人々が来館する公民館、地域づくりセンター職員として障がいのある方の気持ちに寄り添ったコミュニケーションの取り方を身に着けておくことが望ましいと考えられる。 (2) 目的 松本ろう学校（寿地区内・県立）の概要や学校生活の様子から、そこで

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			学ぶ子どもとの関わり方、多様な学びの環境を知る。さらに、体験談や手話体験を通して「誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会」（「障害者の生涯学習の推進方策について」学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議より）を実現するための公民館の役割を考える。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和6年度長野県館報関係者研修会について（浅井県公運協理事） (2) 松本市公民館チャンネルにおける動画のアップロード方法について（中央公民館 清水事務員） (3) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） 3 地区情報発信（中山地区） 4 研修 「特別な支援を要する人々の学習の場」
9	8/上旬 ブロック研修会		テーマ：下半期の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案等 下半期の研修テーマ、まちづくりの集い等について検討する
10	8/24(木) 10:00～17:00 美鈴湖もりの国 オートキャンプ 場・美鈴湖	24	テーマ：遊び・体験を通じた環境学習とその注意点 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月に策定された第3次松本市教育振興基本計画では、「学びに、遊びや体験を。」をスローガンに、分野2教育において、学童期や青年期の学校教育を中心とした多様な学びに、①子どもの運動機会の確保の充実、②地域資源を活用した「魅力ある学校づくり」の推進、③若者が地域や社会とつながる機会の創出等が掲げられている。 (2) 目的 柳澤林業の取り組みを聞き、実際に体験することで知識や関心を高め、テーマ設定の内容につながる講座の企画・運営に役立てる。 今年度から様々な行事等が展開されることが予想される。行事中のケガ等への対応を、主事でも出来る応急処置のスキルを身に付ける機会とする。 2 研修 もり遊び、SUP 体験、簡単アウトドアクッキング、応急手当講習
11	9/14(木) 13:30～17:00 松本市立博物館	31	テーマ：松本まるごと学都構想が目指すもの～新市立博物館から学ぶ～ 1 研修趣旨 (1) 背景 新しい松本市のシンボルとなる市立博物館は、大名町通り沿いに移転され、10月7日にオープンを迎える。令和4年6月から施行された「第3次松本市教育振興基本計画」において、市立博物館は「松本まるごと学都構想」の実現に欠かすことができない中心的な施設と位置付けられている。 しかし、公民館主事としての施策や取り組みの理解や、公民館と博物館との連携という部分で、理解を深める必要がある。 (2) 目的 移転オープンを前に、館内にある歴史的資料や展示物等を見学し、博物館の現状や課題等を知るとともに、地域の歴史学習等への活用や住民の「学び」につなげる方法を学習する。また、公民館と博物館のより一層の連携を考える機会としたい。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度関ブロ大会について（事務局） (2) 令和6長野県館報関係者研修会について (3) 令和6年度前期庁用バスの予約及び今後の対応について (4) 信州やまなみ国スポ・全障スポについて（スポーツ事業推進課） (5) 貸館業務について（中央公民館） (6) 令和5年度まちづくりの集いについて（事務局・幹事会ほか） 3 地区情報発信（和田地区）

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			4 研修 「松本まるごと学都構想が目指すもの～新市立博物館から学ぶ～」
12	9/28(木)・29(金) 長野市芸術館・生涯 学習センター	27 26	第71回長野県公民館大会・第63回関東甲信越静ブロック公民館研究大会 1 全体会(9/28) 「人とつながる」 講師：社会医療法人財団慈泉会 相澤健康 小平 奈緒 氏 2 分科会 7分科会(地域防災①、②、公民館のあり方、これからの情報発信、 多様な連携・協働①、②、地域コミュニティの復興)
13	10/12(木) 13:30～17:00 第三地区公民館	21	テーマ：ニュースポーツ体験とその活用 1 研修趣旨 (1) 背景 市街地には小中学校の体育館・校庭、社会体育館等、体育事業の会場となる施設が地区内に少なく、町会対抗戦のような規模のものを定期的に実施することは困難。一方で運動不足・社会参加不足等に起因する「フレイル」が広く知られるようになり、高齢期に至る前に、筋力の低下、社会参加の機会の減少を防ぐために住民が一緒に体を動かし、顔見知りを増やしていくことの重要性が再認識されている。 (2) 目的 ①スポーツの経験がない人でも気軽に参加できるニュースポーツの例として「ボッチャ」「モルック」を主事自身が体験し、地区内での体育事業に取り込むきっかけにする。 ②特にモルックはさほど広いスペースを必要とせず、2人以上いればプレーが可能。このような種目を例として体育施設のない地区でも取り組めるニュースポーツを知り、住民に提案するための選択肢を増やしていく。 2 地区情報発信(第三地区) 3 事務連絡・協議事項 (1) オンライン通いの場アプリについて(福祉政策課) (2) 令和5年度関ブロ大会について(事務局他) (3) 令和5年度社会教育主事講習【B】について (4) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) 4 研修 「ニュースポーツ体験とその活用」 5 全体討議 「貸館事業について」
14	11/9(木) 13:30～17:00 グレンパークさわ んど他	20	テーマ：地域の自然資源を生かした地域振興とは？ 1 研修趣旨 (1) 背景 地域振興は、「観光」「名産づくり」といった観光等のセクションが関与するワードにより狭義に捉えられがちで、地域住民が受け身、つまり客体として存在することが多い。 本来、地域振興とは、地域住民にこそメリットがもたらされるものであることを思えば、地域住民が主体として存在すべきである。 その視点においては、地域住民の主体性を醸成する役割を公民館が負う部分は大きい。 これを担う上での課題は、行政職員によるコミュニケーションスキルの習得や、身近な自然資源の活用方策への技能知識の習得が挙げられる。 (2) 目的 1 地域住民の主体性を醸成するコミュニケーションスキルを学ぶ。 2 自然資源の活用方策への技能知識習得を学ぶ機会とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) (2) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館)

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			(3) デジタル活用支援事業について(中央公民館) (4) 地区公民館のフリースペース開放事業について(中央公民館) (5) 出前講座メニューの一部変更について(中央公民館) 3 地区情報発信(奈川地区) 4 研修 「地域の自然資源を生かした地域振興とは？」
15	11/30(木) 13:30～17:00 下諏訪総合文化センター	27	令和5年度長野県公民館主事研修会(全体会) 1 全体会(パネルディスカッション) 「よくばりなパネルディスカッション」 モデレーター：県主事会副幹事長 浅井 勇太 主任(松本市島立公民館) パネリスト：川俣 徳晃 係長(長野市小田切交流センター) 田中 利行 次長(上田市塩田公民館) 安藤 寿秀 主任(塩尻市中央公民館) 熊谷 祐希 主事(飯田市伊賀良公民館) アドバイザー：白戸 洋 教授(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科)
16	12/1(金) 10:00～13:00 下諏訪総合文化センター	28	令和5年度長野県公民館主事研修会(分科会) 1 分科会(4分科会) ①「公民館未来予想図Ⅲ～伝承から学ぶ未来設計～」 ②「公民館職員のバイブル「公民館の基礎知識」」 ③「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」【松本市運営担当】 ④「廃校に響く懐かしい歌声旧落合小学校ミニコンサート」
17	12/21(木) 14:00～17:00 城北公民館	33	テーマ：「松本市の地域づくりと公民館の歩み」 1 研修趣旨 (1) 背景 少子高齢化・人口減少・個人の価値観の変容等を背景に、地域運営をめぐる状況は厳しさを増している。地域の力だけで課題を解決し暮らしを維持していくことは難しく、同様に行政だけで地域の課題を解決することも難しい。多様な主体の力を結集し、それぞれの強みを生かしながら課題解決を図ることが求められ、公民館主事はその最前線に立っている。その一方で、地域課題の解決に向けどう関わりを持てば良いかわからず鬱屈とし、公民館になぜ正規職員を置いているのか、なぜ指定管理や民間委託とならないのかと悩む公民館主事がいることも事実である。公民館・地域づくりセンターについて学習し、課題解決に向けた関わり方・公民館主事の役割について考える必要がある。 (2) 目的 松本市の地域づくり、公民館・社会教育の役割について学習し、公民館主事の役割・地域への関わり方について改めて考える。 2 事務連絡・協議事項 (1) 冬のイベント事業について(観光プロモーション課) (2) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) (3) 令和6年度前期庁用バスの予約について(庁用バス担当) (4) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館) (5) 県公民館主事会の振り返り【参加者】 3 研修 「松本市の地域づくりと公民館の歩み」
18	1/11(木) 13:30～17:00 岡田公民館	29	テーマ：誰もが自分らしく学べる公民館施設と管理運営について 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月に策定された第3次松本市教育振興基本計画の基本的理念において、「すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく」としている。学びの場を保障する公民館として、高齢者や障がい者への理解を深め、対応力を身に付けるとともに、各公民館内での障害物を把握する必要があると考える。

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			(2) 目的 体験をすることでどのような支援が必要か、どのように接するべきかを理解し、行事や講座に参加できるような環境づくりに役立てる。また、公民館内の障害物をなりそうな物や配置を考えるきっかけとする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 選挙事務について(選挙管理委員会事務局) (2) 町内公民館振興業務委託料の報告書作成等について(中央公民館) (3) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局・幹事会ほか) 3 地区情報発信(四賀地区) 4 研修 「誰もが自分らしく学べる公民館施設と管理運営について」
19	1/25(木) 14:00～17:00 塩尻市総合文化センター	34	テーマ：松本市・塩尻市公民館主事大いに語る 1 研修趣旨 (1) 背景 松本市・塩尻市は同じ中信地区にあり、長野県内においても非常に活発に公民館活動を実施している地域でもある。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症による情勢変化により、公民館活動も大きく影響し、5類移行により徐々に住民自治活動の再構築が進められているが、長期にわたる中断によって、事業実施に必要なノウハウやネットワーク等が失われ、再開が困難になってきている事業もある。 (2) 目的 松本市・塩尻市互いの公民館活動について、事例紹介しつつ、アフターコロナにおける公民館活動について議論することで、今後の互いの活動に寄与できるきっかけ・気づきを見出す。 2 研修 (1) 松本市・塩尻市の公民館の体制について (2) 松本市事例発表 (3) 塩尻市事例発表 (4) グループディスカッション (5) 全体講評(長野県生涯学習推進センター 中田 安子 氏)
20	2/8(木) 13:30～17:00 梓川公民館	37	テーマ：松本市図書館が目指す姿とは～「松本市図書館未来プラン」から学ぶ～ 1 研修趣旨 (1) 背景 令和4年6月から施行された「第3次松本市教育振興基本計画」において、松本市図書館は「松本まるごと学都構想」の実現に欠かすことができない中心的な施設と位置付けられている。令和4年10月には「松本市図書館未来プラン」が策定され、地域住民のために開かれた生涯学習施設・情報拠点・交流拠点として、多様な機能を生かした新しい図書館像が描かれている。 (2) 目的 生涯学習の推進や交流機会の創出という面で図書館と公民館が持つ機能は似ており、図書館の施策や取り組みを学ぶことは、広い意味で「学び」や「地域づくり」について考えることにも繋がる。研修を通じて、図書館への理解を深めるとともに、図書館と公民館とのより一層の連携を考える機会とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 令和5年度まちづくりの集いについて(事務局ほか) (2) 公民館委員報償費見込額調査について(中央公民館) (3) 行政財産目的外使用許可について(中央公民館) (4) 町内公民館振興業務委託料について(中央公民館) (5) フリースペース・ホットスペースについて(中央公民館) (6) 定期監査の指摘事項について(安原地区公民館・中央公民館) (7) 学校部活動地域移行に伴う松本市公民館の貸館について(中央公民館)

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			3 地区情報発信(梓川地区) 4 研修 「松本市図書館が目指す姿とは～「松本市図書館未来プラン」から学ぶ～」
21	3/7(木) 13:30～17:00 庄内地区公民館	28	テーマ:「まちづくりの集い」の未来を考えるワーク 1 研修趣旨 (1) 背景 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」について、様々な課題の表出、内容や運営方法などの見直し提案がなされている。そんな中で、来年度は松本市公民館研究集会として40回を迎えるにあたり、「集い」は今後どうあるべきなのか＝「集い」の未来を考えるべき段階にある。 (2) 目的 1 今年度の「集い」の反省点・改善点などを共有する。 2 「集い」の目的の確認に始まり、現状との乖離(課題点)、今後の在り方(改善策など)について、主事の認識や考えの整理、可視化を図る。 3 ワークの結果を次年度の「集い」への主事の「提言」としてまとめる。 2 事務連絡・協議事項 (1) 出前講座「賢い消費者になるために」の周知等について(市民相談課) (2) 会計年度任用職員4類の任用に係る事務手続きの変更について(中央公民館) (3) 令和5年度主事会会計決算見込みについて(伊藤副幹事長) (4) 部活動地域移行について(中央公民館 森田主任) 3 研修 「“まちづくりの集い”の未来を考えるワーク」
22	3/21(木) 13:30～17:00 寿台公民館	29	テーマ:令和5年度主事会プロジェクトの総括と令和6年度の主事研修会に向けて 1 研修趣旨 (1) 背景 主事会プロジェクトは令和3年度から見直しを行いながら進めてきているが、年度末にあたり活動内容の詳細や進捗状況を主事会全体で共有し振り返るとともに、今後の活動について考える時間が必要である。また、1年間の主事研修会を終えて、振り返りとさらに学ぶべきことを整理し、来年度の主事会へ活かしていく必要がある。 (2) 目的 主事会プロジェクトの活動状況を報告するとともに主事会全体からの意見を集約することで活動の見直しや今後の方向性を検討する。 今年度に主事研修会で学んできたことを再確認し、来年度以降の主事研修会の在り方を考える。 2 事務連絡・協議事項 3 地区情報発信(寿地区) 4 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 5 研修 「令和5年度主事会プロジェクトの総括と令和6年度の主事研修会に向けて」

※ コロナ禍による制約が無くなり、コロナ禍以前の主事研修会に即した研修内容とした。

※ コロナ禍による影響を受け、地区館・主事間の連携の希薄が目立ったため、つながり作りを強化する目的で、昨年度に続き、屋外研修やレクリエーションの要素を取り入れた研修を実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

【毎月第1火曜日15時～ 対面実施】

<主な協議事項>

4/6	令和5年度の主事会・幹事会の運営等	10/3	主事研修会企画
5/9	主事研修会(前期)企画	11/7	主事研修会企画
6/6	主事研修会企画	12/5	主事研修会企画
7/11	主事研修会企画	1/9	主事研修会企画
8/1	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/6	主事研修会企画(大雪のため書面開催)
9/5	主事研修会企画	3/5	主事研修会企画、令和6年度の主事会計画案

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/上旬 令和5年度長野県公民館主事総会 書面開催。令和4年度から総会と主事会を別開催
- (2) 9/28・29 第71回長野県公民館大会・第63回関東甲信越静岡ブロック公民館研究大会
(長野市芸術館・長野市生涯学習センター／兼第12回主事研修会)
- (3) 11/30、12/1 長野県公民館主事研修会(12/1 中信地区分科会担当)
(下諏訪総合文化センター／兼第15、第16回主事研修会)
- (4) 12/15 令和5年度中信地区公民館運営協議会館長・主事等視察研修会
「地域の特色を活かした学びの施設の視察」(木曽おもちゃ美術館・御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳)
- (5) 2/18 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第39回公民館研究集会 令和5年度地域づくり市民活動研究集会～
中央公民館(全体会及び分科会)及び芳川会場・四賀会場(分科会)で実施。

4 その他(親睦事業など)

歓送迎会・暑気払い・忘年会を3年ぶりに企画し、適宜開催

令和5年度公民館等連絡先一覧表

R5.7.1現在

No.	館 名	館 長 等	公民館主事等	センター長(館課長)	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所 在 地	担当地区
1	中 央	石川 善啓 (社会教育推進担当)	土屋 浩昭 中村 安広 小岩井 一樹 福村 健太郎 合津 朋実 森田 耀子 矢嶋 美智子 宮下 明日香 清水 春生		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56212 56204 56212 56203 56203 56211 56212 56211	37-1153	390-0811 //	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
		(施設整備担当)	中野 浩二 酒井 謙一 伊藤 雄太							
2	第 一 地 区	水野 範明	朝倉 光貴	中村 史子	32-1550	56405	32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第 二 地 区	早坂 義導	栗田 幸信	臼井 美保	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第 三 地 区	武井 保典	深澤 佐恵	窪田 直美	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東 部	小澤 佐智浩	降旗 一博	滝澤 修	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城 北	小岩井 成人	西澤 瑞恵	増田 香	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大 手	遠藤 彰	中條 克明	宇留賀 真理子	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安 原 地 区	藤野 一男	板花 良太	波多腰 秀美	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城 東	宮下 隆夫	小林 弘幸	田中 治	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白 板 地 区	内藤 哲夫	片桐 史門	村田 誠司	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田 川	堀内 正雄	瀧川 航平	永瀬 幸道	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄 内 地 区	梶山 三男	小林 大	甕 国人	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌 田 地 区	小嶋 和好	高山 美空	熊井 理英	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松 南 地 区	川上 正彦	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島 内	上條 光司	保科 黄	勝家 隆	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中 山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島 立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	伊藤 和宏	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新 村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和 田	萩原 良治	北澤 圭祐	村山 佳子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神 林	丸山 勝久	丸山 貴大	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹 賀	山田 賢司	矢口 竜也	中原 和彦	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳 川	柏澤 由紀一	藤澤 智恵美	坂上 浩美	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	丸山 稜雅	羽田野 千帆	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿 台	坂井 久吉	大津 茜	奥原 喜照	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松 原 地 区	下村 純	木内 翼	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡 田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入 山 辺	小笠原 鉄夫	斉川 史徳	柏原 せつ子	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里 山 辺	小幡 泰俊	吉田 望花	神田 浩	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2943-1	里山辺
29	今 井	櫻井 貞文	宮澤 理沙	二木 昭彦	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内 田	丸山 明良	小河原 萌	武井 義正	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本 郷	橋本 眞一	分部 哲志	倉田 和昭	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四 賀	花村 憲二	浅沼 喜之	降旗 みゆき	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安 曇	大野 修	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35121	94-2918	390-1520	安曇 1061-1	安曇
34	奈 川	忠地 愛男	奥原 美鈴	高山 昇	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓 川	西牧 和夫	安藤 ひかり	田多井 清純	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波 田	麻田 仁郎	小松 一成	百瀬 朋章	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
	あがたの森	木下 守	福沢 佳典		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
	青少年ホーム	永井 康太郎	小船井 彩乃		26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	
	池上百竹亭	指定管理者			32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
	ふれあいパーク 乗 鞍	指定管理者			93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

令和 6 年度 公民館等連絡先一覧表

R6.10.1現在

No.	館 名	館 長 等	公民館主事等	センター長(館課長)	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所 在 地	担当地区
1	中 央	廣田 圭男 (社会教育推進担当)	土屋 浩昭 上嶋 秀俊 小岩井 一樹 浅井 勇太 合津 朋実 矢嶋 美智子 藤澤 智恵美 寺社下 奈央 清水 春生 今福 良夢		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56212 56212 56212 56204 56204 56203 56211 56212 56211	37-1153	390-0811 //	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
		(施設整備担当)	中野 浩二 酒井 謙一 伊藤 雄太							
2	第 一 地 区	水野 範明	朝倉 光貴	中村 史子	32-1550	56405	32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第 二 地 区	早坂 義導	栗田 幸信	臼井 美保	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第 三 地 区	武井 保典	深澤 佐恵	三村 恵美	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東 部	小澤 佐智浩	降旗 一博	加藤 尚子	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城 北	小岩井 成人	村田 美鈴	堀 敬子	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大 手	遠藤 彰	中條 克明	宇留賀 真理子	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安 原 地 区	藤野 一男	奥原 直弥	波多腰 秀美	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城 東	瀧澤 和子	小林 弘幸	田中 治	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白 板 地 区	内藤 哲夫	片桐 史門	村田 誠司	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田 川	荻原 しほみ	瀧川 航平	永瀬 幸道	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄 内 地 区	梶山 三男	小林 大	中野 由佳	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌 田 地 区	小嶋 和好	高山 美空	熊井 理英	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松 南 地 区	川上 正彦	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島 内	上條 光司	中條 陽	勝家 隆	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中 山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島 立	伊藤 悦夫	丸山 直紀	伊藤 和宏	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新 村	新村 芳男	塩原 航	忠地 智司	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和 田	窪田 潔	北澤 圭祐	村山 佳子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神 林	丸山 勝久	丸山 貴大	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹 賀	大槻 研一	矢口 竜也	藤牧 啓吾	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳 川	永田 幸彦	碓 浩平	中井 香保里	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	久保田 文章	丸山 稜雅	羽田野 千帆	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿 台	坂井 久吉	小山 高志	中嶋 弘美	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松 原 地 区	河内 正弘	阿部 優磨	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡 田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入 山 辺	小笠原 鉄夫	斉川 史徳	柏原 せつ子	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里 山 辺	小幡 泰俊	市橋 佑磨	宮澤 正起	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2943-1	里山辺
29	今 井	上條 泰正	赤羽 絵美	板花 賢治	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内 田	丸山 明良	保科 黄	武井 義正	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本 郷	乾 由理子	宮下 慶祐	倉田 和昭	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四 賀	花村 憲二	浅沼 喜之	降旗 みゆき	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安 曇	大野 修	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35121	94-2918	390-1520	安曇 1061-1	安曇
34	奈 川	忠地 愛男	奥原 美鈴	奥原 喜照	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓 川	西牧 和夫	安藤 ひかり	二木 玲子	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波 田	麻田 仁郎	小松 一成	平林 正隆	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
	あがたの森	木下 守	福沢 佳典		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
	青少年ホーム	永井 康太郎	小船井 彩乃		26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	
	池上百竹亭	指定管理者			32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
	ふれあいパーク 乗鞍	指定管理者			93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

松本市公民館長理事役員名簿 (H28年度以降)

(敬称略)

年度 役名		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
会 長		村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)	櫻井 (今井)	櫻井 (今井)	藤野 (安原)
副 会 長		胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	小笠原 (入山辺)	川上 (松南)
(中央公民館長)		高橋	高橋	栗田	栗田	栗田	高橋	石川	石川	廣田
理 事	中央1	北沢 (東部)	阿部 (第一地区)	宮下 (東部)	早坂 (第二地区)	佐藤 (城東)	赤沼 (第三地区)	水野 (第一地区)	武井 (第三地区)	小澤 (東部)
	中央2	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	内藤 (白板地区)	藤野 (安原地区)	遠藤 (大手)	小岩井 (城北)
	中央3	草間 (庄内地区)	田中 (鎌田地区)	池上 (田川)	浦澤 (松南地区)	筒井 (庄内地区)	筒井 (庄内地区)	白澤 (松南地区)	小嶋 (鎌田地区)	梶山 (庄内地区)
	河 西	関 (新村)	渡辺 (和田)	青木 (梓川)	輪湖 (波田)	上條 (島内)	伊藤 (島立)	新村 (新村)	萩原 (和田)	西牧 (梓川)
	西 南	上條 (安曇)	勝山 (奈川)	藤波 (笹賀)	塩原 (神林)	櫻井 (今井)	百瀬 (安曇)	忠地 (奈川)	山田 (笹賀)	丸山 (神林)
	東 南	藤森 (中山)	柏澤 (芳川)	下村 (松原)	百瀬 (寿)	坂井 (寿台)	丸山 (内田)	鈴木 (中山)	柏澤 (芳川)	坂井 (寿台)
	東 山	遠山 (入山辺)	百瀬 (四賀)	橋本 (本郷)	富岡 (岡田)	小幡 (里山辺)	小笠原 (入山辺)	藤松 (四賀)	橋本 (本郷)	深井 (岡田)
監 事		中嶋 (内田)	内藤 (白板)	阿部 (第一地区)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	丸山 (内田)	水野 (第一地区)	小嶋 (鎌田地区)
事務局 (中央公民館)		金井	金井	横山	田口	横山	土屋	土屋	土屋	土屋
中信公運協		胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	小笠原 (入山辺)	川上 (松南)
県公運協		村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)	櫻井 (今井)	櫻井 (今井)	藤野 (安原)

令和6年度 松本市公民館長会理事等 役職分担表

年 度 役職名		R 2年度		R 3年度		R 4年度		R 5年度		R 6年度	
		館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名
県公運協 (R元、R3は会長職)		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野
長野県将来世代応援県民会議 (県公運協副会長が就任)											
中信公運協（参与職）		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野
中信公運協（評議員職）		城北	田中	城北	田中	入山辺	小笠原	入山辺	小笠原	松南地区	川上
松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 R5～								今井	櫻井	安原地区	藤野
松本市差別撤廃人権擁護 審議会（会長職） 同和		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野
部落解放・人権政策確立要求 松本市実行委員会委員長 (公民館長会 会長)		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野
“社会を明るくする運動”松本推進委 員会（会員）		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井
平和祈念式典実行委員会		島内	上條	白板地区	内藤	新村	新村	和田	萩原	梓川	西牧
明るい選挙推進協議会 代議員2名 (うち役員候補者1名)	会長職	芳川	柏澤	芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	安原地区	藤野
		今井	櫻井	白板地区	内藤	奈川	忠地	本郷	橋本	神林	丸山
豊かな環境づくり 松本地域会議 (松本地方事務所環境課)		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井
教育文化センター 運営委員会		里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡	里山辺	小幡
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会		里山辺	小幡	庄内地区	筒井	新村	新村	和田	萩原	梓川	西牧
松本市生活簡素化 実行委員会		島内	上條	白板地区	内藤	奈川	忠地	本郷	橋本	神林	丸山
学都松本子ども読書活動推進委員会 R元～		島内	上條	庄内地区	筒井	城北	小岩井	城北	小岩井	城北	小岩井
まつもと文化遺産保存活用協議会 R4～						新村	新村	新村	新村	庄内地区	梶山
館長会 研修担 当	①通常研修担当	大手	高野	入山辺	小笠原	松南地区	白澤	笹賀	山田	岡田	深井
		庄内地区	筒井	島立	伊藤	安原地区	藤野	大手	遠藤	東部	小澤
	②県外研修担当	今井	櫻井	内田	丸山	四賀	藤松	芳川	柏澤	城北	小岩井
		寿台	坂井	安曇	百瀬	中山	鈴木	鎌田地区	小嶋	庄内地区	梶山
学都松本推進協議会 事務局会議委員		城東	佐藤	第三地区	赤沼	第一地区	水野	第三地区	武井	寿台	坂井
館長会・主事会 連絡調整委員		芳川	柏澤	芳川	柏澤	今井	櫻井	今井	櫻井	安原地区	藤野
		城北	田中	城北	田中	入山辺	小笠原	入山辺	小笠原	松南地区	川上
監事		白板地区	内藤	大手	高野	内田	丸山	第一地区	水野	鎌田地区	小嶋

令和5年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 議 公 運 員	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局	学 都 フ ォ ー ラム 担 当
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	9									
		中 村 安 広	15									
		小 岩 井 一 樹	2									
		福 村 健 太 郎	3								○	
		森 田 耀 子	6									
		合 津 朋 実	7									
		矢 嶋 美 智 子	3									
		宮 下 明 日 香	2									
		清 水 春 生	0									
		中 野 浩 二	0									
		酒 井 謙 一	1									
		伊 藤 雄 太	2									
中 央 1	第 一 地 区	朝 倉 光 貴	3	○						○		
	第 二 地 区	栗 田 幸 信	9.5									
	第 三 地 区	深 澤 佐 恵	0									
	東 部	降 旗 一 博	0									
	城 東	小 林 弘 幸	0									
中 央 2	白 板 地 区	片 桐 史 門	1							○		
	城 北	西 澤 瑞 恵	3		○							
	安 原 地 区	板 花 良 太	3									
	大 手	中 條 克 明	5									
中 央 3	鎌 田 地 区	高 山 美 空	0									
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	3		○							
	庄 内 地 区	小 林 大	1							○		○
	田 川	瀧 川 航 平	2									
河 西 部	島 内	保 科 黄	2									
	島 立	浅 井 勇 太	6			○						
	新 村	太 田 正 太 郎	4		○					○		
	和 田	北 澤 圭 祐	0									
	梓 川	安 藤 ひ かり	0									
	波 田	小 松 一 成	0									
西 南 部	笹 賀	矢 口 竜 也	1							○		○
	神 林	丸 山 貴 大	1					○				
	今 井	宮 澤 理 沙	2									
	安 曇	羽 田 大 樹	5									
	奈 川	奥 原 美 鈴	1									
東 南 部	芳 川	藤 澤 智 恵 美	0									
	寿	丸 山 稜 雅	0									
	寿 台	大 津 茜	2							○		
	内 田	小 河 原 萌	2									
	中 山	宇 治 樹	1									○
	松 原 地 区	木 内 翼	0									
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	2.5									
	里 山 辺	吉 田 望 花	2							○		
	入 山 辺	斉 川 史 徳	0									
	本 郷	分 部 哲 志	2.5				○					
	四 賀	浅 沼 喜 之	0									

令和6年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	役職	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 公 運 協	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	課長補佐	10								
		上 嶋 秀 俊	係長	15								
		小 岩 井 一 樹	主査	3								
		浅 井 勇 太	主査	7								○
		合 津 朋 実	主任	8								
		矢 嶋 美 智 子	主事	4								
		藤 澤 智 恵 美	主事	1								
		寺 社 下 奈 央	主事	0								
		清 水 春 生	主事	1								
		今 福 良 夢	事務員	0								
		中 野 浩 二	課長補佐	1								
中 央 1	第 一 地 区	朝 倉 光 貴	主任	4			○					
	第 二 地 区	栗 田 幸 信	係長	10.5							○	
	第 三 地 区	深 澤 佐 恵	主任	1		○						
	東 部	降 旗 一 博	主査	1								
	城 東	小 林 弘 幸	主査	1								
中 央 2	白 板 地 区	片 桐 史 門	主事	2		○						
	城 北	村 田 美 鈴	主事	0								
	安 原 地 区	奥 原 直 弥	主任	6								
	大 手	中 條 克 明	主任	6	○						○	
中 央 3	鎌 田 地 区	高 山 美 空	主事	1				○				
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	主任	4								
	庄 内 地 区	小 林 大	主事	2		○						
	田 川	瀧 川 航 平	主任	3							○	
河 西 部	島 内	中 條 陽	主任	4								
	島 立	丸 山 直 紀	主事	0								
	新 村	塩 原 航	主査	0								
	和 田	北 澤 圭 祐	主事	1							○	
	梓 川	安 藤 ひ かり	主事	1								
西 南 部	波 田	小 松 一 成	主事	1								
	笹 賀	矢 口 竜 也	主事	2								
	神 林	丸 山 貴 大	主事	2					○			
	今 井	赤 羽 絵 美	主事	0								
東 南 部	安 曇	羽 田 大 樹	主査	6								
	奈 川	奥 原 美 鈴	主任	2							○	
	芳 川	碓 浩 平	主事	0								
	寿	丸 山 稜 雅	主事	1							○	
	寿 台	小 山 高 志	主査	4								
	内 田	保 科 黄	主任	3								
東 山 部	中 山	宇 治 樹	主事	2								
	松 原 地 区	阿 部 優 磨	主事	0								
	岡 田	田 中 貢 治	主査	3.5								
	里 山 辺	市 橋 佑 磨	主事	0								
東 山 部	入 山 辺	齊 川 史 徳	主任	1								
	本 郷	宮 下 慶 祐	主任	0								
	四 賀	浅 沼 喜 之	主事	1							○	

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活 動 内 容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

◎委員長 ○副委員長

区分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	五 明 佳 代	松本市立筑摩小学校 校長
	馬 場 英 晃	松本市立大野川小・中学校 校長
社会教育	○ 立 石 恵 子	フリマネット信州 代表
	降 旗 都 子	松本市地域づくり市民委員会 委員長 第三地区まちづくり協議会 副会長
	染 井 伴 子	松本市女性団体連絡協議会
	中 田 安 子	元 第三地区公民館 館長
	百 瀬 壽	松本市町内公民館長会 会長
	中 島 麻 衣	地域づくり考房「ゆめ」
	山 口 茂	松本市公民館報全市版編集委員会 委員長
	小 穴 一 郎	NPO法人信州ソフトウェア協会 代表理事
家庭教育	高 木 守	松本市PTA連合会 顧問
	久保田 由美	松本みんなのにほんご教室
有識者	◎ 向 井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
	前 田 豊	信州大学 人文学部 准教授
公募者	小 峰 悦 雄	公募

(任期2年:令和5年8月1日から令和7年7月31日まで)

事務局	廣 田 圭 男	松本市生涯学習課・中央公民館 課長(館長)
	上 嶋 秀 俊	松本市生涯学習課・中央公民館 社会教育推進担当 係長

松本市の公民館（令和 6 年度）

令和 6 年 12 月発行

発行・編集 松本市生涯学習課・中央公民館

松本市中央 1-18-1

TEL 0263-32-1132

e-mail: gakushu@city.matsumoto.lg.jp
